

荒川区ごみ排出原単位等実態調査 報告書

平成 22 年 9 月
荒川区

目次

第一章	ごみ排出原単位等実態調査.....	1
1-1	調査の目的.....	1
1-2	調査項目.....	1
1-3	調査日程.....	1
1-4	調査の流れ.....	2
1-5	調査方法.....	3
1-6	分類項目.....	5
第二章	ごみ排出原単位実態調査報告.....	6
2-1	家庭ごみ排出実態調査.....	6
(1)	調査の目的.....	6
(2)	調査時期.....	6
(3)	調査対象世帯.....	6
(4)	調査方法.....	6
(5)	調査内容.....	6
(6)	調査結果概要.....	7
①	不用物の発生量結果.....	7
②	属性別不用物発生原単位結果.....	7
③	家庭系ごみ組成分析結果.....	19
④	モニターアンケート結果.....	24
2-2	事業系ごみ排出実態調査.....	32
(1)	調査の目的.....	32
(2)	調査時期.....	32
(3)	調査対象事業所.....	32
(4)	調査方法.....	32
(5)	調査内容.....	32
(6)	調査結果概要.....	33
①	不用物の発生量結果.....	33
②	属性別発生原単位結果.....	33
③	事業系ごみ組成分析結果.....	41
④	モニターアンケート結果.....	46
第三章	ごみ減量及びリサイクル・資源回収への取組に関する意識調査.....	53
3-1	区民アンケート調査.....	53
(1)	調査の目的.....	53
(2)	調査対象.....	53
(3)	調査期間.....	53
(4)	調査方法.....	53
(5)	回収状況.....	53

(6) アンケート調査結果.....	53
3-2 事業者アンケート.....	75
(1) 調査の目的.....	75
(2) 調査対象.....	75
(3) 調査期間.....	75
(4) 調査方法.....	75
(5) 回収状況.....	75
(6) アンケート調査結果.....	75
第四章 ごみ排出実態調査結果の分析.....	92
4-1 ごみ排出実態調査結果の分析.....	92
(1) 家庭系.....	92
(2) 事業系.....	102
4-2 ごみ減量及びリサイクル・資源回収への取組に関する意識調査結果の分析.....	108
(1) 家庭系.....	108
(2) 事業系.....	116
第五章 資料.....	125
5-1 ごみ排出原単位実態調査及びモニターアンケート調査.....	125
(1) 家庭ごみ実態調査依頼書・モニターアンケート調査票.....	125
(2) 事業系ごみ実態調査依頼書・モニターアンケート調査票.....	132
5-2 ごみ減量及びリサイクル・資源回収への取組に関する意識調査.....	139
(1) 家庭用アンケート調査依頼書・アンケート調査票.....	139
(2) 事業所用アンケート調査依頼書・アンケート調査票.....	149
5-3 不用物組成分析データ（詳細）.....	156
(1) 家庭系.....	156
(2) 事業系.....	168

第一章 ごみ排出原単位等実態調査

1-1 調査の目的

「荒川区一般廃棄物処理基本計画」は、平成19年10月に策定し平成23年度に5年間の計画期間が終了する。

この間に荒川区では、大規模集合住宅の建設等による人口の増加、世帯構成の変化、長引く景気低迷による事業所の減少など変化が生じている。さらに、集団回収の区内全域への広がりや回収品目の拡大、平成20年度からのサーマルリサイクル実施に伴う分別区分の変更、不燃ごみの収集を月2回に変更するなど、区の清掃・リサイクル事業を取り巻く状況も大きく変化している。

本調査は、こうした状況の変化を踏まえた実態調査を実施し、新たな「荒川区一般廃棄物処理基本計画」の策定及び、更なる3Rの推進と適正処理の徹底に向けた各種施策等の基礎資料として活用することを目的としたものである。

1-2 調査項目

本調査の項目は以下のとおりである。

- (1) ごみ排出原単位等実態調査及びモニターアンケート調査（家庭・事業所）
- (2) ごみ減量及びリサイクル・資源回収への取り組み等に関する意識調査（家庭・事業所）
- (3) データ集計・解析

注：端数処理のため合計が100%にならない場合がある。

：表やグラフの中で「0.0」と表示されているところは、表示されている小数点よりも小さい値がある場合を、また空欄は値がない場合を表わしている。

1-3 調査日程

調査期間は、事業系の排出原単位調査を平成22年6月29日（火）から7月6日（火）までの8日間とし、家庭系の排出原単位調査は平成22年7月8日（木）から7月15日（木）までの8日間とした。各調査の日程を図表1-1に示す。

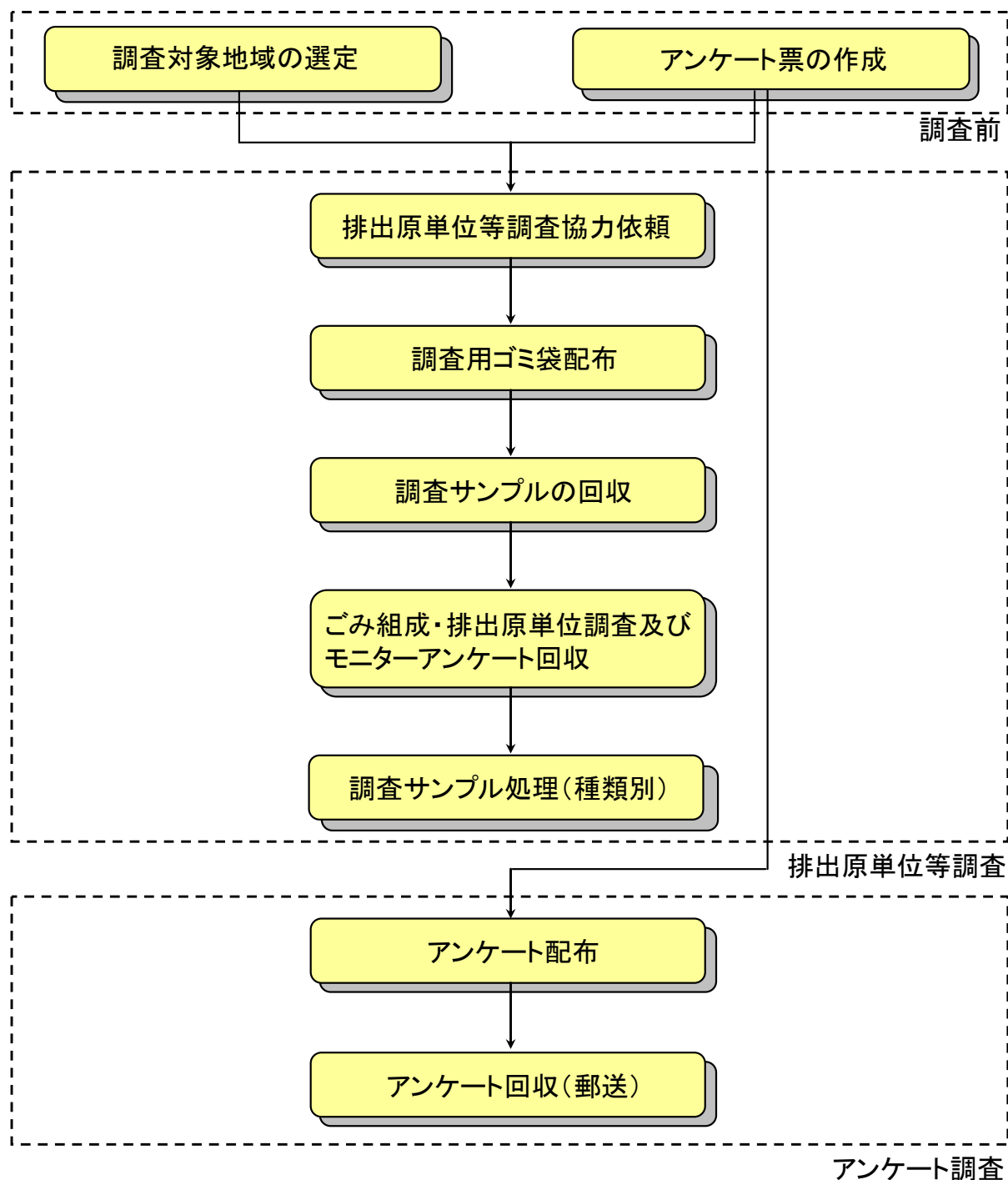
図表1-1 各調査の日程

年 月	平成22年											
	6月			7月			8月			9月		
1. 調査対象地域の選定	■	■	■									
2. 排出原単位等調査												
依頼・袋配布(事業系)			■	■								
ごみ量・組成調査				■	■							
依頼・袋配布(家庭系)					■	■						
ごみ量・組成調査						■	■					
3. アンケート調査												
アンケート票の作成			■	■	■	■	■	■	■			
アンケート票の配布									■			
アンケート票の回収										■	■	
4. データ集計・解析											■	■
5. 報告書作成							■	■	■	■	■	■

1-4 調査の流れ

本調査の流れを図表 1-2 に示す。

図表 1-2 調査の流れ



1-5 調査方法

・調査の手順（家庭・事業所とも同じ）

① 家庭や事業所への調査協力依頼	
区内の各家庭や事業所を訪問し、調査への協力を依頼した。	
② 調査セットの配布	
	調査に必要な物品一式を配布した。 内訳 ・ごみ排出実態調査について依頼書 ・排出実態調査用アンケート（回答用封筒） ・45ℓビニール袋（黄、白、水色） ・40ℓ透明ビニール袋（家庭のみ） ・ラベルシール（可燃・不燃・資源各8枚）
③ サンプルの回収	
	調査期間中は日曜日を除き、毎日 8～11 時に各家庭及び各事業所を訪問し、サンプルの回収を行った。 調査期間 ＜事業系＞ 平成 22 年 6 月 29 日（火）～7 月 6 日（火） ＜家庭系＞ 平成 22 年 7 月 8 日（木）～7 月 15 日（木）
④ サンプルの搬入	
	回収したサンプルを組成分析作業場所（尾竹橋施設）に搬入した。

⑤ サンプルの分析



- ・毎日、前日1日間に発生した、可燃ごみ・不燃ごみ・資源物の3種類について、それぞれに分けて回収し、組成分析を行った。
- ・組成分析は初めに事業所を対象に実施し、その後家庭を対象に実施した。（分類項目は同一）

⑥ 組成別に計量



組成分析項目別に分類したサンプルを、それぞれ計量し、記録した。

⑦ サンプルの廃棄



計量の終了したサンプルを可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごとにまとめ、荒川清掃事務所に依頼して処理した。

1-6 分類項目

組成分類項目は 37 項目とし、分類の詳細は 図表 1-3 のとおりとした。

図表 1-3 分類項目表

分類項目		該当する品名
品目		
可燃ごみ	OA用紙	コピー用紙、再生紙、ノンカーボン伝票、コピー済の紙、シュレッダー済みの紙、はがき コンピュータ連続紙、伝票・帳票類、封筒
	その他紙類	弁当などの割り箸の紙袋、クッキングペーパー、のし紙、紙皿、カーボン紙、ハンバーガーの袋、 油紙、写真、窓付き封筒、ティッシュペーパー、レシート、紙おむつ キャラメル等の包み紙、紙コップ、日本酒・焼酎などのアルミ付き紙パック、紙製パック・カップ類
	残さ付き新聞等	新聞、チラシ
	厨芥（未使用）	未使用食品
	厨芥（使用）	調理くず、残飯等
	繊維	衣類・布類、カーテン、毛布、エコバック等
	容器包装類 （プラスチック）	エアゾール缶のオーバーキャップ、たばこなどのオーバーラップ、ビデオテープ等を梱包したフィルム 菓子等のオーバーラップ、バターなどの表面を覆ったフィルム、箱入りクッキーの中の仕切り カップ麺のシュリンクパック、スティック糊等の入れ物、プリンなどのふた、フィルムカートリッジ カップ麺のふた、チョコレート等を包んでいるフィルム、弁当を包んでいるストレッチフィルム 口紅等の入れ物、トイレットペーパーなどの集積包装、ポケットティッシュの袋、食品トレイの中敷 コピー機等のトナーカートリッジ、トレイ等のラップフィルム、ストローの袋
	パック・カップ類 （プラスチック）	カップ麺の容器（プラスチック製）、豆腐パック、コーヒー飲料等のカップ型容器、色付き・印刷入りトレイ 卵パック、ポリスチレン識別マークのない食品トレイ、弁当の容器
	残さ付き容器包装類 （プラスチック）	洗っていない、ソース等が付着しているもの。厨芥が入っているもの。 カップ麺の容器（残さ付き）、レトルト用品の袋（残さ付き）、色付き・印刷入りトレイ（残さ付き） その他プラスチック容器類（残さ付き）、チューブ状の容器（残さ付き）、弁当の容器（残さ付き） ペットボトル識別マークのないボトル状容器（残さ付き）
	ペットボトル	残さ付き、正しい処理で出されていない物
	白色トレイ	残さ付き、正しい処理で出されていない物
	ペットボトル識別マーク のないボトル状容器	ボトルシャンプーの容器、ボトルリンスの容器、チューブ状の容器 柔軟剤のボトル状容器、洗剤のボトル状容器、チューブ入り調味料
	プラスチック類その他	CD・ビデオテープ（ケースを含む）、ビニールひも、プラスチック製玩具、スポンジ ビニール袋・ごみ袋（レジ袋以外）、ハンガー、歯ブラシ、上記に含まれないプラスチック製品
	ゴム・皮革	サンダル、皮手袋、野球のグローブ、皮製ジャンパー、鞆、靴、ゴムホース
	レジ袋	コンビニの袋、スーパーの袋
	キャップ類 （プラスチック）	ペットボトルのキャップ、調味料類のキャップ
	発泡スチロールの緩衝材	発泡スチロールの緩衝材、フルーツ等に使われる緩衝材（ネット）
	その他可燃物	木の枝・植物、割り箸、湿布、ぬいぐるみ、灰、たばこの吸殻、ペットのトイレ、上記以外の可燃ごみ
不燃ごみ	金属類	アルミ缶・スチール缶以外の金属、鉄製のキャップ類、びんの王冠、アルミ箔・アルミ皿、塗料缶
	ガラス・陶磁器類	板ガラス、コップ、食器類（陶器・ガラス）、びん以外のガラス製品、耐熱ガラス製フライパン、茶碗
	乾電池	乾電池
	充電式乾電池	充電式乾電池
	ボタン電池	ボタン電池
	蛍光灯	蛍光灯
	その他不燃物	上記にあてはまらない不燃物、スプレー缶・ガスボンベ、ライター、刃物などの危険物
資源物	新聞等	新聞、チラシ、おチラシ等で綴じ込んでいないパンフレット
	雑誌	週刊誌、写真集、文庫本、月刊誌、単行本、漫画雑誌 カレンダー、書籍の外カバー（本の題名が入っているもの）、おチラシ等で綴じ込んでいるパンフレット
	段ボール	ジュース（24本入り）等の梱包箱、小型家電製品の空き箱
	飲料用紙パック	牛乳パック、ジュースのパック
	紙製容器包装類	6缶組ビール等の梱包材、ワイシャツなどの台紙、ティッシュの空き箱、包装紙 菓子類の空き箱、紙袋、たばこの包装箱、宅配ピザの空き箱（残さが付いていないもの）
	スチール缶	飲料缶、食用缶
	アルミ缶	飲料缶、食用缶
	リターナブルびん	一升びん、国産焼酎びん、ビールびん
	ワンウェイびん	ワインびん、栄養ドリンクびん、外国産ウィスキーびん
	白色の食品用トレイ	白色トレイ
	ペットボトル	ペットボトル識別マークのあるもの
その他		粗大ごみ、土、18ℓ缶・一斗缶、上記にあてはまらないもの

第二章 ごみ排出原単位実態調査報告

2-1 家庭ごみ排出実態調査

(1) 調査の目的

本調査は、区内の家庭系ごみ(資源を含む)の、ごみ量および性状等の組成の調査・分析を行い、併せてごみ減量化・リサイクル等に関する区民の意識、取り組み状況を把握することを目的として実施した。

(2) 調査時期

平成 22 年 7 月 8 日 (木) から 7 月 15 日 (木) までの 8 日間とした。

(3) 調査対象世帯 (調査協力世帯116件)

調査地域の選定は、東京二十三区清掃一部事務組合のクラスター分析を参考にして、区内をクラスター分類した。区内の街区状況や町丁別、年代別の人口統計を調べ、地域の特性及び住居形態、世帯人数、世帯構成員、年齢層等の割合に準じ、代表的な地区を選び調査協力依頼を行った。

図表2-1 荒川区の生活形態に着目したクラスター別地域

【該当する代表的な丁目】生活形態に着目したクラスター		
<クラスター1>住居が多く人口密度が高く、高齢者も多い地域。		
①南千住 1、2、5	②西日暮里 4、5、6	③町屋 1、2、3
④西尾久 1、2、3		
<クラスター2>中高層住宅が多く、高齢者が少ない地域。		
①東日暮里 1、2、3	②南千住 3、7、8	③町屋 5、6、7
<クラスター3>戸建持家が多く、高齢者も多い地域。		
①東尾久 5、6、8	②南千住 6	③荒川 8

(4) 調査方法

① 排出物の組成分類調査

- ・調査協力世帯(モニター)に、調査期間中、日ごとに排出される可燃ごみ、不燃ごみ、資源物を、事前に配布した袋へ入れ(サンプル)、玄関先等の回収場所へ出してもらう。
- ・サンプルを回収し、組成分析調査所へ運搬、組成分類、計量、集計。

② アンケート調査

- ・調査開始当初に、調査協力世帯(モニター)にアンケート用紙を配布し記入依頼をした。
(家族構成、暮らしの中での環境配慮やごみ減量等に関する意識調査、及び可燃ごみ、不燃ごみ、リサイクルしている資源物の通常の排出方法や取り組みについての質問)
- ・記入済みアンケート用紙の回収、集計。

(5) 調査内容

排出物の組成分類調査は、回収したサンプルを組成分類項目ごとに分類し、重量計測・記録・集計する。

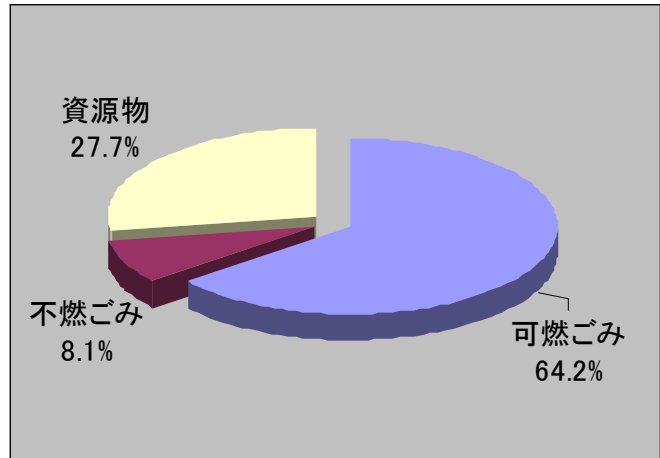
(6) 調査結果概要

① 不用物の発生量結果（実態調査協力 116 世帯）

家庭から発生する不用物の量は1人1日あたり740.9gであった。そのうち可燃ごみが475.6g（64.2%）、不燃ごみが60.0g（8.1%）、資源物が205.3g（27.7%）であった。

図表 2-2 家庭からの不用物発生量

	発生量 (g/人, 日)	構成比 (%)
可燃ごみ	475.6	64.2
不燃ごみ	60.0	8.1
資源物	205.3	27.7
合計	740.9	100.0



② 属性別不用物発生原単位結果

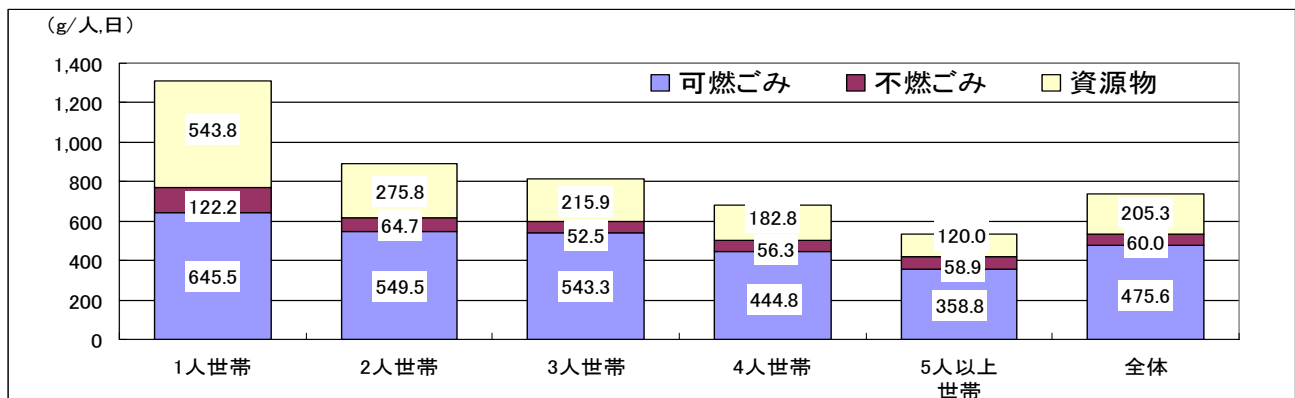
A. 世帯人数別の不用物の発生状況

世帯人数別にみると、世帯人数が多くなるに従って不用物の1人1日あたりの発生量が減少している。不用物発生量の最も多い1人世帯の1,311.5gと最も少ない5人以上の世帯の537.7gでは、773.8gの開きがみられた。（全世帯平均の約1.8倍。5人以上世帯平均の約2.4倍。）

特に資源物において1人世帯では543.8gと他の世帯人数と大きな違いがみられた。（全世帯平均の2.6倍。5人以上の世帯平均の約4.5倍。）

図表 2-3 世帯人数別不用物発生原単位

		(g/人, 日)				
世帯人数		1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人以上世帯
世帯数		12	37	32	17	18
1	可燃ごみ	645.5	549.5	543.3	444.8	358.8
2	不燃ごみ	122.2	64.7	52.5	56.3	58.9
3	資源物	543.8	275.8	215.9	182.8	120.0
合計		1,311.5	890.0	811.7	683.9	537.7
		全体				
		116				
		475.6				
		60.0				
		205.3				
		740.9				



ア. 世帯人数別不用物発生原単位詳細（可燃ごみ）

図表 2-4 世帯人数別不用物発生原単位（可燃ごみ）

(g/人、日)

可 燃 ご み						
世帯人数		1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人以上世帯
モニター数		12	37	32	17	18
可 燃 ご み	1. 紙類	158.8	103.9	110.2	116.3	83.0
	OA用紙	18.9	6.5	8.6	9.8	4.2
	その他紙類	88.9	83.5	95.3	97.8	67.2
	残さ付き新聞等	51.0	13.9	6.3	8.7	11.6
	2. 厨芥類	213.4	230.2	251.9	169.9	153.6
	厨芥（未使用食品）	6.1	4.1	13.6	9.4	6.5
	厨芥（調理くず、残飯）	207.3	226.1	238.3	160.5	147.1
	3. 繊維類	23.0	18.0	13.4	29.0	11.3
	4. 容器包装リサイクル法対象のプラスチック類	73.8	52.0	46.0	49.2	35.6
	プラスチック製容器包装類	35.0	21.9	20.4	20.8	15.8
	プラスチック製パック・カップ類	0.4	0.3	0.3	0.3	0.4
	残さ付き容器包装類（プラスチック）	22.1	18.2	16.4	17.4	12.3
	ペットボトル（残さ付き）	1.1	1.1	1.2	2.2	0.4
	白色トレイ（残さ付き）	0.6	0.2	0.3	0.3	0.2
	ペットボトル識別マークのないボトル状容器	3.2	3.5	2.4	1.9	2.1
	レジ袋	9.4	5.3	3.8	4.3	2.9
	プラスチック製キャップ類	1.5	1.0	0.6	0.9	0.5
	発泡スチロールの緩衝材	0.5	0.5	0.6	1.1	1.0
	5. その他可燃物	88.0	88.9	77.9	28.0	49.9
	プラスチック類その他	26.9	9.4	14.7	5.3	5.2
	ゴム・皮革	1.1	3.5	4.4	2.3	3.8
	その他可燃物	60.0	76.0	58.8	20.4	40.9
不 燃 ご み	6. 不燃ごみ	0.1	0.9	0.8	1.3	0.8
	金属類	0.1	0.4	0.2	0.6	0.3
	ガラス・陶磁器類			0.1		0.2
	乾電池		0.2		0.0	0.1
	充電式乾電池					
	ボタン電池			0.0		
	蛍光灯					
	その他不燃物		0.3	0.5	0.7	0.2
資 源 物	7. 紙類（資源）	88.4	54.6	42.3	47.9	24.4
	新聞等	27.1	10.0	4.1	1.5	1.6
	雑誌	23.1	10.0	7.0	10.9	3.6
	段ボール	11.4	8.6	5.6	7.2	2.7
	飲料用紙パック	4.3	2.8	2.8	1.7	0.9
	紙製容器包装類	22.5	23.2	22.8	26.6	15.6
	8. 缶類（資源）		0.1	0.1	1.2	0.1
	スチール缶		0.1	0.1	0.9	0.1
	アルミ缶				0.3	0.0
	9. びん類（資源）		0.9	0.7	0.6	0.1
	リターナブルびん					
	ワンウェイびん		0.9	0.7	0.6	0.1
	10. その他（資源）			0.0	0.0	0.0
	白色の発泡スチロール製食品用トレイ			0.0	0.0	0.0
	ペットボトル					
11. その他					1.4	0.3
合 計		645.5	549.5	543.3	444.8	358.8
						475.6

ｂ．世帯人数別不用物発生原単位詳細（不燃ごみ）

図表 2-5 世帯人数別不用物発生原単位詳細(不燃ごみ)

(g/人, 日)

不 燃 ご み						
世帯人数		1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人以上世帯
モニター数		12	37	32	17	18
可 燃 ご み	1. 紙類	1.4	0.5	0.0	0.6	0.0
	OA用紙					
	その他紙類		0.5		0.4	
	残さ付き新聞等	1.4	0.0	0.0	0.2	0.0
	2. 厨芥類					
	厨芥（未使用食品）					
	厨芥（調理くず、残飯）					
	3. 繊維類			0.1		0.0
	4. 容器包装リサイクル法対象のプラスチック類	5.3	2.4	4.3	0.7	0.7
	プラスチック製容器包装類	3.1	0.5	1.6	0.3	0.5
	プラスチック製パック・カップ類	0.5				
	残さ付き容器包装類（プラスチック）	0.4	0.8	0.7	0.0	0.0
	ペットボトル（残さ付き）			0.6		
	白色トレイ（残さ付き）			0.1		
	ペットボトル識別マークのないボトル状容器	0.5	0.7	0.6		
	レジ袋	0.5	0.2	0.3	0.3	0.2
	プラスチック製キャップ類	0.3	0.2	0.1	0.1	0.0
	発泡スチロールの緩衝材			0.3		0.0
	5. その他可燃物	3.1	13.5	5.6	5.6	0.4
不 燃 ご み	プラスチック類その他	1.0	7.0	5.6	4.4	0.4
	ゴム・皮革		5.9		1.1	
	その他可燃物	2.1	0.6	0.0	0.1	0.0
	6. 不燃ごみ	101.3	22.6	32.1	42.5	53.3
	金属類	35.2	6.9	15.0	7.2	8.4
	ガラス・陶磁器類	10.0	4.3	8.6	20.1	24.7
	乾電池	14.4	1.8	0.2	0.7	0.7
	充電式乾電池		0.1			
資 源 物	ボタン電池					0.0
	蛍光灯	7.9	0.8	0.6	0.7	0.7
	その他不燃物	33.8	8.7	7.7	13.8	18.8
	7. 紙類（資源）	2.8	0.5	0.4	0.1	0.2
	新聞等		0.0		0.1	0.0
	雑誌					
	段ボール	1.5	0.5	0.2		0.2
	飲料用紙パック					
	紙製容器包装類	1.3	0.0	0.2		0.0
	8. 缶類（資源）	3.6	3.2	2.5	1.4	1.3
	スチール缶	3.6	3.1	2.1	1.3	1.3
	アルミ缶		0.1	0.4	0.1	
	9. びん類（資源）	4.7	5.5	7.3	3.1	3.0
11. その他	リターナブルびん					
	ワンウェイびん	4.7	5.5	7.3	3.1	3.0
	10. その他（資源）			0.2		
	白色の発泡スチロール製食品用トレイ					
ペットボトル				0.2		
合 計		122.2	64.7	52.5	56.3	58.9
						60.0

c. 世帯人数別不用物発生原単位詳細（資源物）

図表 2-6 世帯人数別不用物発生原単位詳細（資源物）

(g/人, 日)

資 源 物						
世帯人数		1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人以上世帯
モニター数		12	37	32	17	18
可 燃 ご み	1. 紙類	16.6	4.1	2.3	0.0	1.8
	OA用紙	15.7	3.7	1.7	0.0	1.5
	その他紙類	0.9	0.4			0.3
	残さ付き新聞等			0.6		
	2. 厨芥類					
	厨芥（未使用食品）					
	厨芥（調理くず、残飯）					
	3. 繊維類			4.2		0.0
	4. 容器包装リサイクル法対象のプラスチック類	8.3	1.3	2.8	3.5	1.5
	プラスチック製容器包装類	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	プラスチック製バック・カップ類	2.1	0.1	0.2	0.2	0.1
	残さ付き容器包装類（プラスチック）	1.7	0.2	0.0	0.2	0.0
	ペットボトル（残さ付き）	3.3	0.5	2.1	2.5	1.0
	白色トレイ（残さ付き）	0.1	0.0	0.1		
	ペットボトル識別マークのないボトル状容器	0.4			0.2	0.1
	レジ袋	0.3	0.2	0.3	0.1	0.1
	プラスチック製キャップ類	0.3	0.1	0.0	0.2	0.1
	発泡スチロールの緩衝材		0.1	0.0	0.0	0.0
	5. その他可燃物	0.2	0.3	0.1	0.0	0.0
不 燃 ご み	プラスチック類その他	0.2	0.3	0.0	0.0	0.0
	ゴム・皮革					
	その他可燃物		0.0	0.1		0.0
	6. 不燃ごみ	8.6	9.4	1.0	1.9	1.0
	金属類	7.9	7.9	0.8	0.4	0.8
	ガラス・陶磁器類		1.2			
	乾電池		0.3		1.4	
	充電式乾電池					
	ボタン電池					
	蛍光灯					
資 源 物	その他不燃物	0.7		0.2	0.1	0.2
	7. 紙類（資源）	419.8	198.7	142.5	105.8	77.1
	新聞等	237.3	155.4	95.5	70.5	34.4
	雑誌	150.9	20.5	20.6	2.9	16.6
	段ボール	16.7	16.5	21.0	24.9	19.8
	飲料用紙バック	1.4	1.8	1.0	1.9	2.5
	紙製容器包装類	13.5	4.5	4.4	5.6	3.8
	8. 缶類（資源）	26.8	13.3	12.9	18.0	11.2
	スチール缶	23.2	8.0	5.9	5.8	6.2
	アルミ缶	3.6	5.3	7.0	12.2	5.0
	9. びん類（資源）	49.7	39.4	35.9	35.7	19.5
	リターナブルびん		3.0	6.3	3.6	1.7
	ワンウェイびん	49.7	36.4	29.6	32.1	17.8
	10. その他（資源）	13.8	9.3	14.2	17.9	7.9
	白色の発泡スチロール製食品用トレイ	0.9	0.9	0.7	0.9	0.8
	ペットボトル	12.9	8.4	13.5	17.0	7.1
11. その他						
合 計		543.8	275.8	215.9	182.8	120.0
						205.3

B. 住居形態別の不用物発生状況

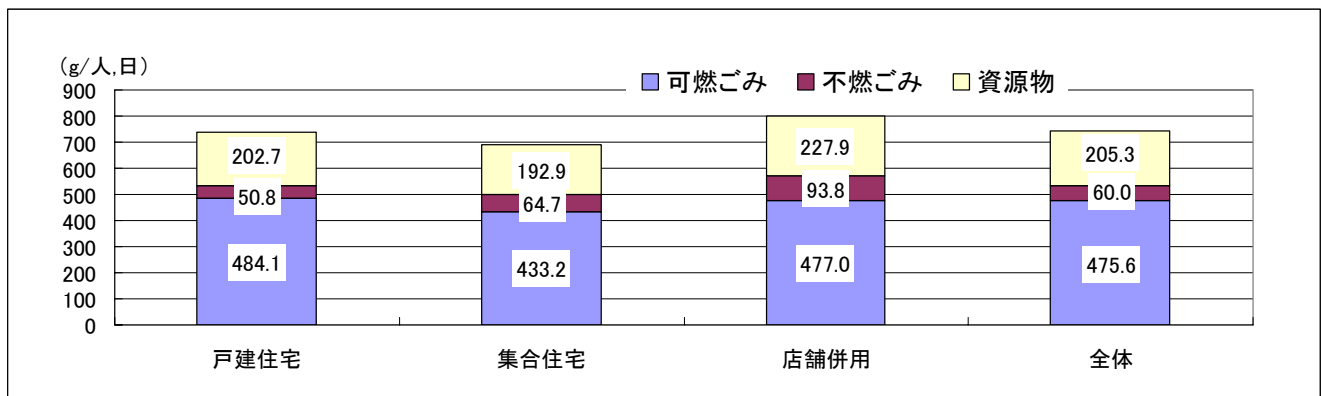
住居形態別にみると、店舗併用からの発生量が最も多く、合計で 798.7g であった。

さらに、不燃ごみ及び資源物の発生量も多かった。また、集合住宅の発生量は合計で 690.8g と最も少なかった。

図表 2-7 住居形態別不用物発生原単位

(g/人, 日)

住居形態		戸建住宅	集合住宅	店舗併用	全体
世帯数		82	17	18	116
1	可燃ごみ	484.1	433.2	477.0	475.6
2	不燃ごみ	50.8	64.7	93.8	60.0
3	資源物	202.7	192.9	227.9	205.3
合計		737.6	690.8	798.7	740.9



a. 住居形態別不用物発生原単位詳細（可燃ごみ）

図表 2-8 住居形態別不用物発生原単位詳細(可燃ごみ)

(g/人、日)

可 燃 ご み					
住居形態		戸建住宅	集合住宅	店舗併用	全体
世帯数		82	17	18	116
可 燃 ご み	1. 紙類	95.2	110.7	133.0	103.8
	OA用紙	6.5	4.9	13.3	7.4
	その他紙類	80.1	98.5	93.2	85.0
	残さ付き新聞等	8.6	7.3	26.5	11.4
	2. 厨芥類	215.1	165.5	178.2	201.7
	厨芥（未使用食品）	8.5	11.9	5.4	8.5
	厨芥（調理くず、残飯）	206.6	153.6	172.8	193.2
	3. 繊維類	15.0	35.2	10.1	17.1
	4. 容器包装リサイクル法対象のプラスチック類	46.8	34.4	51.4	45.8
	プラスチック製容器包装類	20.5	15.0	22.1	20.0
	プラスチック製パック・カップ類	0.3	0.4	0.4	0.3
	残さ付き容器包装類（プラスチック）	17.1	10.1	16.6	16.0
	ペットボトル（残さ付き）	0.7	0.6	3.3	1.1
	白色トレイ（残さ付き）	0.2	0.5	0.2	0.3
	ペットボトル識別マークのないボトル状容器	2.7	1.9	2.1	2.5
	レジ袋	3.9	4.6	4.6	4.1
	プラスチック製キャップ類	0.8	0.5	0.6	0.7
	発泡スチロールの緩衝材	0.6	0.8	1.5	0.8
	5. その他可燃物	72.5	51.4	33.2	62.8
	プラスチック類その他	10.2	7.5	7.9	9.4
ゴム・皮革	3.5	5.3	2.3	3.5	
その他可燃物	58.8	38.6	23.0	49.9	
不 燃 ご み	6. 不燃ごみ	1.0	0.7	0.5	1.0
	金属類	0.4	0.3	0.3	0.4
	ガラス・陶磁器類	0.0	0.3		0.1
	乾電池	0.1		0.1	0.1
	充電式乾電池				
	ボタン電池	0.0			0.0
	蛍光灯				
	その他不燃物	0.5	0.1	0.1	0.4
資 源 物	7. 紙類（資源）	37.7	35.3	67.8	42.3
	新聞等	3.4	8.9	7.6	4.9
	雑誌	6.7	5.0	15.6	7.9
	段ボール	4.4	3.4	14.3	5.9
	飲料用紙パック	2.0	2.1	2.3	2.1
	紙製容器包装類	21.2	15.9	28.0	21.5
	8. 缶類（資源）	0.1	0.0	1.0	0.3
	スチール缶	0.1		0.8	0.2
	アルミ缶	0.0	0.0	0.2	0.1
	9. びん類（資源）	0.7		0.2	0.5
	リターナブルびん				
	ワンウェイびん	0.7		0.2	0.5
	10. その他（資源）	0.0	0.0		0.0
白色の発泡スチロール製食品用トレイ	0.0	0.0		0.0	
ペットボトル					
11. その他				1.6	0.3
合 計		484.1	433.2	477.0	475.6

ｂ．住居形態別不用物発生原単位詳細（不燃ごみ）

図表 2-9 住居形態別不用物発生原単位詳細（不燃ごみ）

(g/人、日)

不 燃 ご み					
住居形態		戸建住宅	集合住宅	店舗併用	全体
世帯数		82	17	18	116
可 燃 ご み	1. 紙類	0.1	0.7	0.4	0.3
	OA用紙				
	その他紙類	0.0	0.5	0.4	0.2
	残さ付き新聞等	0.1	0.2	0.0	0.1
	2. 厨芥類				
	厨芥（未使用食品）				
	厨芥（調理くず、残飯）				
	3. 繊維類	0.0		0.0	0.0
	4. 容器包装リサイクル法対象のプラスチック類	0.8	7.1	3.6	2.2
	プラスチック製容器包装類	0.2	3.5	1.2	0.9
	プラスチック製パック・カップ類		0.1		0.0
	残さ付き容器包装類（プラスチック）	0.0	1.2	1.1	0.4
	ペットボトル（残さ付き）		1.2		0.2
	白色トレイ（残さ付き）		0.1		0.0
	ペットボトル識別マークのないボトル状容器	0.3	0.5	0.4	0.3
	レジ袋	0.2	0.2	0.4	0.2
	プラスチック製キャップ類	0.1	0.2	0.1	0.1
	発泡スチロールの緩衝材	0.0	0.1	0.4	0.1
	5. その他可燃物	4.1	6.3	11.6	5.7
	プラスチック類その他	2.7	6.3	7.2	4.0
ゴム・皮革	1.2		3.9	1.5	
その他可燃物	0.2	0.0	0.5	0.2	
不 燃 ご み	6. 不燃ごみ	36.8	44.8	52.3	40.6
	金属類	9.9	14.5	9.9	10.6
	ガラス・陶磁器類	9.8	24.0	26.2	14.6
	乾電池	1.5	0.1	1.3	1.3
	充電式乾電池	0.0			0.0
	ボタン電池			0.0	0.0
	蛍光灯	1.2	0.5	0.1	0.9
	その他不燃物	14.4	5.7	14.8	13.2
資 源 物	7. 紙類（資源）	0.5	0.6	0.0	0.3
	新聞等	0.1			0.0
	雑誌				
	段ボール	0.4			0.2
	飲料用紙パック				
	紙製容器包装類	0.0	0.6	0.0	0.1
	8. 缶類（資源）	1.6	1.2	5.1	2.2
	スチール缶	1.4	1.1	4.9	2.0
	アルミ缶	0.2	0.1	0.2	0.2
	9. びん類（資源）	5.0	3.7	5.1	4.8
	リターナブルびん				
	ワンウェイびん	5.0	3.7	5.1	4.8
	10. その他（資源）		0.3		0.0
白色の発泡スチロール製食品用トレイ					
ペットボトル		0.3		0.0	
11. その他		1.9		15.7	3.9
合 計		50.8	64.7	93.8	60.0

c. 住居形態別不用物発生原単位詳細（資源物）

図表 2-10 住居形態別不用物発生原単位詳細（資源物）

(g/人, 日)

資 源 物					
住居形態		戸建住宅	集合住宅	店舗併用	全体
世帯数		82	17	18	116
可 燃 ご み	1. 紙類	2.9	2.4	1.2	2.6
	OA用紙	2.5	1.8	1.2	2.2
	その他紙類	0.2	0.6	0.0	0.2
	残さ付き新聞等	0.2			0.2
	2. 厨芥類				
	厨芥（未使用食品）				
	厨芥（調理くず、残飯）				
	3. 繊維類		7.9	0.1	1.2
	4. 容器包装リサイクル法対象のプラスチック類	2.8	0.9	2.2	2.4
	プラスチック製容器包装類	0.1	0.0	0.0	0.1
	プラスチック製パック・カップ類	0.3	0.1	0.1	0.2
	残さ付き容器包装類（プラスチック）	0.1	0.2	0.1	0.1
	ペットボトル（残さ付き）	1.8	0.6	1.5	1.6
	白色トレイ（残さ付き）	0.0		0.1	0.0
	ペットボトル識別マークのないボトル状容器	0.1		0.2	0.1
	レジ袋	0.2		0.1	0.2
	プラスチック製キャップ類	0.1		0.1	0.1
	発泡スチロールの緩衝材	0.1			0.0
	5. その他可燃物	0.1	0.2	0.1	0.1
プラスチック類その他	0.1	0.0	0.1	0.1	
ゴム・皮革					
その他可燃物	0.0	0.2		0.0	
不 燃 ご み	6. 不燃ごみ	4.1	1.3	1.1	3.1
	金属類	3.0	1.2	1.1	2.5
	ガラス・陶磁器類	0.4			0.2
	乾電池	0.5			0.3
	充電式乾電池				
	ボタン電池				
	蛍光灯				
	その他不燃物	0.2	0.1		0.1
資 源 物	7. 紙類（資源）	133.7	139.7	152.9	137.7
	新聞等	89.9	97.3	86.5	90.4
	雑誌	13.1	30.5	42.0	20.4
	段ボール	23.9	7.0	17.2	20.3
	飲料用紙パック	1.7	2.3	1.7	1.8
	紙製容器包装類	5.1	2.6	5.5	4.8
	8. 缶類（資源）	14.4	11.0	14.3	13.9
	スチール缶	7.6	5.0	6.1	7.0
	アルミ缶	6.8	6.0	8.2	6.9
	9. びん類（資源）	32.4	20.3	42.5	32.3
	リターナブルびん	3.6	6.7	0.7	3.5
	ワンウェイびん	28.8	13.6	41.8	28.8
	10. その他（資源）	12.3	9.2	13.5	12.0
白色の発泡スチロール製食品用トレイ	0.9	0.6	0.6	0.8	
ペットボトル	11.4	8.6	12.9	11.2	
11. その他					
合 計		202.7	192.9	227.9	205.3

C. クラスター分類による地域別の不用物発生状況

クラスター分類による地域別に見ると、クラスター1（住居が多く人口密度が高く、高齢者も多い地域）からの発生量が最も多く、合計で832.0gであった。

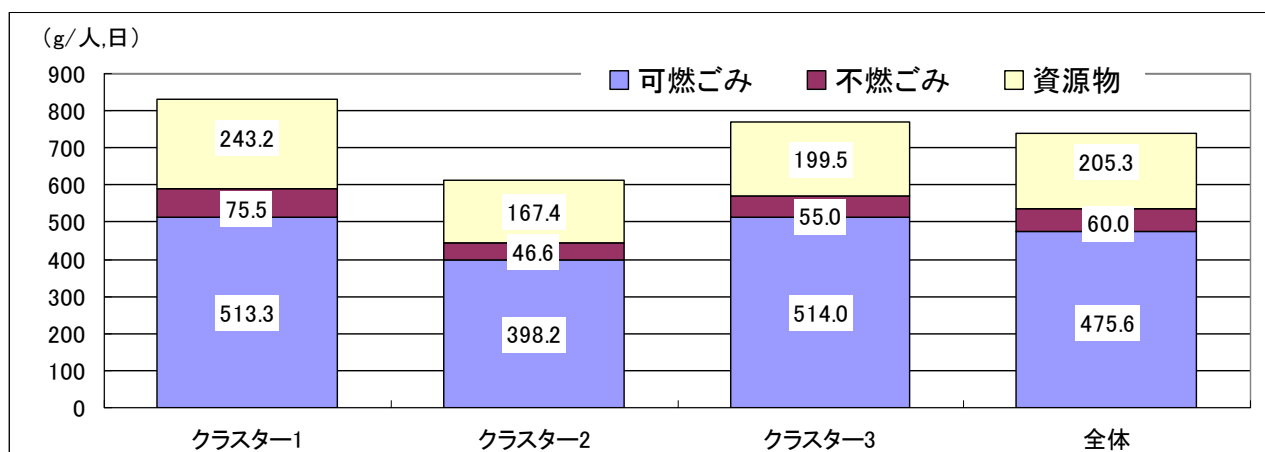
クラスター2（中高層住宅が多く、高齢者が少ない地域）に関しては、すべての不用物で排出量が最も少なかった。

図表 2-11 住居形態別不用物発生原単位

		(g/人, 日)			
クラスター別		クラスター1	クラスター2	クラスター3	全体
世帯数		46	34	36	116
1	可燃ごみ	513.3	398.2	514.0	475.6
2	不燃ごみ	75.5	46.6	55.0	60.0
3	資源物	243.2	167.4	199.5	205.3
合 計		832.0	612.2	768.5	740.9

参考：生活形態に着目したクラスター【該当する代表的な町目】

＜クラスター1＞住居が多く人口密度が高く、高齢者も多い地域。		
①南千住1、2、5	②西日暮里4、5、6	③町屋1、2、3
④西尾久1、2、3		
＜クラスター2＞中高層住宅が多く、高齢者が少ない地域。		
①東日暮里1、2、3	②南千住3、7、8	③町屋5、6、7
＜クラスター3＞戸建持家が多く、高齢者も多い地域。		
①東尾久5、6、8	②南千住6	③荒川8



a. クラスター別不用物発生原単位詳細（可燃ごみ）

図表 2-12 クラスター別不用物発生原単位詳細（可燃ごみ）

(g/人、日)

可 燃 ご み					
クラスター モニター数		クラスター1	クラスター2	クラスター3	全体
		46	34	36	116
可 燃 ご み	1. 紙類	113.0	84.3	114.1	103.8
	OA用紙	9.5	5.0	7.6	7.4
	その他紙類	90.5	67.7	97.3	85.0
	残さ付き新聞等	13.0	11.6	9.2	11.4
	2. 厨芥類	213.2	187.1	203.4	201.7
	厨芥（未使用食品）	8.0	5.3	12.8	8.5
	厨芥（調理くず、残飯）	205.2	181.8	190.6	193.2
	3. 繊維類	13.1	6.9	33.7	17.1
	4. 容器包装リサイクル法対象のプラスチック類	50.8	39.1	46.7	45.8
	プラスチック製容器包装類	21.0	16.5	22.5	20.0
	プラスチック製パック・カップ類	0.5	0.2	0.3	0.3
	残さ付き容器包装類（プラスチック）	17.7	14.0	15.8	16.0
	ペットボトル（残さ付き）	1.5	1.5	0.3	1.1
	白色トレイ（残さ付き）	0.3	0.2	0.4	0.3
	ペットボトル識別マークのないボトル状容器	2.8	2.0	2.5	2.5
	レジ袋	5.2	3.3	3.7	4.1
	プラスチック製キャップ類	0.7	0.8	0.7	0.7
	発泡スチロールの緩衝材	1.1	0.6	0.5	0.8
	5. その他可燃物	72.3	42.9	73.1	62.8
プラスチック類その他	7.5	3.8	18.3	9.4	
ゴム・皮革	4.8	1.5	4.2	3.5	
その他可燃物	60.0	37.6	50.6	49.9	
不 燃 ご み	6. 不燃ごみ	0.9	0.7	1.1	1.0
	金属類	0.5	0.3	0.3	0.4
	ガラス・陶磁器類	0.1		0.1	0.1
	乾電池	0.1		0.1	0.1
	充電式乾電池				
	ボタン電池	0.0			0.0
	蛍光灯				
	その他不燃物	0.2	0.4	0.6	0.4
資 源 物	7. 紙類（資源）	48.4	36.8	41.0	42.3
	新聞等	7.0	1.6	5.8	4.9
	雑誌	9.9	6.9	6.5	7.9
	段ボール	8.4	5.1	3.7	5.9
	飲料用紙パック	2.0	1.9	2.5	2.1
	紙製容器包装類	21.1	21.3	22.5	21.5
	8. 缶類（資源）	0.5	0.2		0.3
	スチール缶	0.4	0.2		0.2
	アルミ缶	0.1			0.1
	9. びん類（資源）	0.4	0.2	0.9	0.5
	リターナブルびん				
	ワンウェイびん	0.4	0.2	0.9	0.5
	10. その他（資源）	0.0	0.0	0.0	0.0
	白色の発泡スチロール製食品用トレイ	0.0	0.0	0.0	0.0
ペットボトル					
11. その他		0.7			0.3
合 計		513.3	398.2	514.0	475.6

ｂ. クラスター別不用物発生原単位詳細（不燃ごみ）

図表 2-13 クラスター別不用物発生原単位詳細（不燃ごみ）

(g/人、日)

不 燃 ご み					
クラスター		クラスター1	クラスター2	クラスター3	全体
モニター数		46	34	36	116
可 燃 ご み	1. 紙類	0.7	0.1	0.0	0.3
	OA用紙				
	その他紙類	0.5	0.0		0.2
	残さ付き新聞等	0.2	0.1	0.0	0.1
	2. 厨芥類				
	厨芥（未使用食品）				
	厨芥（調理くず、残飯）				
	3. 繊維類			0.1	0.0
	4. 容器包装リサイクル法対象のプラスチック類	4.2	0.9	0.8	2.2
	プラスチック製容器包装類	1.9	0.3	0.2	0.9
	プラスチック製パック・カップ類	0.0			0.0
	残さ付き容器包装類（プラスチック）	0.9	0.1	0.0	0.4
	ペットボトル（残さ付き）	0.4			0.2
	白色トレイ（残さ付き）	0.0			0.0
	ペットボトル識別マークのないボトル状容器	0.5	0.1	0.3	0.3
	レジ袋	0.3	0.2	0.2	0.2
	プラスチック製キャップ類	0.2	0.0	0.1	0.1
	発泡スチロールの緩衝材	0.0	0.2		0.1
	5. その他可燃物	10.9	0.8	4.4	5.7
	プラスチック類その他	7.0	0.2	4.4	4.0
ゴム・皮革	3.3	0.6		1.5	
その他可燃物	0.6	0.0		0.2	
不 燃 ご み	6. 不燃ごみ	43.1	36.9	41.5	40.6
	金属類	10.9	8.3	12.7	10.6
	ガラス・陶磁器類	12.9	19.5	11.3	14.6
	乾電池	2.2	0.9	0.5	1.3
	充電式乾電池			0.1	0.0
	ボタン電池			0.0	0.0
	蛍光灯	1.0	0.6	1.2	0.9
	その他不燃物	16.1	7.6	15.7	13.2
資 源 物	7. 紙類（資源）	0.2	0.3	0.6	0.3
	新聞等		0.1	0.0	0.0
	雑誌				
	段ボール	0.0	0.2	0.6	0.2
	飲料用紙パック				
	紙製容器包装類	0.2		0.0	0.1
	8. 缶類（資源）	2.6	3.1	0.5	2.2
	スチール缶	2.5	2.7	0.5	2.0
	アルミ缶	0.1	0.4		0.2
	9. びん類（資源）	6.7	4.5	2.7	4.8
	リターナブルびん				
	ワンウェイびん	6.7	4.5	2.7	4.8
10. その他（資源）	0.1			0.0	
白色の発泡スチロール製食品用トレイ					
ペットボトル	0.1			0.0	
11. その他		7.0		4.4	3.9
合 計		75.5	46.6	55.0	60.0

c. クラスター別不用物発生原単位詳細（資源物）

図表 2-14 クラスター別不用物発生原単位詳細（資源物）

(g/人, 日)

資 源 物					
クラスター モニター数		クラスター1 46	クラスター2 34	クラスター3 36	全体 116
可 燃 ご み	1. 紙類	3.1	1.0	3.6	2.6
	OA用紙	2.8	0.5	3.3	2.2
	その他紙類	0.3	0.0	0.3	0.2
	残さ付き新聞等		0.5		0.2
	2. 厨芥類				
	厨芥（未使用食品）				
	厨芥（調理くず、残飯）				
	3. 繊維類	3.0		0.0	1.2
	4. 容器包装リサイクル法対象のプラスチック類	2.5	0.5	0.6	2.4
	プラスチック製容器包装類	0.0	0.1	0.1	0.1
	プラスチック製パック・カップ類	0.4	0.1	0.1	0.2
	残さ付き容器包装類（プラスチック）	0.3	0.0	0.1	0.1
	ペットボトル（残さ付き）	1.2			1.6
	白色トレイ（残さ付き）	0.1			0.0
	ペットボトル識別マークのないボトル状容器	0.1	0.1	0.0	0.1
	レジ袋	0.2	0.1	0.2	0.2
	プラスチック製キャップ類	0.1	0.1	0.1	0.1
	発泡スチロールの緩衝材	0.1	0.0	0.0	0.0
	5. その他可燃物	0.3	0.0	0.1	0.1
	プラスチック類その他	0.2	0.0	0.1	0.1
	ゴム・皮革				
	その他可燃物	0.1	0.0	0.0	0.0
不 燃 ご み	6. 不燃ごみ	2.5	0.7	6.7	3.1
	金属類	2.3	0.7	4.6	2.5
	ガラス・陶磁器類			0.8	0.2
	乾電池			1.1	0.3
	充電式乾電池				
	ボタン電池				
	蛍光灯				
	その他不燃物	0.2		0.2	0.1
資 源 物	7. 紙類（資源）	168.1	109.1	130.8	137.7
	新聞等	118.3	78.9	67.3	90.4
	雑誌	22.5	6.6	33.4	20.4
	段ボール	17.8	20.1	23.8	20.3
	飲料用紙パック	2.4	1.3	1.6	1.8
	紙製容器包装類	7.1	2.2	4.7	4.8
	8. 缶類（資源）	16.0	14.8	10.4	13.9
	スチール缶	8.9	6.7	4.9	7.0
	アルミ缶	7.1	8.1	5.5	6.9
	9. びん類（資源）	36.4	28.0	31.8	32.3
	リターナブルびん	0.3	4.4	6.7	3.5
	ワンウェイびん	36.1	23.6	25.1	28.8
	10. その他（資源）	11.3	13.3	15.5	12.0
	白色の発泡スチロール製食品用トレイ	0.8	0.7	1.0	0.8
ペットボトル	10.5	12.6	14.5	11.2	
11. その他					
合 計		243.2	167.4	199.5	205.3

③家庭ごみ組成分析結果

A. 可燃ごみ

a. 可燃ごみの組成割合

可燃ごみの組成割合をみると、厨芥類が 42.4%と最も高く、次いで、紙類が 21.9%、その他の可燃物が 13.2%であった。

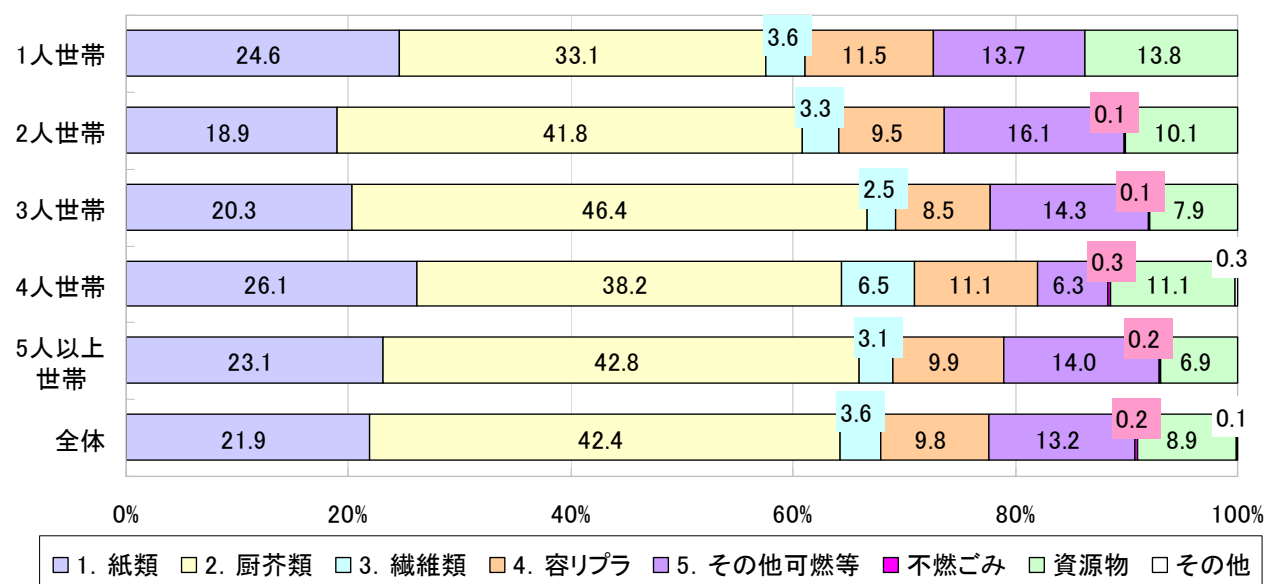
世帯人数別にみると、すべての世帯において厨芥類の割合が最も高く、33.1～46.4%を占め、次いで紙類が 18.9～26.1%であった。

図表 2-15 可燃ごみの大分類による組成割合

(単位：%)

分別項目	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人以上世帯	全体	全体原単位 (g/人,日)
可燃ごみ	86.5	89.6	92.0	88.2	92.9	90.9	431.2
1. 紙類	24.6	18.9	20.3	26.1	23.1	21.9	103.8
2. 厨芥類	33.1	41.8	46.4	38.2	42.8	42.4	201.7
3. 繊維類	3.6	3.3	2.5	6.5	3.1	3.6	17.1
4. 容リプラ	11.5	9.5	8.5	11.1	9.9	9.8	45.8
5. その他可燃等	13.7	16.1	14.3	6.3	14.0	13.2	62.8
不燃ごみ	0.0	0.1	0.1	0.3	0.2	0.2	1.0
資源物	13.8	10.1	7.9	11.1	6.9	8.9	43.1
その他				0.3		0.1	0.3
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	475.6

注：容リプラとは、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類



b. 可燃ごみに含まれている資源物の混入割合

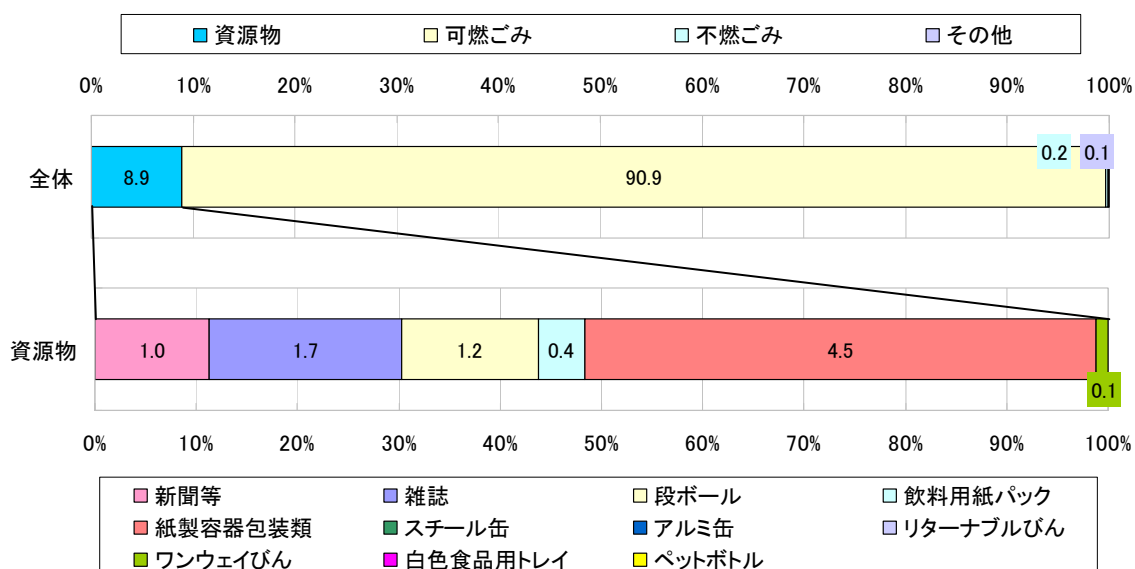
可燃ごみに含まれている、資源物の混入割合をみると、全体で8.9%混入しており、混入物では紙製容器包装類が4.5%であった。

世帯人数別に見ると、資源物の混入が最も高いのは1人世帯の13.8%で、最も低いのは5人以上世帯の6.9%であった。

図表 2-16 可燃ごみに含まれている資源物の混入割合

(単位：%)

分別項目	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人以上世帯	全体	全体原単位 (g/人, 日)
資源物	13.8	10.1	7.9	11.1	6.9	8.9	43.1
新聞等	4.2	1.8	0.8	0.3	0.4	1.0	4.9
雑誌	3.6	1.8	1.3	2.4	1.0	1.7	7.9
段ボール	1.8	1.6	1.0	1.6	0.8	1.2	5.9
飲料用紙パック	0.7	0.5	0.5	0.4	0.3	0.4	2.1
紙製容器包装類	3.5	4.2	4.2	6.0	4.4	4.5	21.5
スチール缶		0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.2
アルミ缶				0.1	0.0	0.0	0.1
リターナブルびん							
ワンウェイびん		0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.5
白色食品用トレイ			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ペットボトル							
可燃ごみ	86.5	89.6	92.0	88.2	92.9	90.9	431.2
不燃ごみ	0.0	0.1	0.1	0.3	0.2	0.2	1.0
その他				0.3		0.1	0.3
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	475.6



B. 不燃ごみ

a. 不燃ごみに含まれている可燃ごみの混入割合

不燃ごみに含まれている可燃ごみ等の混入割合をみると、全体では可燃ごみが 13.5% 混入していた。

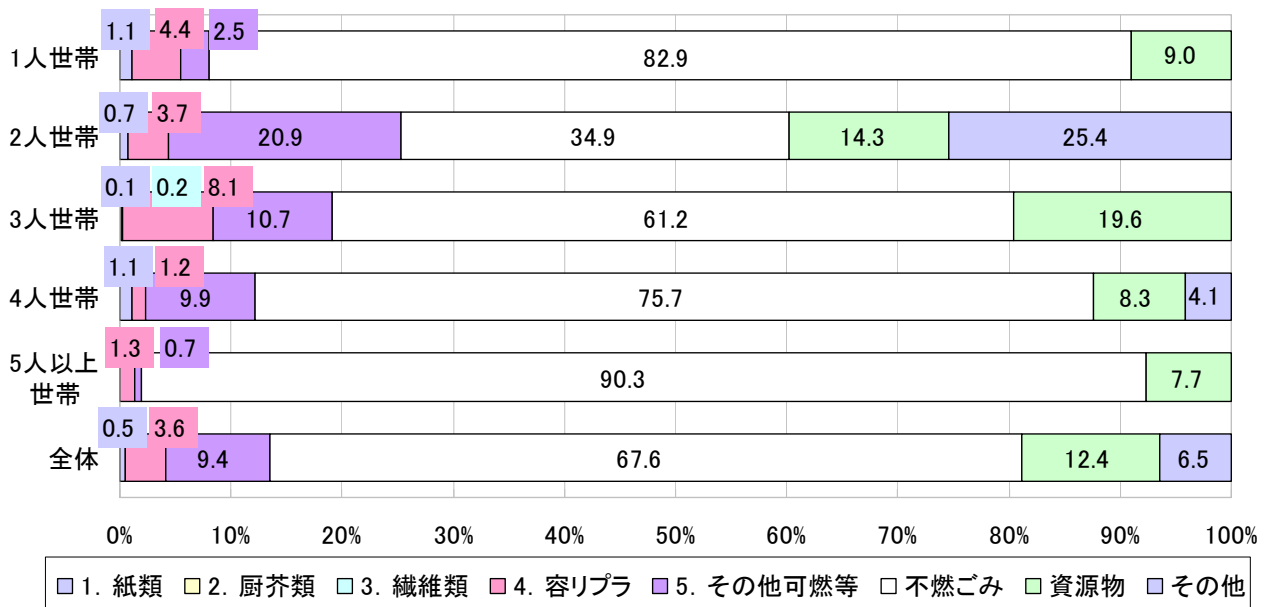
世帯人数別にみると、可燃ごみの混入割合は 2 人世帯で 25.3%、次いで 3 人世帯では 19.1% であった。

図表 2-17 不燃ごみへの可燃ごみ等の混入割合

(単位：%)

分別項目	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人以上世帯	全体	全体原単位 (g/人, 日)
可燃ごみ	8.0	25.3	19.1	12.2	2.0	13.5	8.2
1. 紙類	1.1	0.7	0.1	1.1	0.0	0.5	0.3
2. 厨芥類							
3. 繊維類			0.2		0.0	0.0	0.0
4. 容リプラ	4.4	3.7	8.1	1.2	1.3	3.6	2.2
5. その他可燃等	2.5	20.9	10.7	9.9	0.7	9.4	5.7
不燃ごみ	82.9	34.9	61.2	75.7	90.3	67.6	40.6
資源物	9.0	14.3	19.6	8.3	7.7	12.4	7.3
その他		25.4		4.1		6.5	3.9
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	60.0

注：容リプラとは、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類のこと。



ｂ．不燃ごみに含まれている資源物の混入割合

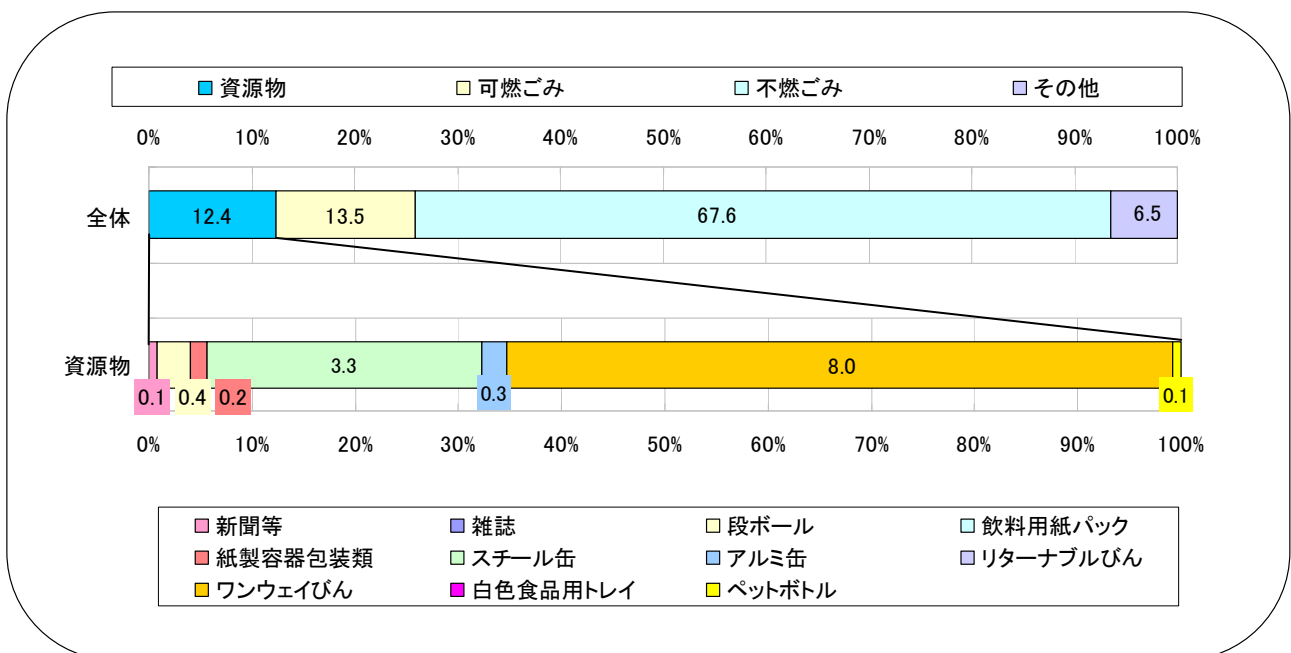
不燃ごみに含まれている、資源物の混入割合をみると、全体で12.4%であり、混入されている資源物で最も多いのはワンウェイびんの8.0%であった。

世帯人数別にみると、資源物の混入が最も高いのは3人世帯の19.6%であり、次いで2人世帯の14.3%であった。

図表 2-18 不燃ごみへの資源物混入割合

(単位：%)

分別項目	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人以上世帯	全体	全体原単位 (g/人, 日)
資源物	9.0	14.3	19.6	8.3	7.7	12.4	7.3
新聞等		0.0		0.3	0.1	0.1	0.0
雑誌							
段ボール	1.2	0.8	0.3		0.3	0.4	0.2
飲料用紙パック							
紙製容器包装類	1.0	0.0	0.3		0.0	0.2	0.1
スチール缶	3.0	4.8	3.9	2.3	2.2	3.3	2.0
アルミ缶		0.2	0.8	0.2		0.3	0.2
リターナブルびん							
ワンウェイびん	3.8	8.5	14.0	5.5	5.1	8.0	4.8
白色食品用トレイ							
ペットボトル			0.3			0.1	0.0
可燃ごみ	8.0	25.3	19.1	12.2	2.0	13.5	8.2
不燃ごみ	82.9	34.9	61.2	75.7	90.3	67.6	40.6
その他		25.4		4.1		6.5	3.9
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	60.0



C. 資源物

a. 資源物に含まれている可燃ごみ等の混入割合

資源物に含まれている可燃ごみ等の混入割合をみると、全体では可燃ごみが 3.0%、不燃ごみは 1.6%の混入がみられた。

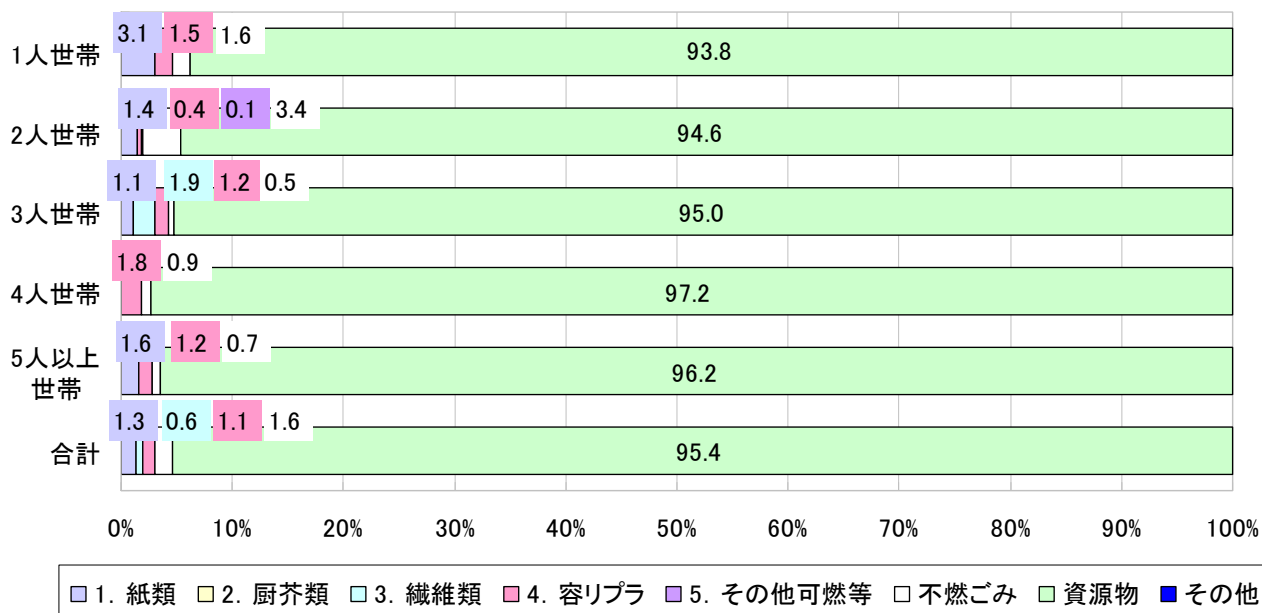
世帯人数別にみると、可燃ごみの混入は、1人世帯で 4.6%、次いで3人世帯で 4.2%であり、さらに、不燃ごみの混入は2人世帯で 3.4%であった。

図表 2-19 資源物に含まれる可燃ごみ等の混入割合

(単位：%)

分別項目	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人以上世帯	全体	全体原単位 (g/人, 日)
可燃ごみ	4.6	1.9	4.2	1.8	2.8	3.0	6.3
1. 紙類	3.1	1.4	1.1	0.0	1.6	1.3	2.6
2. 厨芥類							
3. 繊維類			1.9		0.0	0.6	1.2
4. 容リプラ	1.5	0.4	1.2	1.8	1.2	1.1	2.4
5. その他可燃等	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
不燃ごみ	1.6	3.4	0.5	0.9	0.7	1.6	3.1
資源物	93.8	94.6	95.0	97.2	96.2	95.4	195.9
その他							
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	205.3

注：容リプラとは、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類のこと。

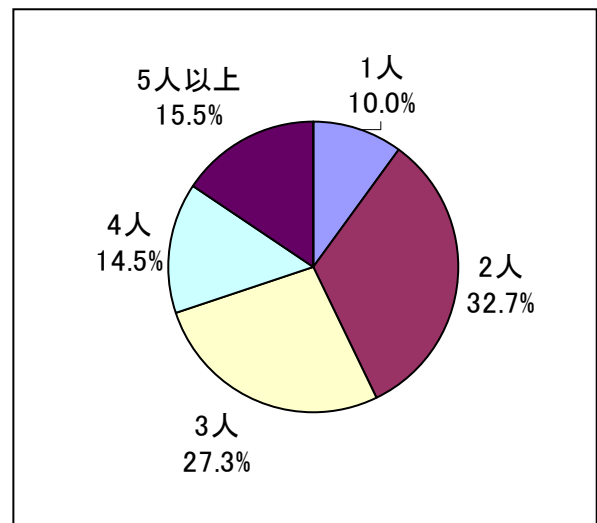


④モニターアンケート結果（回答数１１０）

【家庭系】

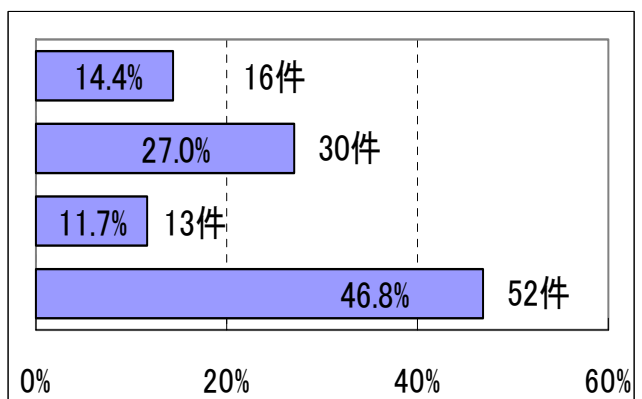
図表 2-20 世帯人数

項 目	件数	割合 (%)
1人	11	10.0
2人	36	32.7
3人	30	27.3
4人	16	14.5
5人以上	17	15.5
無回答	0	0.0
全体	110	100.0



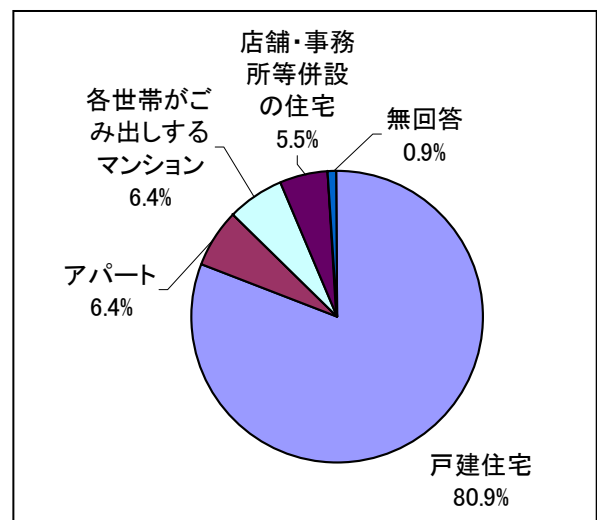
図表 2-21 家族構成員（複数回答）

項 目
乳幼児・園児・小学生低学年がいる
70歳以上のみの世帯である
介護を必要とする方がいる
どれにも該当しない



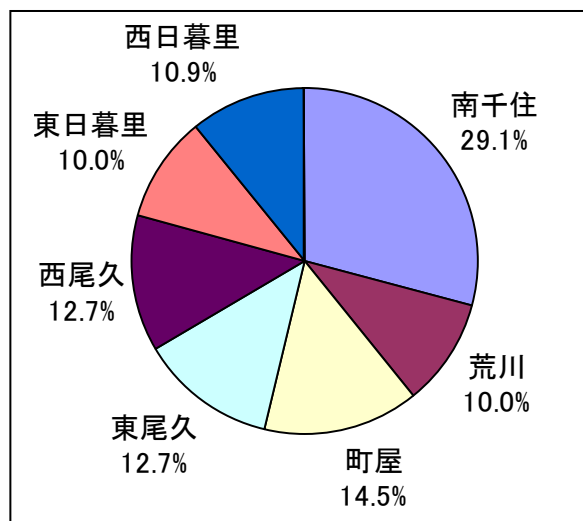
図表 2-22 住居形態

項 目	件数	割合 (%)
戸建住宅	89	80.9
アパート	7	6.4
管理人がごみ出しするマンション	0	0.0
各世帯がごみ出しするマンション	7	6.4
店舗・事務所等併設の住宅	6	5.5
その他	0	0.0
無回答	1	0.9
全体	110	100.0



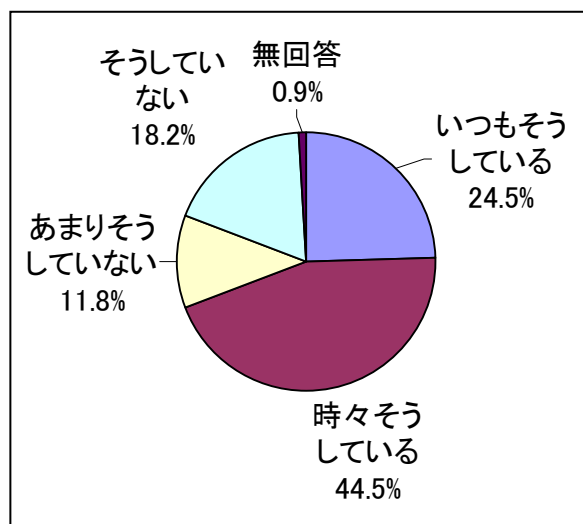
図表 2-23 所在地域

項 目	件数	割合 (%)
南千住	32	29.1
荒川	11	10.0
町屋	16	14.5
東尾久	14	12.7
西尾久	14	12.7
東日暮里	11	10.0
西日暮里	12	10.9
無回答	0	0.0
全体	110	100.0



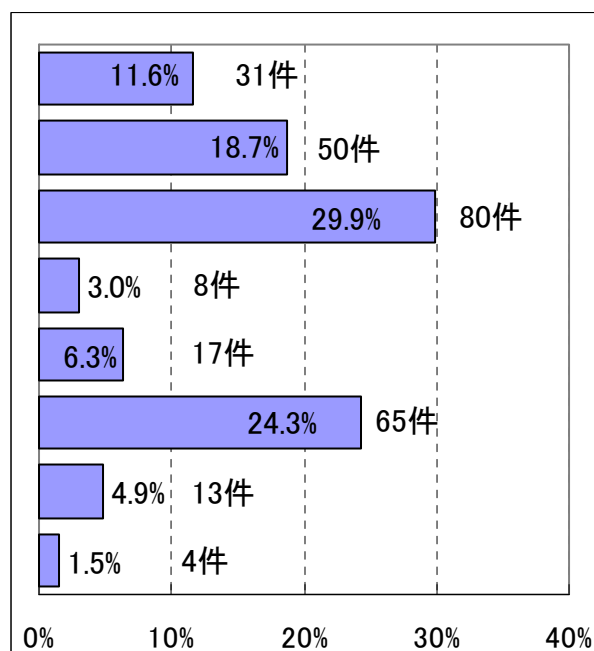
図表 2-24 エコバッグの使用

項 目	件数	割合 (%)
いつもそうしている	27	24.5
時々そうしている	49	44.5
あまりそうしていない	13	11.8
そうしていない	20	18.2
無回答	1	0.9
全体	110	100.0



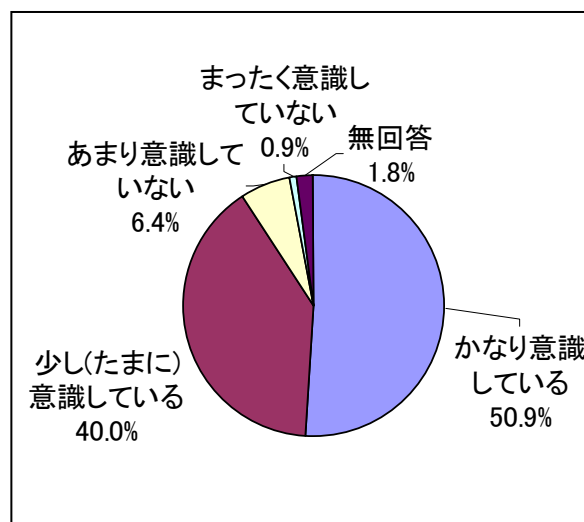
図表 2-25 再生品の購入品目（複数回答）

項 目
古紙配合のティッシュペーパー
古紙配合のトイレトペーパー
詰め替え容器入りの商品など
びんビール（容器は酒屋に返却）
配達などのびん入りの牛乳
バラ売りの野菜や果物
エコマークなどのついた環境配慮商品
無回答



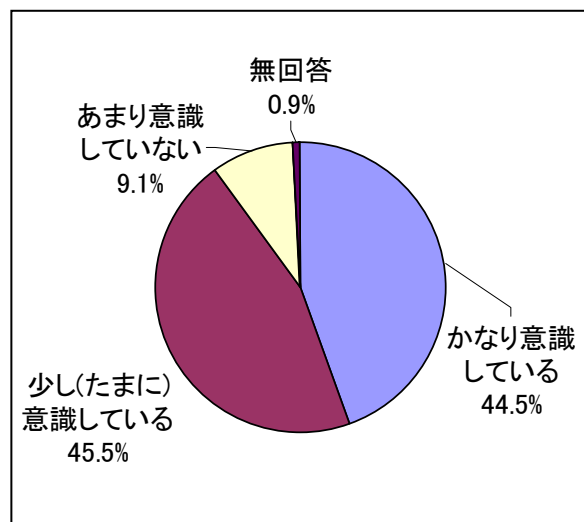
図表 2-26 食料品は無駄にしない買い方を心がけているか

項 目	件数	割合 (%)
かなり意識している	56	50.9
少し(たまに)意識している	44	40.0
あまり意識していない	7	6.4
まったく意識していない	1	0.9
無回答	2	1.8
全体	110	100.0



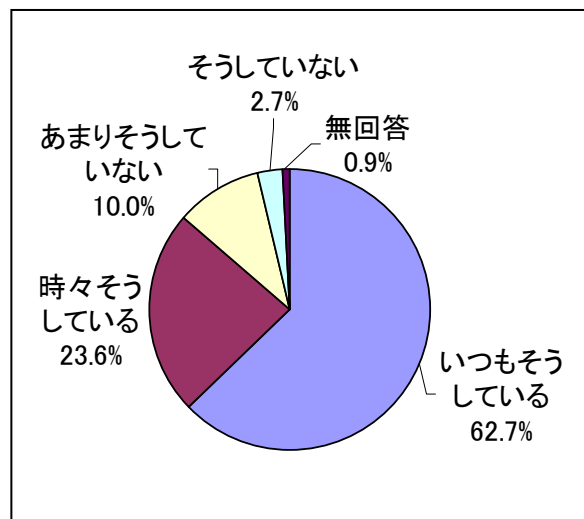
図表 2-27 エコクッキングの実践や、食べ残しをしないなどを意識しているか

項 目	件数	割合 (%)
かなり意識している	49	44.5
少し(たまに)意識している	50	45.5
あまり意識していない	10	9.1
まったく意識していない	0	0.0
無回答	1	0.9
全体	110	100.0



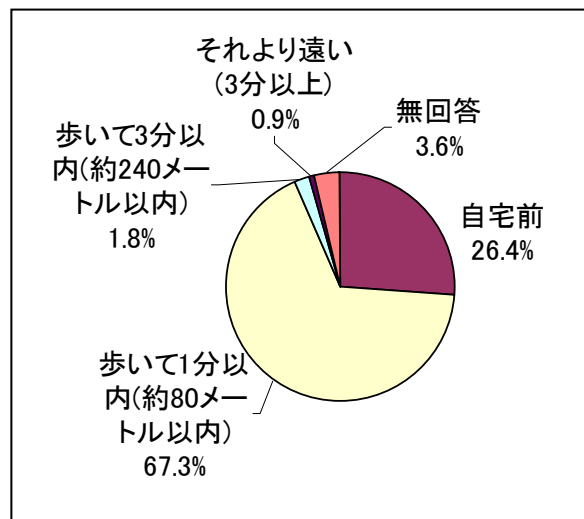
図表 2-28 生ごみを捨てるときに水を切って出すようにしているか

項 目	件数	割合 (%)
いつもそうしている	69	62.7
時々そうしている	26	23.6
あまりそうしていない	11	10.0
そうしていない	3	2.7
無回答	1	0.9
全体	110	100.0



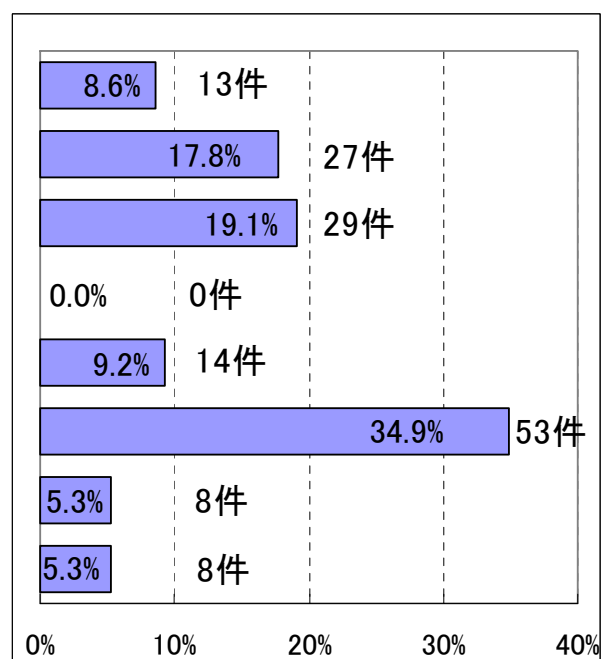
図表 2-29 ごみ集積所までの距離

項 目	件数	割合 (%)
マンション等敷地内	0	0.0
自宅前	29	26.4
歩いて1分以内(約80メートル以内)	74	67.3
歩いて3分以内(約240メートル以内)	2	1.8
それより遠い(3分以上)	1	0.9
無回答	4	3.6
全体	110	100.0



図表 2-30 利用している集積所の問題点（複数回答）

項 目
集積所が汚れている
ごみの分別が悪く、収集されないものがある
通行人などによるポイ捨てが多い
集積所の管理で近隣同士のトラブルがある
古紙やアルミ缶などの不正な抜き取り行為がある
問題は無い
その他
無回答

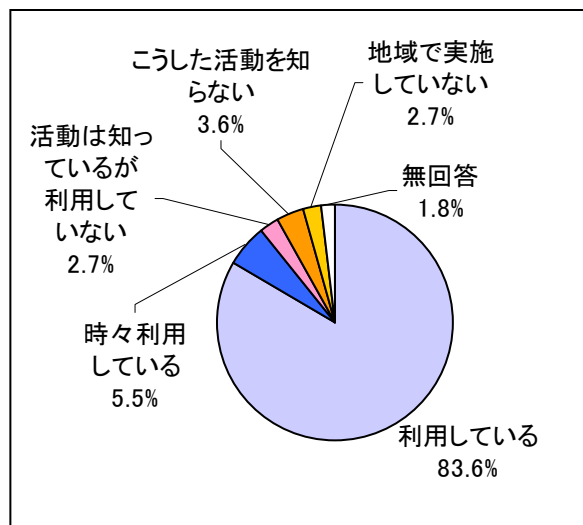


※その他の意見

- ・ネットの掛け方が悪いのか、早朝の為ネットをかけていないのか分かりませんが、猫やカラスに荒らされている。
- ・高齢者がごみの分別と回収日に苦勞されているようです。
- ・前日に出している人がいる。
- ・自分で掃除をしている。
- ・粗大ごみを捨てられる。

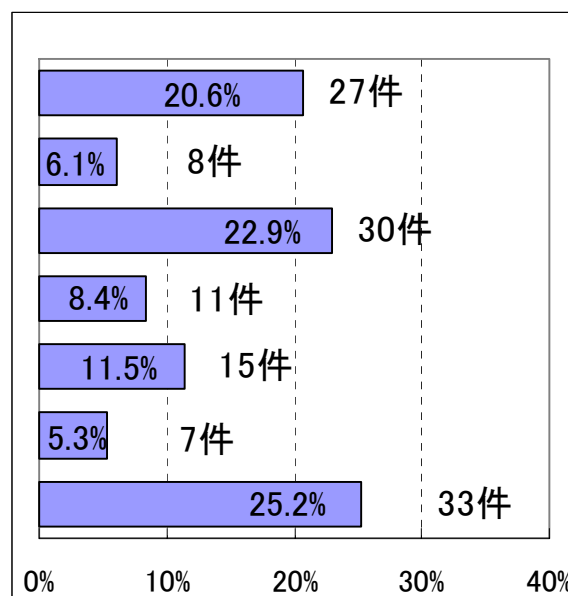
図表 2-31 集団回収の利用

項 目	件数	割合 (%)
利用している	92	83.6
時々利用している	6	5.5
活動は知っているが利用していない	3	2.7
こうした活動を知らない	4	3.6
地域で実施していない	3	2.7
無回答	2	1.8
全体	110	100.0



図表 2-32 集団回収の改善点 (複数回答)

項 目
回数を増やす
回収場所を増やす
もっと広く知らせること
品目を増やす
収集時間を遅らせる
その他
無回答

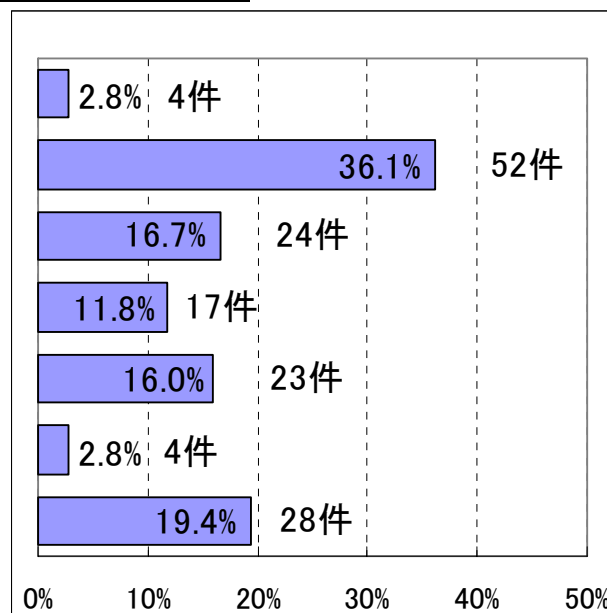


※その他の意見

- ・収集時間をなるべく正確にしてほしい。
- ・回収物を見守っている人や当番の人を気の毒に思う。
- ・単身世帯への広報と時間帯の工夫。出し方のマナーを守ってほしい。

図表 2-33 今後集団回収に追加すると良いと思われる品目（複数回答）

項 目
OA用紙(コピー用紙)
衣類・古布
廃食用油(使用後の天ぷら油等)
プラスチック類
充電式乾電池
その他
無回答

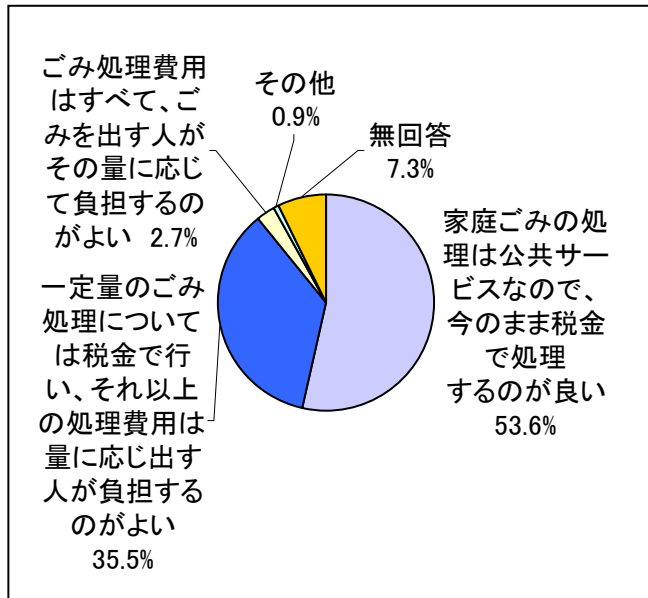


※その他の意見

- ・再利用可能な家具、子供のおもちゃ。
- ・乾電池、色つきトレー。

図表 2-34 ごみ有料化について

項 目	件数	割合 (%)
家庭ごみの処理は公共サービスなので、今のまま税金で処理するのがよい	59	53.6
一定量のごみ処理については税金で行い、それ以上の処理費用は量に応じ出す人が負担するのがよい	39	35.5
ごみ処理費用はすべて、ごみを出す人がその量に応じて負担するのがよい	3	2.7
その他	1	0.9
無回答	8	7.3
全体	110	100.0



※その他の意見

- ・現在の社会状況の中で余裕のある家庭は少ないように思います。少しでも負担をなくす選択をすると思いますが・・・。

※自由意見

- ・粗大ごみ(家具、家電製品等再利用可能なもの)は直接区のごみ収集所に持ち込んだ場合、無料で引き取ってくれたら良いと思う。
- ・ごみ有料化にするとポイ捨てが多くなる。
- ・ごみの減量、私にできることは食料品であれば買いすぎ、作りすぎに気をつけることです。色々なものがプラスチック、発泡スチロール、ラップで包装されていますのでこれも気になります。
- ・毎日ごみを捨てられていいなと最初は思いましたが、今のごみ収集日でちょうど良いと思いました。ただ、資源ごみに関しては缶類が多いため日を増やして頂ければ・・・と思いました。
- ・不燃ごみが少ないことに驚いている。1ヶ月に1回で良いと思う。資源ごみ回収でごみとして出す量も減り、また少しでもエコに参加している気持ちが持て資源ごみ回収に感謝しています。
- ・1人で住んでいるので家具などの大きいものが玄関までも出せない。
- ・いつも町会等の集団回収に出す方法が分かりやすく、とても整理してあるので利用しやすいので満足しています。
- ・夏など2日に1回ぐらい収集にきてくださると助かるかなと思いました。
- ・冷蔵庫やクーラーなどの処理費用は少し高いと思います。
- ・ペットボトル、トレイ、缶はすぐにたまります。夏季だけでも1週間に1回お願いできれば幸いに存じます。(6、7、8、9月まで)
- ・猫、カラスの散らかし。最近は少なくなったが散見する。近隣の意識向上か。区報、回覧板で折に触れ意識づけを。
- ・不燃ごみが出ない(少ない)事に気がつきました。季節変わり又は年末は出ると思いますが・・・。
- ・ごみの有料化は一定量以上出した場合どのような方法でどこの家庭の分か判断するのか？事務処理費用がかからなければ良いが・・・。
- ・収集場所外の人が勤めに行く時などに捨てていく。収集範囲を再度知らせたほうが良いと思う。
- ・生ごみは庭に埋めています。
- ・時々ごみの分別で迷うことがあります。日常あまり気に留めずにごみを排出していると改めて感じてしまいます。
- ・現在のごみの収集で大きな問題は感じておりませんが、なるべくごみの量を減らせるようにうまく生活していくようにと思っております。
- ・1日で意外とごみが出ていた。
- ・生ごみ処理機が有りますが、夏季は使用していません。理由は2人暮らしの老夫婦なので生ごみを2~3日ためないと処理できる量にならないため。
- ・家具のリサイクルが簡単にできると良いと思う。
- ・有料化は将来的にごみ袋を買うことになるだろうと思う。なるべく出さないように更に心がけることでごみは少し減ると思う。
- ・ごみの有料化についてスーパー等でトレイから小袋に移し汚れたトレイをそのまま捨てていく人がいます。店も不衛生で困ると思いますが、有料化にするとごみ出しの量を減らそうとこんな事をする人が増えないか？とも思えます。
- ・今回毎日のごみの収集ご苦労様です。我が家では少人数なので生ごみはそれほど沢山は出ませんがプラスチックの容器がかさばります。あと、分別のとき色の多いチラシとか柄の付いたお菓子の箱、小冊子など可燃ごみに出しますがちょっと迷います。

- ・ごみの量を減らそうと日々気をつけて生活しています。「有料化について」ですが、有料化によってごみの量を減らそうということかと思いますが、我が家には92歳の母がいます。その母が半年前に一週間程寝込みおむつを使う生活をしました。その間のごみの量は大幅に増え、この経験からやむなく量が増えている家もあるということが分かりました。高齢に伴う出費も何かと増えている中で、量が多いからと単純に費用を負担させるとはいかないのでは……。また、税金の使われ方が何かと議論されている今は、目に見え一番分かりやすく納得のいく税金の使われ方にごみの収集があると思います。区のごみ収集には大変感謝しております。

2-2 事業系ごみ排出実態調査

(1) 調査の目的

事業所から発生する不用物（一般廃棄物）は、処理形態がさまざまなため、発生量や処理フローの把握は通常の統計処理では困難である。

現在、環境問題に対する企業の関心や社会の要望が高まりつつあるが、規模の小さな事業所においては、事業所数は多いものの、こうした取り組みの実態は明らかになっていない。

そこで本調査では、事業所、特に従業員数 20 人未満の事業所から発生する不用物の量と流れを把握するとともに、事業者のごみ減量やリサイクルへの取り組み及び意識を把握することを目的として実施した。

(2) 調査時期

平成 22 年 6 月 29 日（火）～7 月 6 日（火）までの 8 日間とした。

(3) 調査対象事業所（調査協力事業所 112 件）

荒川区内の町別に約 20 事業所に対し、平成 18 年度の産業割合※¹に合わせた事業所割合に準じて、調査協力の依頼を行った。

(4) 調査方法

① 排出物の組成分類調査

- ・調査協力事業所（モニター）に、調査期間中、日ごとに排出される可燃ごみ、不燃ごみ、資源物を、事前に配布した袋へ入れ（サンプル）、出入り口等の回収場所へ出してもらう。
- ・サンプルを回収し、組成調査場所へ運搬、組成分類、計量、集計。

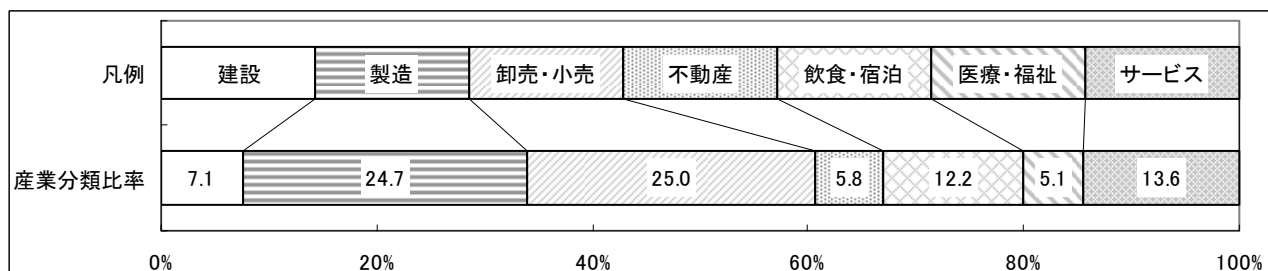
② アンケート調査

- ・調査開始当初に、調査協力事業所（モニター）にアンケート用紙を配布し、記入依頼をした。（業種、従業員数、業務内容及びごみ、資源物の処理、ごみ減量・リサイクルへの意識調査、通常の排出方法や取り組みについての質問）
- ・記入済みアンケート用紙の回収、集計。

(5) 調査内容

排出物の組成分類調査は、回収したサンプルを組成分類項目ごとに分類し、重量計測、記録、集計する。

※ 1：荒川区の産業割合（東京都総務局「平成 18 年事業所・企業統計調査」参照）



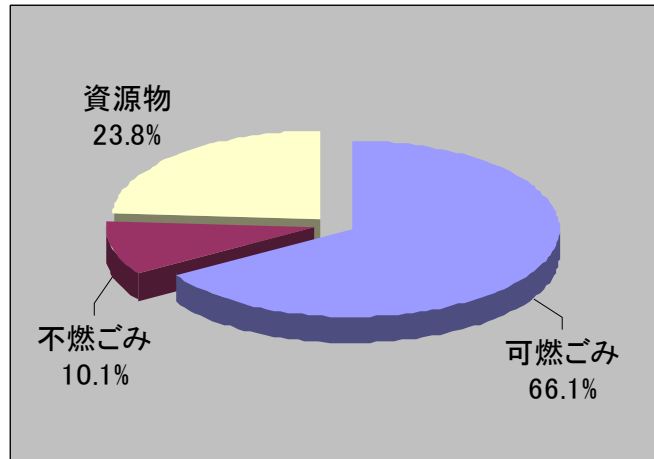
(6) 調査結果概要

① 不用物の発生量結果（実態調査協力 112 事業所）

20 人未満の事業所から発生するすべての不用物の量は 1 事業所 1 日あたり 3,326.7g であり、そのうち可燃ごみが 2,199.7g (66.1%)、不燃ごみが 334.7g (10.1%)、資源物が 792.3g (23.8%) であった。

図表 2-35 事業所からの不用物発生量

	発生量 (g/事業所, 日)	構成比 (%)
可燃ごみ	2,199.7	66.1
不燃ごみ	334.7	10.1
資源物	792.3	23.8
合計	3,326.7	100.0



② 属性別発生原単位結果

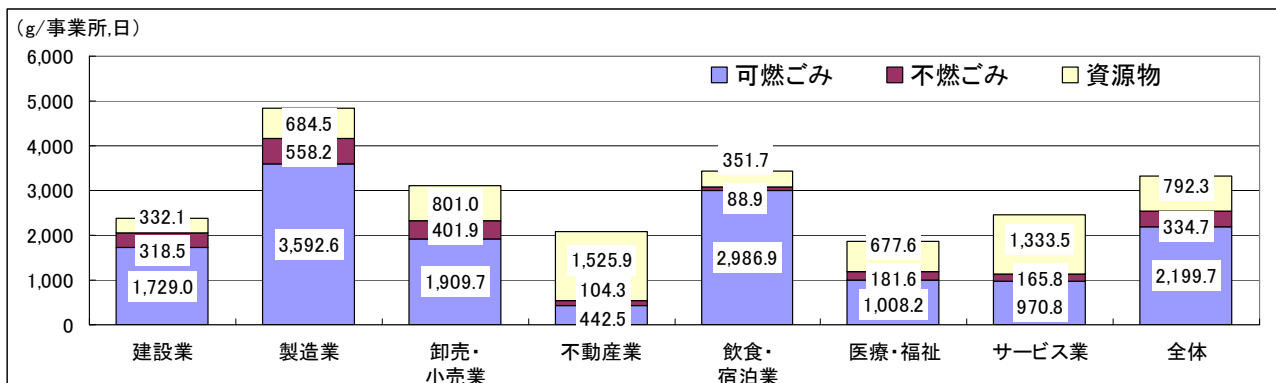
A. 業種別の不用物発生状況

業種別では、全体で（1 事業所 1 日あたり）発生量が最も多いのは製造業の 4,835.3g、次いで飲食・宿泊業が 3,427.5g、卸売・小売業が 3,112.6g であった。

発生区分別では、可燃ごみの発生が多いのは、製造業 3592.6g、次いで飲食・宿泊業 2986.9g であり、資源物の発生が多いのは不動産業 1525.9g、次いでサービス業 1333.5g であった。

図表 2-36 業種別事業所あたり不用物発生量

		(g/事業所, 日)						
業種		建設業	製造業	卸売 小売業	不動産業	飲食 宿泊業	医療 福祉	サービス 業
モニター数		7	29	33	6	14	7	16
1	可燃ごみ	1,729.0	3,592.6	1,909.7	442.5	2,986.9	1,008.2	970.8
2	不燃ごみ	318.5	558.2	401.9	104.3	88.9	181.6	165.8
3	資源物	332.1	684.5	801.0	1,525.9	351.7	677.6	1,333.5
合計		2,379.6	4,835.3	3,112.6	2,072.7	3,427.5	1,867.4	2,470.1



ア. 業種別不用物発生原単位詳細（可燃ごみ）

図表 2-37 業種別不用物発生原単位詳細（可燃ごみ）

(g/事業所、日)

可 燃 ご み								
産業分類	建設業	製造業	卸売 小売業	不動産業	飲食 宿泊業	医療 福祉	サービス業	全体
モニター数	7	29	33	6	14	7	16	112
可 燃 ご み	1. 紙類	1403.2	2221.7	219.2	116.8	198.7	335.7	833.0
	OA用紙	209.8	229.2	72.6	87.4	2.9	43.8	112.9
	その他紙類	1190.4	1975.3	113.9	28.8	125.8	159.8	676.7
	残さ付き新聞等	3.0	17.2	32.7	0.6	70.0	132.1	43.4
	2. 厨芥類	75.7	296.2	650.1	35.4	2514.4	137.0	640.5
	厨芥（未使用食品）		0.3	28.4		9.7	26.3	11.3
	厨芥（調理くず、残飯）	75.7	295.9	621.7	35.4	2504.7	110.7	629.2
	3. 繊維類	4.6	100.0	13.5	2.1	27.7	35.7	39.0
	4. 容器包装リサイクル法対象のプラスチック類	19.7	445.0	141.9	47.6	138.7	117.3	201.4
	プラスチック製容器包装類	9.9	396.7	97.9	15.5	72.9	48.0	152.0
	プラスチック製バック・カップ類		0.1	0.1		0.1	0.3	0.1
	残さ付き容器包装類（プラスチック）	3.4	18.9	29.6	23.0	42.6	23.4	25.6
	ペットボトル（残さ付き）		6.7	1.8	2.5	4.3	2.3	3.6
	白色トレイ（残さ付き）		0.1	0.2		1.2	0.2	0.2
	ペットボトル識別マークのないボトル状容器	0.9	5.2	3.1	0.6	4.0	4.1	4.0
	レジ袋	3.3	4.0	3.8	5.3	10.0	6.0	5.3
	プラスチック製キャップ類		0.8	0.8	0.4	0.5	0.8	0.7
	発泡スチロールの緩衝材	2.2	12.5	4.6	0.3	3.1	32.5	9.9
	5. その他可燃物	168.4	393.6	671.8	29.4	65.0	120.4	341.3
	プラスチック類その他	127.7	152.5	71.6	7.0	5.2	16.7	71.7
	ゴム・皮革	7.3	176.5	20.1			4.5	52.5
	その他可燃物	33.4	64.6	580.1	22.4	59.8	87.8	217.1
不 燃 ご み	6. 不燃ごみ	2.2	6.4	1.0	0.8	0.6	1.7	2.4
	金属類	0.2	2.7	0.8	0.8	0.6	1.6	1.3
	ガラス・陶磁器類		0.0					0.0
	乾電池		0.3					0.1
	充電式乾電池		1.3					0.3
	ボタン電池		2.0					0.5
	蛍光灯							
	その他不燃物	2.0	0.1	0.2			0.1	0.2
資 源 物	7. 紙類（資源）	55.2	129.3	211.6	210.4	40.0	220.6	141.5
	新聞等	4.8	23.6	63.8	3.1	1.1	30.4	29.0
	雑誌	5.2	15.1	26.0	169.8	3.3	26.4	24.8
	段ボール	4.1	16.7	64.6	16.5	12.2	31.8	30.4
	飲料用紙バック	0.9	2.0	1.9	1.9	2.1	3.8	2.5
	紙製容器包装類	40.2	71.9	55.3	19.1	21.3	128.2	54.8
	8. 缶類（資源）		0.1	0.6		0.5		0.3
	スチール缶			0.4		0.5		0.2
	アルミ缶		0.1	0.2				0.1
	9. びん類（資源）							
	リターナブルびん							
	ワンウェイびん							
	10. その他（資源）		0.3			1.3		0.3
	白色の発泡スチロール製食品用トレイ		0.0			1.3		0.2
	ペットボトル		0.3					0.1
	11. その他							
合 計		1729.0	3592.6	1909.7	442.5	2986.9	1008.2	2199.7

ｂ．事業所別不用物発生原単位詳細（不燃ごみ）

図表 2-38 業種別不用物発生原単位詳細（不燃ごみ）

(g/事業所、日)

不 燃 ご み								
産業分類	建設業	製造業	卸売 小売業	不動産業	飲食 宿泊業	医療 福祉	サービス業	全体
モニター数	7	29	33	6	14	7	16	112
可 燃 ご み	1. 紙類	0.7	2.6	0.4	0.1	2.8	3.6	1.7
	OA用紙	0.7	0.5	0.1			2.1	0.5
	その他紙類		1.5	0.3	0.1	2.6	1.3	1.0
	残さ付き新聞等		0.6			0.2	0.2	0.2
	2. 厨芥類	0.1	0.8		2.1		1.2	0.7
	厨芥（未使用食品）						1.2	0.2
	厨芥（調理くず、残飯）	0.1	0.8		2.1			0.5
	3. 繊維類		3.3	0.4				1.0
	4. 容器包装リサイクル法対象のプラスチック類	8.0	10.3	9.7	19.8	16.5	2.9	4.6
	プラスチック製容器包装類	1.8	8.7	1.8	0.5	9.2		0.5
	プラスチック製バック・カップ類							
	残さ付き容器包装類（プラスチック）		0.6			5.4	0.3	0.9
	ペットボトル（残さ付き）		0.1	0.1	7.7	0.2	1.9	0.8
	白色トレイ（残さ付き）					0.4		0.0
	ペットボトル識別マークのないボトル状容器		0.3	2.2	9.8		2.5	1.1
	レジ袋	0.1	0.4	0.7	1.0	1.2	0.4	0.3
	プラスチック製キャップ類		0.2	1.4	0.8	0.1	0.5	0.6
	発泡スチロールの緩衝材	6.1	0.0	3.5				1.4
	5. その他可燃物	18.6	374.8	58.2	34.9	1.2	11.4	6.1
	プラスチック類その他	18.6	356.0	43.3	34.6	0.4	11.4	5.9
	ゴム・皮革		0.8	8.2		0.5		2.7
	その他可燃物		18.0	6.7	0.3	0.3	0.2	6.7
不 燃 ご み	6. 不燃ごみ	224.6	140.4	192.0	10.7	13.4	161.2	122.5
	金属類	28.0	101.2	54.0	1.9	7.5	41.6	90.7
	ガラス・陶磁器類	30.7	8.3	61.1		2.7	8.9	2.6
	乾電池	4.8	2.6	2.6	2.1	0.4	2.9	0.6
	充電式乾電池						0.3	0.0
	ボタン電池							
	蛍光灯	40.9	13.3	4.3	0.4	1.4	16.4	6.4
	その他不燃物	120.2	15.0	70.0	6.3	1.4	91.4	21.9
資 源 物	7. 紙類（資源）		3.0	0.8		0.4	2.3	0.6
	新聞等		0.3					0.1
	雑誌							
	段ボール		1.8	0.3		2.3		0.7
	飲料用紙バック		0.3				0.5	0.1
	紙製容器包装類		0.6	0.5		0.4	0.1	0.4
	8. 缶類（資源）		12.1	5.2	34.4	13.6	0.2	7.1
	スチール缶		9.8	4.4	33.8	13.0	0.2	6.6
	アルミ缶		2.3	0.8	0.6	0.6		0.5
	9. びん類（資源）	6.3	6.1	20.6	4.4	9.4	3.6	2.1
	リターナブルびん			1.5				0.4
	ワンウェイびん	6.3	6.1	19.1	4.4	9.4	3.6	2.1
	10. その他（資源）							
	白色の発泡スチロール製食品用トレイ							
	ペットボトル							
	11. その他	60.2	4.8	114.6		29.5	18.0	45.0
合 計		318.5	558.2	401.9	104.3	88.9	181.6	165.8
								334.7

c. 事業所別不用物発生原単位詳細（資源物）

図表 2-39 業種別不用物発生原単位詳細（資源物）

(g/事業所、日)

資 源 物								
産業分類		建設業	製造業	卸売 小売業	不動産業	飲食 宿泊業	医療 福祉	サービス業
モニター数		7	29	33	6	14	7	16
可 燃 ご み	1. 紙類	23.8	8.8	1.4	5.0	0.0		4.6
	OA用紙		8.8	1.3	1.5			0.7
	その他紙類	23.8	0.0	0.1	0.8	0.0		1.9
	残さ付き新聞等				2.7			2.0
	2. 厨芥類			1.1		0.9		0.2
	厨芥（未使用食品）							
	厨芥（調理くず、残飯）			1.1		0.9		0.2
	3. 繊維類		23.1					
	4. 容器包装リサイクル法対象のプラスチック類	0.9	4.0	6.0	4.5	5.1	4.6	3.4
	プラスチック製容器包装類		0.1	0.1	0.8	0.1	1.1	0.2
	プラスチック製バック・カップ類		0.7	0.2				0.1
	残さ付き容器包装類（プラスチック）		0.1	0.8		0.5	1.8	0.2
	ペットボトル（残さ付き）		1.4	4.3	2.7	2.7		1.6
	白色トレイ（残さ付き）		0.0			0.8		0.3
	ペットボトル識別マークのないボトル状容器		0.6					
	レジ袋	0.4	0.4	0.3	0.5	0.8	0.4	0.5
	プラスチック製キャップ類	0.5	0.7	0.3	0.5	0.2	1.3	0.4
	発泡スチロールの緩衝材							0.1
	5. その他可燃物	0.1	0.2		1.9	0.4	11.6	0.0
	プラスチック類その他		0.2				11.6	0.0
	ゴム・皮革	0.1						
不 燃 ご み	6. 不燃ごみ		42.9	1.9	0.1	0.3	3.3	0.8
	金属類		41.6	0.4	0.1	0.3	2.2	0.7
	ガラス・陶磁器類		1.1	1.5				
	乾電池							
	充電式乾電池							
	ボタン電池							
	蛍光灯							
	その他不燃物		0.2				1.1	0.1
資 源 物	7. 紙類（資源）	244.9	463.8	713.8	1499.4	144.2	543.2	1173.6
	新聞等	26.3	240.7	79.7	94.8	64.9	220.7	462.7
	雑誌	37.0	41.3	199.8	1355.2		128.4	283.1
	段ボール	166.1	172.4	414.4	36.7	79.1	194.1	415.1
	飲料用紙パック	2.1	0.3		6.7			1.3
	紙製容器包装類	13.4	9.1	19.9	6.0	0.2		11.4
	8. 缶類（資源）	7.0	43.7	22.4	3.4	4.8	41.3	37.5
	スチール缶	4.5	34.4	13.9	1.9	1.0	30.0	31.1
	アルミ缶	2.5	9.3	8.5	1.5	3.8	11.3	6.4
	9. びん類（資源）	34.1	73.6	38.7	10.6	169.5	52.3	94.4
	リターナブルびん		24.4	1.3		118.5		51.1
	ワンウェイびん	34.1	49.2	37.4	10.6	51.0	52.3	43.3
	10. その他（資源）	21.3	19.4	15.7	1.0	26.5	21.3	19.0
	白色の発泡スチロール製食品用トレイ	0.2	0.2	0.7		1.4		0.3
	ペットボトル	21.1	19.2	15.0	1.0	25.1	21.3	18.7
11. その他			5.0					
合 計		332.1	684.5	801.0	1525.9	351.7	677.6	1333.5

B. クラスター分類による地域別の不用物発生状況

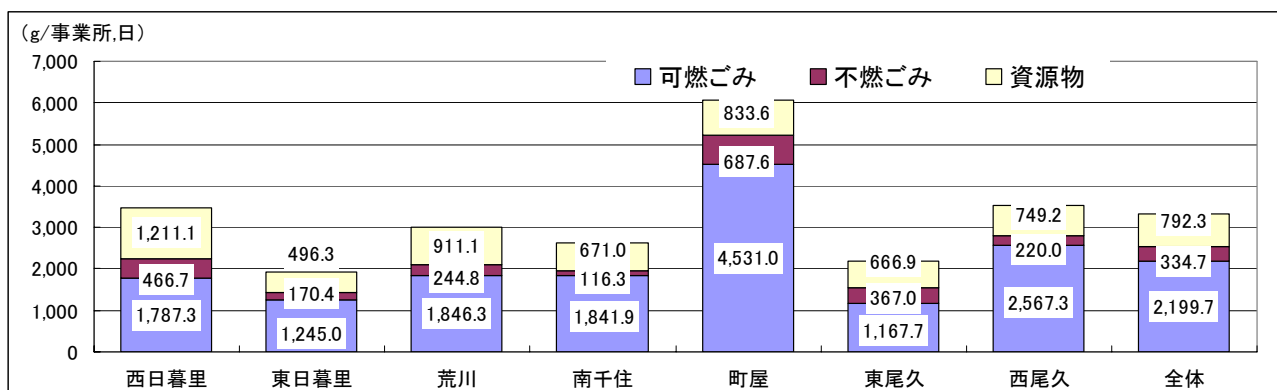
荒川区内の平成 18 年度の産業割合を調べ、区内の事業所のクラスターを町別に分けて比較を行った。

クラスター別の、不用物（1 事業所 1 日あたり）の合計発生量が最も多いのは町屋の 6,052.2g、次いで西尾久の 3,536.5g、西日暮里の 3,465.1g となっている。

発生区分別にみると、可燃ごみの発生が多いのは、町屋 4531.0g、次いで西尾久 2567.3g で、資源物の発生が多いのは、西日暮里の 1211.1g、次いで荒川の 911.1g、町屋の 833.6g であった。

図表 2-40 事業所におけるクラスター別の不用物発生量

地域区分		(g/事業所, 日)						
モニター数		西日暮里	東日暮里	荒川	南千住	町屋	東尾久	西尾久
1	可燃ごみ	1,787.3	1,245.0	1,846.3	1,841.9	4,531.0	1,167.7	2,567.3
2	不燃ごみ	466.7	170.4	244.8	116.3	687.6	367.0	220.0
3	資源物	1,211.1	496.3	911.1	671.0	833.6	666.9	749.2
合計		3,465.1	1,911.7	3,002.2	2,629.2	6,052.2	2,201.6	3,536.5



a. クラスター別不用物発生原単位詳細（可燃ごみ）

図表 2-41 クラスター別不用物発生原単位詳細（可燃ごみ）

(g/事業所、日)

可 燃 ご み									
クラスター分類		西日暮里	東日暮里	荒川	南千住	町屋	東尾久	西尾久	全体
モニター数		15	13	15	16	18	18	17	112
可 燃 ご み	1. 紙類	297.1	684.1	709.1	242.8	3198.3	240.0	207.9	833.0
	OA用紙	113.6	490.8	100.3	19.8	36.5	55.0	64.5	112.9
	その他紙類	139.3	168.8	602.9	187.3	3046.3	145.8	118.0	676.7
	残さ付き新聞等	44.2	24.5	5.9	35.7	115.5	39.2	25.4	43.4
	2. 厨芥類	508.0	227.1	697.2	804.9	616.8	556.3	983.1	640.5
	厨芥（未使用食品）		7.7		37.3	9.2	16.7	6.2	11.3
	厨芥（調理くず、残飯）	508.0	219.4	697.2	767.6	607.6	539.6	976.9	629.2
	3. 繊維類	9.1	30.8	10.1	10.1	54.0	54.9	91.8	39.0
	4. 容器包装リサイクル法対象のプラスチック類	242.8	64.8	132.6	589.0	150.6	79.9	147.9	201.4
	プラスチック製容器包装類	167.2	26.9	114.5	555.2	70.3	43.2	89.4	152.0
	プラスチック製パック・カップ類	0.1	0.2			0.2	0.2		0.1
	残さ付き容器包装類（プラスチック）	55.3	17.5	6.5	25.4	30.9	20.5	22.2	25.6
	ペットボトル（残さ付き）	2.9	10.8	0.8	0.5	5.1	2.8	3.8	3.6
	白色トレイ（残さ付き）		0.1	0.3		0.2	0.4	0.6	0.2
	ペットボトル識別マークのないボトル状容器	6.3	3.6	2.2	2.3	6.8	2.0	4.6	4.0
	レジ袋	6.2	4.0	3.7	3.2	3.5	7.7	8.1	5.3
	プラスチック製キャップ類	1.0	1.2	0.1	0.5	0.8	0.3	1.0	0.7
	発泡スチロールの緩衝材	3.8	0.5	4.5	1.9	32.8	2.8	18.2	9.9
	5. その他可燃物	672.4	115.9	180.1	99.0	347.8	91.7	849.9	341.3
	プラスチック類その他	132.0	19.2	40.4	28.0	94.1	17.4	161.5	71.7
	ゴム・皮革	1.5	39.3	83.8	42.1	177.4	1.7	11.3	52.5
	その他可燃物	538.9	57.4	55.9	28.9	76.3	72.6	677.1	217.1
不 燃 ご み	6. 不燃ごみ	0.4	0.6	1.0	6.7	5.8	1.6	0.6	2.4
	金属類	0.4	0.3	0.7	0.1	5.7	0.7	0.6	1.3
	ガラス・陶磁器類					0.1			0.0
	乾電池				0.6				0.1
	充電式乾電池				2.3				0.3
	ボタン電池				3.7				0.5
	蛍光灯								
	その他不燃物		0.3	0.3			0.9		0.2
資 源 物	7. 紙類（資源）	57.5	121.0	115.1	89.4	156.9	142.8	285.6	141.5
	新聞等	16.6	5.9	27.3	7.4	35.3	36.5	64.9	29.0
	雑誌	10.1	5.7	8.7	32.7	30.2	21.7	57.1	24.8
	段ボール	6.4	12.6	26.2	8.3	30.8	16.0	104.3	30.4
	飲料用紙パック	2.7	0.6	5.1	0.6	3.1	1.7	3.2	2.5
	紙製容器包装類	21.7	96.2	47.8	40.4	57.5	66.9	56.1	54.8
	8. 缶類（資源）			0.3		0.8	0.5	0.1	0.3
	スチール缶			0.3		0.6	0.2	0.1	0.2
	アルミ缶					0.2	0.3		0.1
	9. びん類（資源）								
	リターナブルびん								
	ワンウェイびん								
	10. その他（資源）		0.7	0.8				0.4	0.3
白色の発泡スチロール製食品用トレイ		0.0	0.8				0.4	0.2	
ペットボトル		0.7						0.1	
11. その他									
合 計		1787.3	1245.0	1846.3	1841.9	4531.0	1167.7	2567.3	2199.7

ｂ．クラスター別不用物発生原単位詳細（不燃ごみ）

図表 2-42 クラスター別不用物発生原単位詳細（不燃ごみ）

(g/事業所, 日)

不 燃 ご み									
クラスター分類		西日暮里	東日暮里	荒川	南千住	町屋	東尾久	西尾久	全体
モニター数		15	13	15	16	18	18	17	112
可 燃 ご み	1. 紙類	0.2	0.1		2.3	4.2	0.1	4.1	1.7
	OA用紙				0.0	0.8	0.1	2.3	0.5
	その他紙類		0.1		2.3	2.3		1.8	1.0
	残さ付き新聞等	0.2				1.1			0.2
	2. 厨芥類			0.0	1.8	1.3		1.1	0.7
	厨芥（未使用食品）							1.1	0.2
	厨芥（調理くず、残飯）			0.0	1.8	1.3			0.5
	3. 繊維類					4.4	0.8	0.8	1.0
	4. 容器包装リサイクル法対象のプラスチック類	9.1	6.2	10.5	14.2	15.8	7.7	5.7	10.1
	プラスチック製容器包装類	0.5		0.5	8.0	13.6	0.9	3.7	4.2
	プラスチック製パック・カップ類								
	残さ付き容器包装類（プラスチック）		0.2	0.1	4.7	0.8	0.1	0.1	0.9
	ペットボトル（残さ付き）	3.1	2.0		0.2	0.1		0.4	0.8
	白色トレイ（残さ付き）				0.3				0.0
	ペットボトル識別マークのないボトル状容器	2.3	3.2	3.3		0.1	2.2	0.5	1.6
	レジ袋	0.6	0.2	0.5	0.9	0.4	1.1	0.3	0.6
	プラスチック製キャップ類	0.0	0.6	0.8	0.1	0.8	1.0	0.7	0.6
	発泡スチロールの緩衝材	2.6		5.3			2.4		1.4
	5. その他可燃物	68.9	11.0	42.1	19.6	547.2	57.2	19.0	119.0
	プラスチック類その他	65.3	11.0	19.0	12.8	541.8	33.4	17.9	109.6
	ゴム・皮革	3.6		9.4	6.5	0.1			2.7
	その他可燃物			13.7	0.3	5.3	23.8	1.1	6.7
不 燃 ご み	6. 不燃ごみ	149.8	89.3	173.1	26.1	83.0	277.3	141.8	136.8
	金属類	76.7	37.1	94.9	9.9	67.5	115.5	15.4	60.5
	ガラス・陶磁器類	18.9	8.0	45.0	1.6	5.3	65.1	15.1	23.3
	乾電池	1.9	6.3	2.3	0.8	1.1	3.5	0.2	2.2
	充電式乾電池	0.3							0.0
	ボタン電池								
	蛍光灯	4.6	18.7	5.3	0.6	0.8	17.8	18.8	9.4
	その他不燃物	47.4	19.2	25.6	13.2	8.3	75.4	92.3	41.4
資 源 物	7. 紙類（資源）	0.5	0.9	0.2	0.2	4.4	1.2	1.2	1.3
	新聞等					0.6			0.1
	雑誌								
	段ボール	0.1	0.9	0.2		2.3	1.2		0.7
	飲料用紙パック					0.4		0.5	0.1
	紙製容器包装類	0.4			0.2	1.1		0.7	0.4
	8. 缶類（資源）	10.8	26.4	6.1	8.8	9.6	6.1	0.8	9.2
	スチール缶	10.5	22.3	5.4	8.8	8.4	5.1	0.4	8.2
	アルミ缶	0.3	4.1	0.7		1.2	1.0	0.4	1.0
	9. びん類（資源）	3.6	14.4	12.8		17.7	8.8	12.2	9.9
	リターナブルびん							2.9	0.4
	ワンウェイびん	3.6	14.4	12.8		17.7	8.8	9.3	9.5
	10. その他（資源）								
	白色の発泡スチロール製食品用トレイ								
ペットボトル									
11. その他	223.8	22.1		43.3		7.8	33.3	45.0	
合 計		466.7	170.4	244.8	116.3	687.6	367.0	220.0	334.7

c. クラスター別不用物発生原単位詳細（資源物）

図表 2-43 クラスター別不用物発生原単位詳細（資源物）

(g/事業所, 日)

資 源 物									
クラスター分類		西日暮里	東日暮里	荒川	南千住	町屋	東尾久	西尾久	全体
モニター数		15	13	15	16	18	18	17	112
可 燃 ご み	1. 紙類	1.9	0.3	28.1	0.2	4.6	0.2	1.8	5.1
	OA用紙	0.2		16.9		2.9	0.1	0.5	2.9
	その他紙類	1.7	0.3	11.2	0.2		0.1	0.3	1.8
	残さ付き新聞等					1.7		1.0	0.4
	2. 厨芥類			0.2		0.7	2.1		0.5
	厨芥（未使用食品）								
	厨芥（調理くず、残飯）			0.2		0.7	2.1		0.5
	3. 繊維類						37.2		6.0
	4. 容器包装リサイクル法対象のプラスチック類	2.4	1.0	3.2	1.8	2.2	3.9	16.1	4.5
	プラスチック製容器包装類	0.1	0.2	0.1		0.3	0.4	0.3	0.2
	プラスチック製バック・カップ類	0.1					1.2	0.4	0.3
	残さ付き容器包装類（プラスチック）	0.5	0.3		0.1	1.5		0.7	0.5
	ペットボトル（残さ付き）	0.3		2.4			0.7	12.3	2.3
	白色トレイ（残さ付き）	1.0	0.1			0.1		0.1	0.2
	ペットボトル識別マークのないボトル状容器				0.9		0.1		0.1
	レジ袋	0.2	0.3	0.2	0.1	0.1	0.6	1.4	0.4
	プラスチック製キャップ類	0.2	0.1	0.5	0.7	0.1	0.9	0.9	0.5
	発泡スチロールの緩衝材					0.1			0.0
	5. その他可燃物		0.1			0.4	0.1	5.5	0.9
	プラスチック類その他		0.1			0.1	0.1	4.8	0.8
	ゴム・皮革						0.0		0.0
	その他可燃物					0.3		0.7	0.1
不 燃 ご み	6. 不燃ごみ	0.7	1.3	0.1	0.1	68.3	3.4	1.3	11.9
	金属類	0.7	0.7	0.1	0.1	66.6	0.7	0.9	11.1
	ガラス・陶磁器類					1.7	2.7		0.7
	乾電池								
	充電式乾電池								
	ボタン電池								
	蛍光灯								
	その他不燃物		0.6					0.4	0.1
資 源 物	7. 紙類（資源）	1060.0	338.5	831.5	604.3	640.8	513.8	534.9	645.6
	新聞等	322.5	39.7	314.1	51.5	309.4	198.1	11.8	180.6
	雑誌	220.3	224.1	250.9	518.0	81.6	100.8	3.3	192.9
	段ボール	507.4	71.4	244.3	30.9	219.2	206.2	518.3	260.4
	飲料用紙バック	0.5	0.7	3.2			1.0		0.7
	紙製容器包装類	9.3	2.6	19.0	3.9	30.6	7.7	1.5	11.0
	8. 缶類（資源）	28.1	29.9	25.6	35.9	38.9	22.2	9.3	27.0
	スチール缶	22.7	25.6	19.8	28.7	27.8	9.8	6.6	19.8
	アルミ缶	5.4	4.3	5.8	7.2	11.1	12.4	2.7	7.2
	9. びん類（資源）	79.6	102.9	17.7	18.1	57.0	64.5	158.1	71.1
	リターナブルびん	2.8	54.4			25.4	6.7	111.7	28.8
	ワンウェイびん	76.8	48.5	17.7	18.1	31.6	57.8	46.4	42.3
	10. その他（資源）	38.4	22.3	4.7	10.6	12.6	19.5	22.2	18.4
	白色の発泡スチロール製食品用トレイ	1.3	0.2		0.9	0.2	0.2	0.6	0.5
	ペットボトル	37.1	22.1	4.7	9.7	12.4	19.3	21.6	17.9
	11. その他					8.1			1.3
合 計		1211.1	496.3	911.1	671.0	833.6	666.9	749.2	792.3

③事業系ごみ組成分析調査

A. 可燃ごみ

a. 可燃ごみにおける組成割合

可燃ごみにおける組成割合をみると、全体では紙類が 37.9%と最も高く、次いで厨芥類が 29.1%となっている。厨芥類の中には使用されていない物も 0.5%含まれていた。

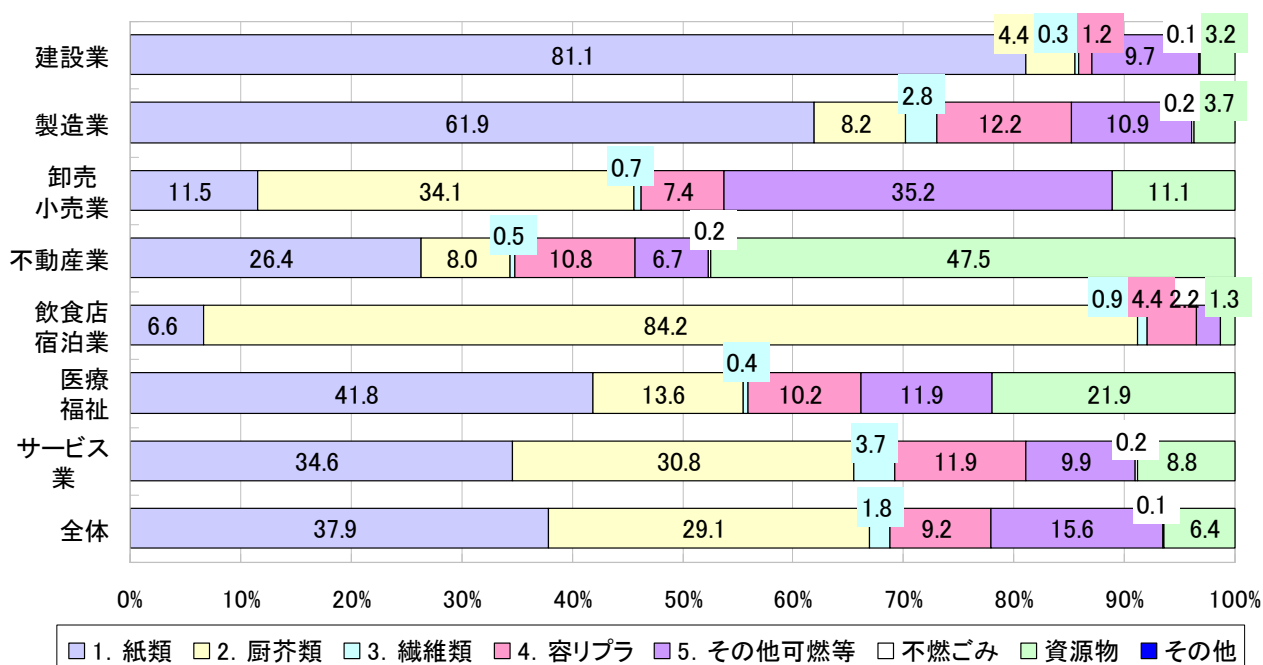
業種別にみると、紙類の割合が最も高い業種は建設業 81.1%、次いで製造業 61.9%、医療・福祉 41.8%、サービス業 34.6%の順であった。厨芥類の割合が最も高い業種は飲食・宿泊業 84.2%、次いで卸売・小売業 34.1%であった。

図表 2-44 可燃ごみの大分類による組成割合

(単位：%)

分別項目	建設業	製造業	卸売 小売業	不動産業	飲食店 宿泊業	医療 福祉	サービス 業	全体	全体原単位 (g/事業所, 日)
可燃ごみ	96.7	96.0	88.9	52.4	98.3	77.9	90.9	93.6	2055.2
1. 紙類	81.1	61.9	11.5	26.4	6.6	41.8	34.6	37.9	833.0
2. 厨芥類	4.4	8.2	34.1	8.0	84.2	13.6	30.8	29.1	640.5
3. 繊維類	0.3	2.8	0.7	0.5	0.9	0.4	3.7	1.8	39.0
4. 容リプラ	1.2	12.2	7.4	10.8	4.4	10.2	11.9	9.2	201.4
5. その他可燃等	9.7	10.9	35.2	6.7	2.2	11.9	9.9	15.6	341.3
不燃ごみ	0.1	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.2	0.1	2.4
資源物	3.2	3.7	11.1	47.5	1.3	21.9	8.8	6.4	142.1
その他									
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	2199.7

注：容リプラとは、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類のこと。



ｂ．可燃ごみに含まれている資源物等の混入割合

可燃ごみに含まれている資源物の混入割合をみると、全体では6.4%混入していた。

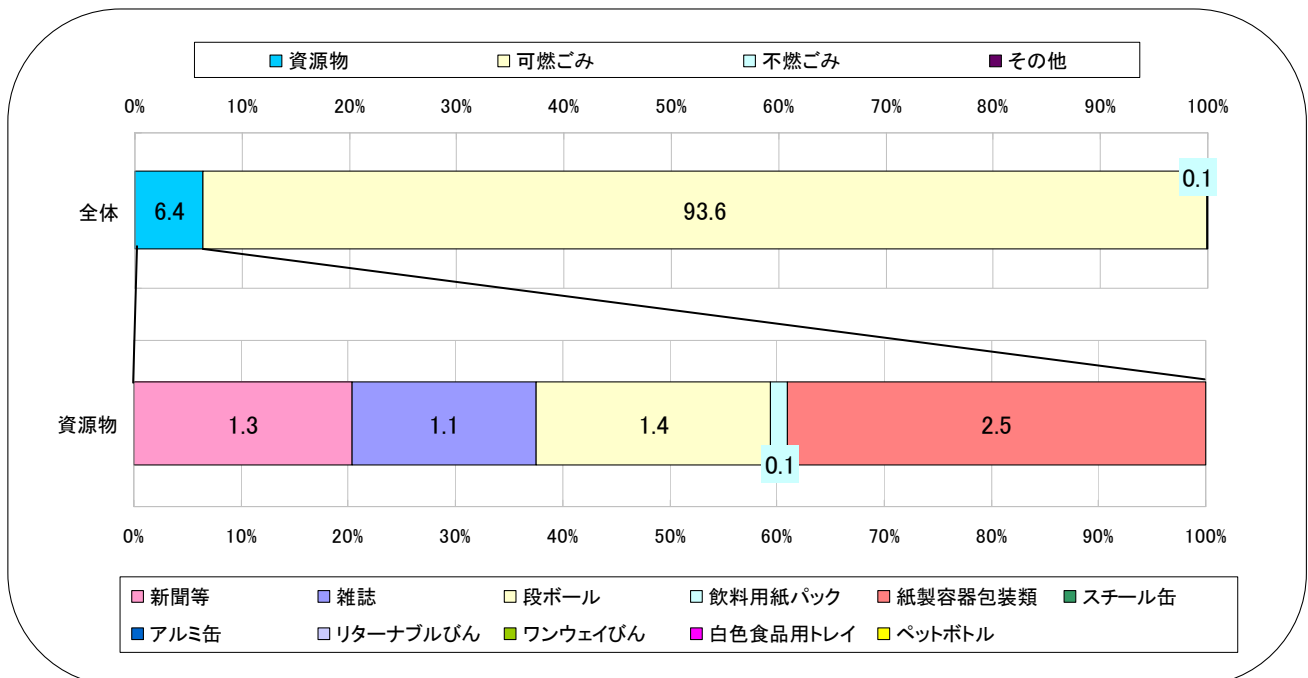
業種別にみると資源物の混入が最も高いのは不動産業の 47.5%で、次いで医療・福祉の 21.9%であった。

不燃ごみの混入は全業種で 0.0～0.2%とかなり低い割合であった。

図表 2-45 可燃ごみへの資源物等の混入割合

(単位：%)

分別項目	建設業	製造業	卸売 小売業	不動産業	飲食店 宿泊業	医療 福祉	サービス 業	全体	全体原単位 (g/事業所, 日)
資源物	3.2	3.7	11.1	47.5	1.3	21.9	8.8	6.4	142.1
新聞等	0.3	0.7	3.3	0.7	0.0	3.0	1.2	1.3	29.0
雑誌	0.3	0.4	1.4	38.4	0.1	2.6	1.3	1.1	24.8
段ボール	0.2	0.5	3.4	3.7	0.4	3.2	1.7	1.4	30.4
飲料用紙パック	0.1	0.1	0.1	0.4	0.1	0.4	0.5	0.1	2.5
紙製容器包装類	2.3	2.0	2.9	4.3	0.7	12.7	4.1	2.5	54.8
スチール缶			0.0		0.0			0.0	0.2
アルミ缶		0.0	0.0					0.0	0.1
リターナブルびん									
ワンウェイびん									
白色食品用トレイ		0.0			0.0			0.0	0.2
ペットボトル		0.0						0.0	0.1
可燃ごみ	96.7	96.0	88.9	52.4	98.3	77.9	90.9	93.6	2055.2
不燃ごみ	0.1	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.2	0.1	2.4
その他									
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	2199.7



B. 不燃ごみ

a. 不燃ごみにおける組成割合

不燃ごみにおける組成割合をみると、全体での混入状況は可燃ごみ 39.5%、資源物 6.1%、その他 13.5%であった。

業種別にみると、可燃ごみの混入が最も多い業種は製造業 70.1%、次いで不動産業 52.7%であった。

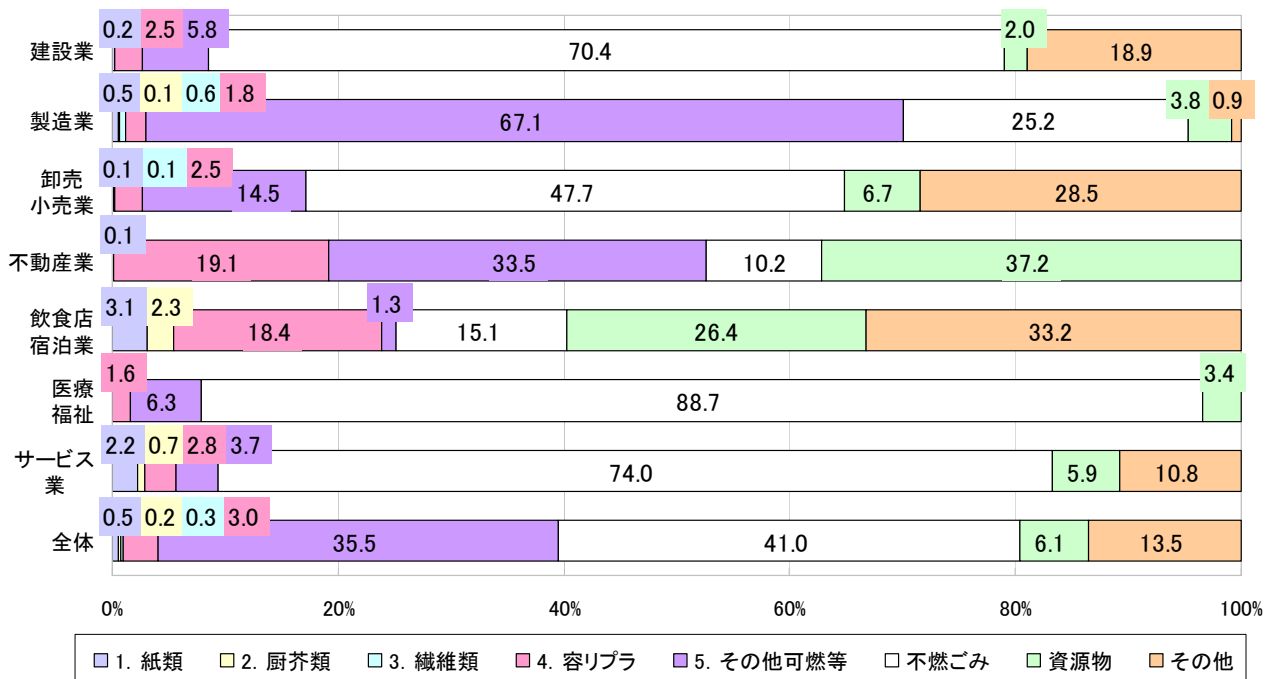
その他（一斗缶や土、粗大ごみ等）の混入が多い業種は飲食・宿泊業 33.2%、卸売・小売業 28.5%、であった。

図表 2-46 不燃ごみへの可燃ごみ等の混入割合

(単位：%)

分別項目	建設業	製造業	卸売 小売業	不動産業	飲食店 宿泊業	医療 福祉	サービス 業	全体	全体原単位 (g/事業所, 日)
可燃ごみ	8.5	70.1	17.2	52.7	25.1	7.9	9.4	39.5	132.5
1. 紙類	0.2	0.5	0.1	0.1	3.1	0.0	2.2	0.5	1.7
2. 厨芥類	0.0	0.1	0.0	0.0	2.3	0.0	0.7	0.2	0.7
3. 繊維類		0.6	0.1					0.3	1.0
4. 容リプラ	2.5	1.8	2.5	19.1	18.4	1.6	2.8	3.0	10.1
5. その他可燃等	5.8	67.1	14.5	33.5	1.3	6.3	3.7	35.5	119.0
不燃ごみ	70.4	25.2	47.7	10.2	15.1	88.7	74.0	41.0	136.8
資源物	2.0	3.8	6.7	37.2	26.4	3.4	5.9	6.1	20.4
その他	18.9	0.9	28.5		33.2		10.8	13.5	45.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	334.7

注：容リプラとは、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類のこと。



ｂ．不燃ごみに含まれている資源物等の混入割合

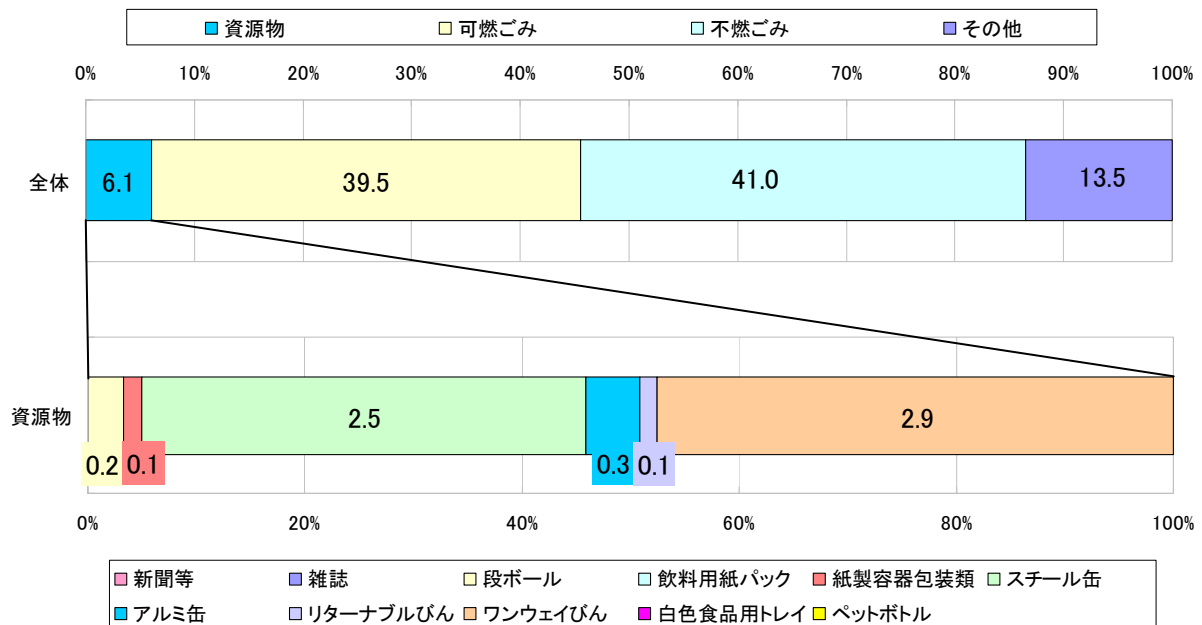
不燃ごみに含まれている資源物等の混入割合をみると、全体では、資源物が 6.1%混入しており、その中でもワンウェイびん 2.9%が最も高く、次いでスチール缶 2.5%であった。

業種別にみると、資源物の混入が最も高いのは不動産業 37.2%であり、次いで飲食・宿泊業 26.4%であった。

図表 2-47 不燃ごみへの資源物等の混入割合

(単位：%)

分別項目	建設業	製造業	卸売 小売業	不動産業	飲食店 宿泊業	医療 福祉	サービス 業	全体	全体原単位 (g/事業所, 日)
資源物	2.0	3.8	6.7	37.2	26.4	3.4	5.9	6.1	20.4
新聞等		0.1						0.0	0.1
雑誌									
段ボール		0.3	0.1			1.3		0.2	0.7
飲料用紙パック		0.0					0.3	0.0	0.1
紙製容器包装類		0.1	0.1		0.4		0.0	0.1	0.4
スチール缶		1.8	1.1	32.4	14.7	0.1	4.0	2.5	8.2
アルミ缶		0.4	0.2	0.6	0.7		0.3	0.3	1.0
リターナブルびん			0.4					0.1	0.4
ワンウェイびん	2.0	1.1	4.8	4.2	10.6	2.0	1.3	2.9	9.5
白色食品用トレイ									
ペットボトル									
可燃ごみ	8.5	70.1	17.2	52.7	25.1	7.9	9.4	39.5	132.5
不燃ごみ	70.4	25.2	47.7	10.2	15.1	88.7	74.0	41.0	136.8
その他	18.9	0.9	28.5		33.2		10.8	13.5	45.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	334.7



C. 資源物

a. 資源物に含まれている可燃ごみ等の混入割合

資源物に含まれている可燃ごみ等の混入割合をみると、全体で可燃ごみは 2.3%、不燃ごみは 1.5% 混入していた。

全体的に、可燃ごみ等の混入はかなり少なく、最も割合の大きかった業種は建設業で 7.5%、次いで製造業で 5.3% であった。

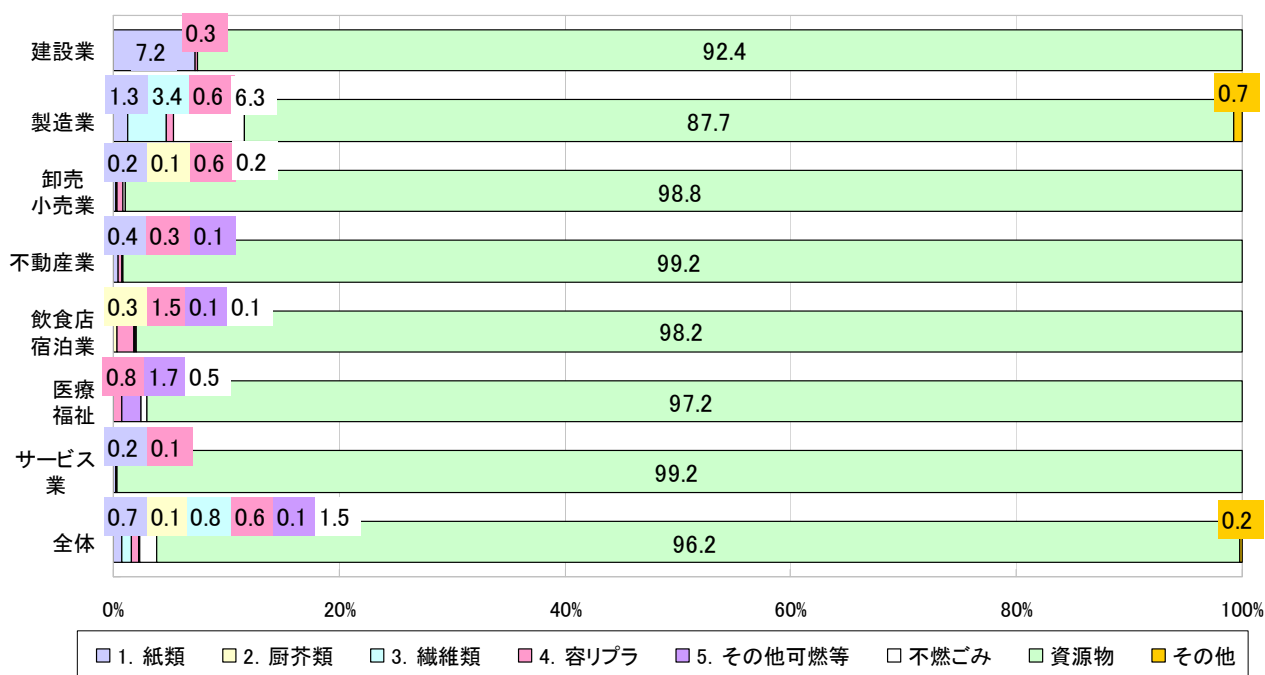
混入されている可燃ごみ 2.3% の詳細をみると、繊維類 0.8%、次いで紙類 0.7%、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類 0.6% の順で高く、この 3 種合計で 2.1% と大半を占めていた。

図表 2-48 資源物への可燃ごみ等の混入割合

(単位：%)

分別項目	建設業	製造業	卸売 小売業	不動産業	飲食店 宿泊業	医療 福祉	サービス 業	全体	全体原単位 (g/事業所, 日)
可燃ごみ	7.5	5.3	0.9	0.8	1.9	2.5	0.3	2.3	17.0
1. 紙類	7.2	1.3	0.2	0.4	0.0	0.0	0.2	0.7	5.1
2. 厨芥類	0.0	0.0	0.1	0.0	0.3	0.0	0.0	0.1	0.5
3. 繊維類		3.4						0.8	6.0
4. 容リプラ	0.3	0.6	0.6	0.3	1.5	0.8	0.1	0.6	4.5
5. その他可燃等	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	1.7	0.0	0.1	0.9
不燃ごみ	0.0	6.3	0.2	0.0	0.1	0.5	0.0	1.5	11.9
資源物	92.4	87.7	98.8	99.2	98.2	97.2	99.2	96.2	762.1
その他		0.7						0.2	1.3
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	792.3

注：容リプラとは、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類のこと。

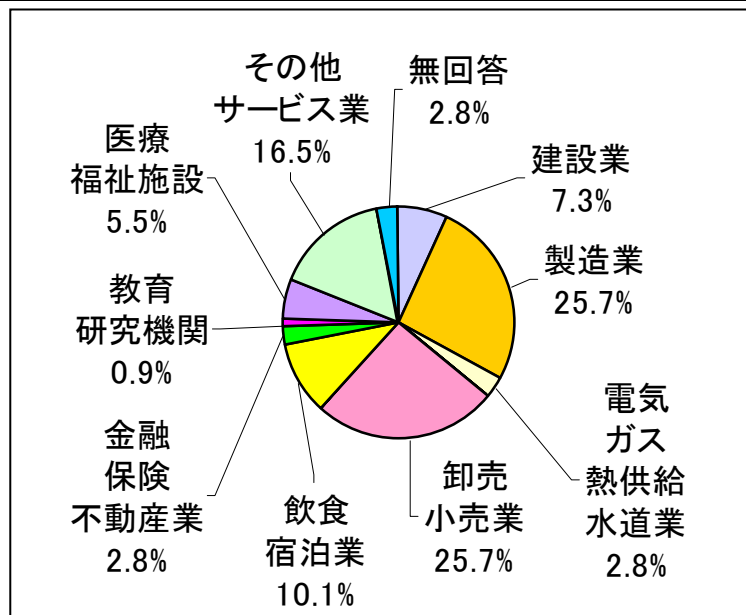


④モニターアンケート結果（回答数１０９）

【事業系】

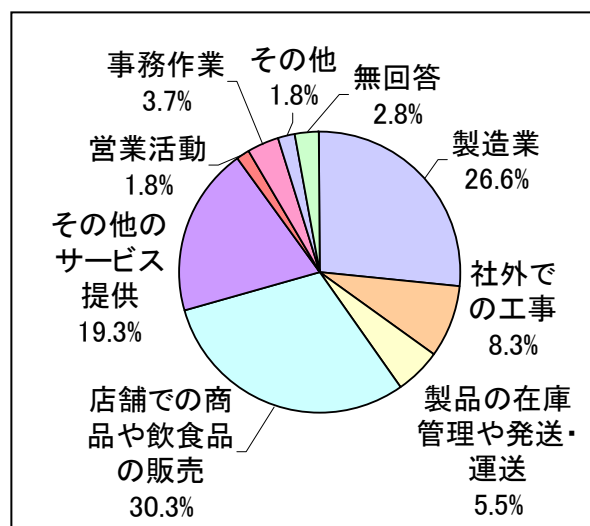
図表 2-49 業種及び従業員数

産業分類		1～4人		5～9人		10～19人		無回答		全体	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
建設業		6	5.5	2	1.8	0	0.0	0	0.0	8	7.3
製造業		20	18.3	7	6.4	1	0.9	0	0.0	28	25.7
電気・ガス・熱供給・水道業		3	2.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	2.8
情報通信業		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
運輸業		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
卸売 小売業	卸売・小売	22	20.2	4	3.7	0	0.0	2	1.8	28	25.7
	コンビニエンスストア										
	スーパー										
飲食 宿泊業	ファミリーレストラン	11	10.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	11	10.1
	ファーストフード										
	その他飲食店										
金融・保険・不動産業		3	2.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	2.8
教育・研究機関		0	0.0	1	0.9	0	0.0	0	0.0	1	0.9
医療・福祉施設		2	1.8	2	1.8	2	1.8	0	0.0	6	5.5
その他サービス業		14	12.8	2	1.8	0	0.0	2	1.8	18	16.5
無回答		2	1.8	1	0.9	0	0.0	0	0.0	3	2.8
全体		83	76.1	19	17.3	3	2.7	4	3.6	109	100.0



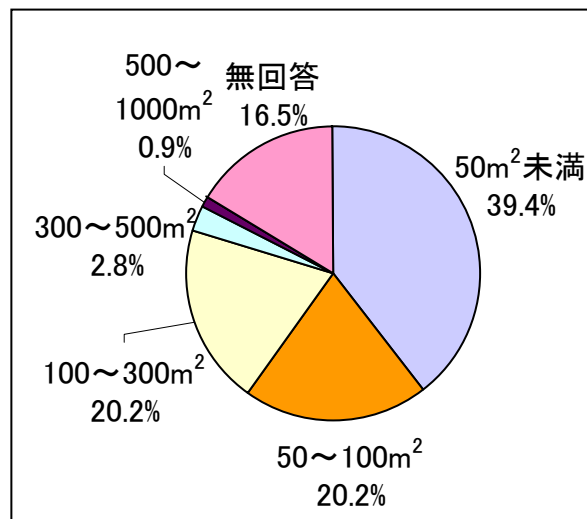
図表 2-50 作業内容

項目	件数	割合 (%)
製造業	29	26.6
社外での工事	9	8.3
製品の在庫管理や発送・運送	6	5.5
店舗での商品や飲食品の販売	33	30.3
その他のサービス提供	21	19.3
営業活動	2	1.8
事務作業	4	3.7
その他	2	1.8
無回答	3	2.8
全体	109	100.0



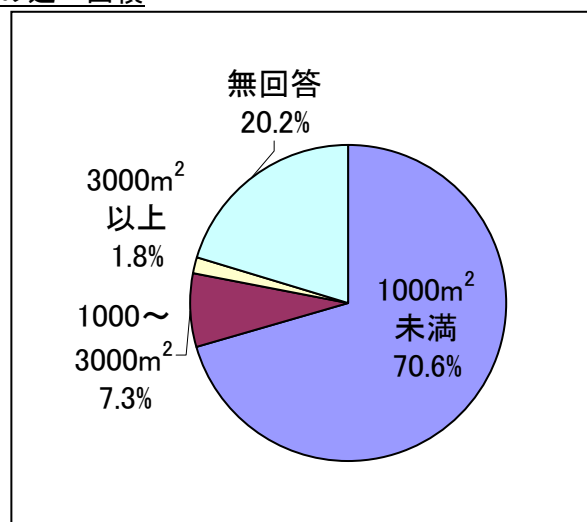
図表 2-51 延べ床面積

項 目	件数	割合 (%)
50m ² 未満	43	39.4
50～100m ²	22	20.2
100～300m ²	22	20.2
300～500m ²	3	2.8
500～1000m ²	1	0.9
1000m ² 以上	0	0.0
無回答	18	16.5
全体	109	100.0



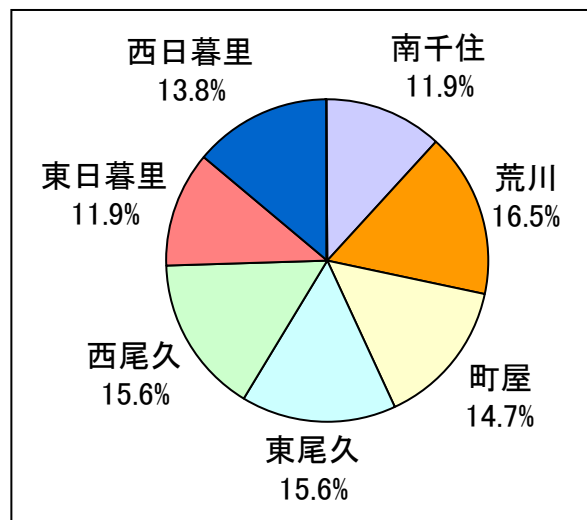
図表 2-52 事業所の入っている建物全体のおおよその延べ面積

項 目	件数	割合 (%)
1000m ² 未満	77	70.6
1000～3000m ²	8	7.3
3000m ² 以上	2	1.8
無回答	22	20.2
全体	109	100.0



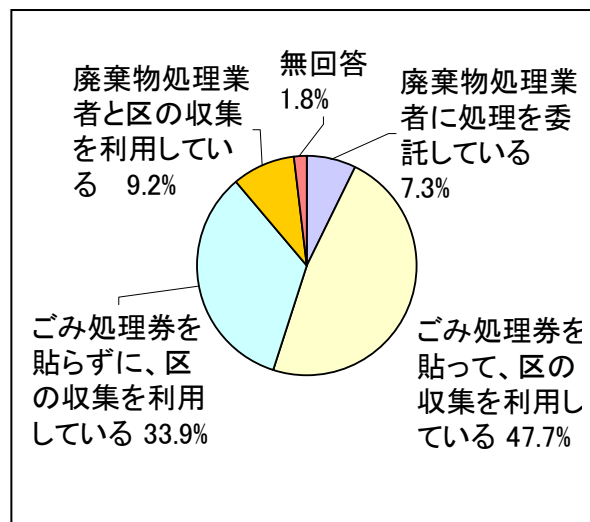
図表 2-53 所在地域

項 目	件数	割合 (%)
南千住	13	11.9
荒川	18	16.5
町屋	16	14.7
東尾久	17	15.6
西尾久	17	15.6
東日暮里	13	11.9
西日暮里	15	13.8
無回答	0	0.0
全体	109	100.0



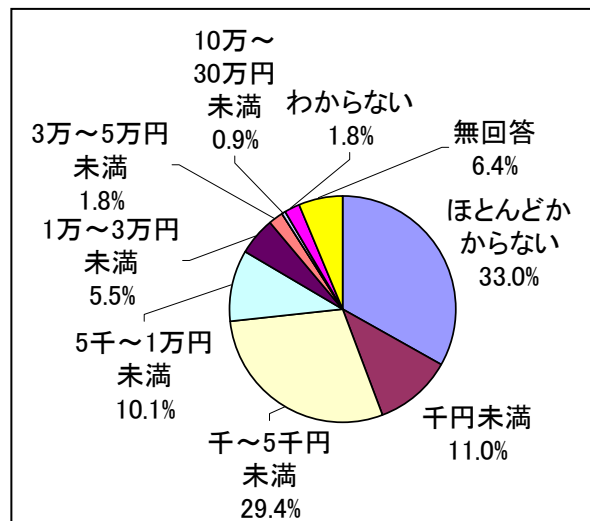
図表 2-54 ごみの排出方法

項 目	件数	割合 (%)
清掃工場の処理施設に直接持ち込んでいる	0	0.0
廃棄物処理業者に処理を委託している	8	7.3
ごみ処理券を貼って、区の収集を利用している	52	47.7
ごみ処理券を貼らずに、区の収集を利用している	37	33.9
廃棄物処理業者と区の収集を利用している	10	9.2
無回答	2	1.8
全体	109	100.0



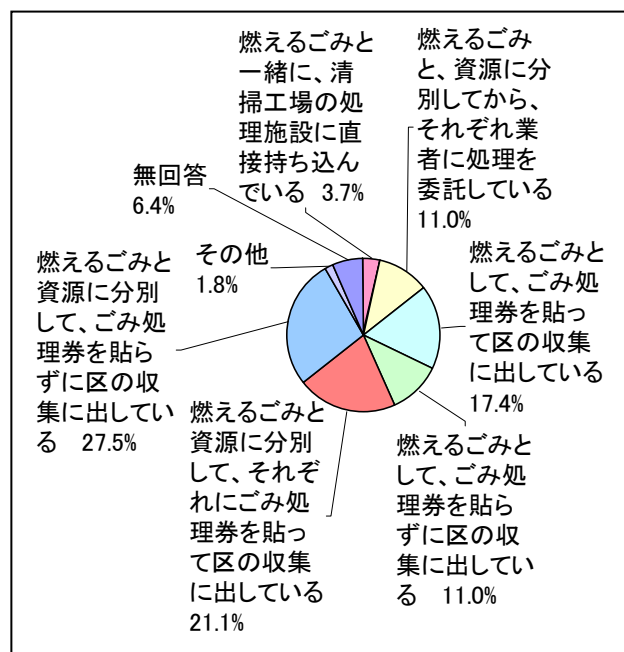
図表 2-55 ごみや資源物の毎月の処理費用

項 目	件数	割合 (%)
ほとんどかからない	36	33.0
千円未満	12	11.0
千～5千円未満	32	29.4
5千～1万円未満	11	10.1
1万～3万円未満	6	5.5
3万～5万円未満	2	1.8
5万～10万円未満	0	0.0
10万～30万円未満	1	0.9
30万円以上	0	0.0
わからない	2	1.8
無回答	7	6.4
全体	109	100.0



図表 2-56 紙ごみ（OA 用紙・印刷物・段ボール等）の処理方法

項 目	件数	割合 (%)
燃えるごみと一緒に、清掃工場の処理施設に直接持ち込んでいる	4	3.7
燃えるごみと一緒に、業者に処理を委託している	0	0.0
燃えるごみと、資源に分別してから、それぞれ業者に処理を委託している	12	11.0
燃えるごみとして、ごみ処理券を貼って区の収集に出している	19	17.4
燃えるごみとして、ごみ処理券を貼らずに区の収集に出している	12	11.0
燃えるごみと資源に分別して、それぞれにごみ処理券を貼って区の収集に出している	23	21.1
燃えるごみと資源に分別して、ごみ処理券を貼らずに区の収集に出している	30	27.5
その他	2	1.8
無回答	7	6.4
全体	109	100.0

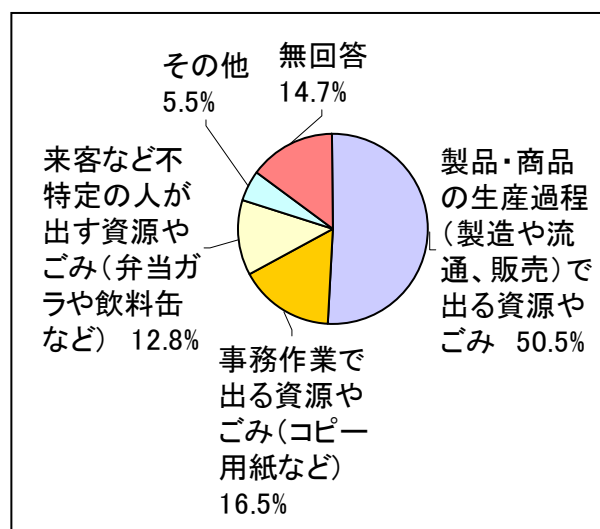


※その他の意見

- ・業者に持ち込み。
- ・自宅で燃やす。

図表 2-57 資源物やごみの発生過程

項 目	件数	割合 (%)
製品・商品の生産過程（製造や流通、販売）で出る資源やごみ	55	50.5
事務作業で出る資源やごみ（コピー用紙など）	18	16.5
来客など不特定の人が出す資源やごみ（弁当ガラや飲料缶など）	14	12.8
その他	6	5.5
無回答	16	14.7
全体	109	100.0

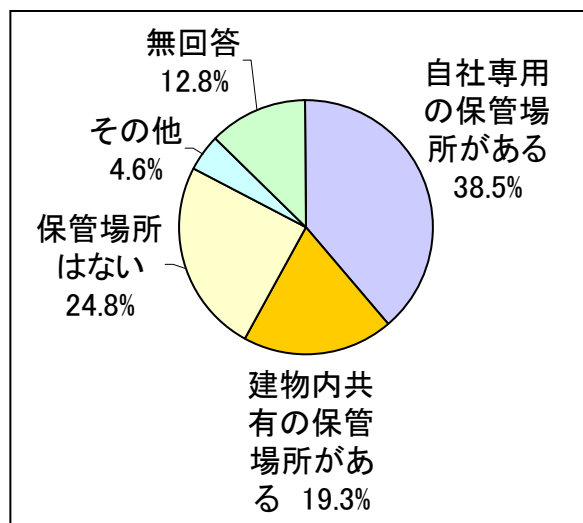


※その他の意見

- ・特にごみは多く発生しない。

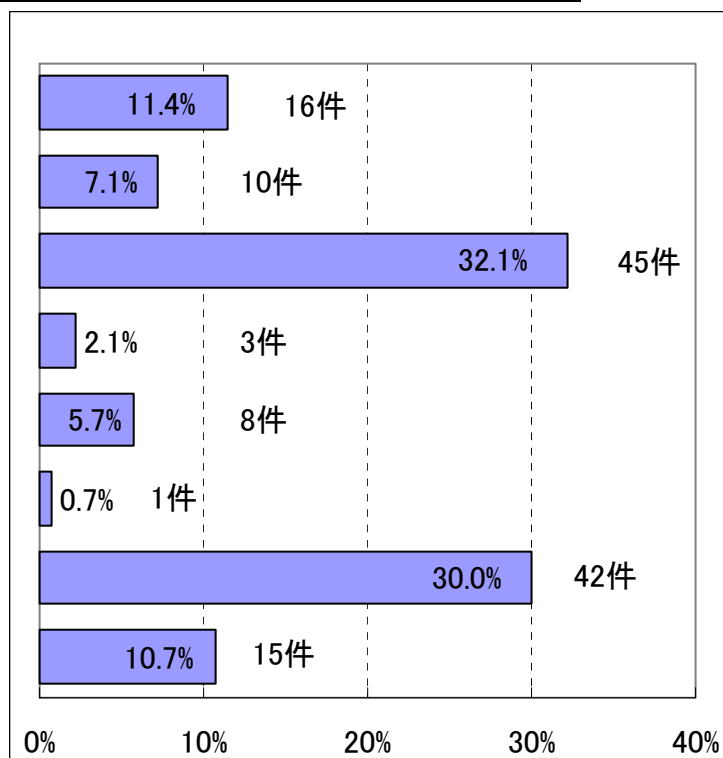
図表 2-58 ごみ、資源物の保管場所

項 目	件数	割合 (%)
自社専用の保管場所がある	42	38.5
建物内共有の保管場所がある	21	19.3
保管場所はない	27	24.8
その他	5	4.6
無回答	14	12.8
全体	109	100.0

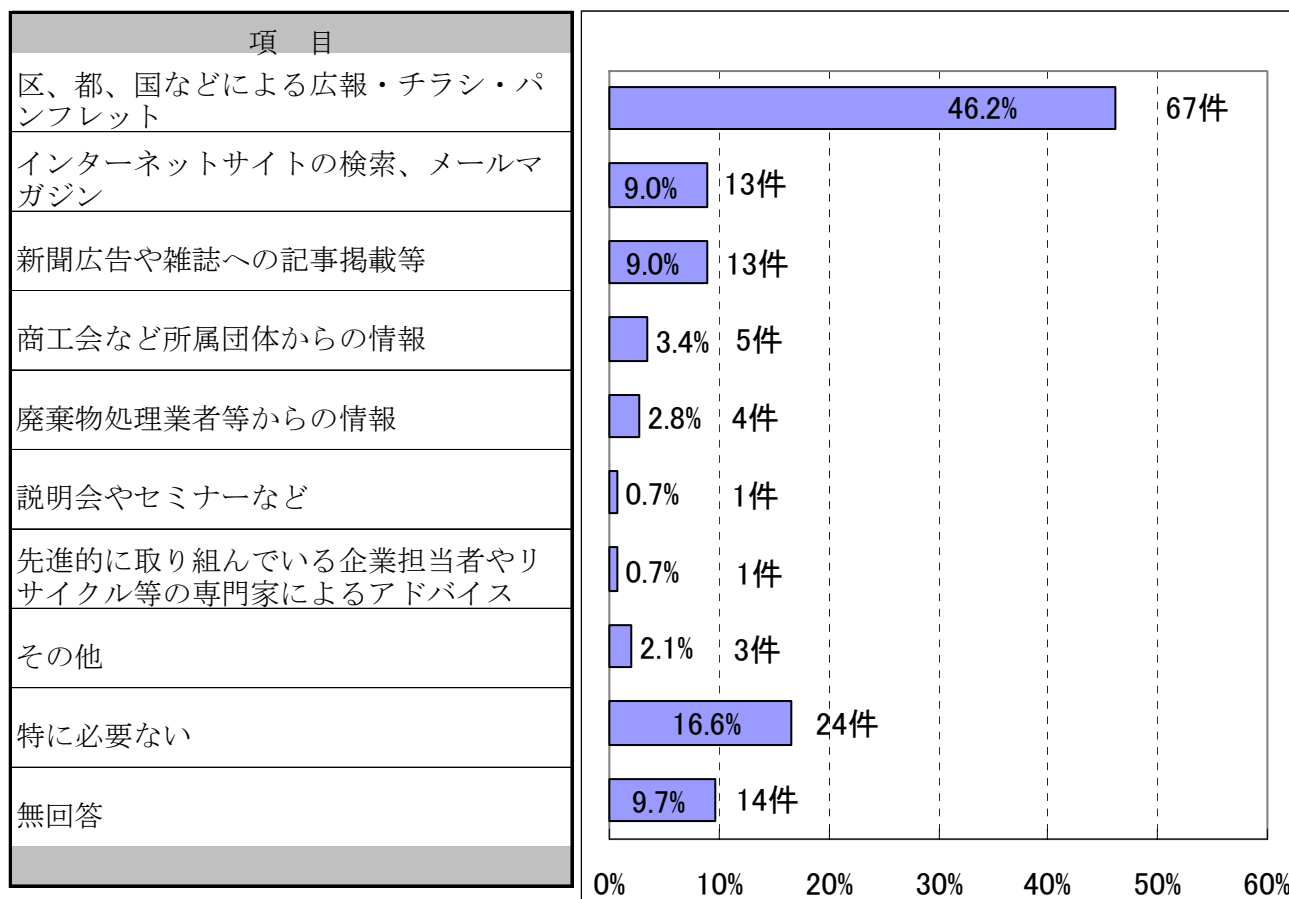


図表 2-59 ごみ減量・リサイクルの取り組みを検討するうえで欲しい情報（複数回答）

項 目
処理業者・資源回収業者に関する情報
法律や条令等規則に関する情報
区の事業や収集に関する情報
国の動向に関する情報
類似事業所での成功事例や失敗事例
その他
特に必要ない
無回答



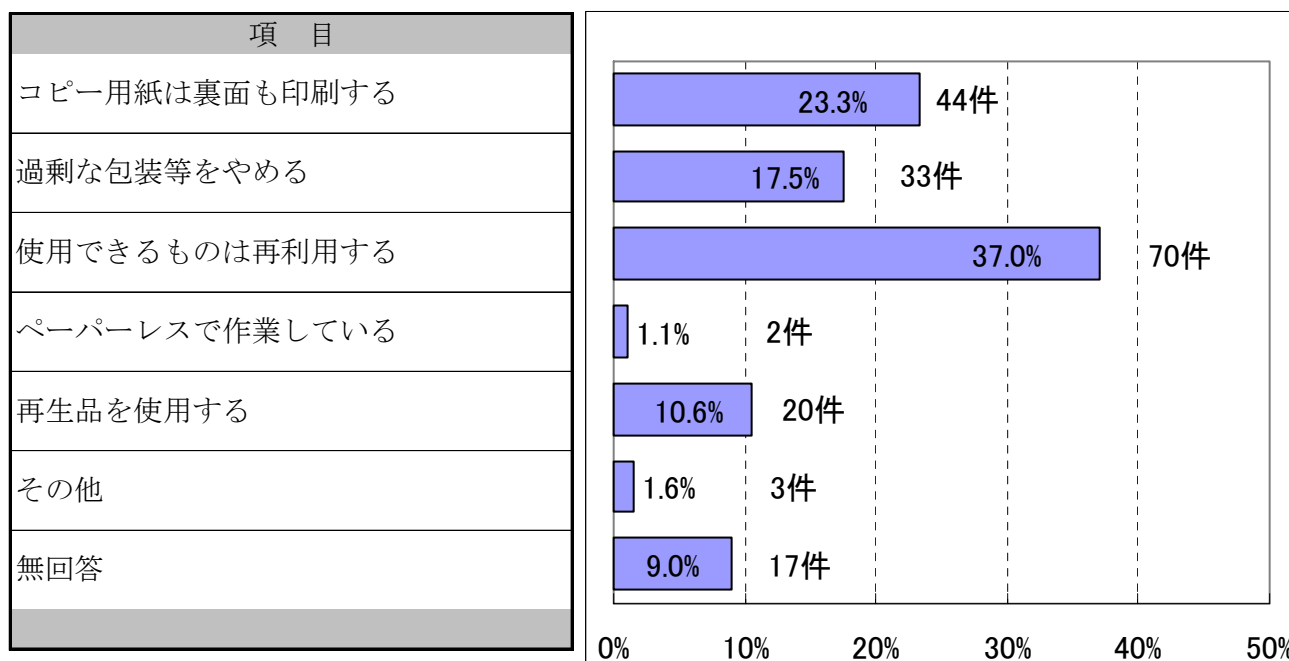
図表 2-60 情報入手する際の手段や媒体（複数回答）



※その他意見

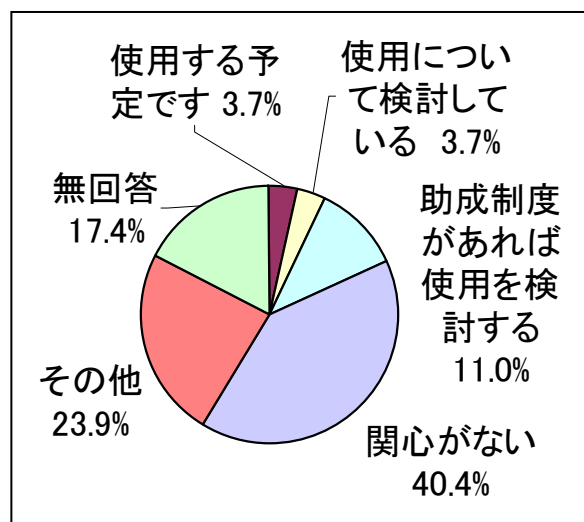
- ・町会回報やテレビ。

図表 2-61 事業所で行っているエコ活動（複数回答）



図表 2-62 事業所用の生ごみ処理機

項 目	件数	割合 (%)
現在使用している	0	0.0
使用する予定です	4	3.7
使用について検討している	4	3.7
助成制度があれば使用を検討する	12	11.0
関心がない	44	40.4
その他	26	23.9
無回答	19	17.4
全体	109	100.0



※その他意見

- ・事業所の生ごみはほとんど無い。
- ・置くスペースが無い。

※自由意見

- ・社会生活は正しい道。〔ごみ〕は大切に扱う庶民の心。スッキリ。サッパリ。元気。ごみと資源についてご苦労様です。
- ・1日分のごみ量がどれぐらいか考えたことが無く、1週間単位では分かっていたが、1日分の量を今回の調査で知ることができましたが、以外に少ないことに気づきました。当店はお客様の数、施術の内容でごみの出かたが違うのでおそらく1日単位では土日が多いと予想できますが実際はどうなのか分かりますかと思ひます。
- ・段ボールはかさばるので毎日ためておくことはできないために、当社の場合水曜日、土曜日に出すしかないと思ひます。
- ・何もかも可燃ごみとして出している家庭がある。1家庭につき45リッター1つ無料。2個目からは有料にしてはどうか？そうすれば分類を真面目にやるようになるのではと思う。
- ・毎日ごみがたくさん出るので驚きました。生活の中、仕事の中で出るごみを少なくする工夫が必要だと思ひました。
- ・事業所ごみ、家庭ごみすべて有料にすべきだと思ひます。ごみの減量になると思ひます。
- ・区の可燃ごみの収集を週2回から3回に増やして欲しい。
- ・年間通して、清掃局の方々には大変お世話になっていると思ひます。暑い時も寒い時も。特に暑い時は臭いとの戦いでもあると思ひます。お体にお気をつけて仕事をなさってほしいと考えております。感謝しております。
- ・缶及びペットボトルの資源ごみを出す時間が町内会でAM8:00になっていますが、朝早い時間間に間に合いません。AM10:00以降にさせていただけるよう話してもらえればと思ひます。

第三章 ごみ減量及びリサイクル・資源回収への取組に関する意識調査

3-1 区民アンケート調査

(1) 調査の目的

区民を対象に、ごみの減量、リサイクル及びごみの適正処理についての意識や行動実態等を把握することを目的として実施した。

(2) 調査対象

住民基本台帳から、区内に住んでいる 20 歳以上の世帯主 500 人を無作為抽出し、アンケート調査票を送付した。

(3) 調査期間

配布期間：平成 22 年 8 月 24 日 発送

回収期間：平成 22 年 9 月 6 日（月）迄

(4) 調査方法

調査票の発送及び回収は郵送で行った。

(5) 回収状況

配布数	回収数	回収率
500 通	212 通	42.4%

(6) アンケート調査結果

以下の表及びグラフ内の割合（％）は小数点第二位で四捨五入しているため、計が合わない場合がある。また、複数回答の場合には、回答の各項目をそれぞれ 100％として割合を算出している。

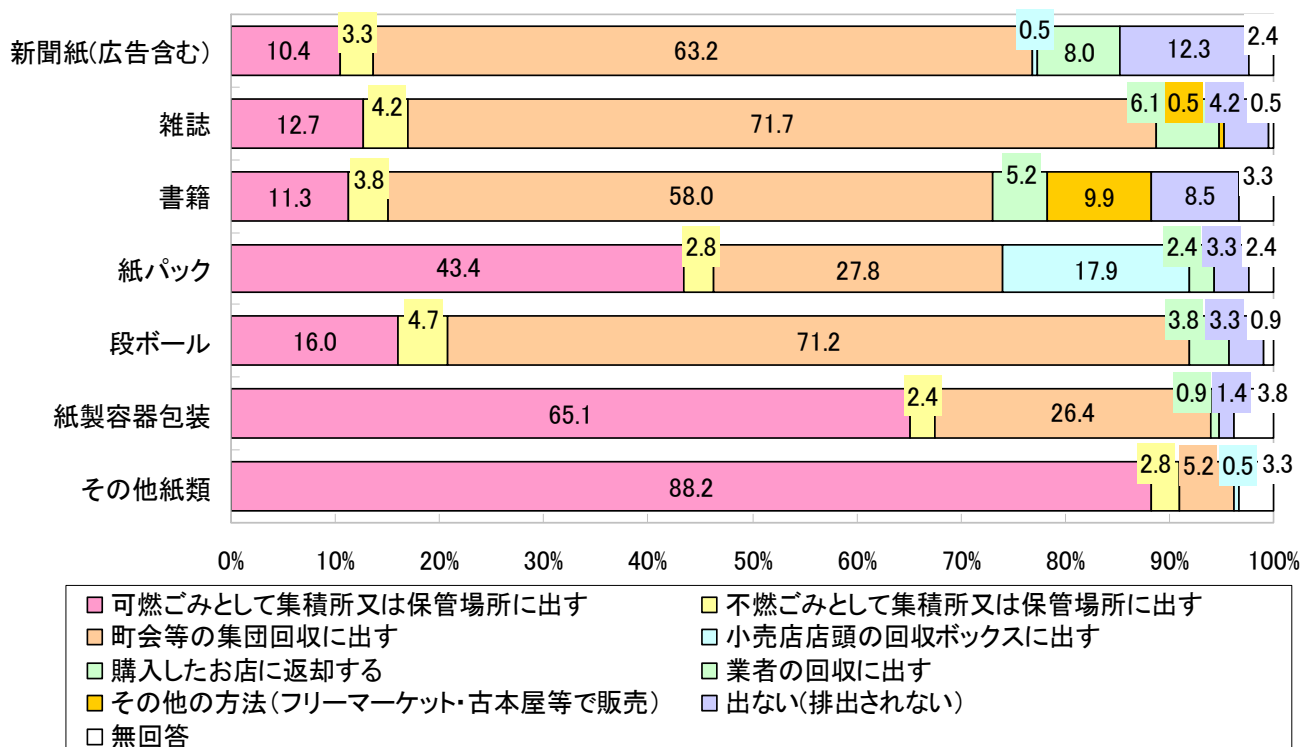
①ごみや資源物の処理方法。

新聞紙（広告含む）、雑誌、書籍、段ボールは「町会等の集団回収に出す」が 58.0～71.7%と最も高かった。紙パック、紙製容器包装、その他紙類は「可燃ごみとして集積所又は保管場所に出す」が 43.4～88.2%と最も高かった。

図表 3-1 ごみや資源物の処理方法（紙類）

(%)

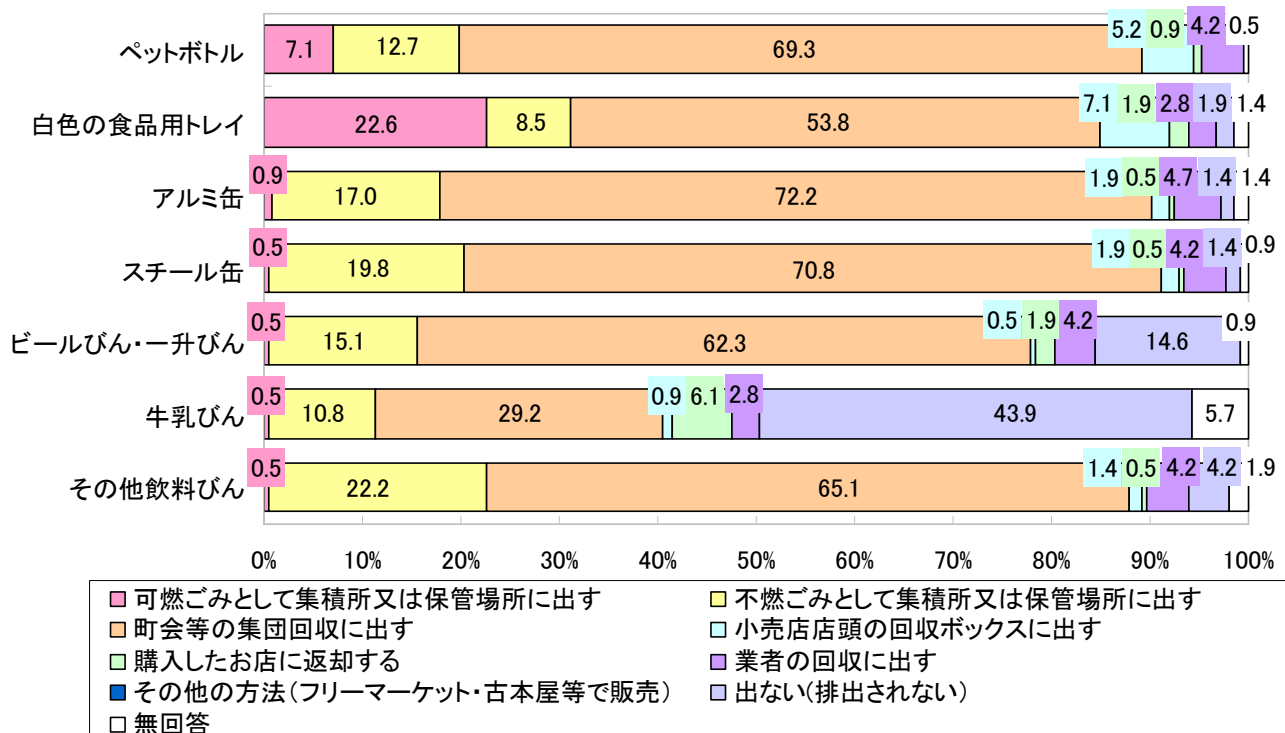
	1 又は 可燃 ごみ と 所 に て 出 集 積 所	2 又は 不 燃 ご み と 所 に て 出 集 積 所	3 町 会 等 の 集 団 回 収 に 出 す	4 小 売 店 店 頭 の 回 収 ボ ッ ス	5 購 入 し た お 店 に 返 却 す	6 業 者 の 回 収 に 出 す	7 マ ー ケ ッ ト ・ 古 本 屋 等 で 販 売 す	8 出 な い （ 排 出 さ れ な い ）	9 無 回 答	合 計
新聞紙(広告含む)	10.4	3.3	63.2	0.5		8.0		12.3	2.4	100.0
雑誌	12.7	4.2	71.7			6.1	0.5	4.2	0.5	100.0
書籍	11.3	3.8	58.0			5.2	9.9	8.5	3.3	100.0
紙パック	43.4	2.8	27.8	17.9		2.4		3.3	2.4	100.0
段ボール	16.0	4.7	71.2			3.8		3.3	0.9	100.0
紙製容器包装	65.1	2.4	26.4			0.9		1.4	3.8	100.0
その他紙類	88.2	2.8	5.2	0.5					3.3	100.0



ペットボトル、白色の食品用トレイ、アルミ缶、スチール缶、ビールびん・一升びん、その他飲料びんは、「町会等の集団回収に出す」が 53.8～72.2%と最も高かった。牛乳びんは「出ない（排出されない）」が 43.9%で最も高かった。

図表 3-2 ごみや資源物の処理方法（びん・缶類等）

	1 又は可燃 ごみと 保管場 所にて 出集積 所	2 又は不 燃ごみ と保管 場所と して出 集積所	3 町会等 の集団 回収に 出	4 小売店 店頭の 回収ボ ックス	5 購入し たお店 に返却 する	6 業者の 回収に 出す	7 で販売 する （フリー マーケット・古本屋等）	8 出ない （排出 されない）	9 無回答	合 計
ペットボトル	7.1	12.7	69.3	5.2	0.9	4.2			0.5	100.0
白色の食品用トレイ	22.6	8.5	53.8	7.1	1.9	2.8		1.9	1.4	100.0
アルミ缶	0.9	17.0	72.2	1.9	0.5	4.7		1.4	1.4	100.0
スチール缶	0.5	19.8	70.8	1.9	0.5	4.2		1.4	0.9	100.0
ビールびん・一升びん	0.5	15.1	62.3	0.5	1.9	4.2		14.6	0.9	100.0
牛乳びん	0.5	10.8	29.2	0.9	6.1	2.8		43.9	5.7	100.0
その他飲料びん	0.5	22.2	65.1	1.4	0.5	4.2		4.2	1.9	100.0

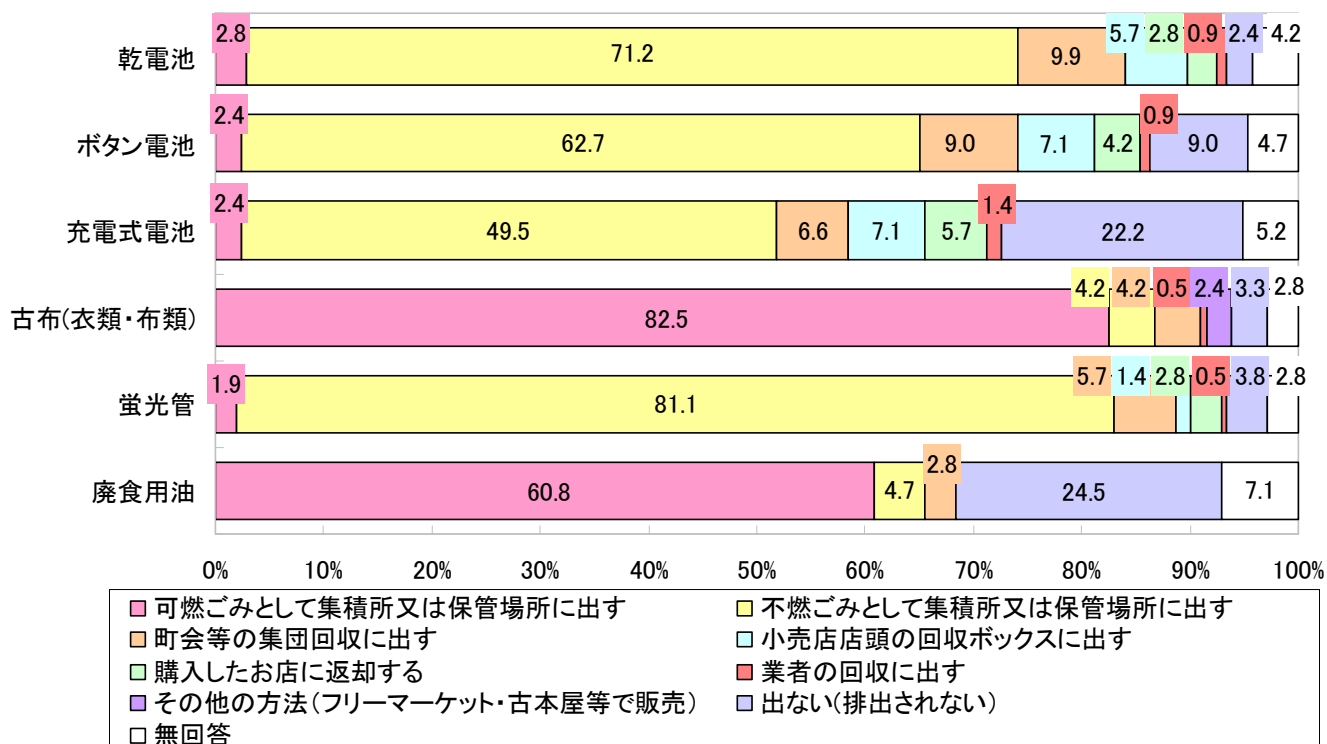


乾電池、ボタン電池、充電式電池、蛍光管は「不燃ごみとして集積所又は保管場所に出す」が49.5～81.1%と最も高かった。古布（衣類・布類）、廃食用油は「可燃ごみとして集積所又は保管場所に出す」が60.8～82.5%と最も高かった。

図表 3-3 ごみや資源物の処理方法（不燃物等）

(%)

	1 又は 可燃 保管 場と 所し て出 集積 所	2 又は 不燃 保管 場と 所し て出 集積 所	3 す町 会等 の集 団回 収に 出	4 ク小 売店 に出 す頭 の回 収ボ ツ	5 る購 入し たお 店に 返却 す	6 業者 の回 収に 出す	7 でマ 販の 売ケ ーッ ツ — そ の 他 の 方 法 — 古 本 屋 等 で 販 売	8 出 な い （ 排 出 さ れ な い ）	9 無 回 答	合 計
乾電池	2.8	71.2	9.9	5.7	2.8	0.9		2.4	4.2	100.0
ボタン電池	2.4	62.7	9.0	7.1	4.2	0.9		9.0	4.7	100.0
充電式電池	2.4	49.5	6.6	7.1	5.7	1.4		22.2	5.2	100.0
古布(衣類・布類)	82.5	4.2	4.2			0.5	2.4	3.3	2.8	100.0
蛍光管	1.9	81.1	5.7	1.4	2.8	0.5		3.8	2.8	100.0
廃食用油	60.8	4.7	2.8					24.5	7.1	100.0

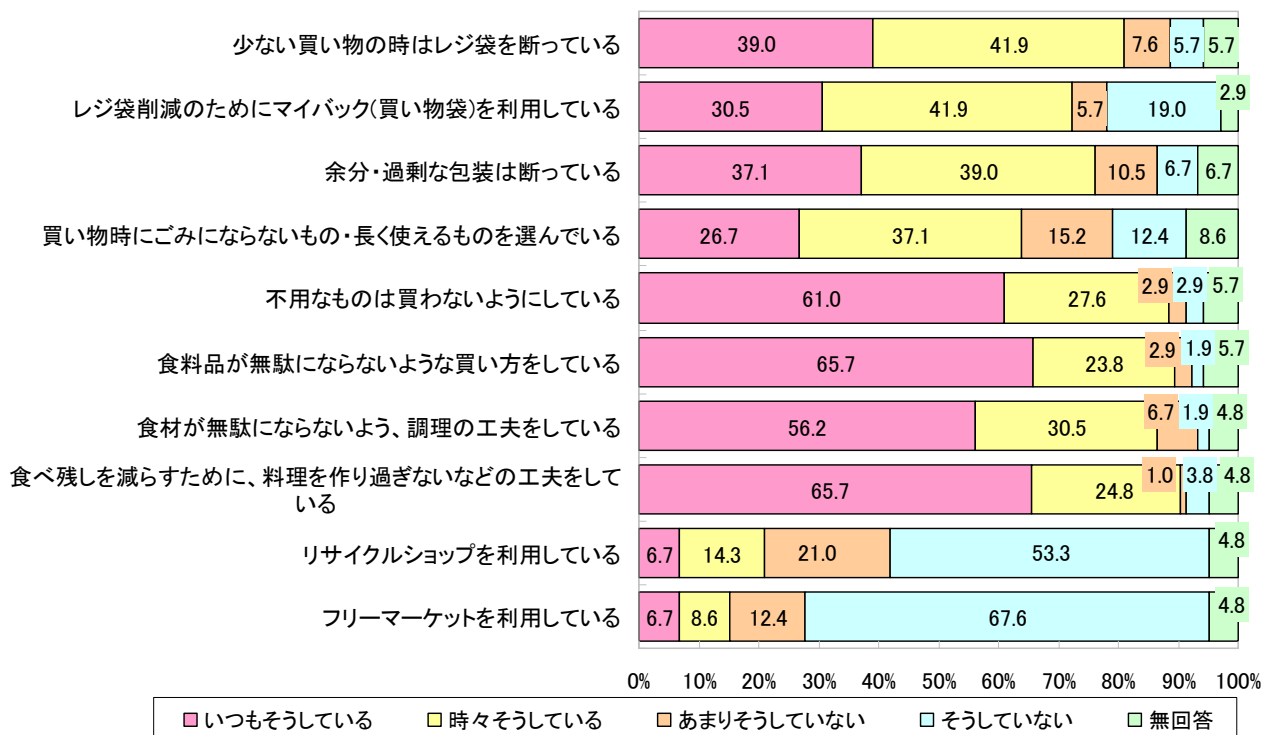


②暮らしの中の環境配慮やごみ減量への取り組み。

リサイクルショップやフリーマーケットの利用では、「そうしていない」が53.3～67.6%と最も高かった。それ以外の項目に関しては、「いつもそうしている」や「時々そうしている」が最も高かった。

図表 3-4 暮らしの中の環境配慮やごみ減量への取り組み

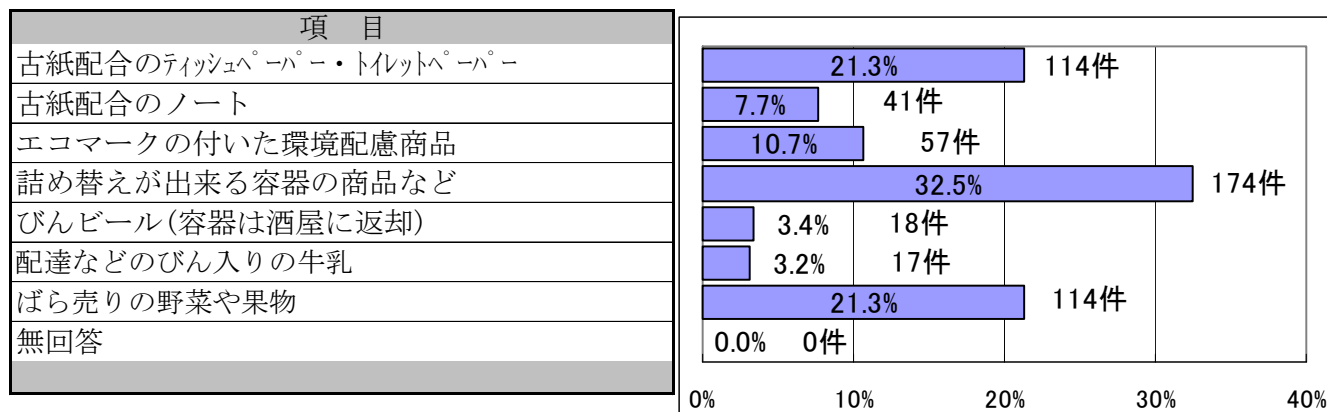
	1 いつも そう している	2 時々 そう している	3 あまり そう して いない	4 そう して いない	5 無 回 答	(%) 合 計
少ない買い物の時はレジ袋を断っている	39.0	41.9	7.6	5.7	5.7	100.0
レジ袋削減のためにマイバック(買い物袋)を利用している	30.5	41.9	5.7	19.0	2.9	100.0
余分・過剰な包装は断っている	37.1	39.0	10.5	6.7	6.7	100.0
買い物時にごみにならないもの・長く使えるものを選んでいる	26.7	37.1	15.2	12.4	8.6	100.0
不要なものは買わないようにしている	61.0	27.6	2.9	2.9	5.7	100.0
食料品が無駄にならないような買い方をしている	65.7	23.8	2.9	1.9	5.7	100.0
食材が無駄にならないよう、調理の工夫をしている	56.2	30.5	6.7	1.9	4.8	100.0
食べ残しを減らすために、料理を作り過ぎないなどの工夫をしている	65.7	24.8	1.0	3.8	4.8	100.0
リサイクルショップを利用している	6.7	14.3	21.0	53.3	4.8	100.0
フリーマーケットを利用している	6.7	8.6	12.4	67.6	4.8	100.0



③どのような商品を購入しているか。(複数回答)

「詰め替えが出来る容器の商品」が32.5%と最も高い。次いで「古紙配合のティッシュペーパー・トイレットペーパー」、「ばら売りの野菜や果物」が共に21.3%と高かった。

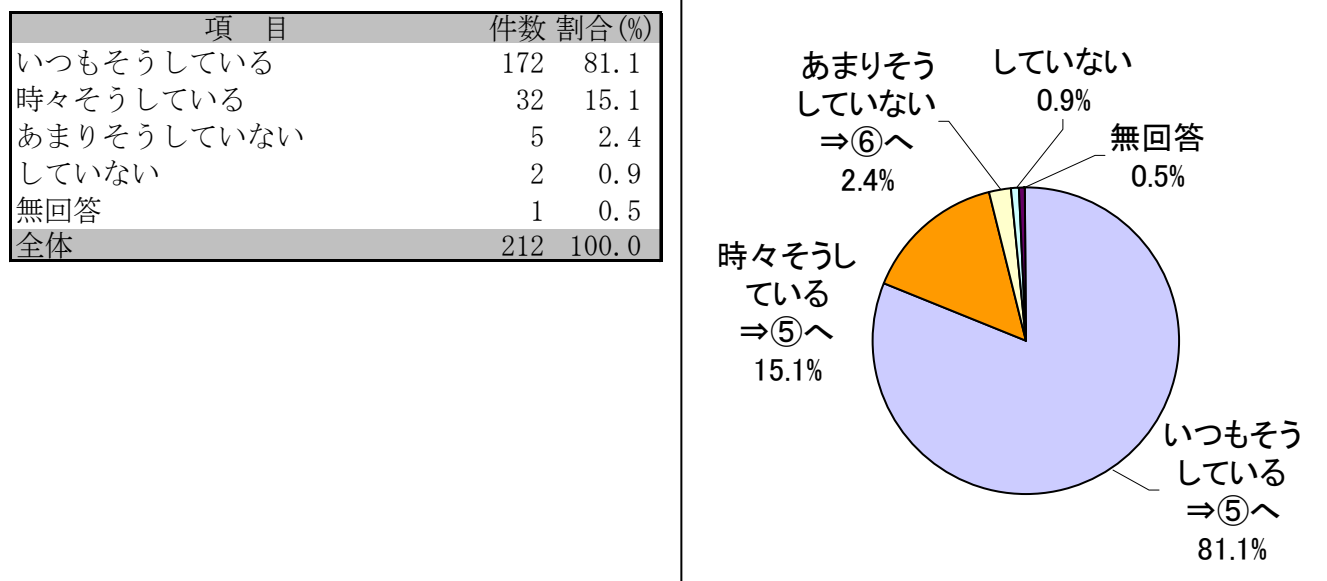
図表 3-5 エコ商品の購入状況



④リサイクル可能な資源を分別して資源回収に出しているか。

「いつもそうしている」が81.1%と最も高かった。

図表 3-6 リサイクル状況



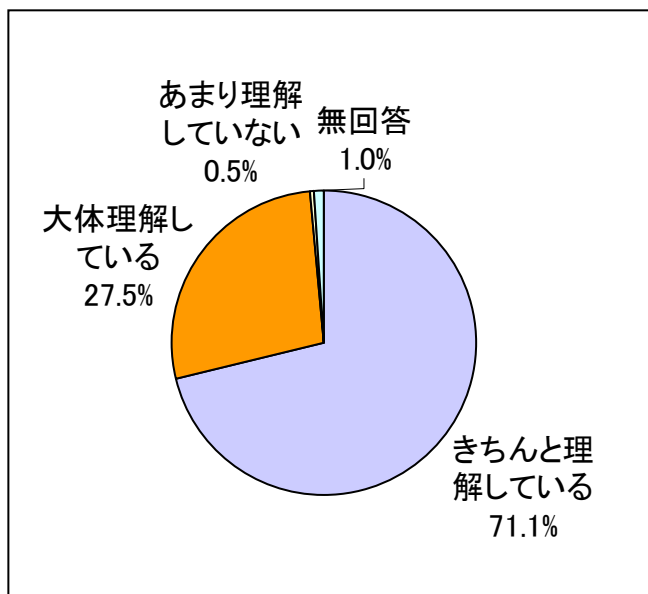
⑤排出ルール(分別区分・ごみを出す日)を理解し、守っていますか。

(④の質問で「いつもそうしている」及び「時々そうしている」と回答した方が対象)

「きちんと理解している」が71.1%と最も高かった。

図表 3-7 排出ルールの理解と行動

項 目	件数	割合 (%)
きちんと理解している	145	71.1
大体理解している	56	27.5
あまり理解していない	1	0.5
無回答	2	1.0
全体	204	100.0



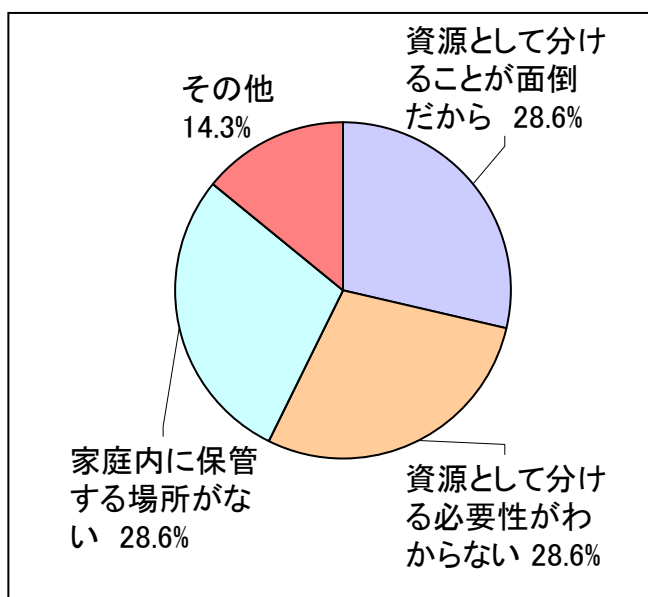
⑥資源物を分別しない理由について。

(④の質問で「あまりそうしていない」及び「していない」と回答した方が対象)

「資源として分けることが面倒だから」、「資源として分ける必要性がわからない」、「家庭内に保管する場所がない」がそれぞれ28.6%と最も高かった。

図表 3-8 資源物を分別しない場合の理由

項 目	件数	割合 (%)
資源として分けることが面倒だから	2	28.6
資源として分ける必要性がわからない	2	28.6
資源としての出し方を知らない	0	0.0
家庭内に保管する場所がない	2	28.6
資源物がほとんど出ない	0	0.0
その他	1	14.3
無回答	0	0.0
全体	7	100.0



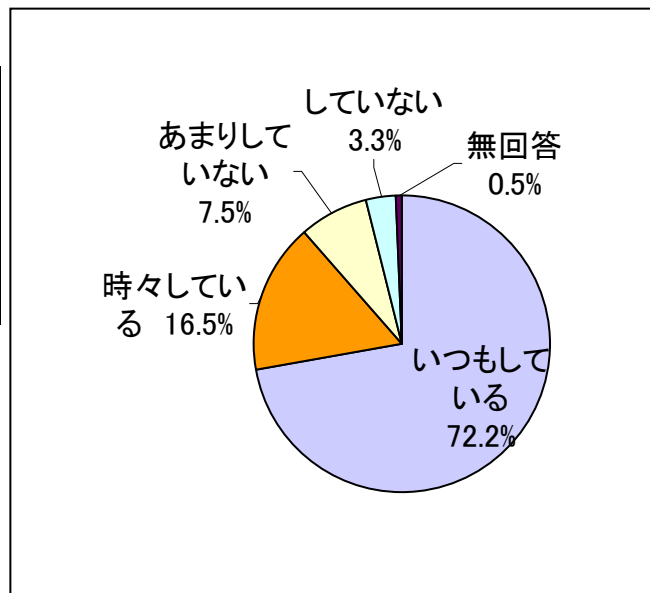
◎ 家庭から出る生ごみの処理について

⑦生ごみを捨てるときに水切りまたは、ひと絞りしてから出すようにしていますか。

「いつもしている」が72.2%と最も高かった。

図表 3-9 生ごみの排出方法

項 目	件数	割合 (%)
いつもしている	153	72.2
時々している	35	16.5
あまりしていない	16	7.5
していない	7	3.3
無回答	1	0.5
全体	212	100.0

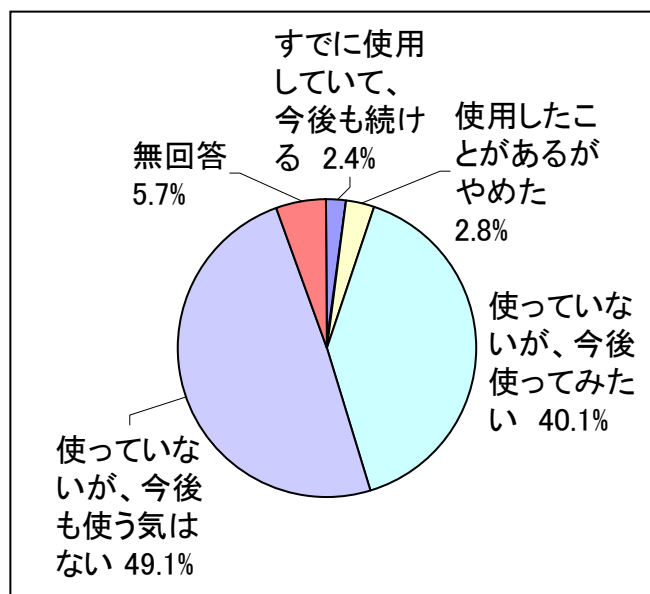


⑧生ごみ処理機・処理容器を使用していますか。

「使っていないが、今後も使う気はない」が49.1%と最も高かった。次いで「使っていないが、今後使ってみたい」が40.1%であった。

図表 3-10 生ごみ処理機の使用

項 目	件数	割合 (%)
すでに使用していて、今後も続ける	5	2.4
すでに使用しているが、やめたい	0	0.0
使用したことがあるがやめた	6	2.8
使っていないが、今後使ってみたい	85	40.1
使っていないが、今後も使う気はない	104	49.1
無回答	12	5.7
全体	212	100.0



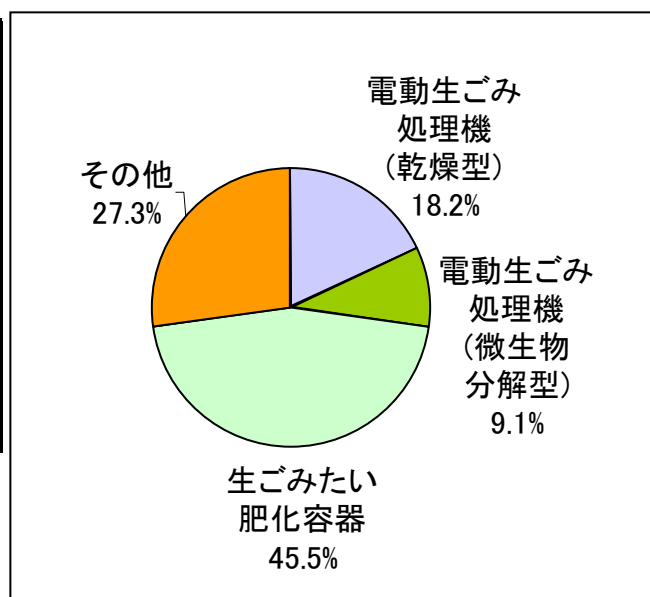
⑨生ごみ処理機の機器はどのタイプですか。

(⑧の質問で「すでに使用していて、今後も続ける」及び「すでに使用しているが、やめたい」、「使用したことがあるがやめた」と回答した方が対象)

「生ごみたい肥化容器」が 45.5%と最も高かった。次いで「その他」が 27.3%であった。

図表 3-11 生ごみ処理機のタイプ

項 目	件数	割合 (%)
電動生ごみ処理機 (乾燥型)	2	18.2
電動生ごみ処理機 (微生物分解型)	1	9.1
生ごみたい肥化容器	5	45.5
その他	3	27.3
無回答	0	0.0
全体	11	100.0



◆「その他」の意見

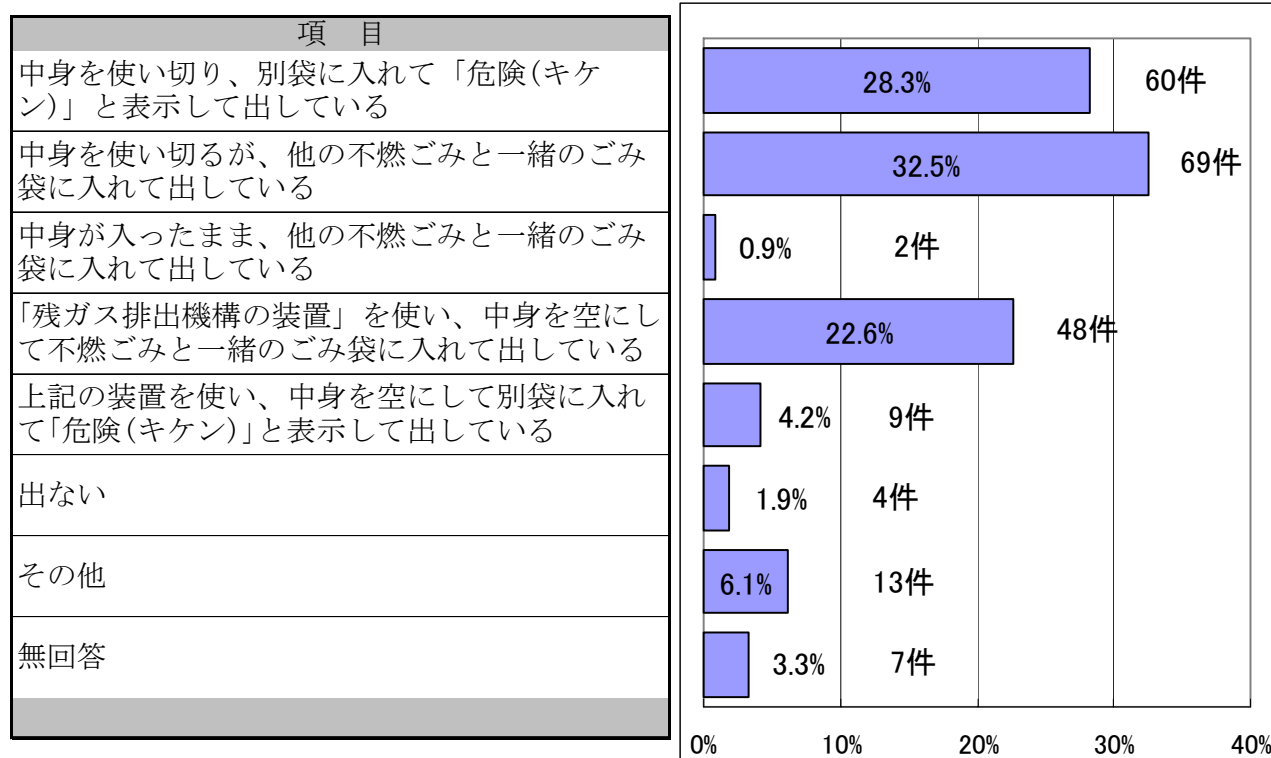
- ・生ごみ処理機ではなく、マンションについているディスポーザーを使っている。

◎ 家庭から出る危険物の処理について

⑩スプレー缶やカセットボンベ・使い捨てライターの出し方について。

「中身を使い切り、別袋に入れて「危険(キケン)」と表示して出している」「中身を使い切るが、他の不燃ごみと一緒にのごみ袋に入れて出している」「残ガス排出機構の装置を使い、中身を空にして不燃ごみと一緒にの袋に入れて出している」が 22.6～32.5%と高かった。

図表 3-12 スプレー缶等の排出方法



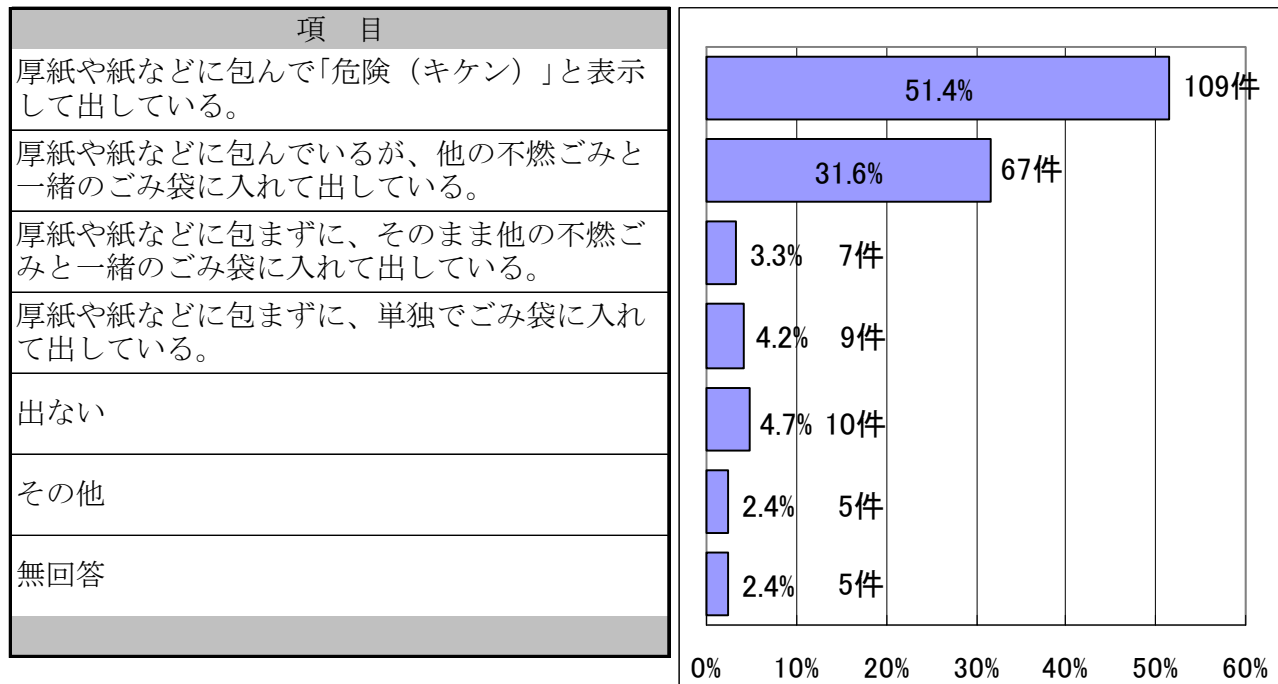
◆「その他」の意見

- ・危険物の排出は、マンションでかごや缶が用意されているので、そこにすてる。(中身は空にする。)
- ・スプレー缶など別の箱にまとめて入れるとかすれば、事故は起きないと思う。ひとによってはごみの出し方をよく理解していないので、周囲の方などに手を貸してもらえば良いと思う。

⑪包丁やナイフ・ガラス・陶磁器などの危険物の出し方について。

「厚紙や紙などに包んで「危険（キケン）」と表示して出している」が 51.4%と最も高かった。次いで「厚紙や紙などに包んでいるが、他の不燃ごみと一緒にゴミ袋に入れて出している」が 31.6%と高かった。

図表 3-13 包丁等の排出方法



◆「その他」の意見

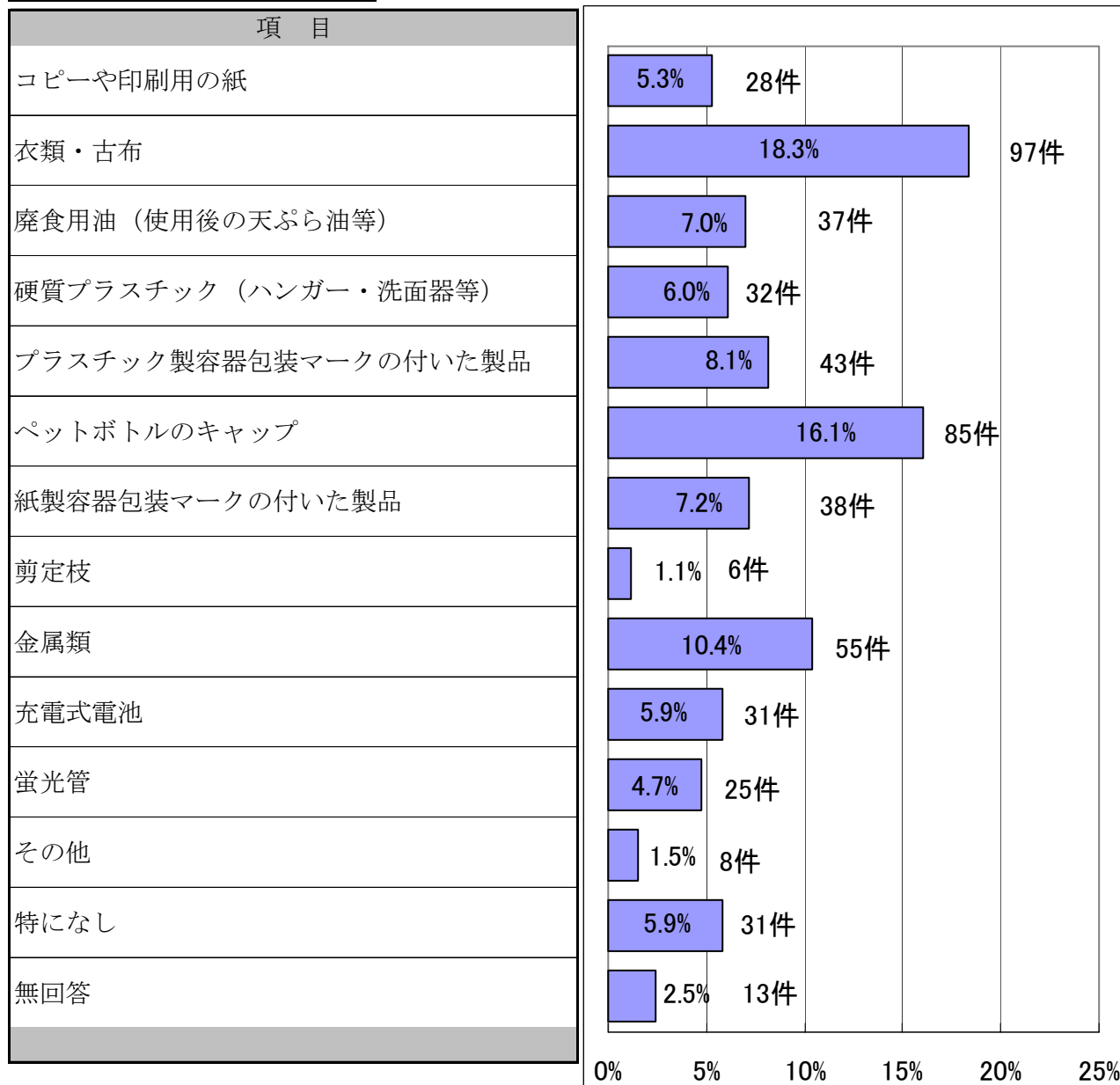
- ・危険物の排出は、マンションでかごや缶が用意されているので、そこにすてる。

◎ ごみ減量やリサイクルを推進するための方策について

⑫今後、資源の回収品として追加したほうが良いと思うもの。(複数回答)

全体の傾向として「衣類・古布」「ペットボトルのキャップ」「金属類」を追加したほうが良いという意見が、10.4～18.3%と高かった。

図表 3-14 今後の資源回収品目



◆「その他」の意見

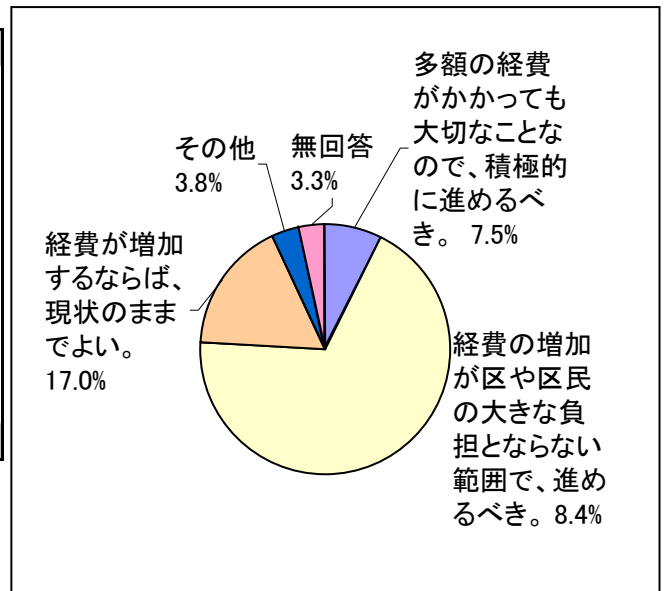
- ・古着のリサイクルもして欲しい。まだ使える古着を生ごみと一緒に捨てるのは抵抗がある。

⑬区が行うリサイクル事業について、今後、どのように進めるべきか。

「経費の増加が区や区民の大きな負担とならない範囲で、進めるべき。」が 68.4%と最も高かった。

図表 3-15 今後のリサイクル事業について

項 目	件数	割合 (%)
多額の経費がかかっても大切なことなので、積極的に進めるべき。	16	7.5
経費の増加が区や区民の大きな負担とならない範囲で、進めるべき。	145	68.4
経費が増加するならば、現状のままでよい。	36	17.0
その他	8	3.8
無回答	7	3.3
全体	212	100.0



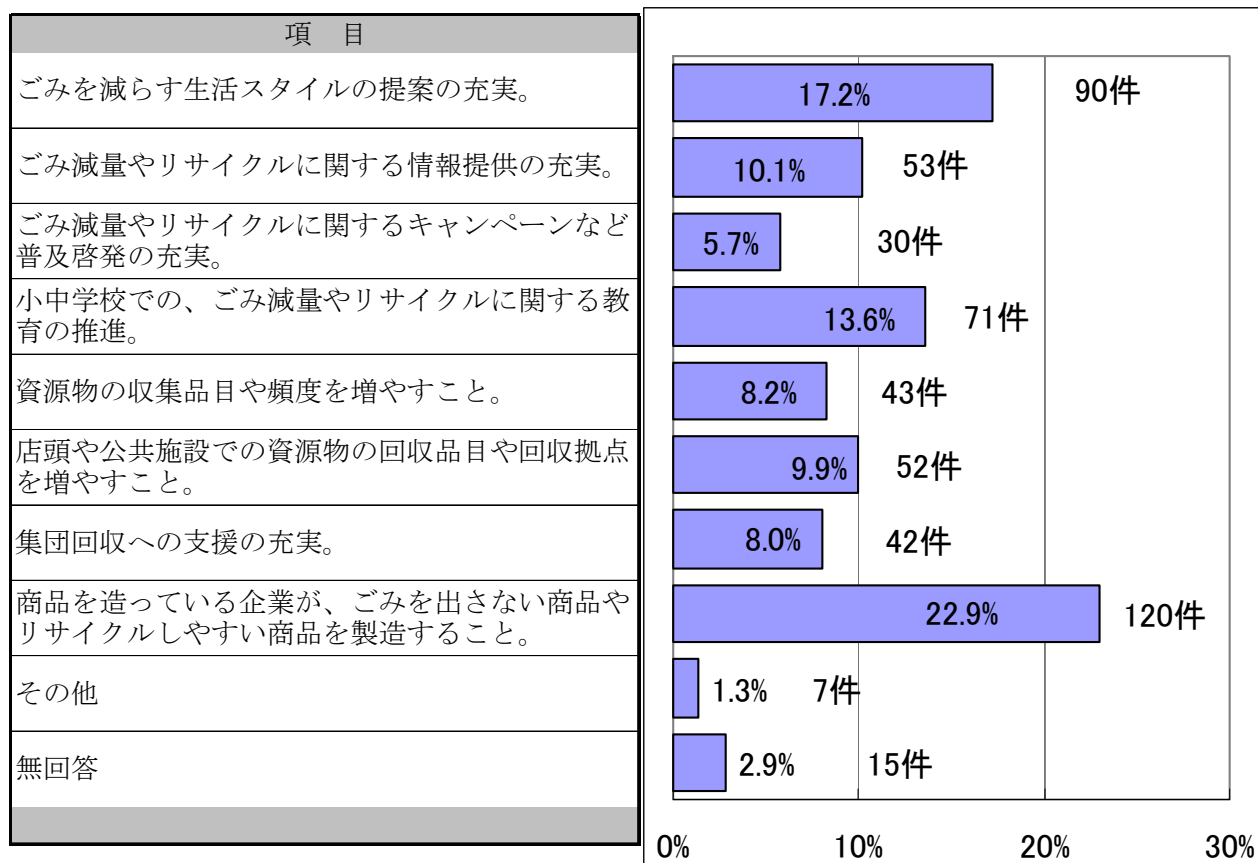
◆「その他」の意見

- ・不便さや面倒が増える仕組みは習慣になりにくいと感じます。自治体には家庭への啓発とともに、多くの人が取り組みやすい便利なリサイクルやごみ収集、減量のしくみを考えて欲しいと思います。

⑭今後、ごみ減量化やリサイクルを一層進めるために必要だと考えるものは。(複数回答)

「商品を作っている企業が、ごみを出さない商品やリサイクルしやすい商品を製造すること。」が22.9%と最も高かった。次いで「ごみを減らす生活スタイルの提案の充実。」が17.2%であった。

図表 3-16 今後、ごみ減量化やリサイクルに必要なと思うもの



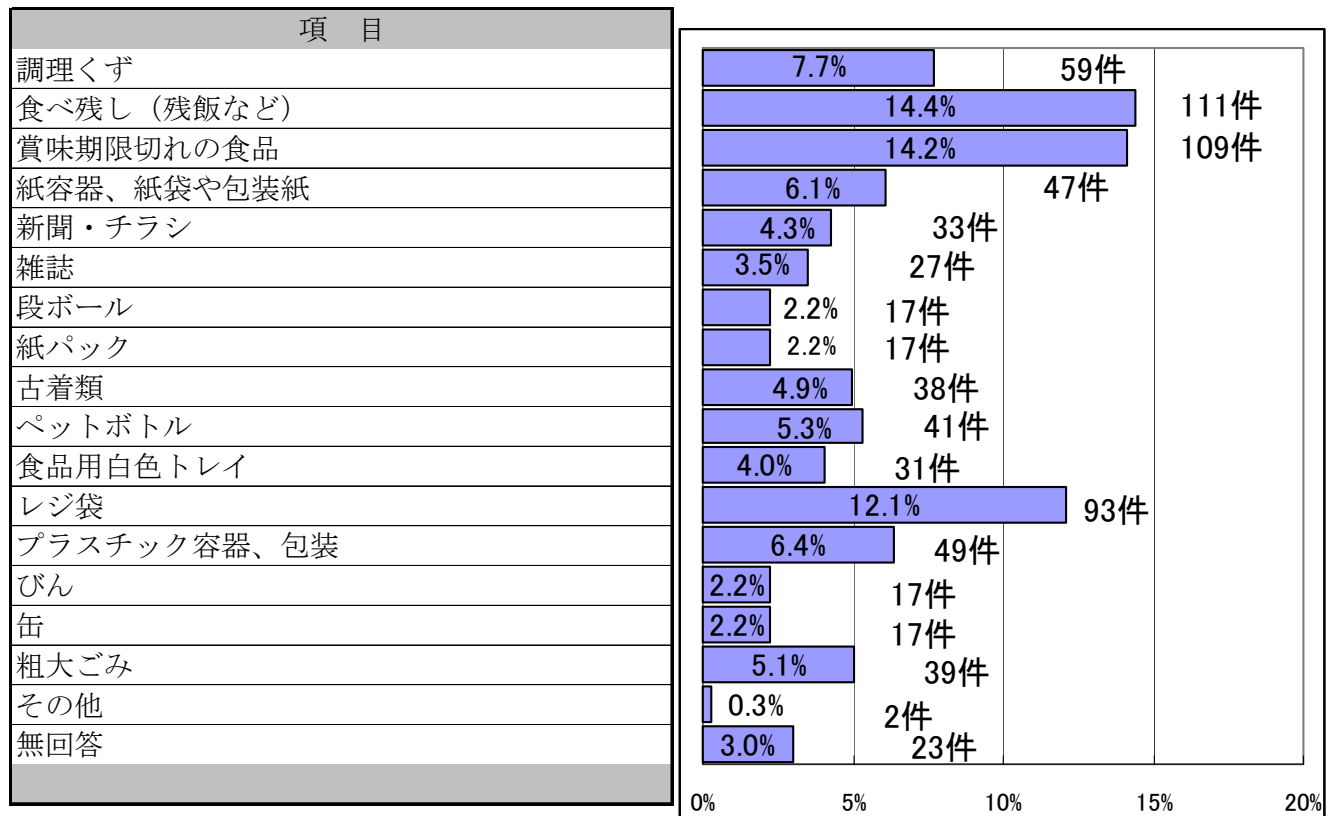
◆「その他」の意見

- ・ごみを減らす方法として、容器代込みで販売し容器返却時、容器代金を返金する。
- ・リサイクル回収品目を増やしてほしい。又、業者、小売店が回収しているものについて情報がほしい。
- ・これ以上ごみ出しのルールを増やすと守れない人が多くなると思うので、現状維持でルールの徹底を。
- ・ごみ問題は大切なことだとは思いますが、小さな子供がいるうちはごみの量がなかなか減らないのが現状です。
- ・ごみがどの様に処理されているか正確に理解していません。広報等でどのように処分されているか区民に知らせてごみとリサイクルを正確に把握してもらいごみの減量に協力してもらおう。
- ・他区から引っ越してきた時に思ったのですが、荒川区は分別が甘いと思います。これからのために分かりやすく分別、リサイクルが不便じゃない方法があると良いと思います。
- ・リサイクルを進めるために、古紙を出すとトイレトペーパーがもらえるように、還元されることが実感できると多くの人に取り組むきっかけになると思う。

⑮今後の暮らしの工夫により減らせると思うもの。(複数回答)

全体的に厨芥類について減量が可能という意見が多かった。詳細をみると、「食べ残し」「賞味期限切れの食品」が14.4%、14.2%と高かった、次いで「レジ袋」が12.1%、「調理くず」が7.7%であった。

図表 3-17 今後、暮らしの工夫により減らせると思うもの



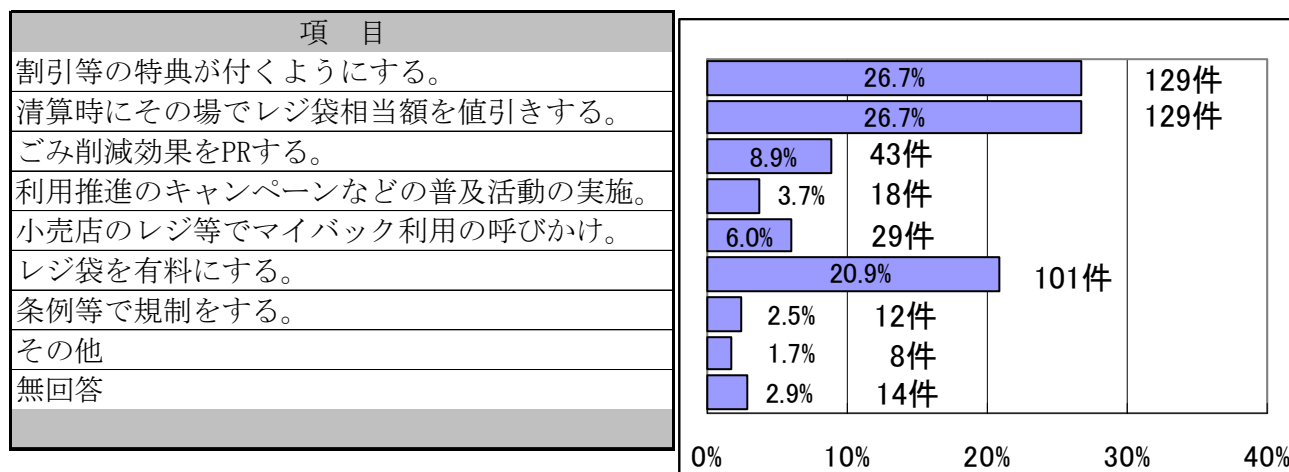
◆「その他」の意見

- ・ダイレクトメール

⑩マイバッグを普及するために、どのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

「割引等の特典が付くようにする。」「清算時にその場でレジ袋相当額を値引きする。」がどちらも 26.7%で最も高かった。次いで「レジ袋を有料にする。」が 20.9%であった。

図表 3-18 マイバッグの普及



◆「その他」の意見

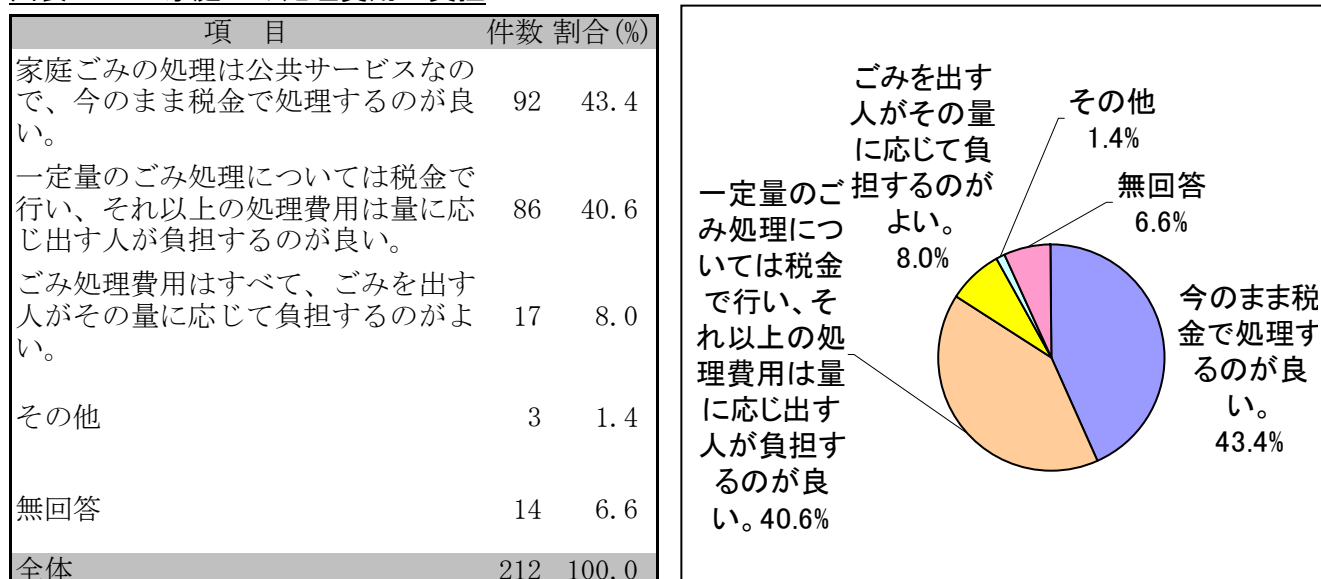
- ・マイバック普及は良いのですが、一人が何種類も持っている、それを作る資源のことも考える必要がある。

◎ごみの処理費用について

⑪「家庭から出るごみの処理費用の負担」について。

「今のまま税金で処理するのが良い。」が 43.4%で最も高かった。次いで「量に応じ出す人が負担するのが良い。」が 40.6%であった。

図表 3-19 家庭ごみ処理費用の負担



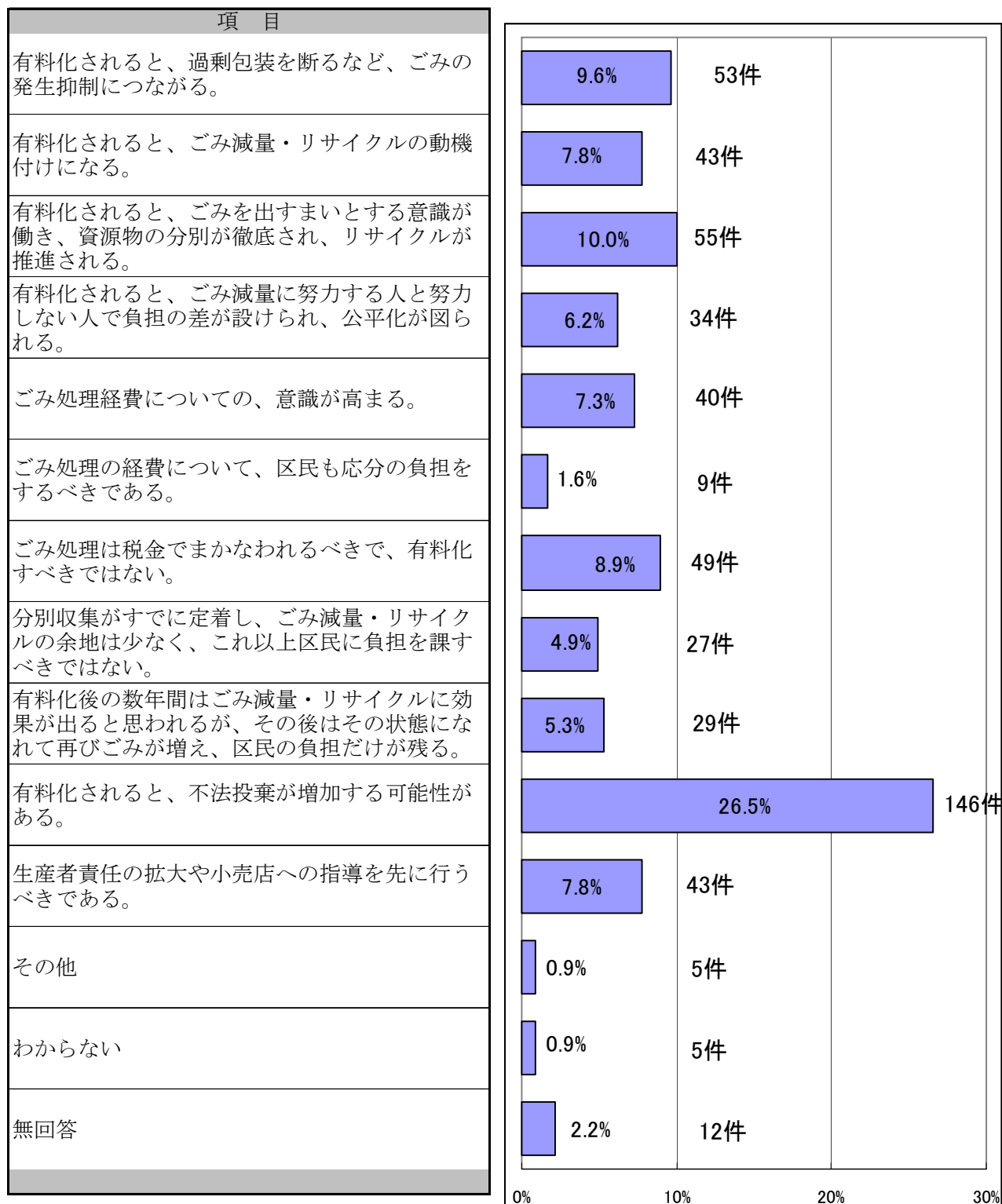
◆「その他」の意見

- ・有料化する前に、ごみを減らす、リサイクルの強化をしてほしいです。

⑩家庭ごみの有料化について。(複数回答)

「不法投棄が増加する可能性がある。」が26.5%で最も高かった。

図表 3-20 家庭ごみの有料化



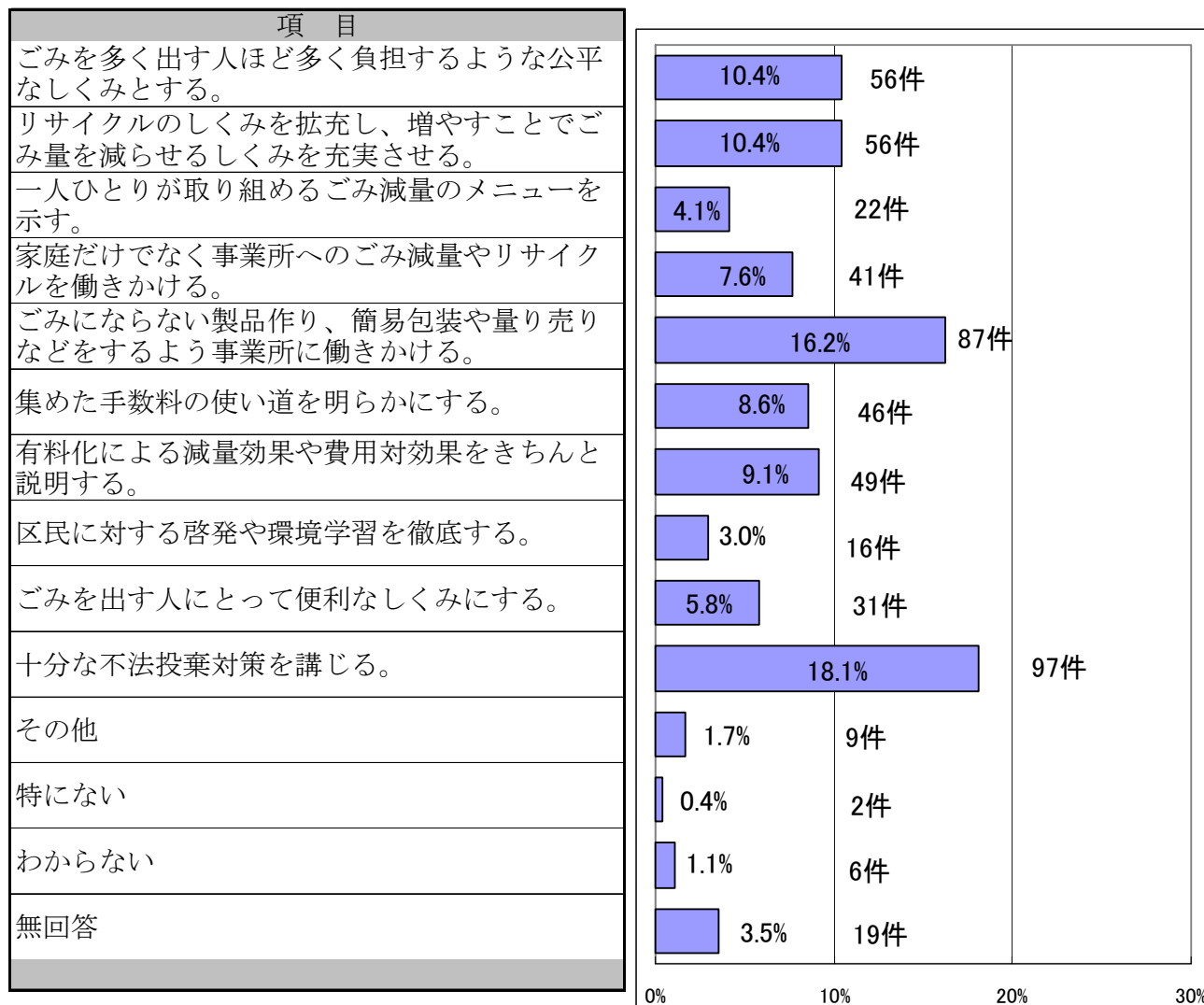
◆「その他」の意見

- ・他から移ってきて、今まで一般ごみと資源ごみしかなかったもので、細かいと思いました。これは施設の問題であると思いますが、税金を払っているのにさらに+αを求めるのは違うと思います。

⑬「家庭ごみの有料化」を検討する場合、どのような点に配慮すべきか。

「十分な不法投棄対策を講じる。」が18.1%と最も高かった。次いで「ごみにならない製品作り、簡易包装や量り売りなど事業所に働きかける。」が16.2%であった。

図表 3-21 家庭ごみの有料化への配慮点



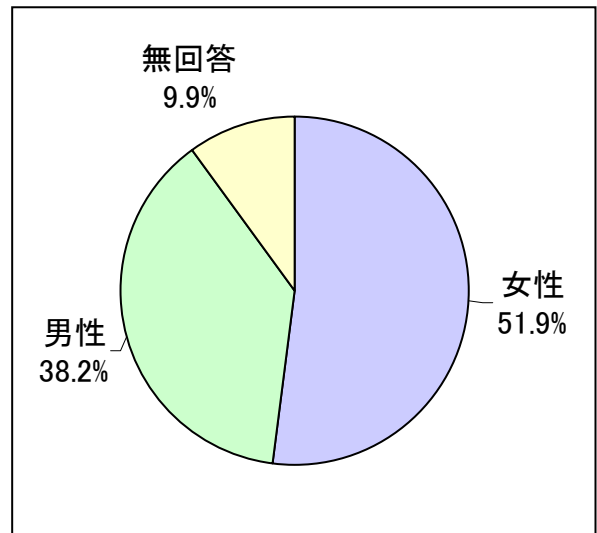
◆「その他」の意見

- ・介護中の高齢者がおり、紙おむつが一回に一袋出ます。介護でお金もかかる中、そういうことも考慮のうえ取り組んでいただきたいと思います。
- ・今でも、自転車やテレビなど近所で不法投棄が増えています。有料化になり近所の人も手を付けようとしません。有料化が幅広くなれば、不法投棄はもっと増えると思います。
- ・区の業務の中で無駄な所や経費削減できる部分がないか検討していただき、それでもリサイクル事業にまわせる経費を捻出できないなら、区民に負担を伝えてリサイクル事業を進めるべきではないか。

②アンケート対象者について

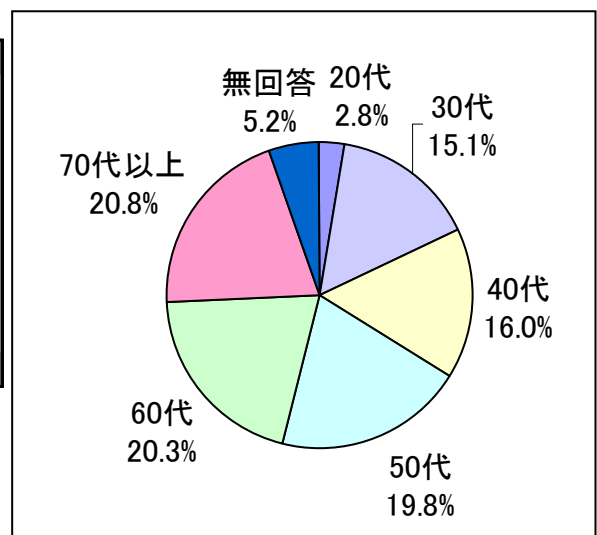
図表 3-22 性別

項 目	件数	割合 (%)
女性	110	51.9
男性	81	38.2
無回答	21	9.9
全体	212	100.0



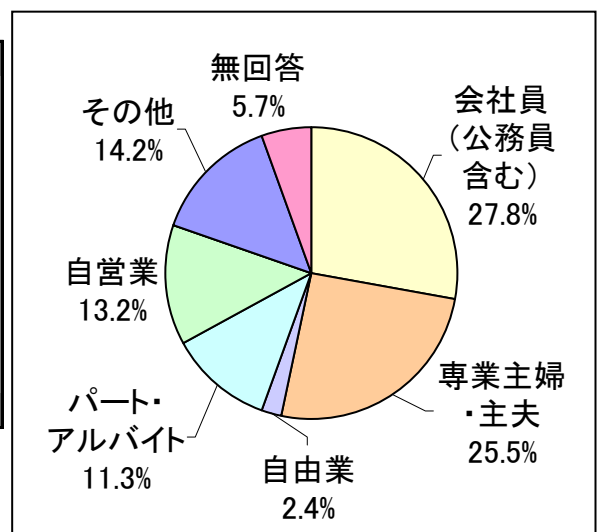
図表 3-23 年齢層

項 目	件数	割合 (%)
20代	6	2.8
30代	32	15.1
40代	34	16.0
50代	42	19.8
60代	43	20.3
70代以上	44	20.8
無回答	11	5.2
全体	212	100.0



図表 3-24 職業

項 目	件数	割合 (%)
会社員（公務員含む）	59	27.8
専業主婦・主夫	54	25.5
自由業	5	2.4
パート・アルバイト	24	11.3
自営業	28	13.2
学生	0	0.0
その他	30	14.2
無回答	12	5.7
全体	212	100.0

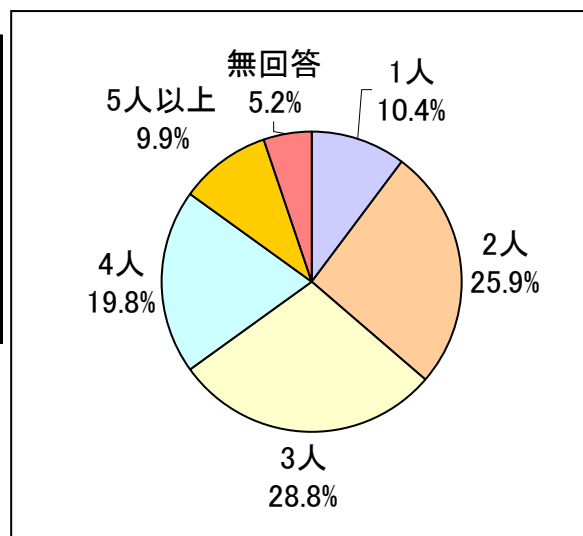


◆「その他」の意見

- ・無職
- ・年金生活者

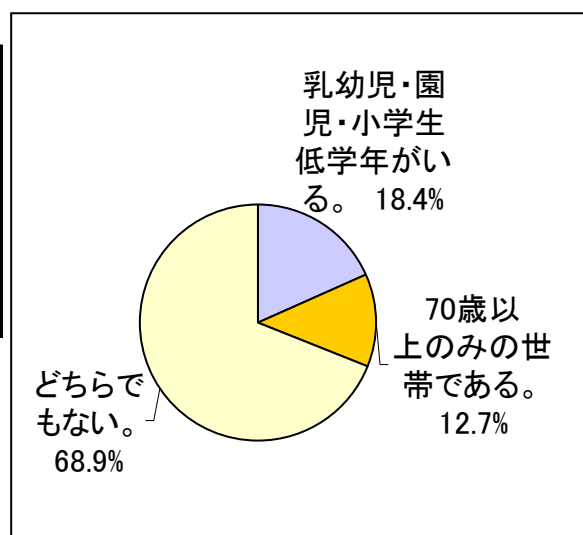
図表 3-25 家族人数

項 目	件数	割合 (%)
1人	22	10.4
2人	55	25.9
3人	61	28.8
4人	42	19.8
5人以上	21	9.9
無回答	11	5.2
全体	212	100.0



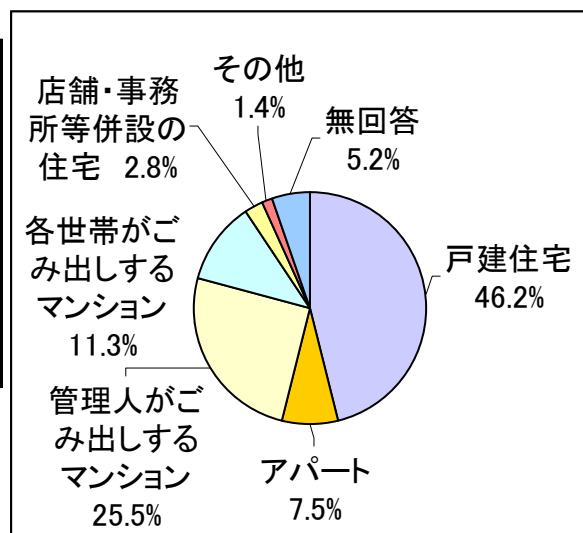
図表 3-26 家族の構成員

項 目	件数	割合 (%)
乳幼児・園児・小学生低学年がいる。	39	18.4
70歳以上のみの世帯である。	27	12.7
どちらでもない。	146	68.9
全体	212	100.0



図表 3-27 お住まいの形態

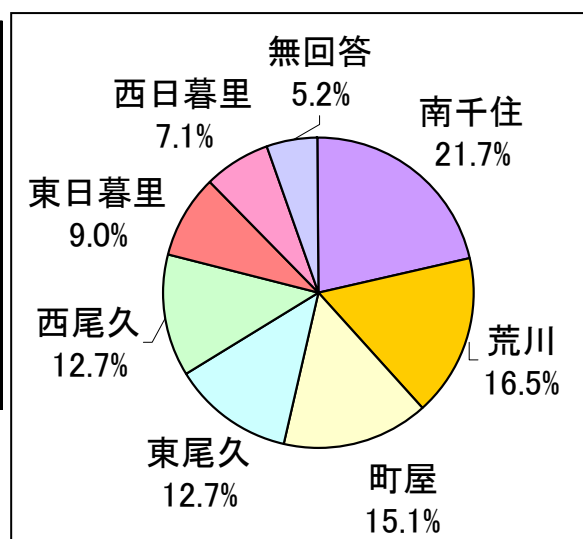
項 目	件数	割合 (%)
戸建住宅	98	46.2
アパート	16	7.5
管理人がごみ出しするマンション	54	25.5
各世帯がごみ出しするマンション	24	11.3
店舗・事務所等併設の住宅	6	2.8
その他	3	1.4
無回答	11	5.2
全体	212	100.0



◆「その他」の意見
・団地

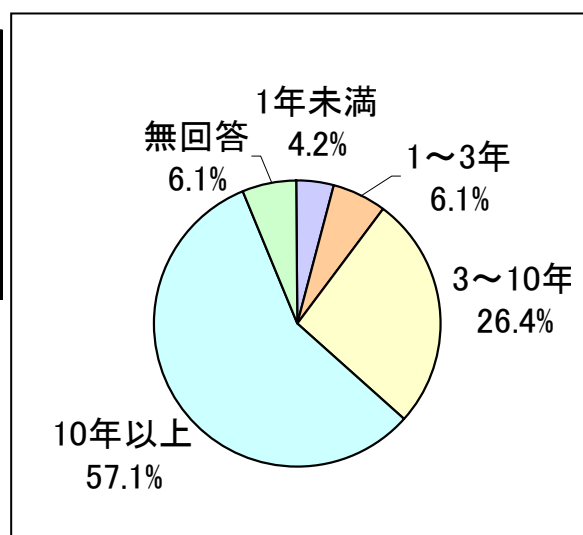
図表 3-28 所在地域

項 目	件数	割合 (%)
南千住	46	21.7
荒川	35	16.5
町屋	32	15.1
東尾久	27	12.7
西尾久	27	12.7
東日暮里	19	9.0
西日暮里	15	7.1
無回答	11	5.2
全体	212	100.0



図表 3-29 居住年数

項 目	件数	割合 (%)
1年未満	9	4.2
1～3年	13	6.1
3～10年	56	26.4
10年以上	121	57.1
無回答	13	6.1
全体	212	100.0



※自由意見

- ・現在かえって資源をリサイクルするのに電力や二酸化炭素を排出していて、本当に地球に良いのかが疑問です。
- ・マンション住民など、後から越してきた人がごみ出しのルールが守られていない場合がある。
- ・住宅街ではきちんとごみ出しされて、ネット等かぶせ比較的きれいになっているが、場所によりごみが散乱し、見るからに「何とかならないものか」と思うことがある。このようなアンケートは区民として、うれしく思います。
- ・ワンルームマンション等のごみ出しルールの徹底化。管理者責任の徹底化。
- ・今でも、自転車やテレビなど近所で不法投棄が増えています。有料化になり近所の人手も手を付けようとしません。有料化が幅広くなれば、不法投棄はもっと増えると思います。

- ・ごみ収集の後、袋から出たごみが散乱していることがある。そういった場合は収集後に掃除をしてくれるとありがたい。
- ・リサイクルの協力を求める活動も大切だけど、いざリサイクルをしようと思ったときに出せる所、回収する所が少なかったり、遠かったりすると結局出来ない。
24h 営業のコンビニやスーパー、交番、消防署など身近で回収できるところが増えたら、リサイクルも進むと思います。大切なのは、24h、身近、有人（質問しやすい）の3点だと思います。
- ・中国語、韓国語など外国語のごみ出しメニューを公布してはどうでしょうか。
- ・「ごみ」の95%以上がスーパーでの買い物(食品)。全品といってよい程発泡皿使用。これを止めれば4分の1～5分の1に減らせると思う。スーパー(小売店)からごみ税をとればそういうものを減らす努力をするのでは？
- ・リサイクルについてあまりにも多くの情報がありすぎて、理解しきれずにいます。どこで荒川区のごみが処理されているかなど、根本的なことも知らないのもっと詳しく、分かりやすく教えてくれると、もっとリサイクルに取り組めると思います。
- ・分別や出す時間など分かっているけども守らない、モラルの低下を感じます。啓蒙運動からお願いします。
- ・具体的な良いアンケートだと思います。ごみの問題意識を高めるような設問もあっても良いと思いました。
- ・不要家具等の大型有料ごみを集積所まで持ち込むことが、高齢になると困難になる。有料で運搬してくれるサービスがあれば助かる。
- ・経済構造・製品の市場流通の形態等、生活習慣も含めてゴミが多く出る形になっている。過剰包装が当たり前のようにになっている。過去は、食品等にも対面販売を多く、竹の皮での包装は当たり前だった。このような、天然素材の活用は、市場経済の形成に大いに役立つはずである。このことから、法律等の改良整備が必要と考えます。

3-2 事業所アンケート調査

(1) 調査の目的

区内にある事業所を対象に、ごみの減量、リサイクル及びごみの適正処理についての意識や行動実態等を把握することを目的として実施した。

(2) 調査対象

総務省統計局による「平成 18 年度 事業所・企業統計調査」から産業分類を考慮して、事業所 500 件にアンケート調査票の配布を行った。

(3) 調査期間

配布期間：平成 22 年 8 月 24 日に配布

回収期間：平成 22 年 9 月 6 日（月）迄

(4) 調査方法

調査票の発送及び回収は郵送にて行った。

(5) 回収状況

配布数	回収数	回収率
500 通	168 通	33.6%

(6) アンケート調査結果

以下の表及びグラフ内の割合（％）は小数点第二位で四捨五入しているため、計が合わない場合がある。また、複数回答の場合には、回答の各項目をそれぞれ 100％として割合を算出している。

◎ ごみや資源の処理について

①ごみや資源物の処理方法。

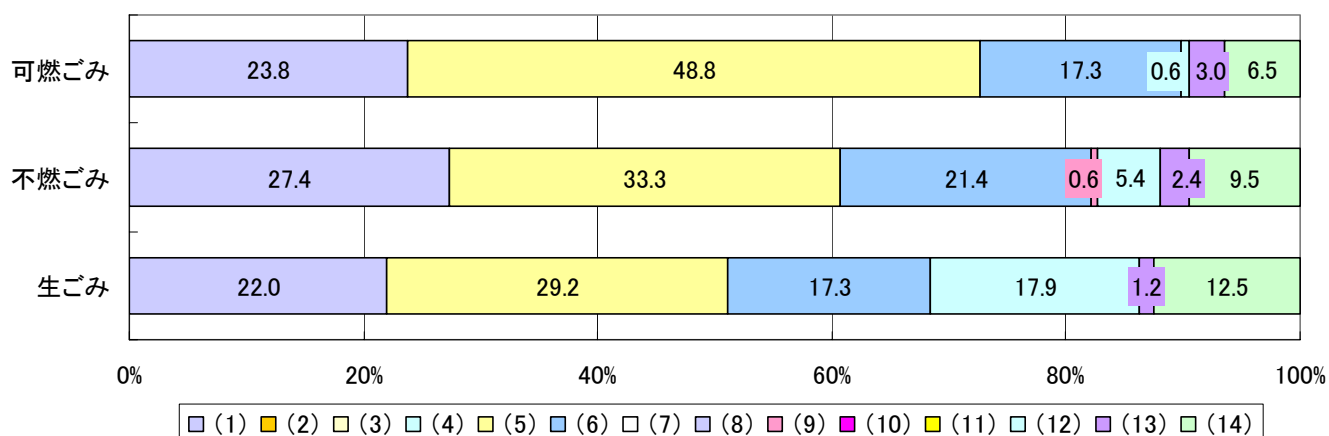
可燃ごみ、不燃ごみ、生ごみの処理方法については、「区のごみ収集にごみ処理券を貼って排出」が 29.2～48.8%で最も高かった。次いで「業者に費用を払って処理」が 22.0～27.4%であった。

図表 3-30 ごみや資源物の処理方法（可燃・不燃ごみ等）

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)
可燃ごみ	23.8				48.8	17.3						0.6	3.0	6.5
不燃ごみ	27.4				33.3	21.4			0.6			5.4	2.4	9.5
生ごみ	22.0				29.2	17.3						17.9	1.2	12.5

(%)

(1) : 業者に費用を払って処理 (2) : 業者に売却
 (3) : 業者に無料で引き渡し (4) : 納入業者に引き渡し(返却)
 (5) : 区のごみ収集にごみ処理券を貼って排出 (6) : 区のごみ収集にごみ処理券を貼らずに排出
 (7) : 区の資源回収にごみ処理券を貼って排出 (8) : 区の資源回収にごみ処理券を貼らずに排出
 (9) : 自社で処理施設に持ち込む (10) : 小売店店頭の回収ボックスに出す
 (11) : コンポスト化している (12) : 出ない(排出されない)
 (13) : その他 (14) : 無回答



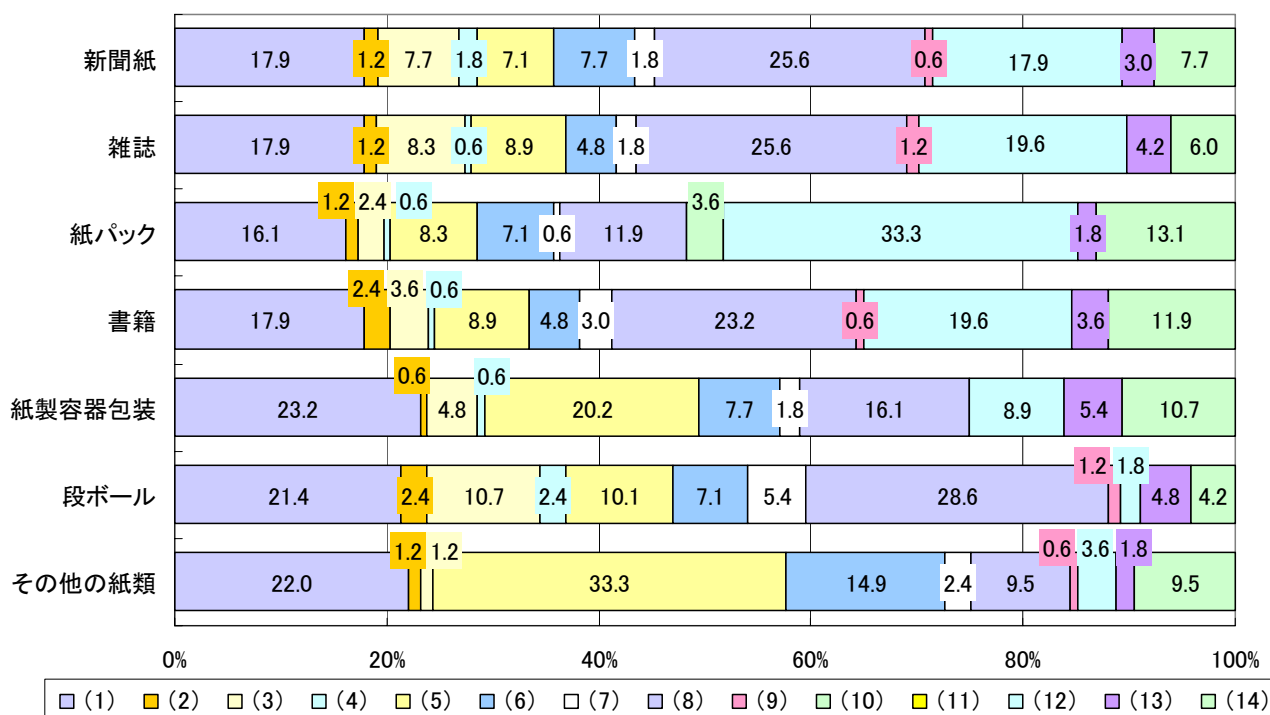
新聞紙、雑誌、書籍、段ボールでは「区の資源回収にごみ処理券を貼らずに排出」が23.2～28.6%と最も高かった。紙パックは「出ない」が33.3%、紙製容器包装は「業者に費用を払って処理」が23.2%、その他紙類は「区のごみ収集にごみ処理券を貼って排出」が33.3%と最も高かった。

図表 3-31 ごみや資源物の処理方法（資源等紙類）

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)
新聞紙	17.9	1.2	7.7	1.8	7.1	7.7	1.8	25.6	0.6			17.9	3.0	7.7
雑誌	17.9	1.2	8.3	0.6	8.9	4.8	1.8	25.6	1.2			19.6	4.2	6.0
紙パック	16.1	1.2	2.4	0.6	8.3	7.1	0.6	11.9		3.6		33.3	1.8	13.1
書籍	17.9	2.4	3.6	0.6	8.9	4.8	3.0	23.2	0.6			19.6	3.6	11.9
紙製容器包装	23.2	0.6	4.8	0.6	20.2	7.7	1.8	16.1				8.9	5.4	10.7
段ボール	21.4	2.4	10.7	2.4	10.1	7.1	5.4	28.6	1.2			1.8	4.8	4.2
その他の紙類	22.0	1.2	1.2		33.3	14.9	2.4	9.5	0.6			3.6	1.8	9.5

(%)

(1)：業者に費用を払って処理 (2)：業者に売却
(3)：業者に無料で引き渡し (4)：納入業者に引き渡し(返却)
(5)：区のごみ収集にごみ処理券を貼って排出 (6)：区のごみ収集にごみ処理券を貼らずに排出
(7)：区の資源回収にごみ処理券を貼って排出 (8)：区の資源回収にごみ処理券を貼らずに排出
(9)：自社で処理施設に持ち込む (10)：小売店店頭の回収ボックスに出す
(11)：コンポスト化している (12)：出ない(排出されない)
(13)：その他 (14)：無回答



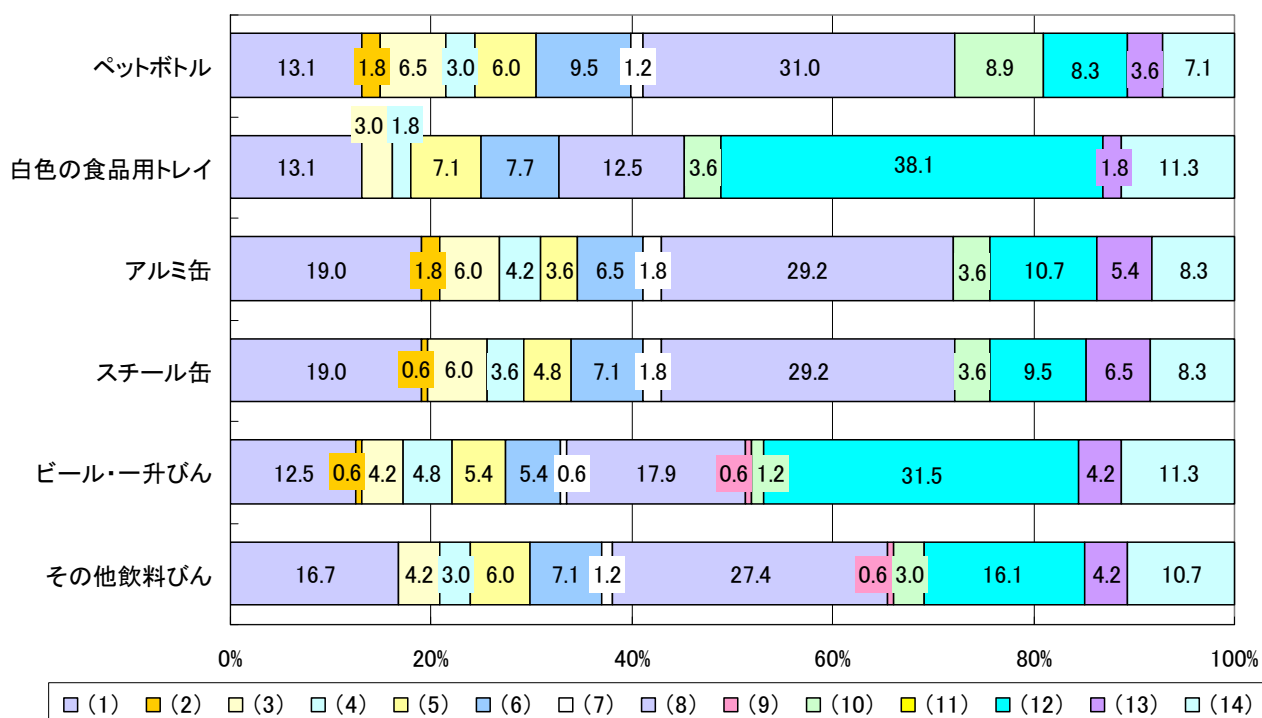
ペットボトル、アルミ缶、スチール缶、その他飲料びんで「区の資源回収にごみ処理券を貼らずに排出」が27.4～31.0%で最も高かった。白色の食品用トレイ、ビール・一升びんで「出ない」が38.1%と31.5%と最も高かった。

図表 3-32 ごみや資源物の処理方法（びん・缶類等）

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)
ペットボトル	13.1	1.8	6.5	3.0	6.0	9.5	1.2	31.0		8.9		8.3	3.6	7.1
白色の食品用トレイ	13.1		3.0	1.8	7.1	7.7		12.5		3.6		38.1	1.8	11.3
アルミ缶	19.0	1.8	6.0	4.2	3.6	6.5	1.8	29.2		3.6		10.7	5.4	8.3
スチール缶	19.0	0.6	6.0	3.6	4.8	7.1	1.8	29.2		3.6		9.5	6.5	8.3
ビール・一升びん	12.5	0.6	4.2	4.8	5.4	5.4	0.6	17.9	0.6	1.2		31.5	4.2	11.3
その他飲料びん	16.7		4.2	3.0	6.0	7.1	1.2	27.4	0.6	3.0		16.1	4.2	10.7

(%)

(1)：業者に費用を払って処理 (2)：業者に売却
 (3)：業者に無料で引き渡し (4)：納入業者に引き渡し(返却)
 (5)：区のごみ収集にごみ処理券を貼って排出 (6)：区のごみ収集にごみ処理券を貼らずに排出
 (7)：区の資源回収にごみ処理券を貼って排出 (8)：区の資源回収にごみ処理券を貼らずに排出
 (9)：自社で処理施設に持ち込む (10)：小売店店頭の回収ボックスに出す
 (11)：コンポスト化している (12)：出ない(排出されない)
 (13)：その他 (14)：無回答

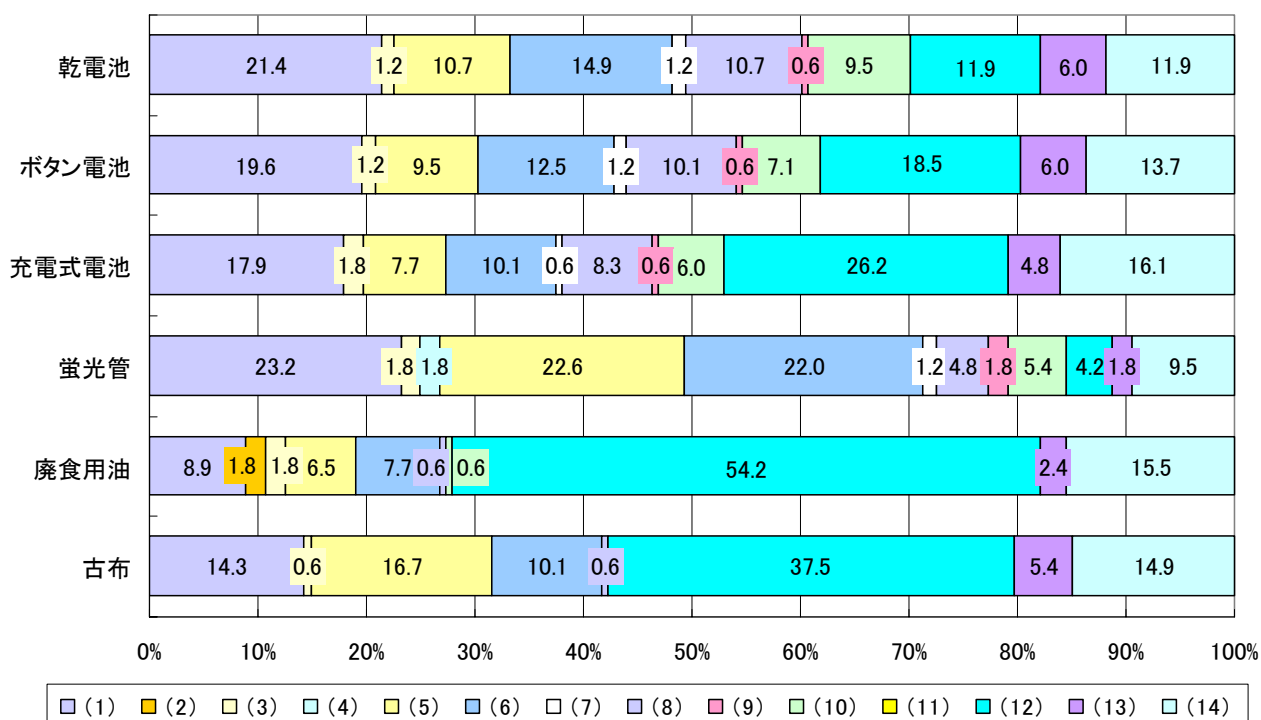


乾電池、ボタン電池、蛍光管で「業者に費用を払って処理」が19.6～23.2%と最も高く、充電式電池、廃食用油、古布で「出ない」が26.2～54.2%と最も高かった。

図表 3-33 ごみや資源物の処理方法（不燃物等）

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)
乾電池	21.4		1.2		10.7	14.9	1.2	10.7	0.6	9.5		11.9	6.0	11.9
ボタン電池	19.6		1.2		9.5	12.5	1.2	10.1	0.6	7.1		18.5	6.0	13.7
充電式電池	17.9		1.8		7.7	10.1	0.6	8.3	0.6	6.0		26.2	4.8	16.1
蛍光管	23.2		1.8	1.8	22.6	22.0	1.2	4.8	1.8	5.4		4.2	1.8	9.5
廃食用油	8.9	1.8	1.8		6.5	7.7		0.6		0.6		54.2	2.4	15.5
古布	14.3		0.6		16.7	10.1		0.6				37.5	5.4	14.9

(1)：業者に費用を払って処理 (2)：業者に売却
 (3)：業者に無料で引き渡し (4)：納入業者に引き渡し(返却)
 (5)：区のごみ収集にごみ処理券を貼って排出 (6)：区のごみ収集にごみ処理券を貼らずに排出
 (7)：区の資源回収にごみ処理券を貼って排出 (8)：区の資源回収にごみ処理券を貼らずに排出
 (9)：自社で処理施設に持ち込む (10)：小売店店頭の回収ボックスに出す
 (11)：コンポスト化している (12)：出ない(排出されない)
 (13)：その他 (14)：無回答

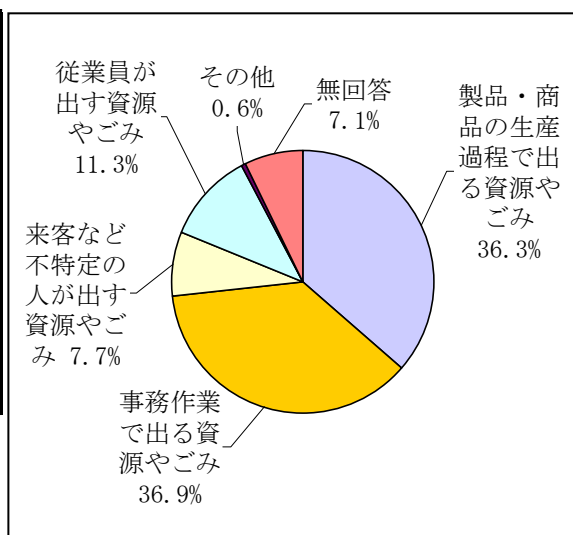


②主にどの過程でゴミや資源物が多く発生するか。

「事務作業で出る資源やゴミ」が36.9%で最も高かった。次いで「製品・商品の生産過程で出る資源やゴミ」が36.3%であった。

図表 3-34 ゴミの発生過程

項 目	件数	割合 (%)
製品・商品の生産過程（製造や流通、販売）で出る資源やゴミ（包装・梱包材など）	61	36.3
事務作業で出る資源やゴミ（コピー用紙やシュレッダーくずなど）	62	36.9
来客など不特定の人が出す資源やゴミ（弁当ガラや飲料缶など）	13	7.7
従業員が出す資源やゴミ（弁当ガラや飲料缶など）	19	11.3
その他	1	0.6
無回答	12	7.1
全体	168	100.0

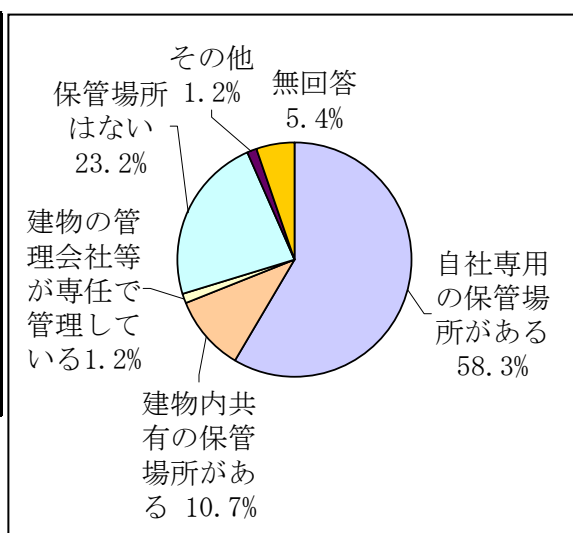


③ゴミ・資源の保管場所はあるか。

「自社専用の保管場所がある」が58.3%で最も高かった。次いで「保管場所はない」が23.2%であった。

図表 3-35 ゴミ・資源物の保管場所

項 目	件数	割合 (%)
自社専用の保管場所がある	98	58.3
建物内共有の保管場所がある	18	10.7
建物の管理会社、清掃業者等が専任で管理している	2	1.2
保管場所はない	39	23.2
その他	2	1.2
無回答	9	5.4
全体	168	100.0



◆「その他」の意見

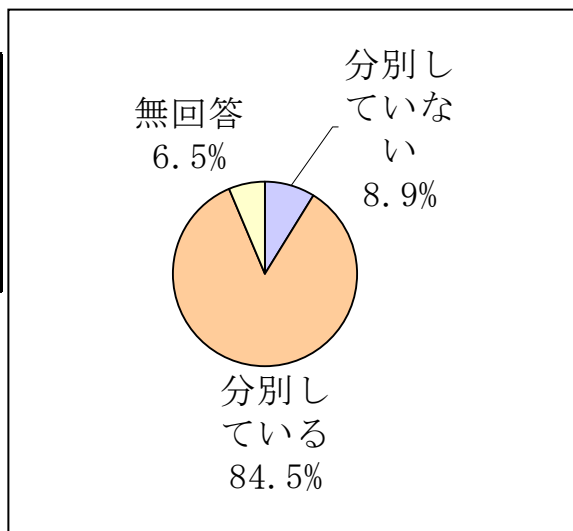
- ・保管するほどゴミが出ない。

④リサイクルできる資源物を分別処理しているか。

「分別している」が84.5%で最も高かった。

図表 3-36 資源物の分別

項 目	件数	割合 (%)
分別していない	15	8.9
分別している	142	84.5
無回答	11	6.5
全体	168	100.0



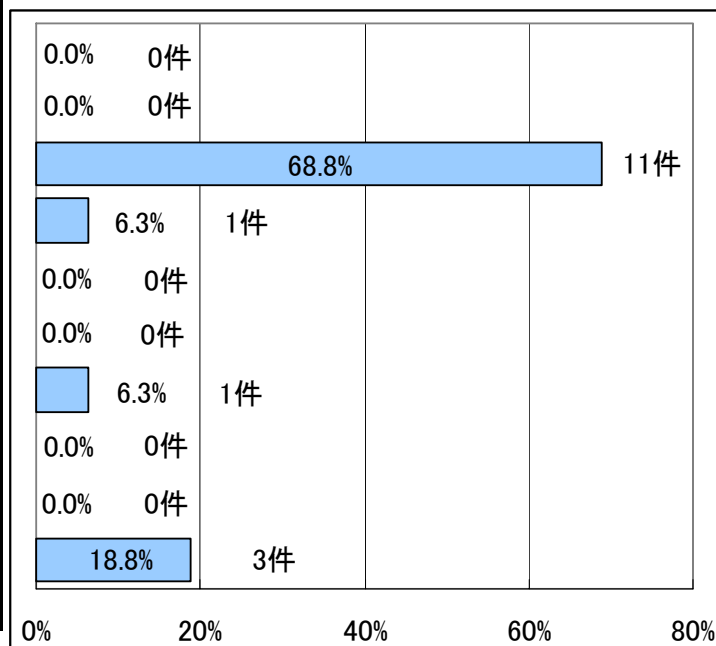
⑤資源物を分別していないのはなぜですか。(複数回答)

(④の質問で「資源物を分別していない」と回答した事業所が対象)

「分別するほど資源物が出ない」が68.8%で最も高かった。

図表 3-37 資源物の分別をしない理由

項 目
作業工程上分別できない
社員・作業員の協力が得にくい
分別するほど資源物が出ない
分別しても資源の引き取り先がない
分別してもごみ処理費用が下がらない
資源物が売却出来ず逆に処理費がかかる
分別に手間がかかる
特に考えていなかった
その他
無回答

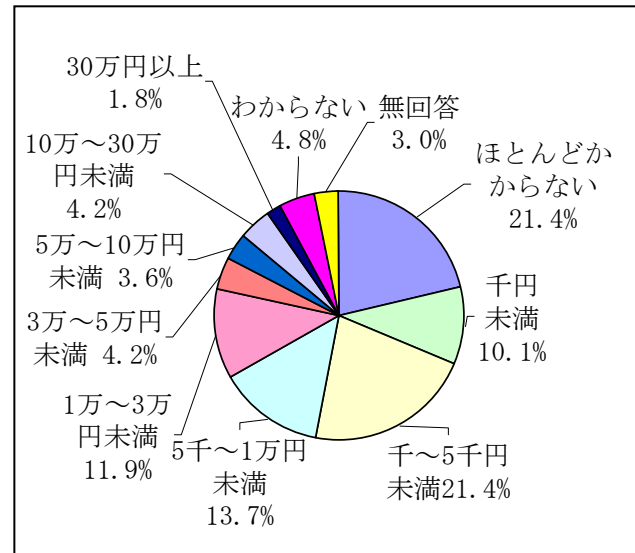


⑥ごみや資源の処理費として、毎月どの程度費用がかかっていますか。

「ほとんどかからない」、「千～5千円未満」が21.4%で最も高かった。次いで「5千～1万円未満」が13.7%であった。

図表 3-38 ごみや資源物の処理費用

項 目	件数	割合 (%)
ほとんどかからない	36	21.4
千円未満	17	10.1
千～5千円未満	36	21.4
5千～1万円未満	23	13.7
1万～3万円未満	20	11.9
3万～5万円未満	7	4.2
5万～10万円未満	6	3.6
10万～30万円未満	7	4.2
30万円以上	3	1.8
わからない	8	4.8
無回答	5	3.0
全体	168	100.0

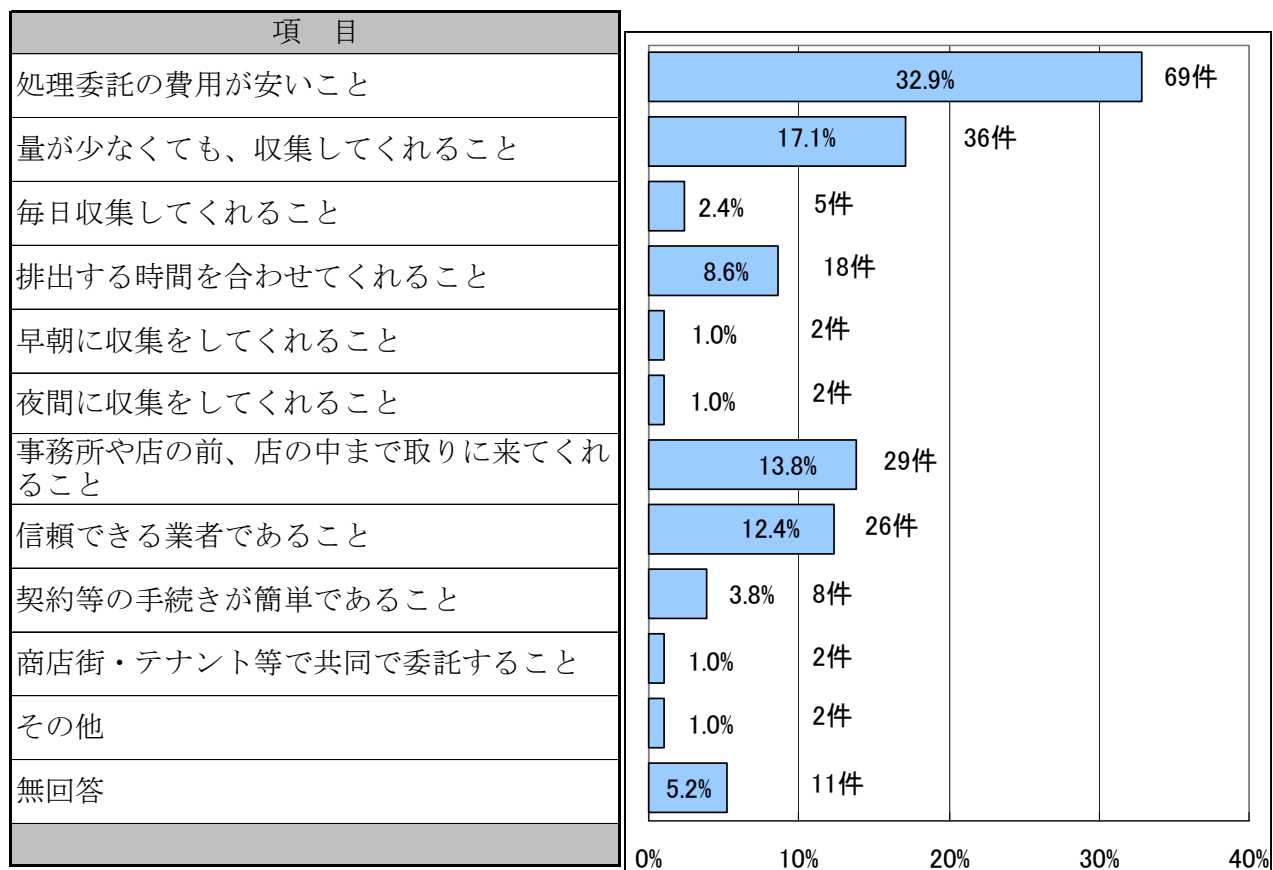


⑦「ごみ処理券を貼って区の収集に出している事業所」の方のみお答えください。

ごみ・資源物の処理を、どのような条件ならば一般廃棄物処理業者（廃棄物の収集運搬、処分を行う業者）に委託できますか。（複数回答）

「処理委託の費用が安いこと」が32.9%で最も高かった。次いで「量が少なくても、収集してくれること」が17.1%であった。

図表 3-39 一般廃棄物処理業者の利用条件

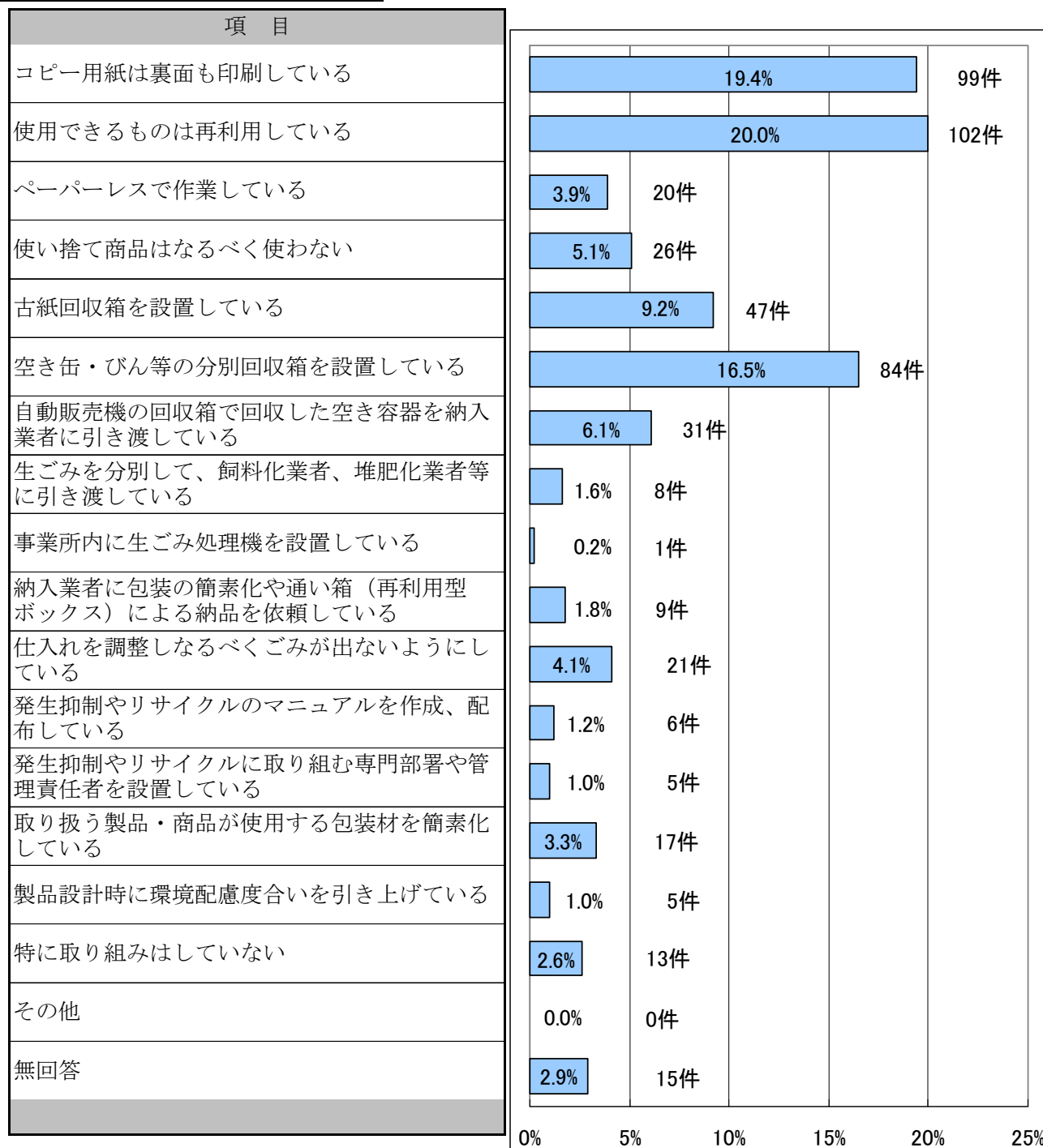


◎ ごみの減量やリサイクルへの意義と取り組みについてお聞きます。

⑧貴事業所で行っている、ごみを出さない取り組みについて。(複数回答)

「使用できるものは再利用している」が20.0%で最も高かった。次いで「コピー用紙は裏面も印刷している」が19.4%であった。

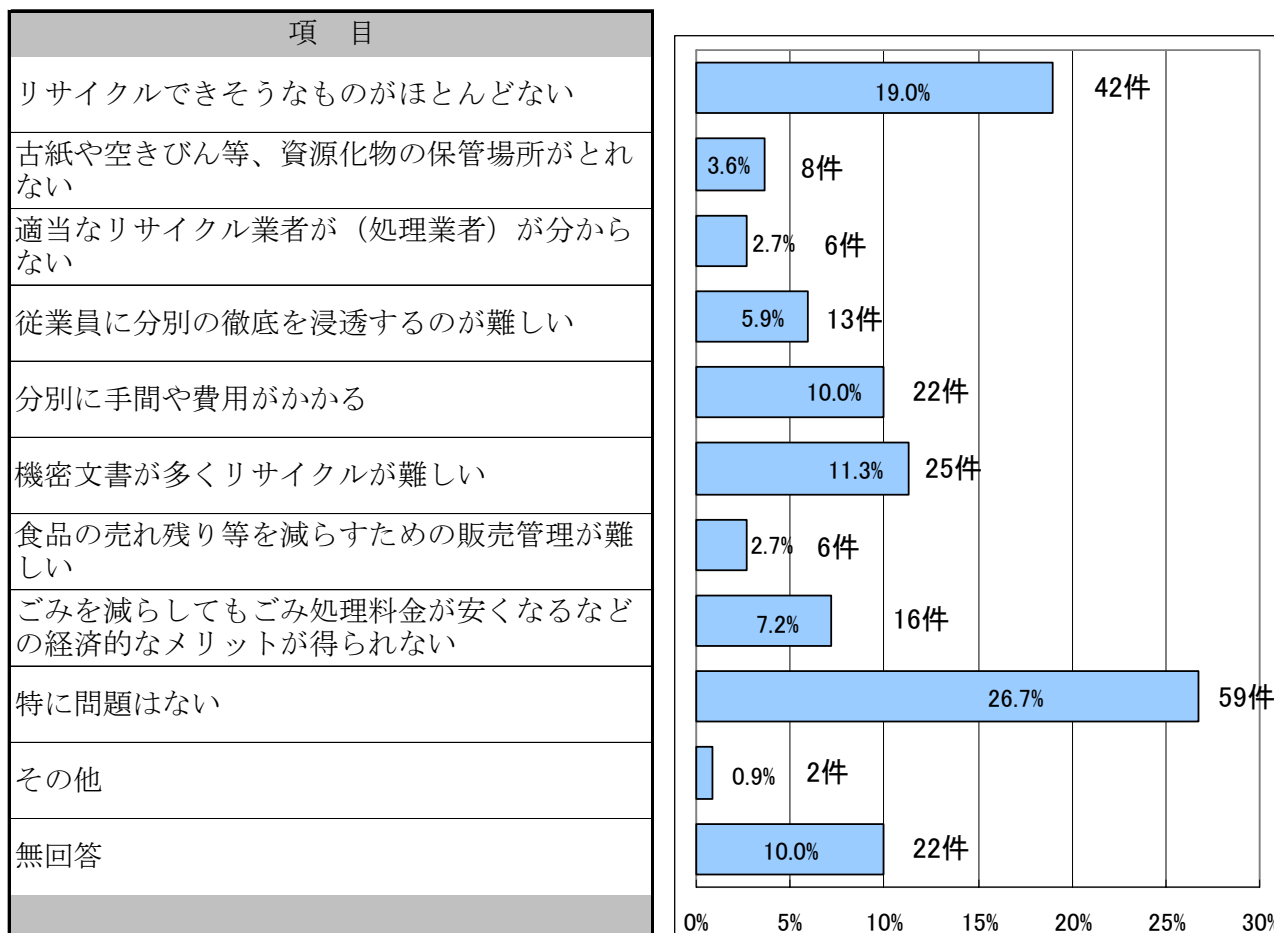
図表 3-40 ごみを出さない取り組み



⑨貴事業所で、ごみの発生抑制及びリサイクルを進める上での主な問題点は何ですか。
(複数回答)

「特に問題はない」が26.7%で最も高かった。次いで「リサイクルできそうなものがほとんどない」が19.0%であった。

図表 3-41 ごみの発生抑制及びリサイクルの問題点

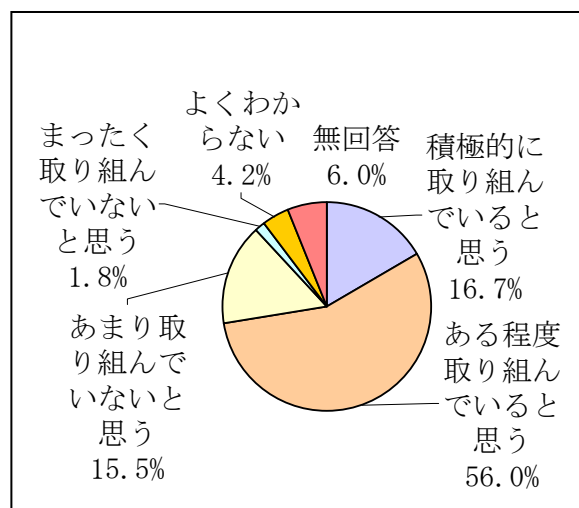


⑩貴事業所では、ごみ減量・リサイクルに積極的に取り組んでいると思いますか。

「ある程度取り組んでいると思う」が56.0%で最も高かった。

図表 3-42 ごみ減量・リサイクルへの取り組み方

項 目	件数	割合 (%)
積極的に取り組んでいると思う	28	16.7
ある程度取り組んでいると思う	94	56.0
あまり取り組んでいないと思う	26	15.5
まったく取り組んでいないと思う	3	1.8
よくわからない	7	4.2
無回答	10	6.0
全体	168	100.0

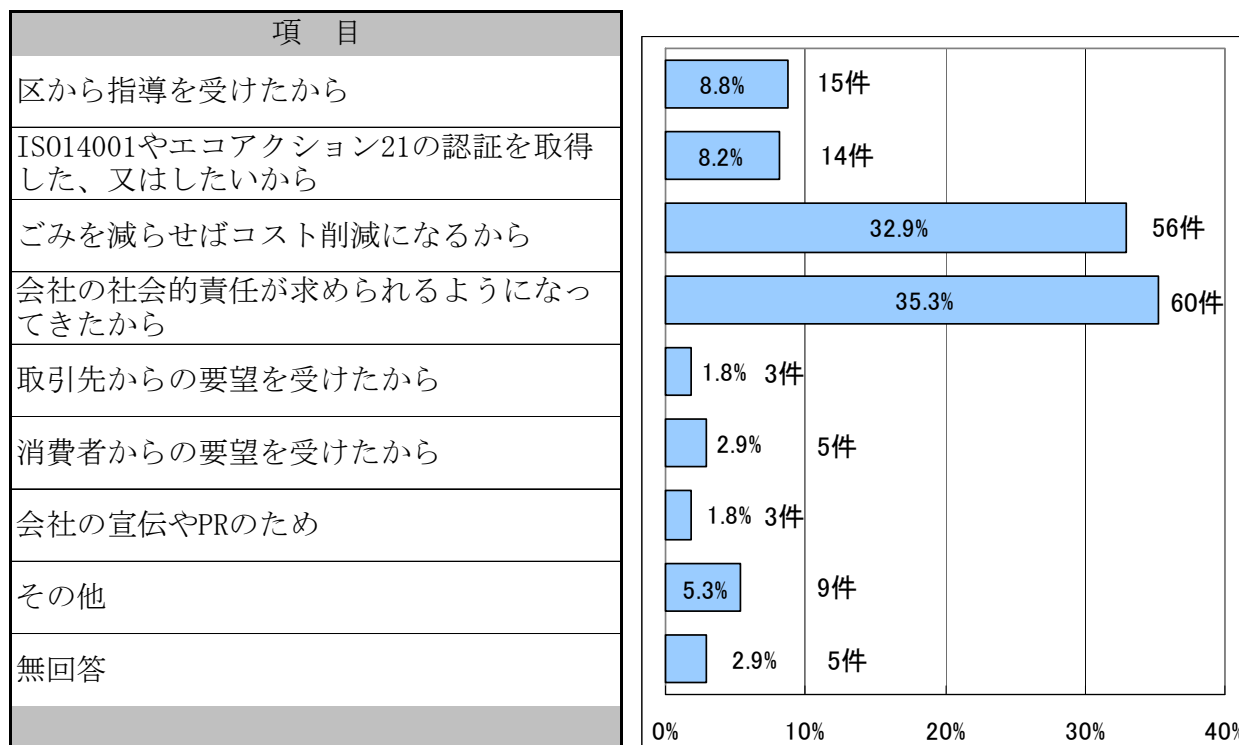


⑪ごみ減量・リサイクルに取り組んだきっかけは何ですか。（複数回答）

（⑩の質問で「ごみ減量・リサイクルに取り組んでいる」と回答した事業所が対象）

「会社の社会的責任が求められるようになってきたから」が35.3%で最も高かった。次いで「ごみを減らせばコスト削減になるから」が32.9%であった。

図表 3-43 ごみ減量・リサイクルを始めたきっかけ



◆「その他」の意見

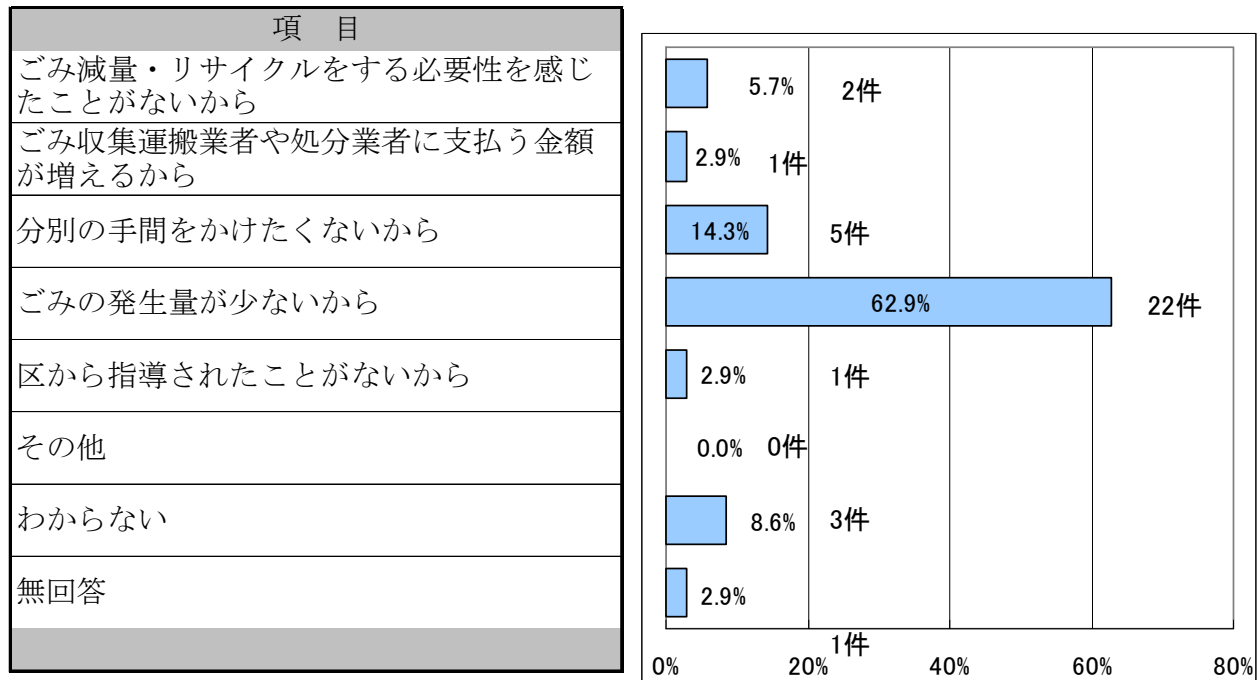
- ・環境にいいと考えて。普通だと思っていた。
- ・スタッフの意識向上につながる。
- ・回収業者の指示。
- ・区からの指導というよりも、町会や近隣との協調。

⑫ごみ減量・リサイクルに取り組んでいない理由はなんですか。（複数回答）

（⑩の質問で「ごみ減量・リサイクルに取り組んでいない」と回答した事業所が対象）

「ごみの発生量が少ないから」が62.9%で最も高かった。次いで「分別の手間をかけたくないから」が14.3%であった。

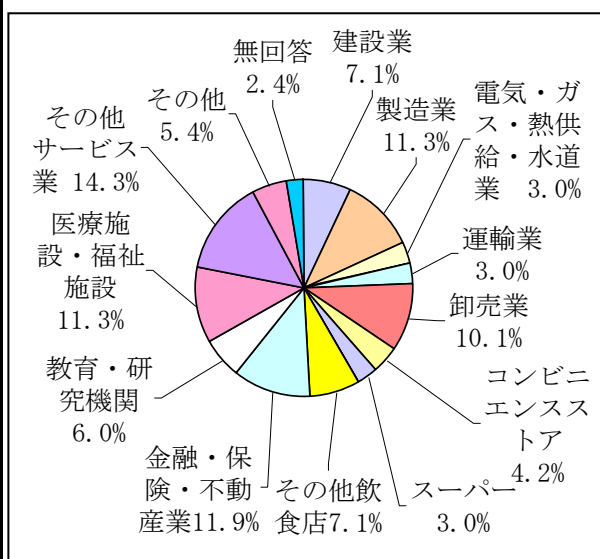
図表 3-44 ごみ減量・リサイクルに取り組んでいない理由



◎貴事業所について

図表 3-45 業種

項 目	件数	割合 (%)
建設業	12	7.1
製造業	19	11.3
電気・ガス・熱供給・水道業	5	3.0
情報通信業	0	0.0
運輸業	5	3.0
卸売業	17	10.1
コンビニエンスストア	7	4.2
スーパー	5	3.0
ファミリーレストラン	0	0.0
ファーストフード	0	0.0
その他飲食店	12	7.1
金融・保険・不動産業	20	11.9
教育・研究機関	10	6.0
医療施設・福祉施設	19	11.3
その他サービス業	24	14.3
その他	9	5.4
無回答	4	2.4
全体	168	100.0

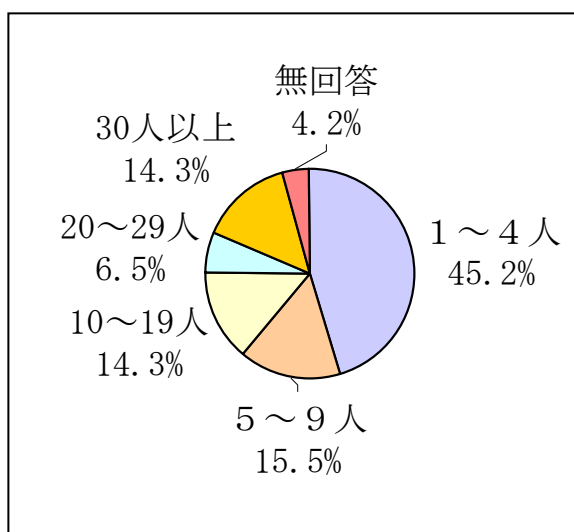


◆「その他」の意見

・ 寺 ・ 生活協同組合 ・ 幼稚園

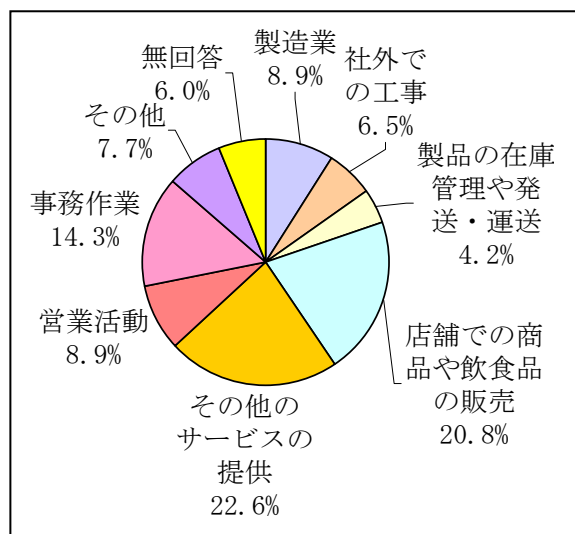
図表 3-46 従業員数

項 目	件数	割合 (%)
1～4人	76	45.2
5～9人	26	15.5
10～19人	24	14.3
20～29人	11	6.5
30人以上	24	14.3
無回答	7	4.2
全体	168	100.0



図表 3-47 作業内容

項 目	件数	割合 (%)
製造業	15	8.9
社外での工事	11	6.5
製品の在庫管理や発送・運送	7	4.2
店舗での商品や飲食品の販売	35	20.8
その他のサービスの提供	38	22.6
営業活動	15	8.9
事務作業	24	14.3
その他	13	7.7
無回答	10	6.0
全体	168	100.0

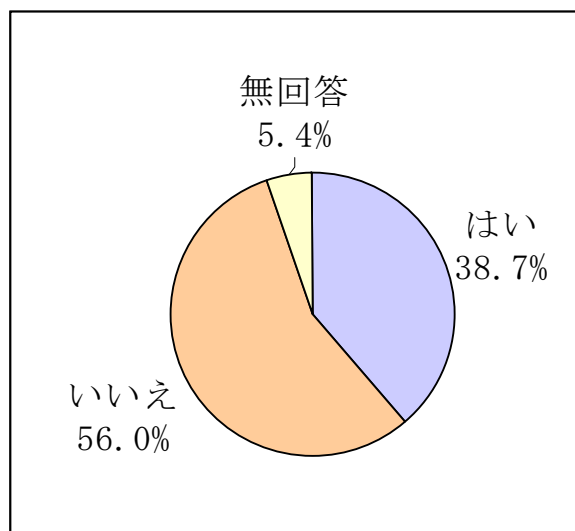


◆「その他」の意見

- ・ 歯科治療
- ・ 宿泊業
- ・ 教育、学習
- ・ 霊園管理
- ・ 金融業

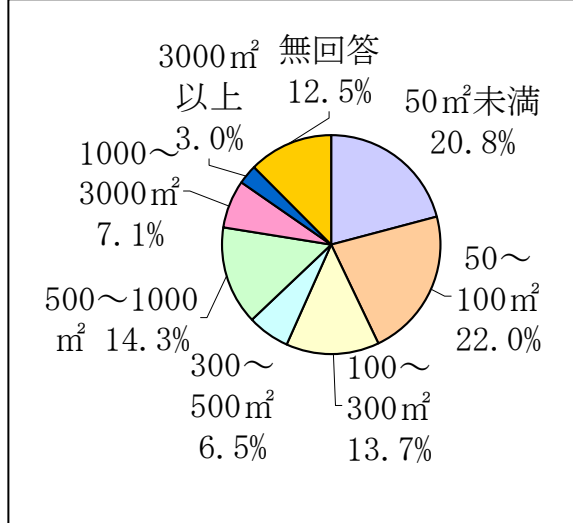
図表 3-48 住居と事務所が併設されているか

項 目	件数	割合 (%)
はい	65	38.7
いいえ	94	56.0
無回答	9	5.4
全体	168	100.0



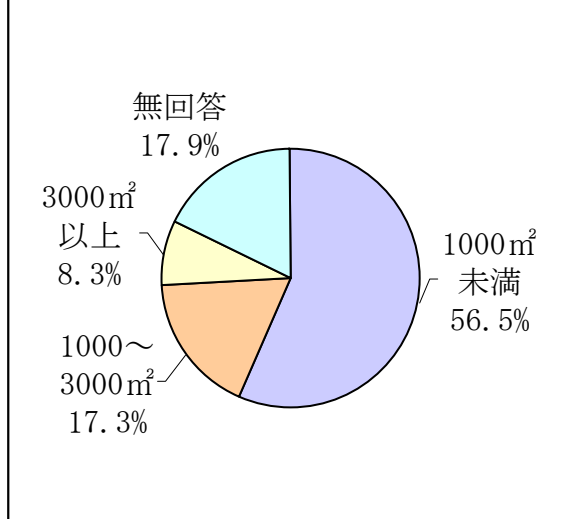
図表 3-49 延べ床面積

項 目	件数	割合 (%)
50㎡未満	35	20.8
50～100㎡	37	22.0
100～300㎡	23	13.7
300～500㎡	11	6.5
500～1000㎡	24	14.3
1000～3000㎡	12	7.1
3000㎡以上	5	3.0
無回答	21	12.5
全体	168	100.0



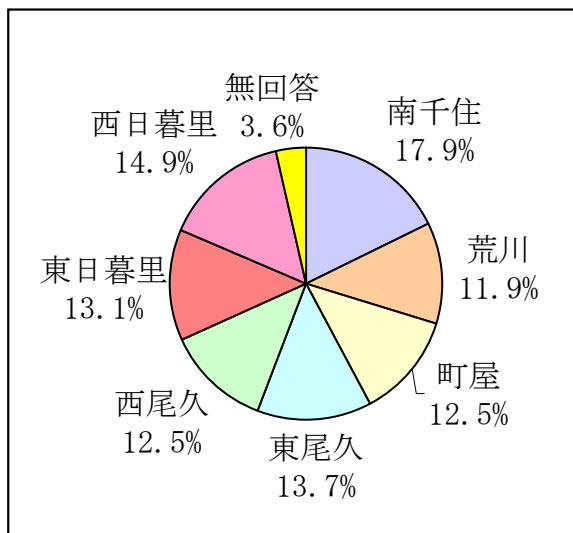
図表 3-50 事務所の入っている建物全体の延べ床面積

項 目	件数	割合 (%)
1000㎡未満	95	56.5
1000～3000㎡	29	17.3
3000㎡以上	14	8.3
無回答	30	17.9
全体	168	100.0



図表 3-51 所在地域

項 目	件数	割合 (%)
南千住	30	17.9
荒川	20	11.9
町屋	21	12.5
東尾久	23	13.7
西尾久	21	12.5
東日暮里	22	13.1
西日暮里	25	14.9
無回答	6	3.6
全体	168	100.0



※自由意見

- ・事業所のごみで少量なもの(20ℓ以下)は、無料で回収してほしい。同じ収集所で家庭ごみ袋の中に事業用を入れている方もいる。
- ・費用を負担するならもっと低額にし、広く集めた方が良いのではないかな？
- ・区でリサイクルを行ったら良いのでは。
- ・ごみ減量、リサイクルに取り組んだきっかけは、江東区に在住の際、ごみ処理問題について考えさせられた為、ごみ処理場のある区に住めば考えると思う。
- ・ごみ収集時間がばらばら。生活に合わせた曜日、時間収集場所に出せば良いと思う。回収終了の看板。
- ・店の前の自販機のごみ箱に家庭ごみが大量に入っている。
- ・リサイクルやごみ減量は社会環境のために当然だと思うから。
- ・法人税を払い、ごみ処理券まで貼っても、ごみ収集を拒否される理由が分からない。悪質な収集業者に流れるよりも、自治体がきちんと処理すべきではないか。
- ・まとまるまで社内で保管することになりますと、飲料のびん缶ペットボトルなどをよくすすいでおかないと、夏季などは害虫の発生にもつながります。そういった作業を社員に徹底するのは簡単ではありませんが、ごみの減量、資源のリサイクルはとても大事なことです。努力を続けたいと思います。
- ・ごみ処理券の値下げを求めます。
- ・不燃ごみの回収時間の延長を求めます。
- ・開店が遅いため、ごみを出すことができない。その為、家まで持って行って処理をしています。

第四章 ごみ排出実態調査結果の分析

4-1 ごみ排出実態調査結果の分析

(1) 家庭系

A. 18 年度調査との比較

前回調査時（平成 18 年度）と今回調査時（平成 22 年度）では、平成 20 年 4 月からのサーマルリサイクル実施に伴うごみの分別区分の変更、集団回収による回収品目の拡大のため、組成の構成に違いがある。これらの状況の変化も考慮に入れつつ、前回調査結果との比較を行った。

a. 可燃ごみ

平成18年度調査と比較して大きく変動した項目は、可燃ごみの組成においては、塵芥14.4ポイントの減少が目立ち、さらに、資源以外の紙類12.7ポイント、及び容器包装リサイクル法対象のプラスチック類7.4ポイントとプラスチック類その他1.8ポイントの増加が目立っている。そのほかでは、可燃ごみに含まれる資源物は9.6ポイント減少している。

プラスチック類が増えていることは、サーマルリサイクルの実施による、プラスチック類の不燃ごみから可燃ごみへの変更の結果と考えられる。

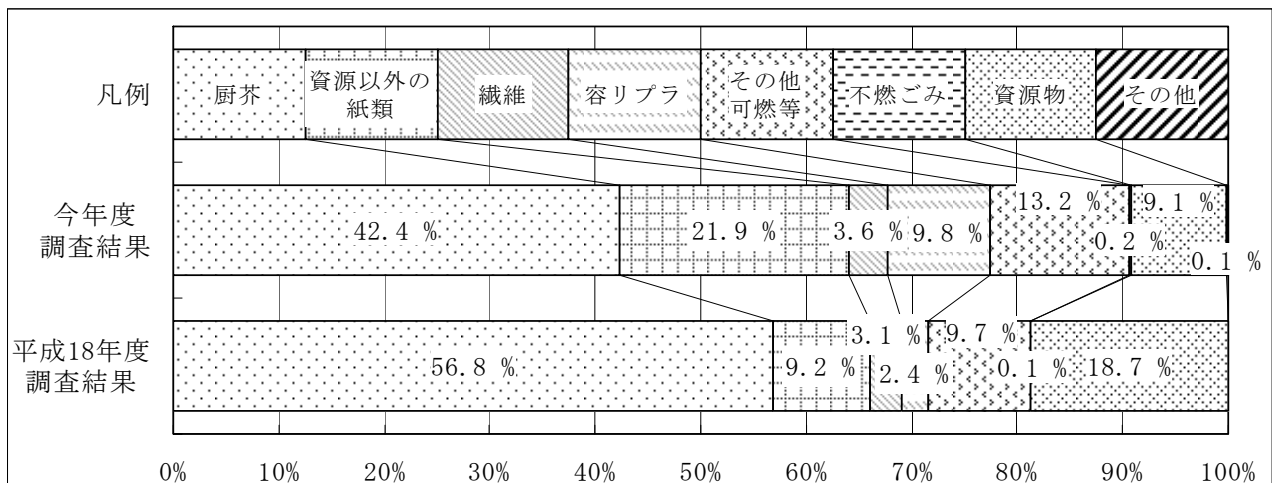
混入されている資源物が減っていることは、集団回収の効果とも考えられる。

図表 4-1 家庭系可燃ごみ18年度との比較

単位：ポイント

分別項目	今年度調査結果	平成18年度調査結果	今年度－平成18年度
厨芥	42.4	56.8	-14.4
調理くず、残飯	40.6	56.2	-15.6
未利用食品	1.8	0.6	1.2
資源以外の紙類	21.9	9.2	12.7
OA用紙	1.6	0.7	0.9
その他紙類	17.9	8.5	9.4
残さ付き新聞等	2.4	-	-
繊維（古着、古布等）	3.6	3.1	0.5
容リプラ	9.8	2.4	7.4
プラスチック製容器包装類	4.2	1.0	3.2
パック・カップ類	0.1	-	-
残さ付き容器包装類	3.4	0.8	2.6
ペットボトル（残さ付き）	0.2	-	-
白色トレイ（残さ付き）	0.1	0.0	0.1
ボトル状容器	0.5	0.0	0.5
レジ袋	0.9	0.6	0.3
プラスチック製キャップ類	0.2	-	-
発泡スチロールの緩衝材	0.2	-	-
その他可燃等	13.2	9.7	3.5
プラスチック類その他	2.0	0.2	1.8
ゴム・皮革	0.7	0.0	0.7
その他可燃物	10.5	9.5	1.0
不燃ごみ	0.2	0.1	0.1
資源物	9.1	18.7	-9.6
その他	0.1	0.0	0.1
合 計	100.0	100.0	-

注：容リプラとは、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類のこと。



b. 不燃ごみ

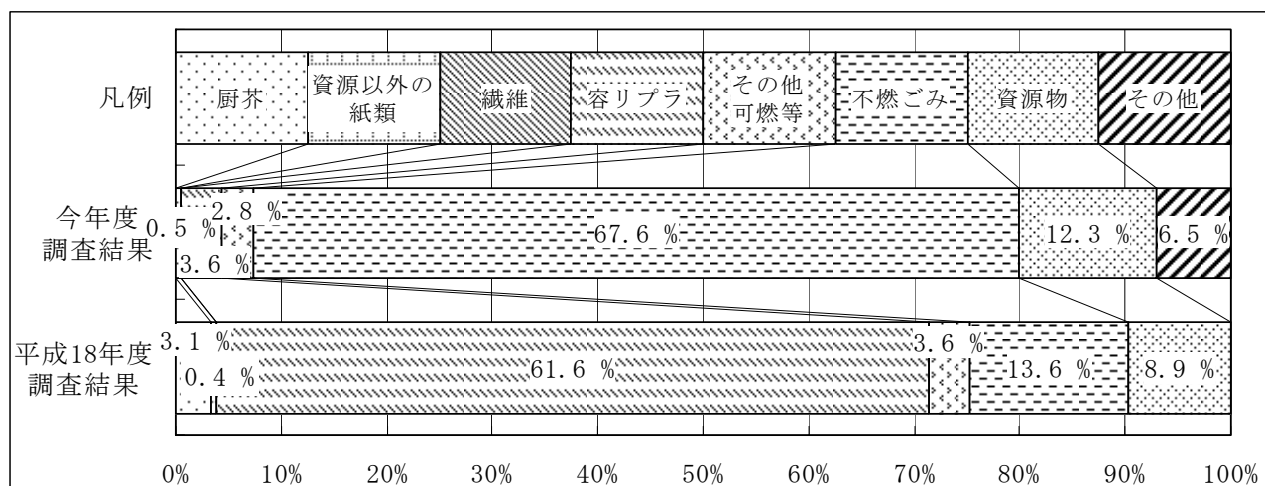
平成 18 年度調査と比較して大きく変動した項目は、不燃ごみの組成において容器包装リサイクル法対象のプラスチック類 58.0 ポイントの減少、及び不燃ごみ 54.0 ポイントの増加であった。これは、サーマルリサイクルの実施による、プラスチック類の不燃ごみから可燃ごみへの変更の結果と考えられる。

図表 4-2 家庭系不燃ごみ 18 年度との比較

単位：ポイント

分別項目	今年度調査結果	平成18年度調査結果	今年度－平成18年度
厨芥	0.0	3.1	-3.1
調理くず、残飯	0.0	2.7	-2.7
未利用食品	0.0	0.4	-0.4
資源以外の紙類	0.5	0.4	0.1
OA用紙	0.0	0.0	0.0
その他紙類	0.3	0.4	-0.1
残さ付き新聞等	0.2	-	-
繊維（古着、古布等）	0.0	0.0	0.0
容リプラ	3.6	61.6	-58.0
プラスチック製容器包装類	1.4	37.4	-36.0
パック・カップ類	0.0	-	-
残さ付き容器包装類	0.6	15.7	-15.1
ペットボトル（残さ付き）	0.3	-	-
白色トレイ（残さ付き）	0.0	0.0	0.0
ボトル状容器	0.5	2.7	-2.2
レジ袋	0.4	5.8	-5.4
プラスチック製キャップ類	0.2	-	-
発泡スチロールの緩衝材	0.2	-	-
その他可燃等	2.8	3.6	-0.8
プラスチック類その他	6.6	8.8	-2.2
ゴム・皮革	2.4	0.8	1.6
その他可燃物	0.4	2.8	-2.4
不燃ごみ	67.6	13.6	54.0
資源物	12.3	8.9	3.4
その他	6.5	0.0	6.5
合 計	100.0	100.0	-

注：容リプラとは、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類のこと。



c. 資源物

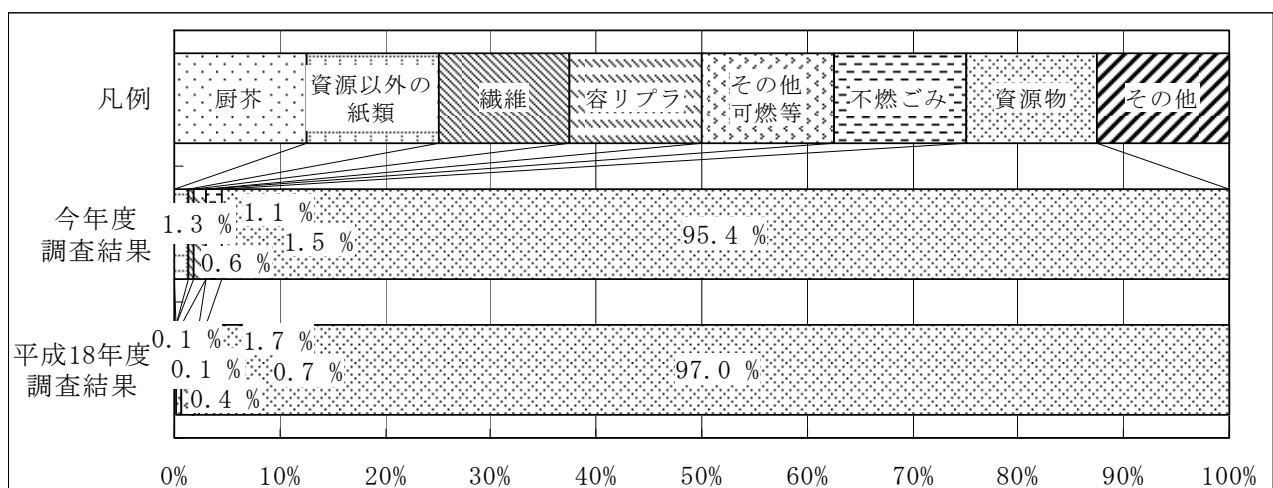
平成18年度調査と比較して資源物の項目では大きく変動した項目は無かった。

図表 4-3 家庭系資源物 18 年度との比較

単位：ポイント

分別項目	今年度 調査結果	平成18年度 調査結果	今年度－平成18年度
厨芥	0.0	0.1	-0.1
調理くず、残飯	0.0	0.1	-0.1
未利用食品	0.0	0.0	0.0
資源以外の紙類	1.3	0.1	1.2
OA用紙	1.1	0.0	1.1
その他紙類	0.1	0.1	0.0
残さ付き新聞等	0.1	-	-
繊維（古着、古布等）	0.6	0.0	0.6
容リプラ	1.1	0.4	0.7
プラスチック製容器包装類	0.0	0.3	-0.3
パック・カップ類	0.1	-	-
残さ付き容器包装類	0.1	0.0	0.1
ペットボトル（残さ付き）	0.8	-	-
白色トレイ（残さ付き）	0.0	0.0	0.0
ボトル状容器	0.0	0.1	-0.1
レジ袋	0.1	0.0	0.1
プラスチック製キャップ類	0.0	-	-
発泡スチロールの緩衝材	0.0	-	-
その他可燃等	0.0	1.7	-1.7
プラスチック類その他	0.0	0.0	0.0
ゴム・皮革	0.0	0.0	0.0
その他可燃物	0.0	1.7	-1.7
不燃ごみ	1.5	0.7	0.8
資源物	95.4	97.0	-1.6
その他	0.0	0.0	0.0
合 計	100.0	100.0	-

注：容リプラとは、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類のこと。



B. 家庭系ごみに含まれる容器包装リサイクル法対象のプラスチック類の状況

a. 可燃ごみ

可燃ごみとして処理されている排出物の中の、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類は以下のとおりである。

可燃ごみに分類されている容器包装リサイクル法対象のプラスチック類は、9.8%であった。

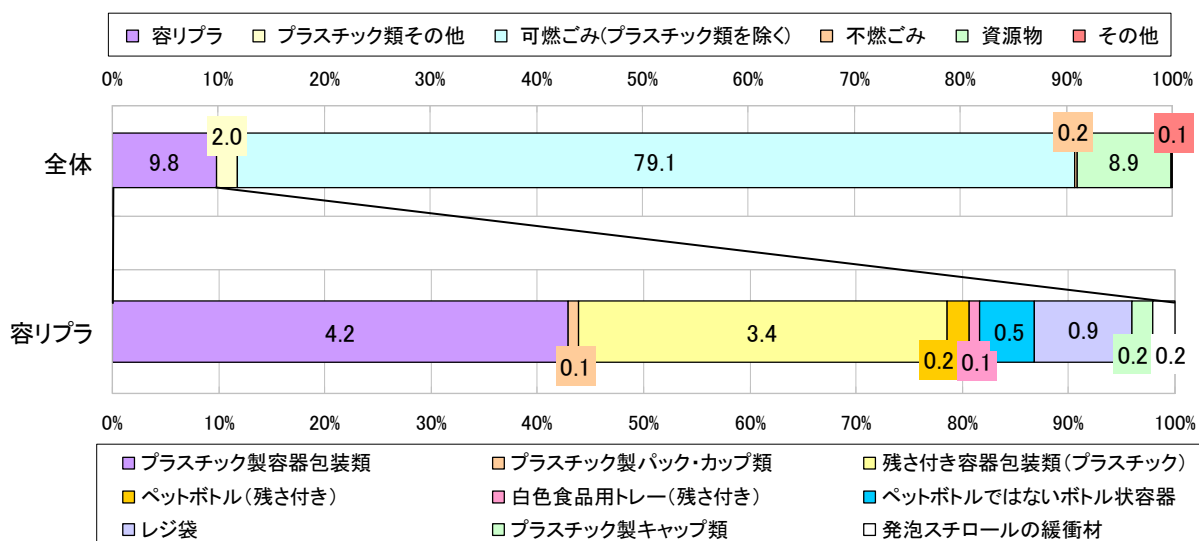
内訳は、プラスチック製容器包装類 4.2%が最も高く、次いで残さ付きのプラスチック製容器包装類 3.4%であった。

図表 4-4 可燃ごみに含まれている容リプラ混入割合

(単位：%)

分 別 項 目	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人以上世帯	全体	原単位合計 (g/人, 日)
容リプラ	11.5	9.5	8.5	11.1	9.9	9.8	45.8
プラスチック製容器包装類	5.4	4.0	3.8	4.7	4.4	4.2	20.0
プラスチック製パック・カップ類	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3
残さ付き容器包装類（プラスチック）	3.4	3.3	3.0	3.9	3.4	3.4	16.0
ペットボトル（残さ付き）	0.2	0.2	0.2	0.5	0.1	0.2	1.1
白色食品用トレイ（残さ付き）	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3
ペットボトルではないボトル状容器	0.5	0.6	0.4	0.4	0.6	0.5	2.5
レジ袋	1.5	1.0	0.7	1.0	0.8	0.9	4.1
プラスチック製キャップ類	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.7
発泡スチロールの緩衝材	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.2	0.8
プラスチック類その他	4.2	1.7	2.7	1.2	1.5	2.0	9.4
可燃ごみ（プラスチック類を除く）	70.8	78.4	80.8	75.9	81.5	79.1	376.0
不燃ごみ	0.0	0.1	0.1	0.3	0.2	0.2	1.0
資源物	13.8	10.1	7.9	11.1	6.9	8.9	43.1
その他				0.3		0.1	0.3
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	475.6

注：容リプラとは、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類のこと。



b. 不燃ごみ

不燃ごみに含まれている、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類は3.6%であったが、この内訳をみると、プラスチック製容器包装類 1.4%、残さ付きプラスチック製容器包装類 0.6%、ペットボトルでないボトル状容器 0.5%、レジ袋 0.4%の順であった。

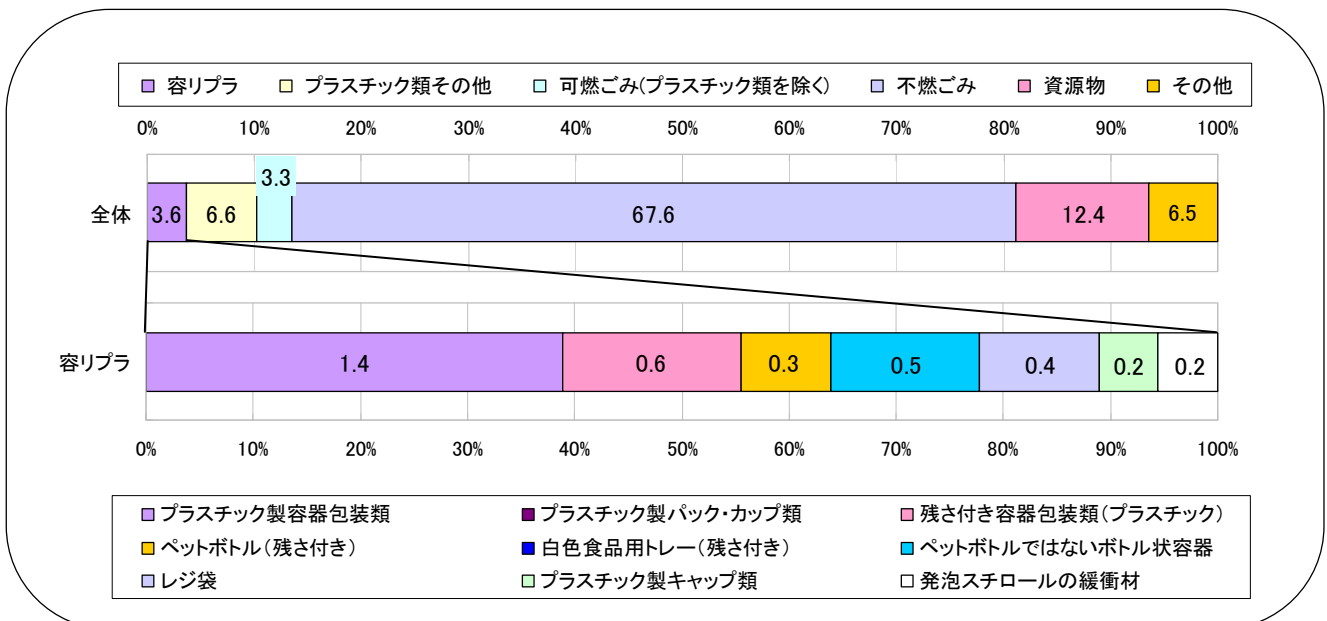
世帯人数別にみると、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類の混入割合は、3人世帯で8.1%、次いで1人世帯で4.4%であった。

図表 4-5 不燃ごみに含まれている容リプラ混入割合

(単位：%)

分 別 項 目	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人以上世帯	全体	原単位合計 (g/人, 日)
容リプラ	4.4	3.7	8.1	1.2	1.3	3.6	2.2
プラスチック製容器包装類	2.6	0.8	3.0	0.6	0.8	1.4	0.9
プラスチック製パック・カップ類	0.4					0.0	0.0
残さ付き容器包装類(プラスチック)	0.3	1.2	1.4	0.0	0.1	0.6	0.4
ペットボトル(残さ付き)			1.2			0.3	0.2
白色食品用トレイ(残さ付き)			0.1			0.0	0.0
ペットボトルではないボトル状容器	0.4	1.1	1.1			0.5	0.3
レジ袋	0.4	0.3	0.5	0.5	0.3	0.4	0.2
プラスチック製キャップ類	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1
発泡スチロールの緩衝材			0.6		0.0	0.2	0.1
プラスチック類その他	0.8	10.8	10.7	7.8	0.7	6.6	4.0
可燃ごみ(プラスチック類を除く)	2.8	10.8	0.3	3.2	0.0	3.3	2.0
不燃ごみ	82.9	34.9	61.2	75.7	90.3	67.6	40.6
資源物	9.0	14.3	19.6	8.3	7.7	12.4	7.3
その他		25.4		4.1		6.5	3.9
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	60.0

注：容リプラとは、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類のこと。



c. 資源物

資源物に含まれている、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類の混入割合は、全体で1.1%であった。

容器包装リサイクル法対象のプラスチック類における混入割合の内訳では、ペットボトル（残さ付き）0.8%が高いことがわかる。

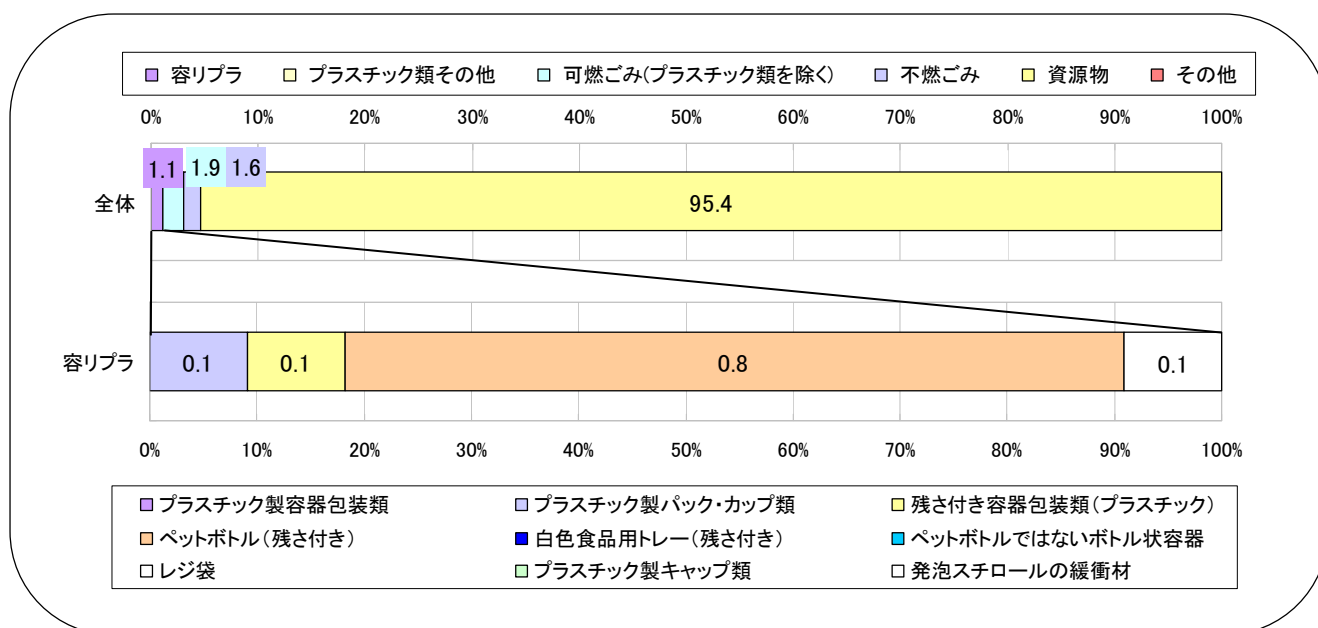
世帯人数別にみると、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類は、4人世帯で1.8%、次いで1人世帯で1.5%であった。

図表 4-6 資源物に含まれている容リプラ混入割合

(単位：%)

分 別 項 目	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人以上世帯	全体	原単位合計 (g/人, 日)
容リプラ	1.5	0.4	1.2	1.8	1.2	1.1	2.4
プラスチック製容器包装類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1
プラスチック製パック・カップ類	0.4	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2
残さ付き容器包装類（プラスチック）	0.3	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1
ペットボトル（残さ付き）	0.6	0.2	1.0	1.3	0.8	0.8	1.6
白色食品用トレイ（残さ付き）	0.0	0.0	0.0			0.0	0.0
ペットボトルではないボトル状容器	0.1			0.1	0.1	0.0	0.1
レジ袋	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2
プラスチック製キャップ類	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1
発泡スチロールの緩衝材		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
プラスチック類その他	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
可燃ごみ(プラスチック類を除く)	3.1	1.4	3.0	0.0	1.6	1.9	3.8
不燃ごみ	1.6	3.4	0.5	0.9	0.7	1.6	3.1
資源物	93.8	94.6	95.0	97.2	96.2	95.4	195.9
その他							
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	205.3

注：容リプラとは、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類のこと。



C. 排出物の容積について

ここでは、家庭からの排出物の容積（大きさ）について分析してみる。単位容積重量の分析のために、排出物 1k g 当たりの排出物の容積（大きさ）を表示して比較する。

a. 分類項目別単位容積量

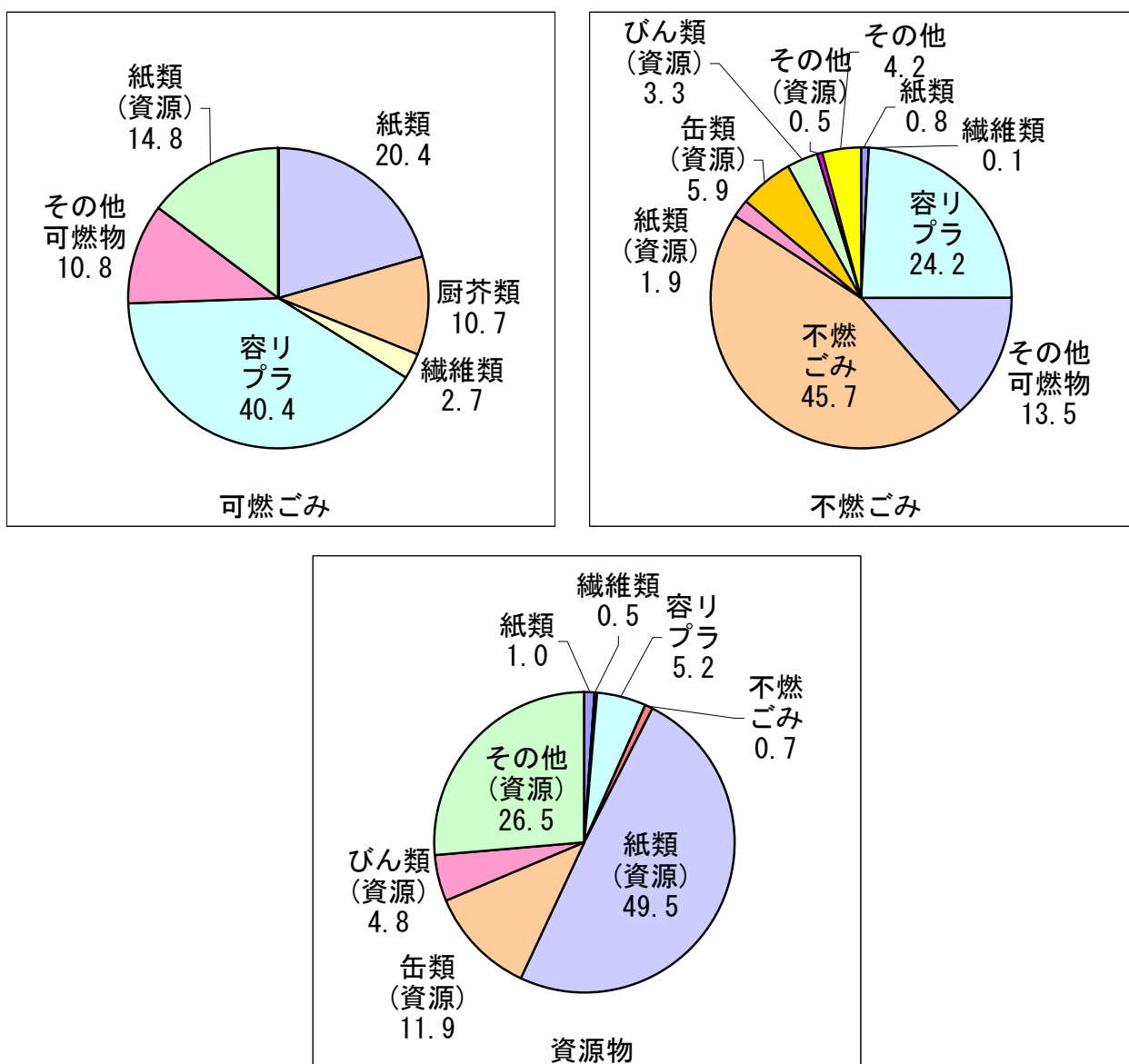
可燃ごみの容積割合は、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類が最も大きく 40.4%、次いで紙類 20.4%、その他可燃物 10.8%、厨芥（未使用食品含む）10.7%であった。

不燃ごみの容積割合は、不燃ごみ 45.7%、次いで容器包装リサイクル法対象のプラスチック類 24.2%、その他可燃物 13.5%の順であった。

資源物の容積割合は、紙類（資源）が 49.5%、次いで缶類 11.9%、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類 5.2%の順であった。

別掲（図表 4-8）の、可燃ごみ、不燃ごみ、資源物の詳細をみるとペットボトル 22.0%の容積が最も大きく、次いで新聞等 19.7%、段ボール 18.8%であった。

図表 4-7 分類項目別単位容積量



図表 4-8 排出物の容積の詳細 (1kg. 当たりの容積)

分別項目		1kg当たりの容積 (ℓ/kg)	今回の調査結果から算出した容積割合		
			可燃ごみ (%)	不燃ごみ (%)	資源物 (%)
可 燃 ご み	1. 紙類		20.4	0.8	1.0
	○A用紙	7.178	1.0	－	0.8
	その他紙類	10.791	17.1	0.5	0.1
	残さ付き新聞等	10.870	2.3	0.3	0.1
	2. 厨芥類		10.7	0.0	0.0
	厨芥 (未使用食品)	4.527	0.7	－	－
	厨芥 (調理くず、残飯)	2.785	10.0	－	－
	3. 繊維類	8.470	2.7	0.1	0.5
	4. 容器包装リサイクル法対象のプラスチック類		40.4	24.2	5.2
	プラスチック製容器包装類	48.110	17.9	10.0	0.2
	プラスチック製パック・カップ類	95.238	0.6	0.4	1.0
	残さ付き容器包装類 (プラスチック)	41.796	12.4	4.0	0.3
	ペットボトル (残さ付き)	34.700	0.7	1.4	2.6
	白色トレイ (残さ付き)	80.247	0.4	0.3	0.1
	ペットボトルではないボトル状容器	14.650	0.7	1.2	0.1
	レジ袋	80.838	6.2	4.6	0.7
	プラスチック製キャップ類	7.182	0.1	0.2	0.0
	発泡スチロールの緩衝材	93.103	1.4	2.1	0.2
	5. その他可燃物		10.8	13.5	0.0
不 燃 ご み	プラスチック類その他	10.809	1.9	10.6	0.0
	ゴム・皮革	6.800	0.4	2.4	－
	その他可燃物	9.108	8.5	0.5	0.0
	6. 不燃ごみ		0.0	45.7	0.7
	金属類	5.673	0.0	14.7	0.7
	ガラス・陶磁器類	2.652	0.0	9.5	0.0
	乾電池	1.078	0.0	0.3	0.0
	充電式乾電池	0.200	－	0.0	－
資 源 物	ボタン電池	0.333	0.0	0.0	－
	蛍光灯	10.606	－	2.5	－
	その他不燃物	5.785	0.0	18.7	0.0
	7. 紙類 (資源)		14.8	1.9	49.5
	新聞等	4.526	0.4	0.0	19.7
	雑誌	2.598	0.4	－	2.6
	段ボール	19.231	2.1	1.2	18.8
	飲料用紙パック	24.635	1.0	－	2.1
	紙製容器包装類	27.218	10.9	0.7	6.3
	8. 缶類 (資源)		0.0	5.9	11.9
	スチール缶	10.045	0.0	4.9	3.4
	アルミ缶	25.376	0.0	1.0	8.5
	9. びん類 (資源)		0.0	3.3	4.8
	リターナブルびん	4.995	－	－	0.9
	ワンウェイびん	2.779	0.0	3.3	3.9
	10. その他 (資源)		0.0	0.5	26.5
	白色の発泡スチロール製食品用トレイ	112.903	0.0	－	4.5
	ペットボトル	40.663	－	0.5	22.0
11. その他		4.368	0.0	4.2	－
合 計		－	100.0	100.0	100.0

b. 世帯別の排出容積

家庭から排出される可燃ごみ等の容積（大きさ）について、前掲の 1kg 当たりの排出物の容積の分析結果を基に表してみると、全世帯平均では、可燃ごみ 16.31ℓ、不燃ごみ 1.24ℓ、資源物 6.30ℓであった。

このことから、45ℓの容積の袋を使用した際に一袋分を貯める日数は、可燃ごみで約 2.8 日、不燃ごみで約 36.3 日、資源物で約 7.1 日かかることになる。

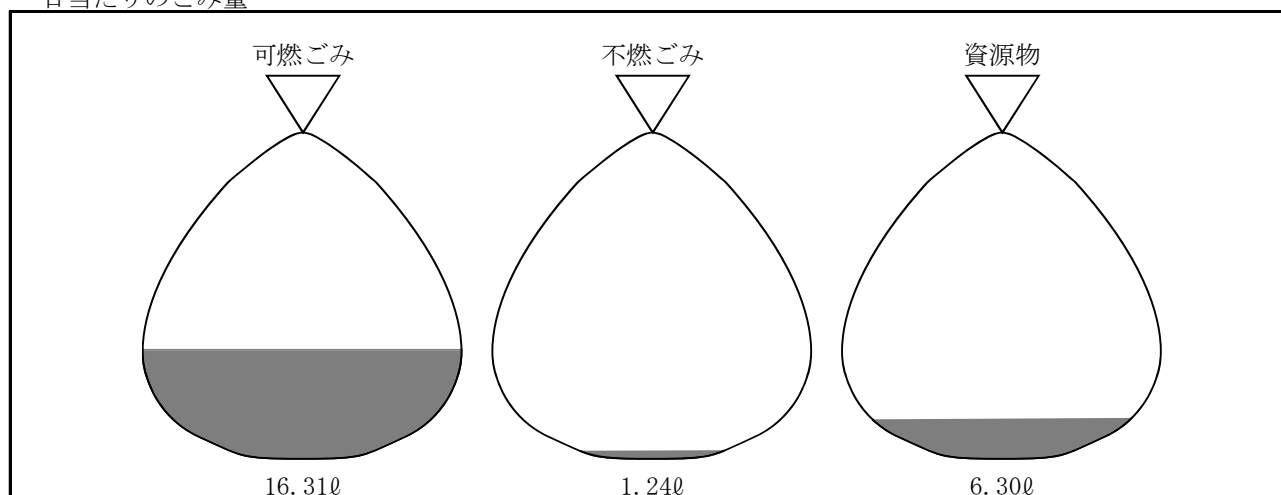
さらに、世帯人数別にみると、5 人以上世帯で、可燃ごみ 23.21ℓ、不燃ごみ 1.69ℓで共に最大の容積を排出している。

また、資源物では 4 人世帯が 9.67ℓと最大の容積を排出している。

図表 4-9 世帯 1 日当たりの不用物排出容積の調査結果

	今回の調査結果から算出した排出量		
	可燃ごみ (ℓ)	不燃ごみ (ℓ)	資源物 (ℓ)
1人世帯	8.02	0.95	3.89
2人世帯	12.21	0.92	4.35
3人世帯	17.19	1.44	6.61
4人世帯	22.12	1.26	9.67
5人以上世帯	23.21	1.69	8.18
全世帯平均	16.31	1.24	6.30

一日当たりのごみ量



※排出する袋を、45ℓのものとしている。

(2) 事業系

A. 18年度調査との比較

a. 可燃ごみ

平成18年度調査と比較して大きく変動した項目は、資源以外の紙類の増加22.5ポイント、繊維の減少13.0ポイントであった。

さらに、厨芥の減少10.5ポイント、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類の増加7.4ポイントも大きく変動しているといえる。

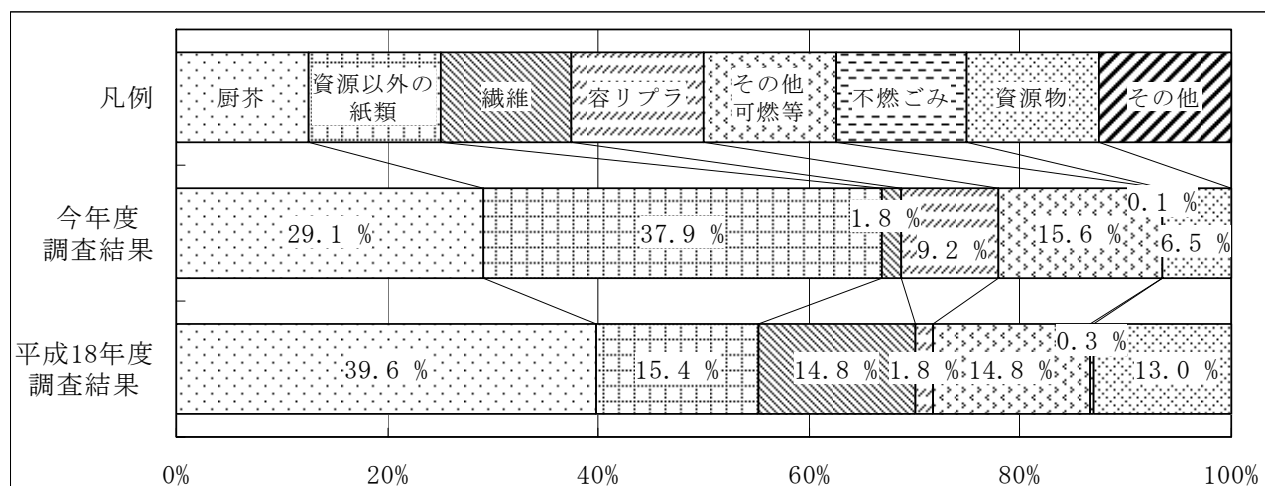
これは、一般家庭対象のサーマルリサイクルの実施により、プラスチック類が不燃ごみから可燃ごみへ変更になったことが、事業所ごみにも影響しているものと考えられる。

図表 4-10 事業系可燃ごみ 18年度との比較

単位：ポイント

分別項目	今年度調査結果	平成18年度調査結果	今年度－平成18年度
厨芥	29.1	39.6	-10.5
調理くず、残飯	28.6	39.6	-11.0
未利用食品	0.5	0.0	0.5
資源以外の紙類	37.9	15.4	22.5
OA用紙	5.1	2.0	3.1
その他紙類	30.8	13.4	17.4
残さ付き新聞等	2.0	-	-
繊維（古着、古布等）	1.8	14.8	-13.0
容リプラ	9.2	1.8	7.4
プラスチック製容器包装類	6.9	1.0	5.9
パック・カップ類	0.0	-	-
残さ付き容器包装類	1.2	0.5	0.7
ペットボトル（残さ付き）	0.2	-	-
白色トレイ（残さ付き）	0.0	0.0	0.0
ボトル状容器	0.2	0.1	0.1
レジ袋	0.2	0.2	0.0
プラスチック製キャップ類	0.0	-	-
発泡スチロールの緩衝材	0.5	-	-
その他可燃等	15.6	14.8	0.8
プラスチック類その他	3.3	0.2	3.1
ゴム・皮革	2.4	1.1	1.3
その他可燃物	9.9	13.5	-3.6
不燃ごみ	0.1	0.3	-0.2
資源物	6.5	13.0	-6.5
その他	0.0	0.0	0.0
合 計	100.0	100.0	-

注：容リプラとは、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類のこと。



b. 不燃ごみ

平成 18 年度調査と比較して大きく変動した項目では、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類 46.3 ポイントの減少であった。

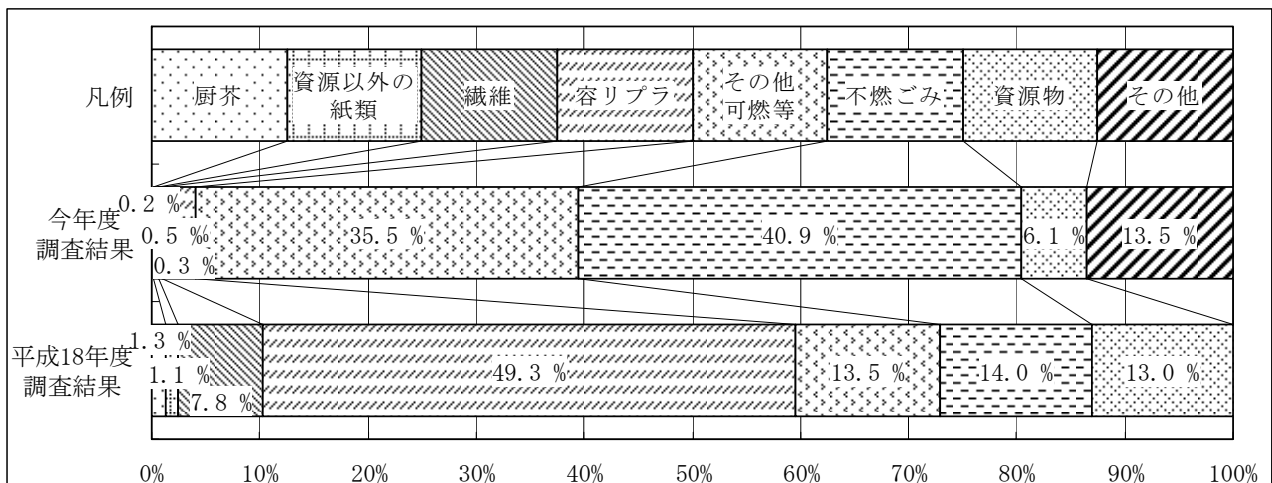
平成 18 年度より、組成割合が増加している、不燃ごみ 26.9 ポイント、その他 13.5 ポイントについては、プラスチック類が一般家庭のサーマルリサイクルの影響により減少したため、組成割合が増えたものと考えられる。

図表 4-11 事業系不燃ごみ 18 年度との比較

単位：ポイント

分別項目	今年度 調査結果	平成18年度 調査結果	今年度－平成18年度
厨芥	0.2	1.3	-1.1
調理くず、残飯	0.1	0.1	0.0
未利用食品	0.1	1.2	-1.1
資源以外の紙類	0.5	1.1	-0.6
OA用紙	0.1	0.0	0.1
その他紙類	0.3	1.1	-0.8
残さ付き新聞等	0.1	-	-
繊維（古着、古布等）	0.3	7.8	-7.5
容リプラ	3.0	49.3	-46.3
プラスチック製容器包装類	1.2	31.5	-30.3
パック・カップ類	0.0	-	-
残さ付き容器包装類	0.3	14.2	-13.9
ペットボトル（残さ付き）	0.2	-	-
白色トレイ（残さ付き）	0.0	0.0	0.0
ボトル状容器	0.5	1.8	-1.3
レジ袋	0.2	1.8	-1.6
プラスチック製キャップ類	0.2	-	-
発泡スチロールの緩衝材	0.4	-	-
その他可燃等	35.5	13.5	22.0
プラスチック類その他	32.7	6.2	26.5
ゴム・皮革	0.8	3.3	-2.5
その他可燃物	2.0	4.0	-2.0
不燃ごみ	40.9	14.0	26.9
資源物	6.1	13.0	-6.9
その他	13.5	0.0	13.5
合 計	100.0	100.0	-

注：容リプラとは、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類のこと。



c. 資源物

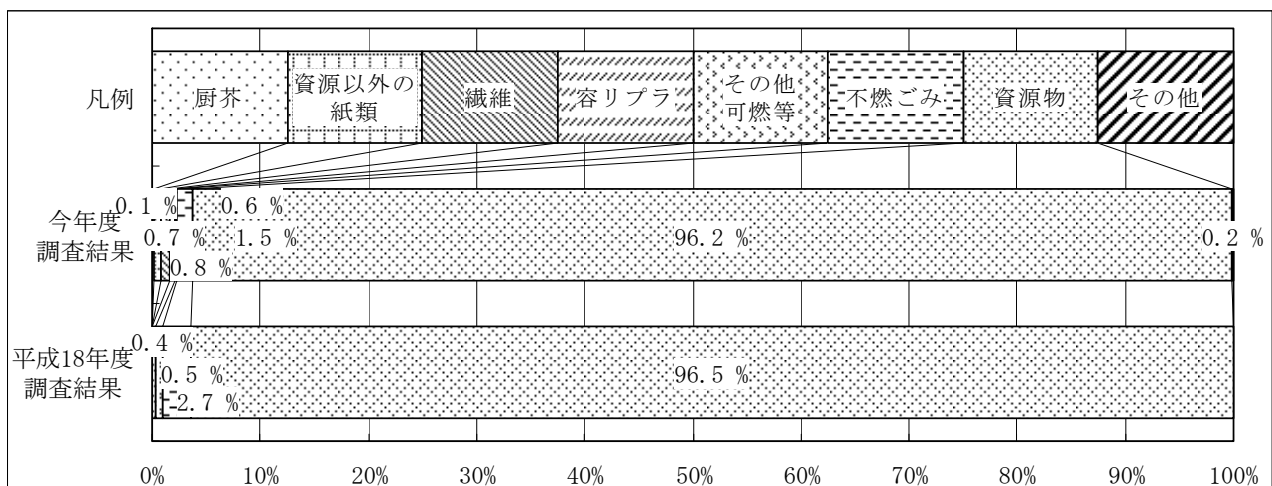
平成18年度調査と比較して大きく変動した項目は無かった。

図表 4-12 事業系資源物 18 年度との比較

単位：ポイント

分別項目	今年度 調査結果	平成18年度 調査結果	今年度－平成18年度
厨芥	0.1	0.0	0.1
調理くず、残飯	0.1	0.0	0.1
未利用食品	0.0	0.0	0.0
資源以外の紙類	0.7	0.0	0.7
OA用紙	0.4	0.0	0.4
その他紙類	0.2	0.0	0.2
残さ付き新聞等	0.1	－	－
繊維（古着、古布等）	0.8	0.0	0.8
容リプラ	0.6	0.4	0.2
プラスチック製容器包装類	0.0	0.3	-0.3
パック・カップ類	0.0	－	－
残さ付き容器包装類	0.1	0.0	0.1
ペットボトル（残さ付き）	0.3	－	－
白色トレイ（残さ付き）	0.0	0.0	0.0
ボトル状容器	0.0	0.0	0.0
レジ袋	0.1	0.1	0.0
プラスチック製キャップ類	0.1	－	－
発泡スチロールの緩衝材	0.0	－	－
その他可燃等	0.1	0.5	-0.4
プラスチック類その他	0.1	0.0	0.1
ゴム・皮革	0.0	0.0	0.0
その他可燃物	0.0	0.5	-0.5
不燃ごみ	1.5	2.7	-1.2
資源物	96.2	96.5	-0.3
その他	0.2	0.0	0.2
合 計	100.0	100.0	－

注：容リプラとは、容器包装リサイクル法対象のプラスチック類のこと。



B. 排出物の容積について

ここでは、事業所からの、排出物の容積（大きさ）について分析してみる。単位容積重量の分析のために、排出物 1 k g 当たりの排出物の容積（大きさ）を表示して比較する。

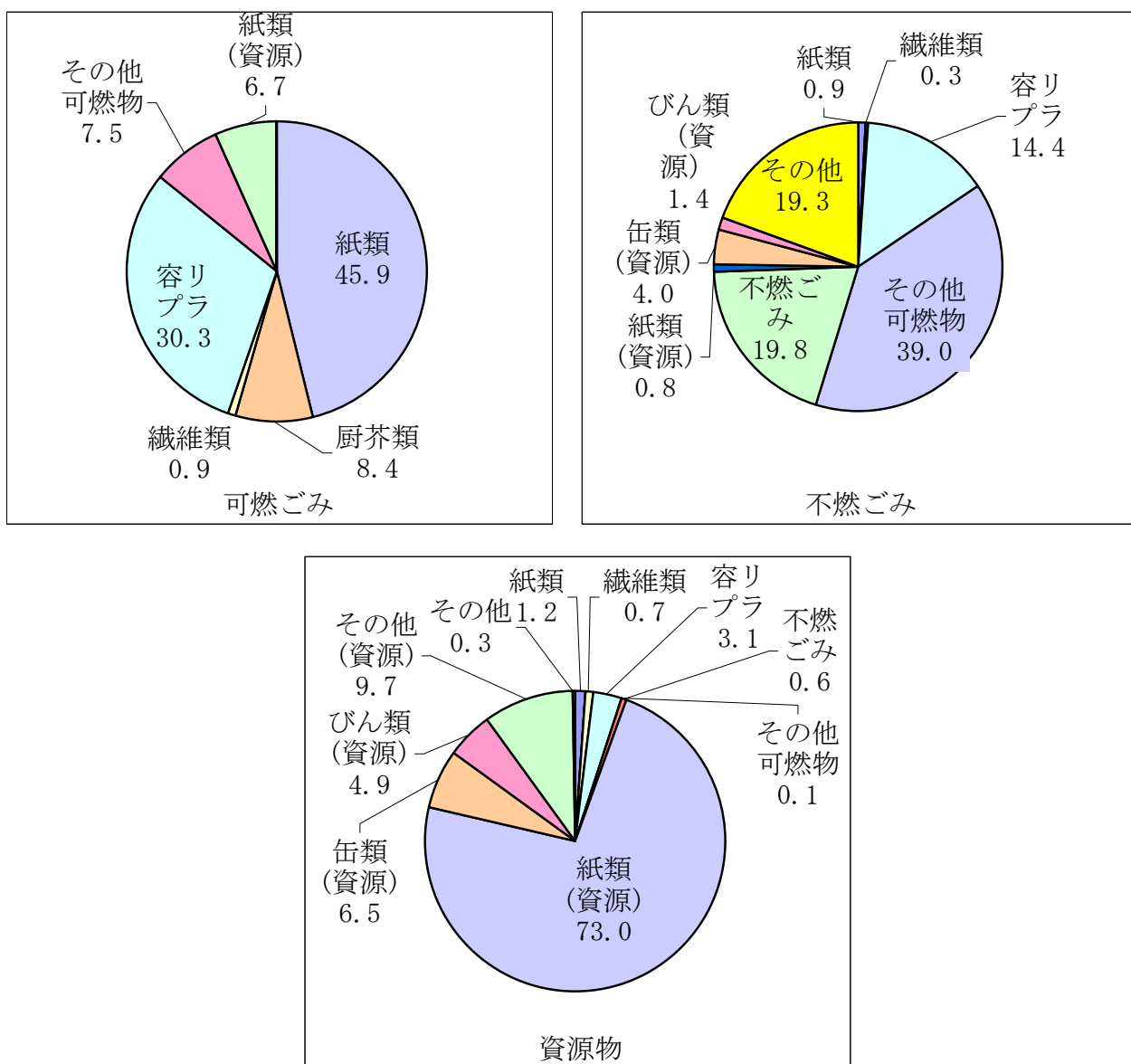
a. 分類項目別単位容積量

可燃ごみの容積割合は、資源以外の紙類が最も大きく 45.9%であり、次いで容器包装リサイクル法対象のプラスチック類が 30.3%であった。

不燃ごみの容積割合は、その他可燃物 39.0%、次いで不燃ごみ 19.8%、その他 19.3%であった。資源物の容積割合は、紙類（資源）が最も大きく 73.0%であり、次いでその他（資源）9.7%であった。

別掲（図表 4-17）の詳細をみると、可燃ごみでは、その他紙類 39.2%、プラスチック製容器包装 23.0%が目立っており、資源物では、段ボール 45.3%が特に多かった。

図表 4-13 分類項目別単位容積量



図表 4-14 排出物の容積の詳細 (1kg. 当たりの容積)

分別項目		1kg当たりの容積 (ℓ/kg)	今回の調査結果から算出した容積割合		
			可燃ごみ (%)	不燃ごみ (%)	資源物 (%)
可 燃 ご み	1. 紙類		45.9	0.9	1.2
	○A用紙	13.679	5.0	0.2	0.6
	その他紙類	18.059	39.2	0.6	0.5
	残さ付き新聞等	12.454	1.7	0.1	0.1
	2. 厨芥類		8.4	0.1	0.0
	厨芥 (未使用食品)	5.288	0.2	0.0	－
	厨芥 (調理くず、残飯)	4.067	8.2	0.1	0.0
	3. 繊維類	7.524	0.9	0.3	0.7
	4. 容器包装リサイクル法対象のプラスチック類		30.3	14.4	3.1
	プラスチック製容器包装類	47.170	23.0	6.8	0.2
	プラスチック製パック・カップ類	62.963	0.0	－	0.3
	残さ付き容器包装類 (プラスチック)	44.753	3.7	1.3	0.3
	ペットボトル (残さ付き)	35.826	0.4	0.9	1.3
	白色トレイ (残さ付き)	31.250	0.0	0.0	0.1
	ペットボトルではないボトル状容器	23.669	0.3	1.3	0.1
	レジ袋	95.541	1.6	1.9	0.7
	プラスチック製キャップ類	9.449	0.0	0.2	0.1
	発泡スチロールの緩衝材	39.548	1.3	2.0	0.0
不 燃 ご み	5. その他可燃物		7.5	39.0	0.1
	プラスチック類その他	9.767	2.2	37.0	0.1
	ゴム・皮革	5.963	1.0	0.6	0.0
	その他可燃物	6.204	4.3	1.4	0.0
	6. 不燃ごみ		0.0	19.8	0.6
	金属類	3.650	0.0	7.6	0.6
	ガラス・陶磁器類	2.846	0.0	2.3	0.0
	乾電池	1.587	0.0	0.1	－
	充電式乾電池	0.250	0.0	0.0	－
	ボタン電池	－	－	－	－
資 源 物	蛍光灯	9.930	－	3.2	0.0
	その他不燃物	4.620	0.0	6.6	0.0
	7. 紙類 (資源)		6.7	0.8	73.0
	新聞等	5.395	0.5	0.0	15.4
	雑誌	2.351	0.2	－	7.2
	段ボール	11.029	1.1	0.3	45.3
	飲料用紙パック	44.118	0.3	0.2	0.5
	紙製容器包装類	26.316	4.6	0.3	4.6
	8. 缶類 (資源)		0.0	4.0	6.5
	スチール缶	10.424	0.0	3.0	3.3
	アルミ缶	28.078	0.0	1.0	3.2
	9. びん類 (資源)		0.0	1.4	4.9
	リターナブルびん	5.322	－	0.1	2.4
	ワンウェイびん	3.813	－	1.3	2.5
	10. その他 (資源)		0.0	－	9.7
	白色の発泡スチロール製食品用トレイ	80.357	0.0	－	0.6
	ペットボトル	32.333	0.0	－	9.1
11. その他		12.391	－	19.3	0.3
合 計		－	100.0	100.0	100.0

b. 事業所別の排出容積

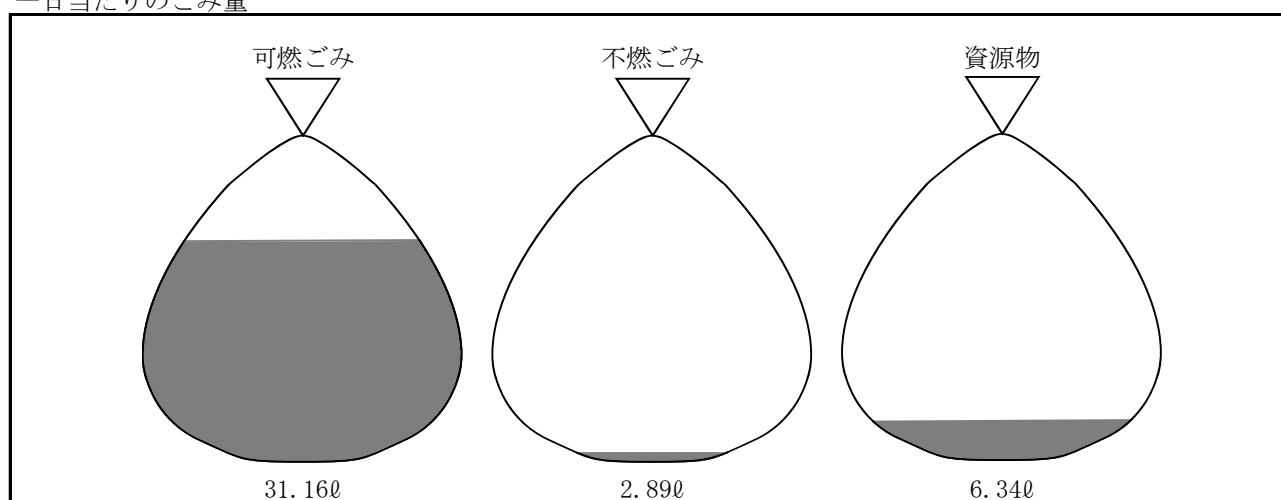
事業所から排出される可燃ごみ等の容積（大きさ）について、前掲の 1kg 当たりの排出物の容積の分析結果を基に表してみると、1 日当たりの業種別の排出容積は、全業種平均で、可燃ごみで 31.16ℓ、不燃ごみで 2.89ℓ、資源物で 6.34ℓであった。このことから、45ℓの容積の袋を使用した際に一袋分を貯める日数は、可燃ごみで約 1.4 日、不燃ごみで約 15.6 日、資源物で 7.1 日かかることになる。

事業所別にみると、製造業が可燃ごみ 67.08ℓ及び不燃ごみ 5.05ℓで両方共に最も大きな容積を排出していた。資源物ではサービス業 9.88ℓが最も大きな容積を排出していた。

図表 4-15 事業所 1 日あたりの不用物排出容積調査結果

	今回の調査結果から算出した排出量		
	可燃ごみ (ℓ)	不燃ごみ (ℓ)	資源物 (ℓ)
建設業	28.48	2.45	3.93
製造業	67.08	5.05	5.80
卸売・小売業	19.97	3.21	7.33
不動産業	5.66	1.41	4.96
飲食店・宿泊業	21.68	1.49	3.33
医療・福祉	17.41	1.01	5.45
サービス業	14.15	1.13	9.88
全業種平均	31.16	2.89	6.34

一日当たりのごみ量



※排出する袋を、45ℓのものとしている。

4-2 ごみ減量及びリサイクル・資源回収への取組に関する意識調査結果の分析

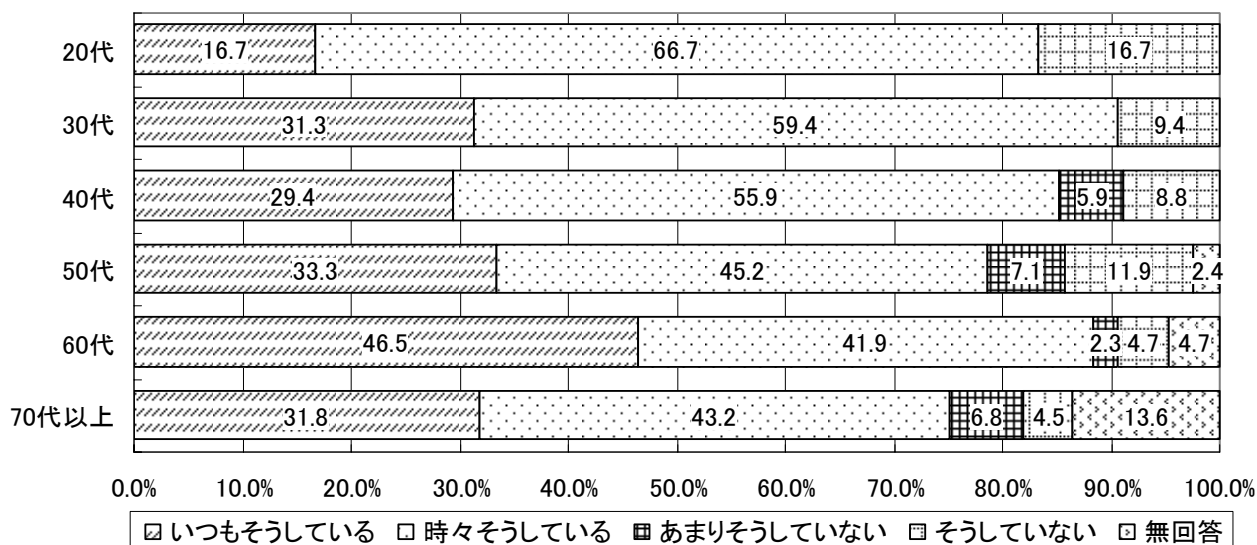
(1) 家庭系

A. 暮らしの中での環境配慮やごみ減量への年代別取り組み

a. 少ない買い物の際はレジ袋を断っている

レジ袋の断り状況を年代別にみると、60代が46.5%で最も高く、20代が16.7%で最も低かった。また、20代では、「そうしていない」割合が16.7%で年代別で最も高かった。

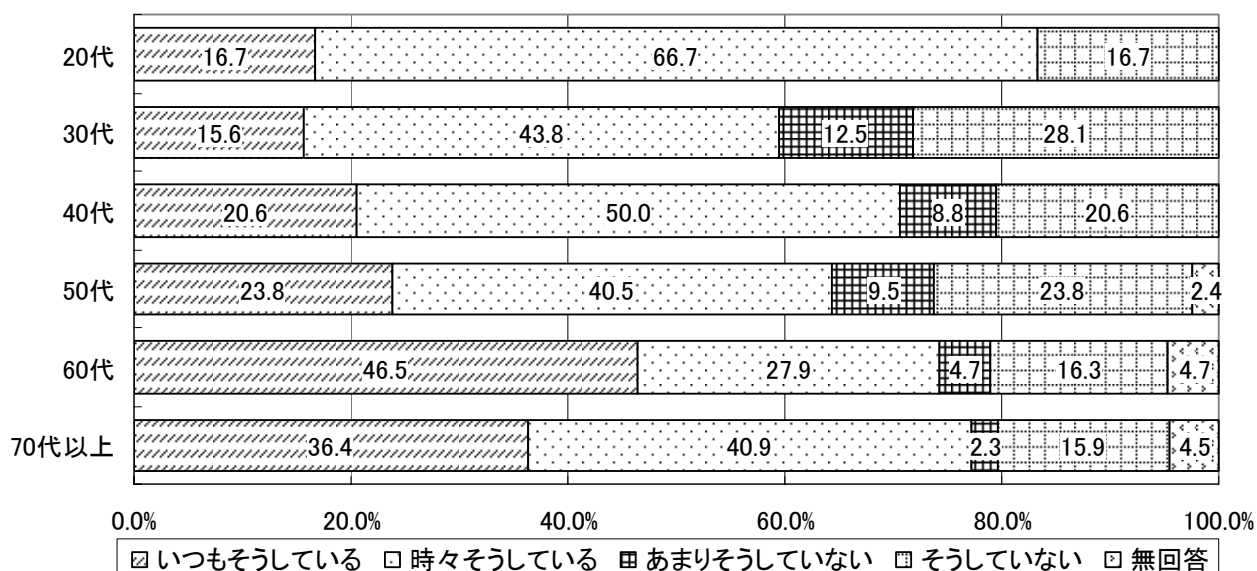
図表 4-16 レジ袋の年代別断り状況（クロス集計）



b. マイバッグを利用している

マイバッグの利用状況を年代別にみると、60代が46.5%で最も高く、30代が15.6%で最も低かった。また、30代では「そうしていない」割合が28.1%で年代別で最も高かった。

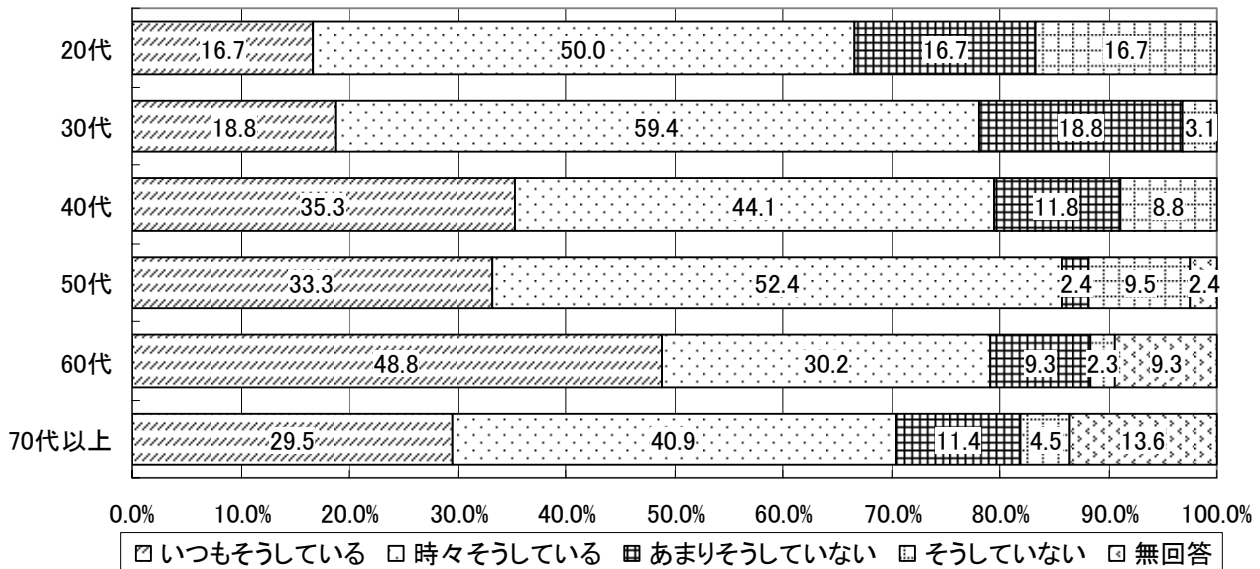
図表 4-17 マイバッグの利用状況（クロス集計）



c. 余分・過剰な包装は断っている

過剰包装の断り状況を年代別にみると、60代が48.8%で最も高く、20代が16.7%で最も低かった。また、20代では「そうしていない」割合が16.7%で年代別で最も高かった。

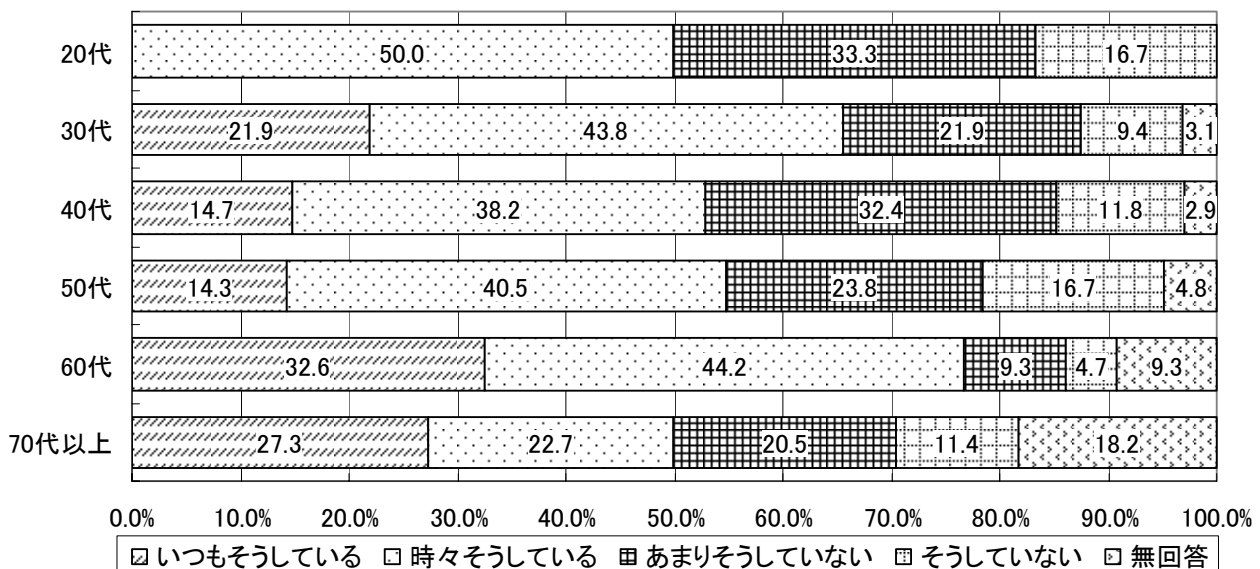
図表 4-18 余分・過剰な包装の断り状況（クロス集計）



d. 買い物時に、ごみにならないもの・長く使えるものを選んでいる

ごみにならないもの・長く使えるものを選んでいる状況を年代別にみると、60代が32.6%で最も高く、20代が0.0%で最も低かった。また、20代と50代では「そうしていない」割合が16.7%で年代別で最も高かった。

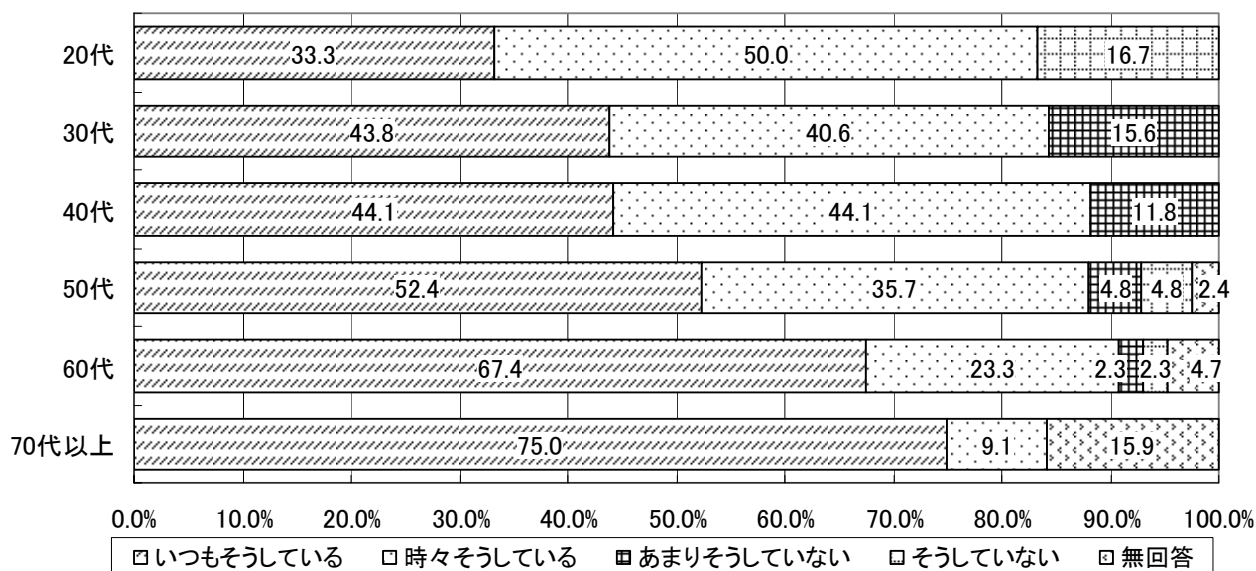
図表 4-19 ごみにならないもの・長く使えるものを選んでいる状況（クロス集計）



e. 不要なものは買わないようにしている

不要なものを買わないように心がけている状況を年代別にみると、70代以上が75.0%で最も高く、20代が33.3%で最も低かった。また、20代では「そうしていない」割合が16.7%で年代別で最も高かった。

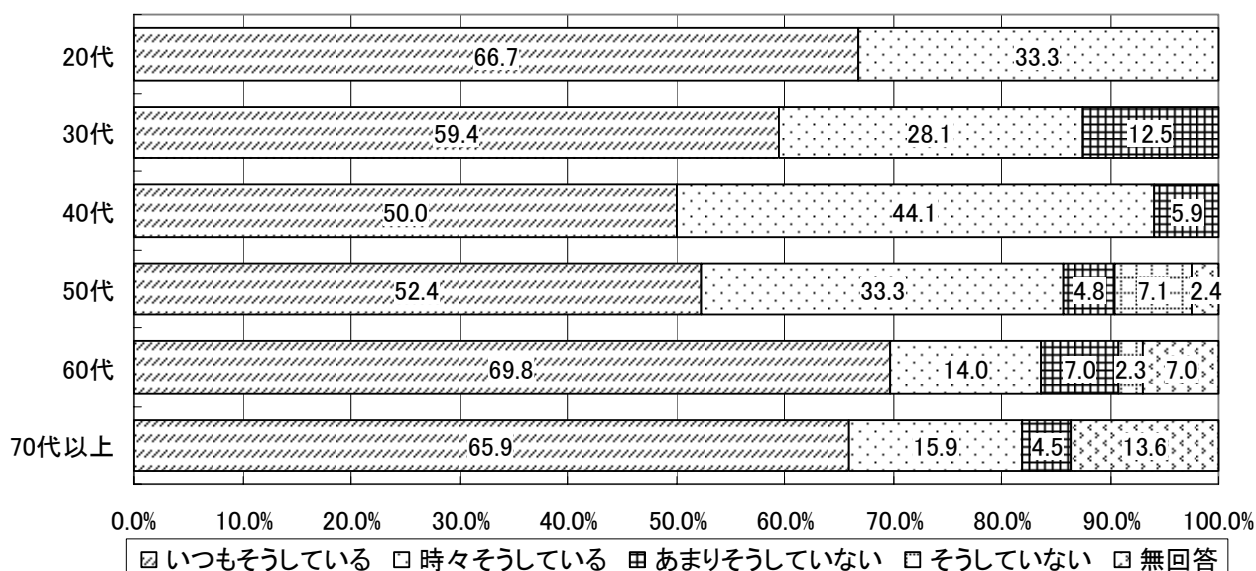
図表 4-20 不要なものを買わないように心がけている状況（クロス集計）



f. 食料品が無駄にならないような買い方をしている

食料品が無駄にならないような買い方を心がけている状況を年代別にみると、60代が69.8%で最も高く、40代が50.0%で最も低かった。「いつもそうしている」「時々そうしている」という回答が半数以上を占めていた。

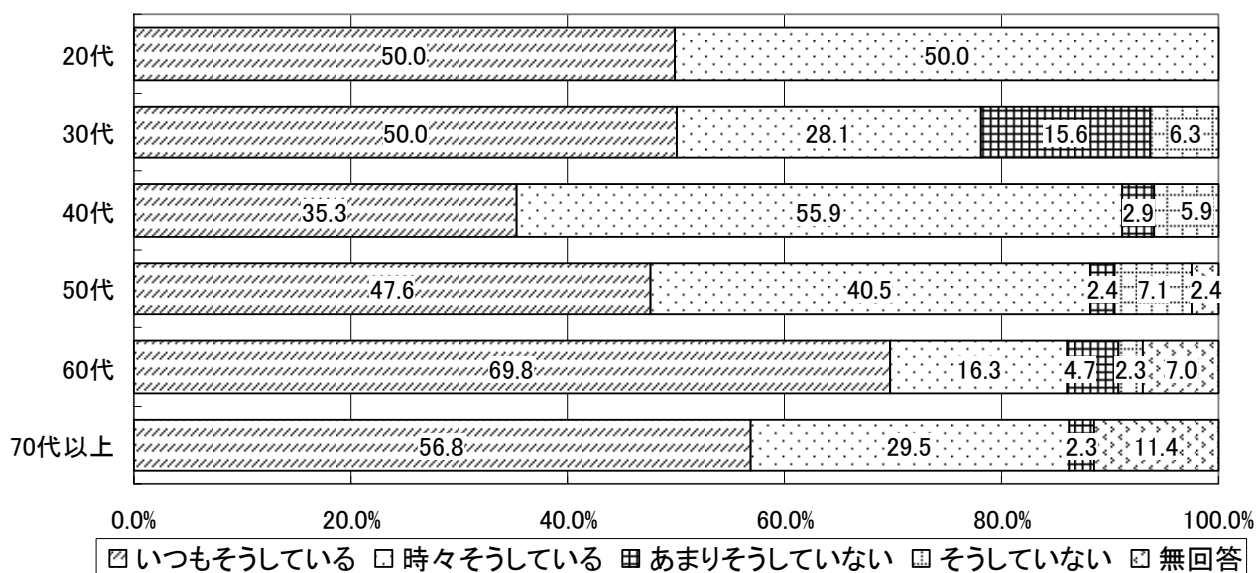
図表 4-21 食料品が無駄にならないような買い方を心がけている状況（クロス集計）



g. 食材が無駄にならないよう、調理の工夫をしている

食材が無駄にならないよう、調理の工夫を心がけている状況を年代別にみると、60代が69.8%で最も高く、40代が35.3%で最も低かった。「いつもそうしている」「時々そうしている」という回答が半数以上を占めていた。

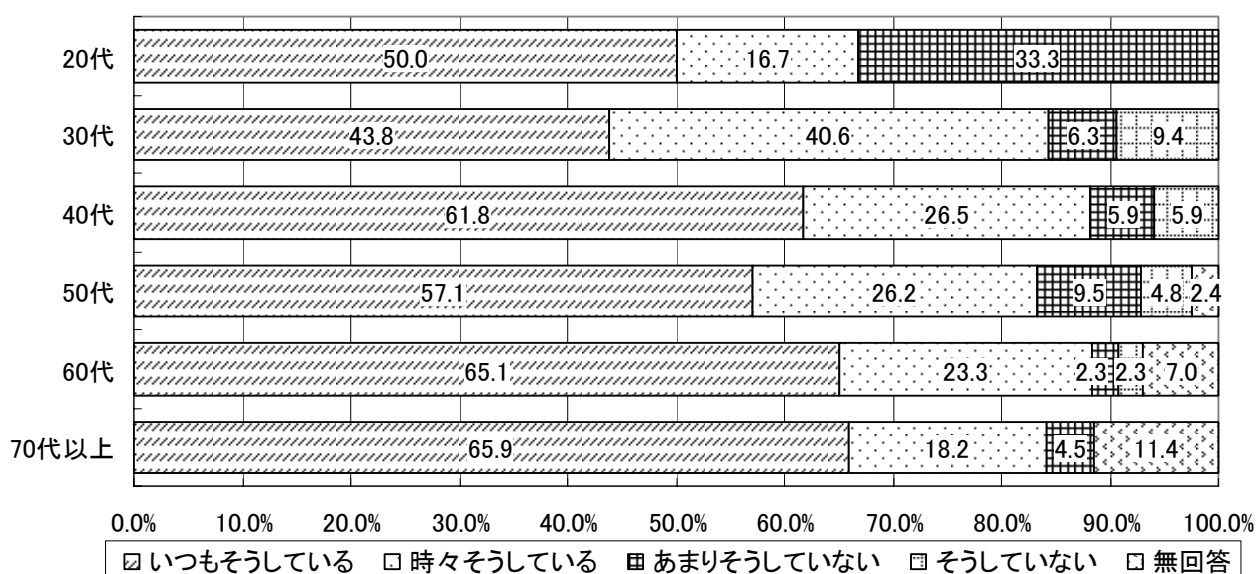
図表 4-22 食材が無駄にならないよう、調理の工夫を心がけている状況（クロス集計）



h. 食べ残しを減らすため、料理を作りすぎない工夫をしている

食べ残しを減らすため、料理を作りすぎない工夫を心がけている状況を年代別にみると、70代以上が65.9%で最も高く、30代が43.8%で最も低かった。「いつもそうしている」「時々そうしている」という回答が半数以上を占めていた。

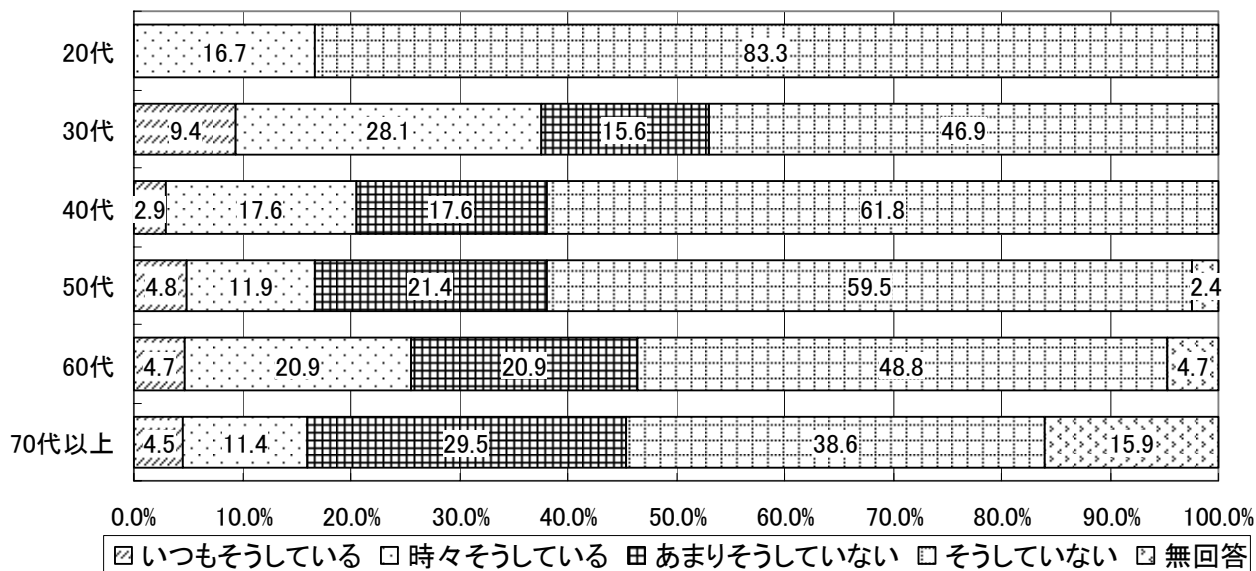
図表 4-23 食べ残しを減らすため、料理を作りすぎない工夫を心がけている状況（クロス集計）



i. リサイクルショップの利用

リサイクルショップの利用状況を年代別にみると、30代が9.4%で最も高く、20代が0.0%で最も低かった。また、20代では「そうしていない」割合が83.3%で年代別で最も高かった。

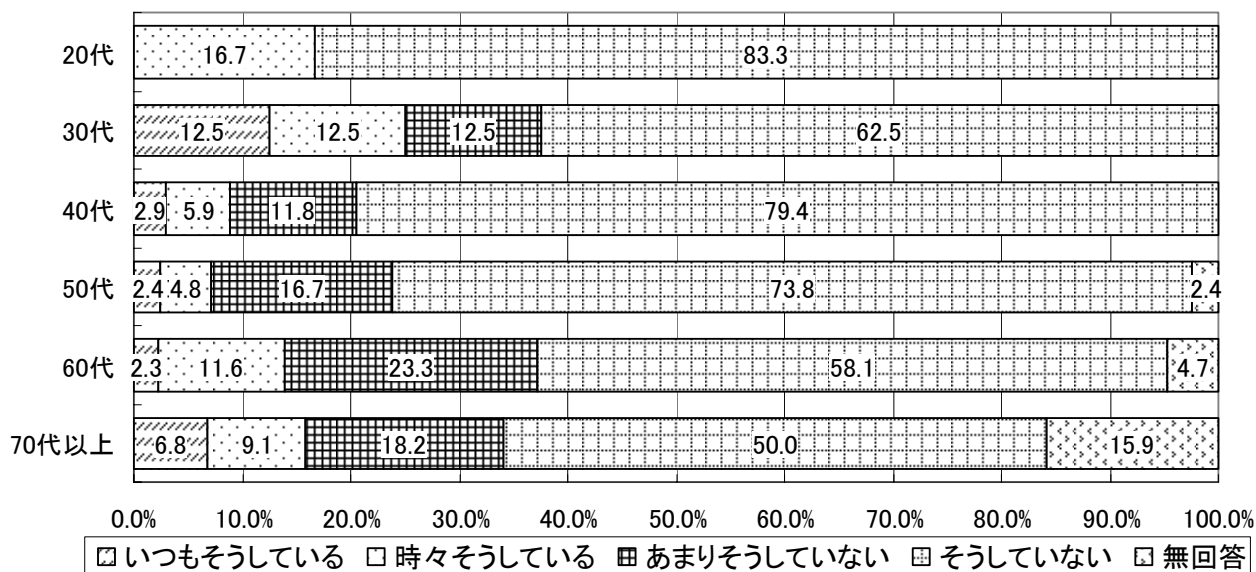
図表 4-24 リサイクルショップの利用状況（クロス集計）



j. フリーマーケットの利用

フリーマーケットの利用状況を年代別にみると、30代が12.5%で最も高く、20代が0.0%で最も低かった。また、20代では「そうしていない」割合が83.3%で年代別で最も高かった。

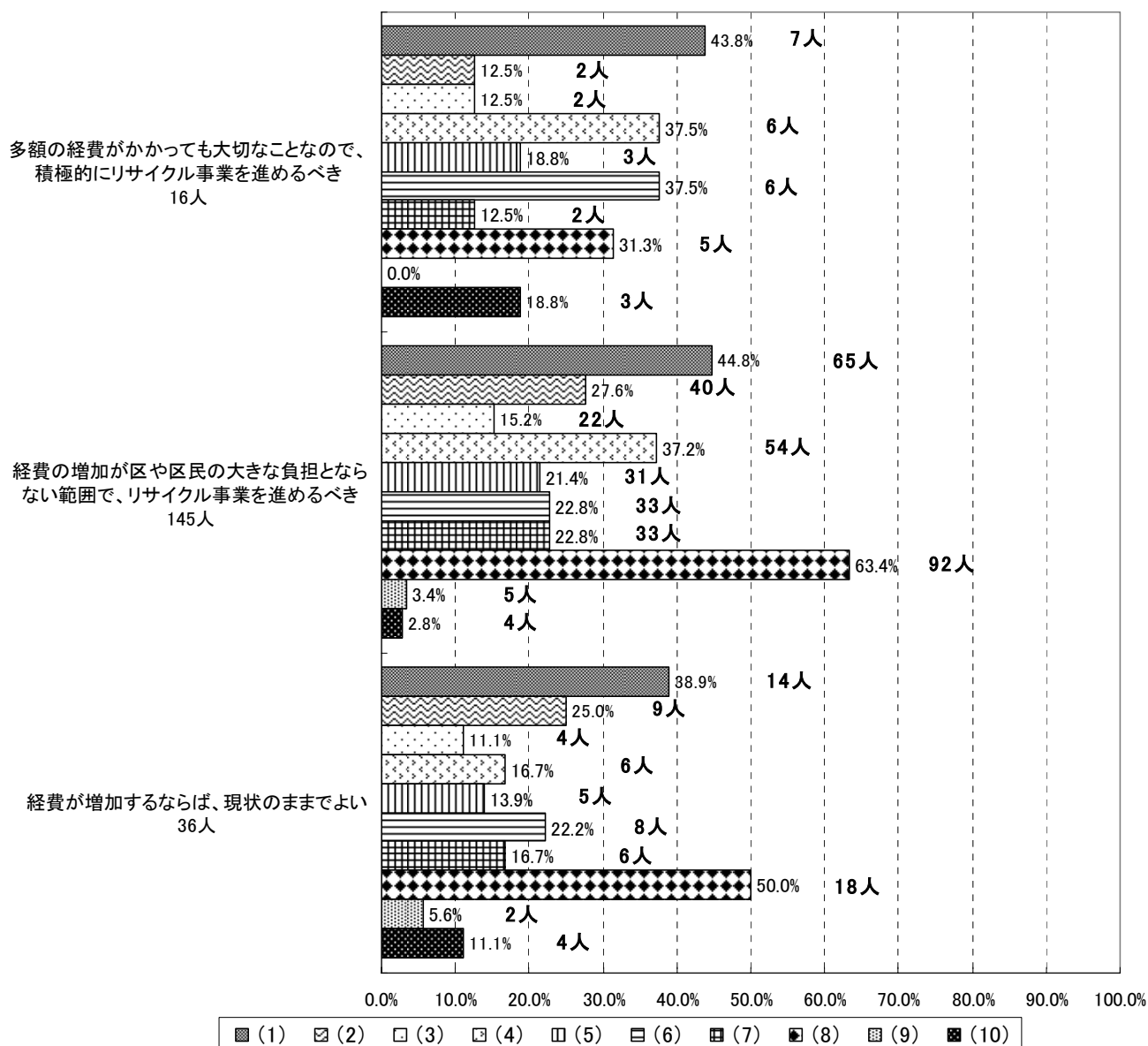
図表 4-25 フリーマーケットの利用状況（クロス集計）



B. リサイクルの展開と区への取り組みについて（クロス集計）

経費がかかっても積極的に進めるべきという人は「ごみを減らす生活スタイルの提案の充実」という回答が最も多くなっており、区や区民の大きな負担とならない範囲で進めるべきという人と経費が増加するならば、現状のままでよいという人は「商品を造っている企業が、ごみを出さない商品を製造すること」という回答が最も多かった。

図表 4-26 ごみ減量やリサイクルの区の進め方（クロス集計）

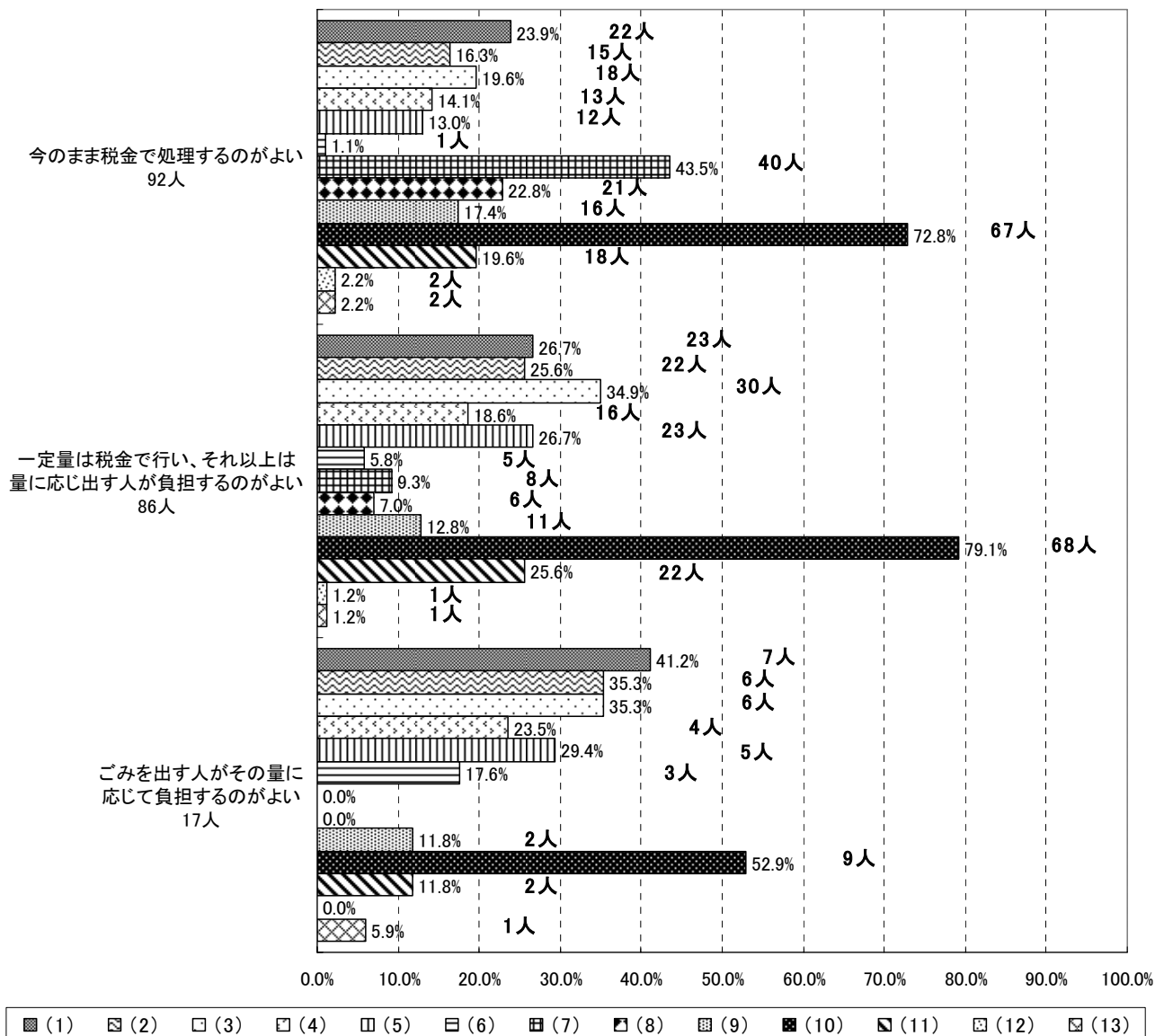


- (1) : ごみを減らす生活スタイルの提案の充実。
- (2) : ごみ減量やリサイクルに関する情報提供の充実。
- (3) : ごみ減量やリサイクルに関するキャンペーンなど普及啓発の充実。
- (4) : 小中学校での、ごみ減量やリサイクルに関する教育の推進。
- (5) : 資源物の収集品目や頻度を増やすこと。
- (6) : 店頭や公共施設での資源物の回収品目や回収拠点を増やすこと。
- (7) : 集団回収への支援の充実。
- (8) : 商品を造っている企業が、ごみを出さない商品やリサイクルしやすい商品を製造すること。
- (9) : その他
- (10) : 無回答

C. 有料化の検討と区民の考え方について（クロス集計）

有料化についてすべての回答で「有料化されると、不法投棄が増加する可能性がある」という回答が最も多かった。

図表 4-27 有料化の検討と区民の考え方（クロス集計）

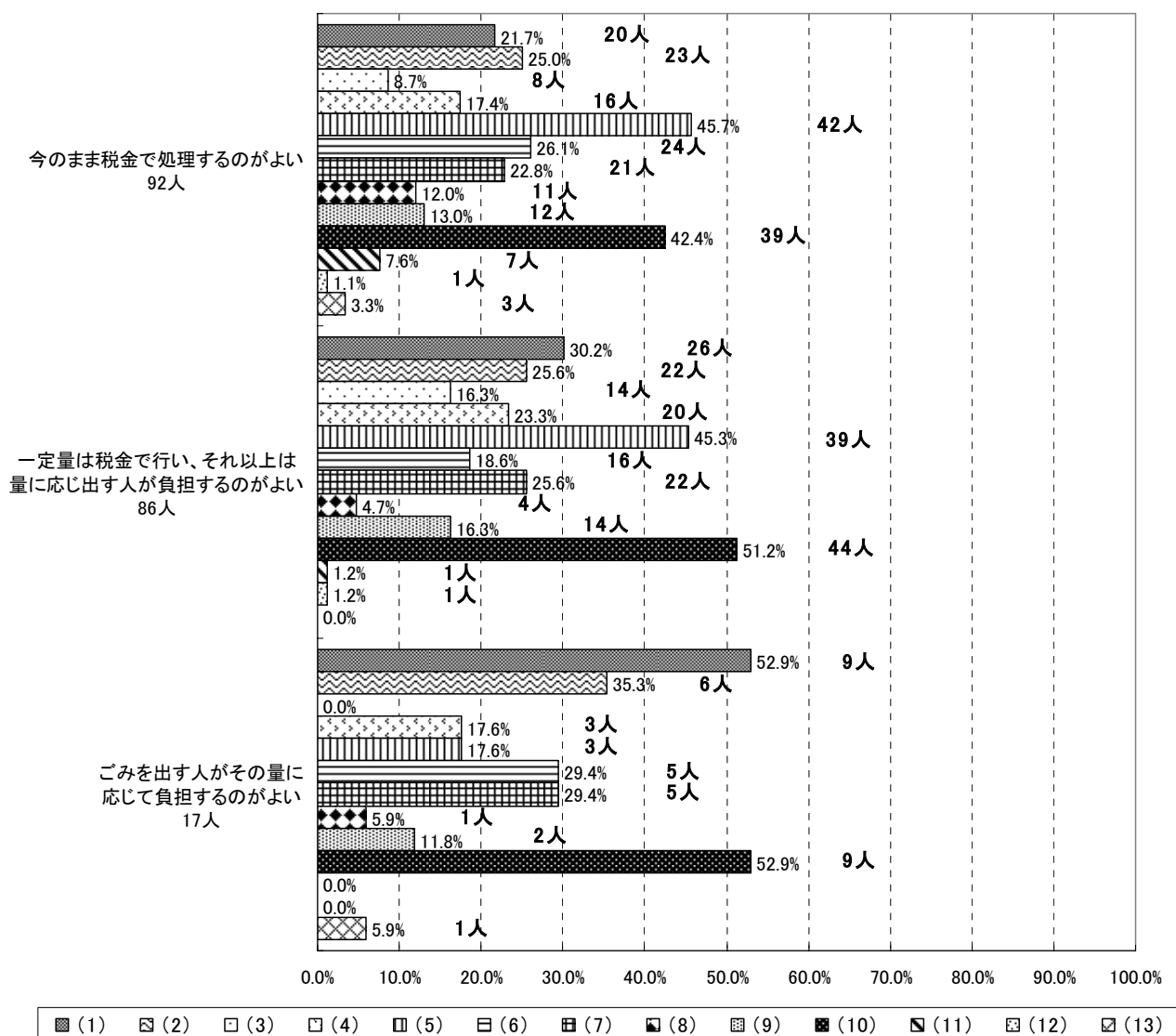


- (1) : 過剰包装を断るなど、ごみの発生抑制につながる
- (2) : ごみ減量・リサイクルの動機付けになる
- (3) : ごみを出すまいとする意識が働き、資源物の分別が徹底され、リサイクルが推進される
- (4) : ごみ減量に努力する人と努力しない人で負担の差が設けられ、公平化が図られる
- (5) : ごみ処理経費についての、意識が高まる
- (6) : ごみ処理の経費について、区民も応分の負担をするべきである
- (7) : ごみ処理は税金でまかなわれるべきで、有料化すべきではない。
- (8) : 分別収集がすでに定着し、ごみ減量・リサイクルの余地は少なく、これ以上区民に負担を課すべきではない。
- (9) : 有料化後の数年間は効果が出ると思われるが、その後は再びごみが増え、区民の負担だけが残る。
- (10) : 有料化されると、不法投棄が増加する可能性がある。
- (11) : 生産者責任の拡大や小売店への指導を先に行うべきである。
- (12) : その他
- (13) : わからない

D. 有料化の検討と配慮すべき点について（クロス集計）

これからのごみの処理を今のまま税金で処理すべきと一定量は税金で行い、それ以上は量に応じ出す人が負担するという回答の人は「ごみ減量の企業への働きかけ」「十分な不法投棄対策を講じる」という回答が多かった。ごみを出す人がその量に応じて費用を負担すべきという人は、「ごみを多く出す人ほど多く負担するような、公平なしくみとする」「十分な不法投棄対策を講じる」という回答が最も多かった。

図表 4-28 有料化の検討と配慮すべき点（クロス集計）



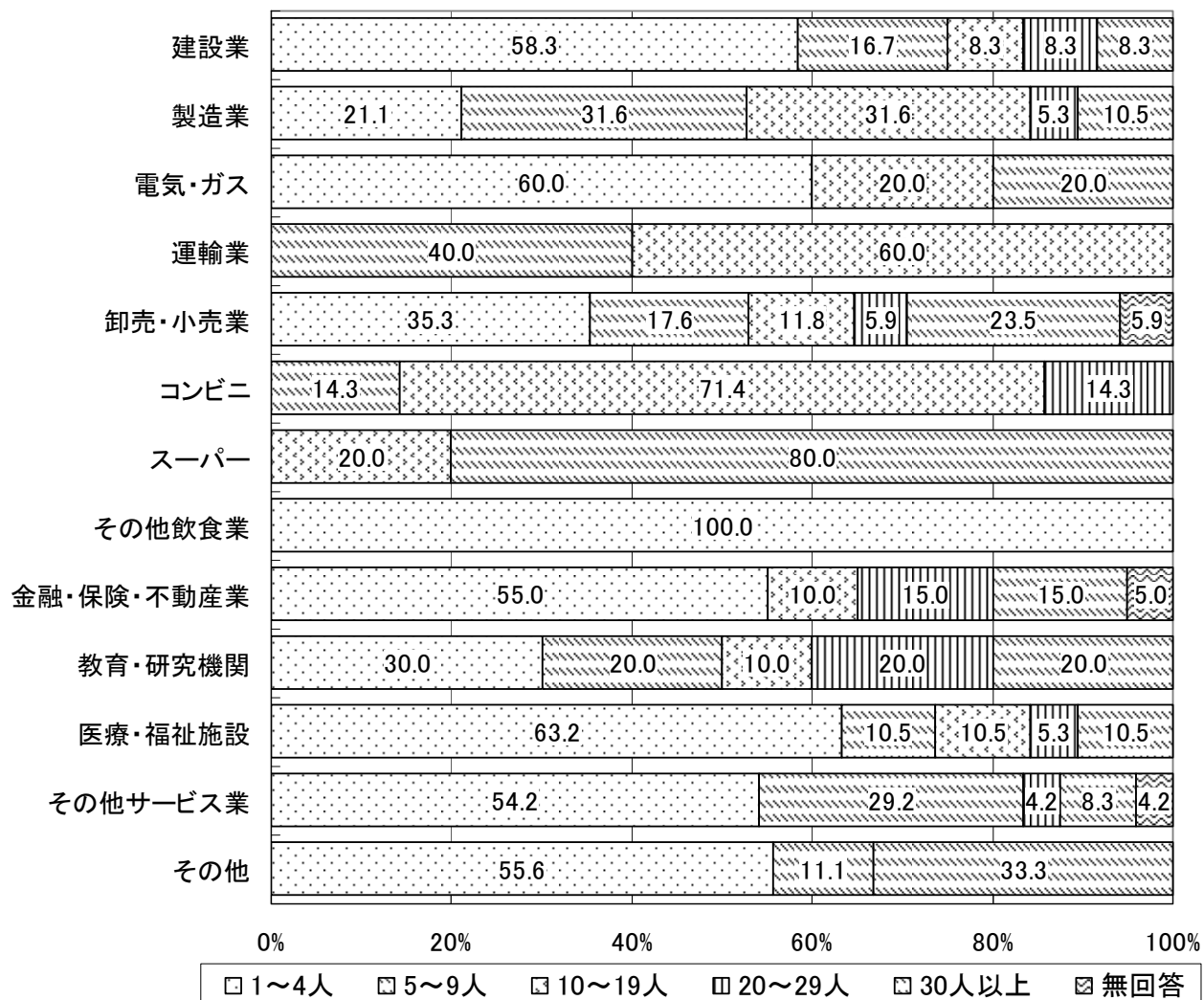
- (1) :ごみを多く出す人ほど多く負担するような公平なしくみとする
- (2) :リサイクルの仕組みを拡充し、増やすことでごみ量を減らせる仕組みを充実させる
- (3) :一人ひとりが取り組めるごみ減量のメニューを示す
- (4) :家庭だけでなく事業所へのごみ減量やリサイクルを働きかける
- (5) :ごみにならない製品作り、簡易包装や量り売りなどをするよう事業所に働きかける
- (6) :集めた手数料の使い道を明らかにする
- (7) :有料化による減量効果や費用対効果をきちんと説明する
- (8) :区民に対する啓発や環境学習を徹底する
- (9) :ごみを出す人にとって便利なしくみにする
- (10) :十分な不法投棄対策を講じる
- (11) :その他
- (12) :特にない
- (13) :わからない

(2) 事業系

A. 業種別従業員数

事業所の従業員数を業種別にみると、運輸業、コンビニ、スーパーで「1～9人以上」の事業所が多かった。それ以外の業種では、「1～9人」の事業所という事業所が半数以上を占めていた。

図表 4-29 業種別従業員数（クロス集計）



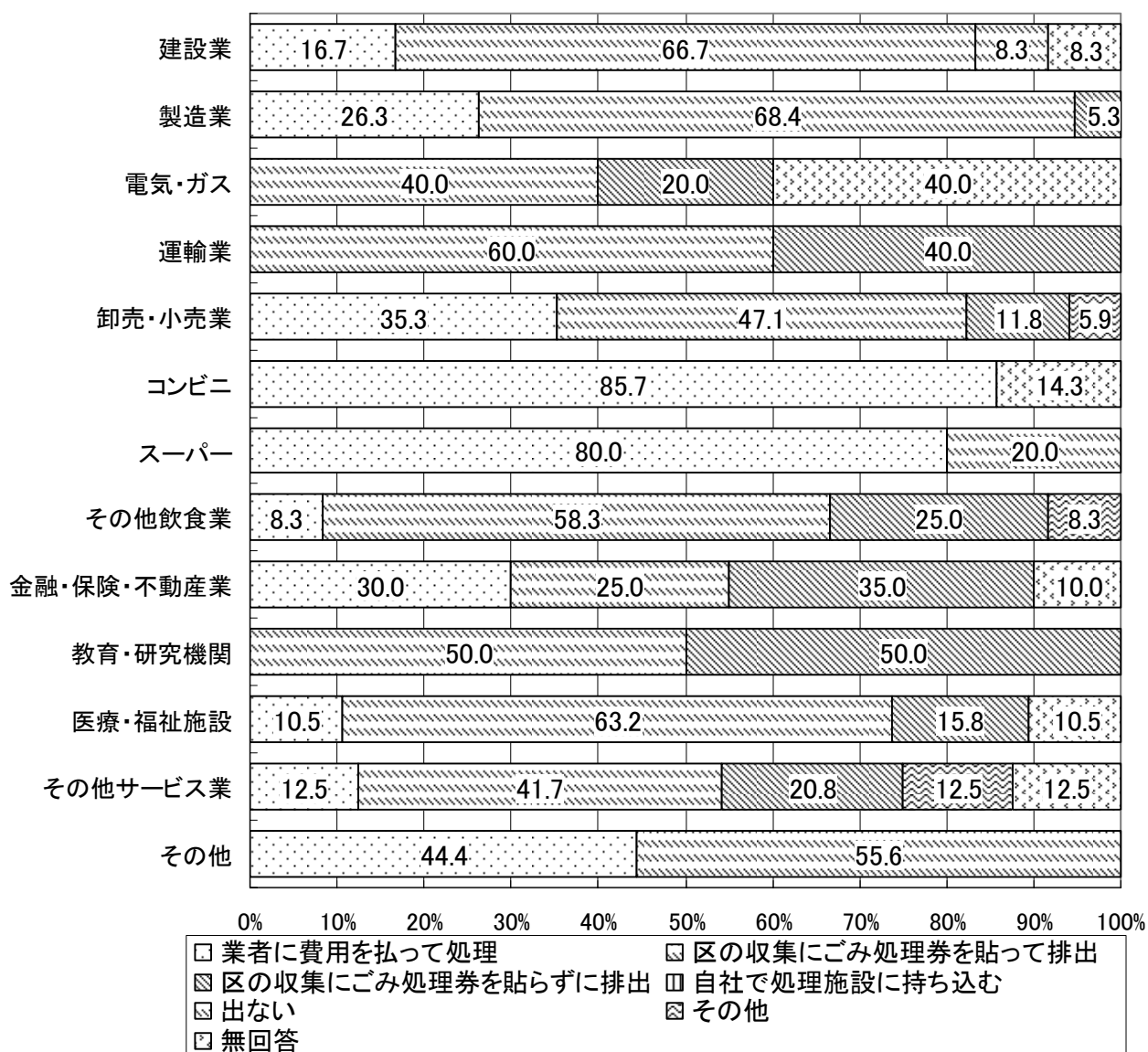
B. 業種別不用物処理方法

a. 可燃ごみ

可燃ごみの処理方法を業種別にみると、「業者に費用を払って処理」「区の収集にごみ処理券を貼って排出」という回答が半数以上を占めていた。コンビニ、スーパーなど系列店のある業者は「業者に費用を払って処理」という回答が半数以上を占めていた。

これら以外に、電気・ガス（エネルギー業）、教育・研究機関は「区の収集にごみ処理券を貼らずに排出」や「その他」の回答が多かった。

図表 4-30 業種別可燃ごみ処理方法（クロス集計）

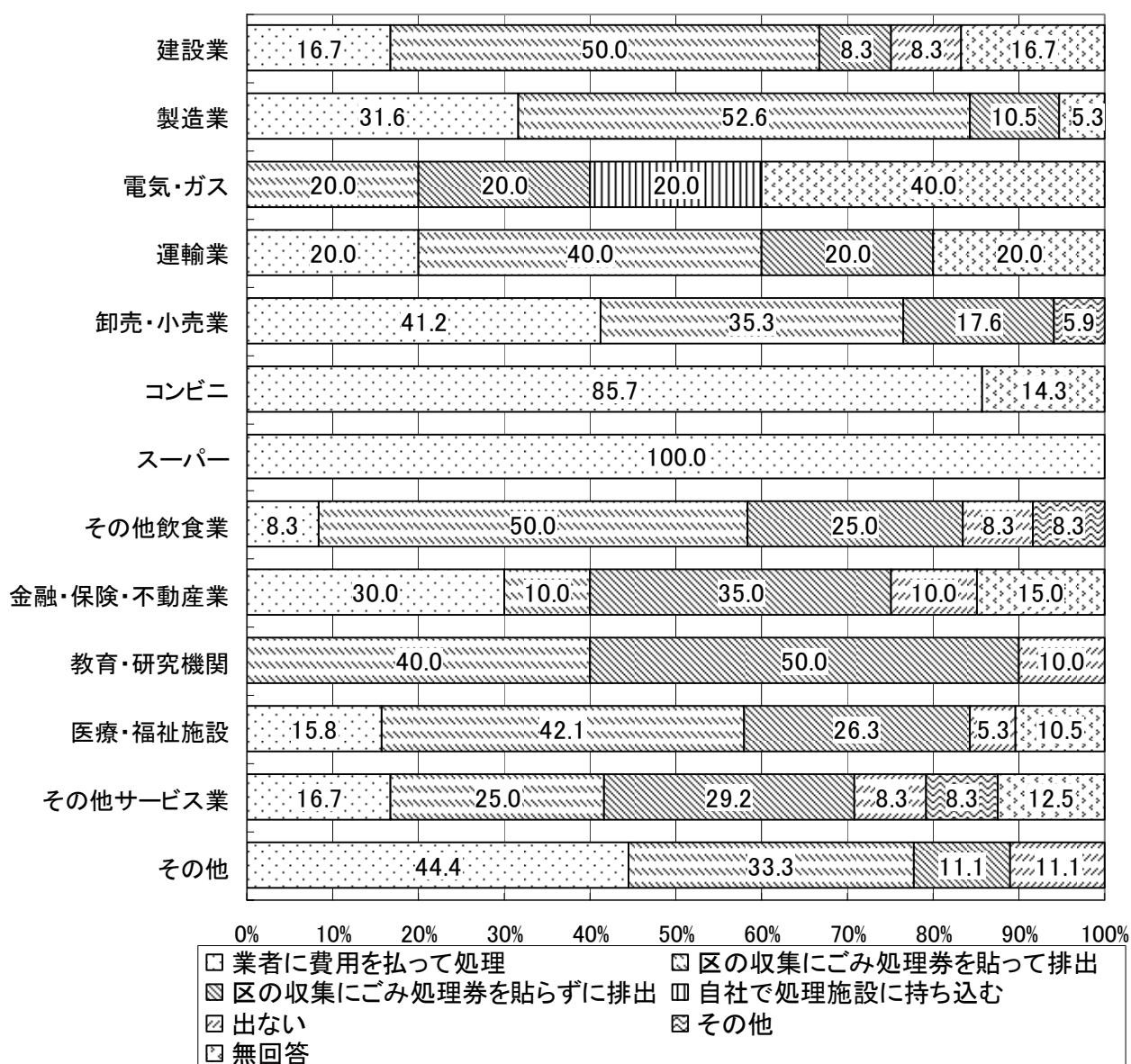


b. 不燃ごみ

不燃ごみの処理方法を業種別にみると、「業者に費用を払って処理」「区の収集にごみ処理券を貼って排出」という回答が半数以上を占めていた。コンビニ、スーパーなど系列店のある業者は「業者に費用を払って処理」という回答が半数以上を占めていた。

これら以外に、電気・ガス（エネルギー業）、金融・保険・不動産業、教育・研究機関、その他サービス業は「区の収集にごみ処理券を貼らずに排出」や「その他」の回答が多かった。

図表 4-31 業種別不燃ごみ処理方法（クロス集計）

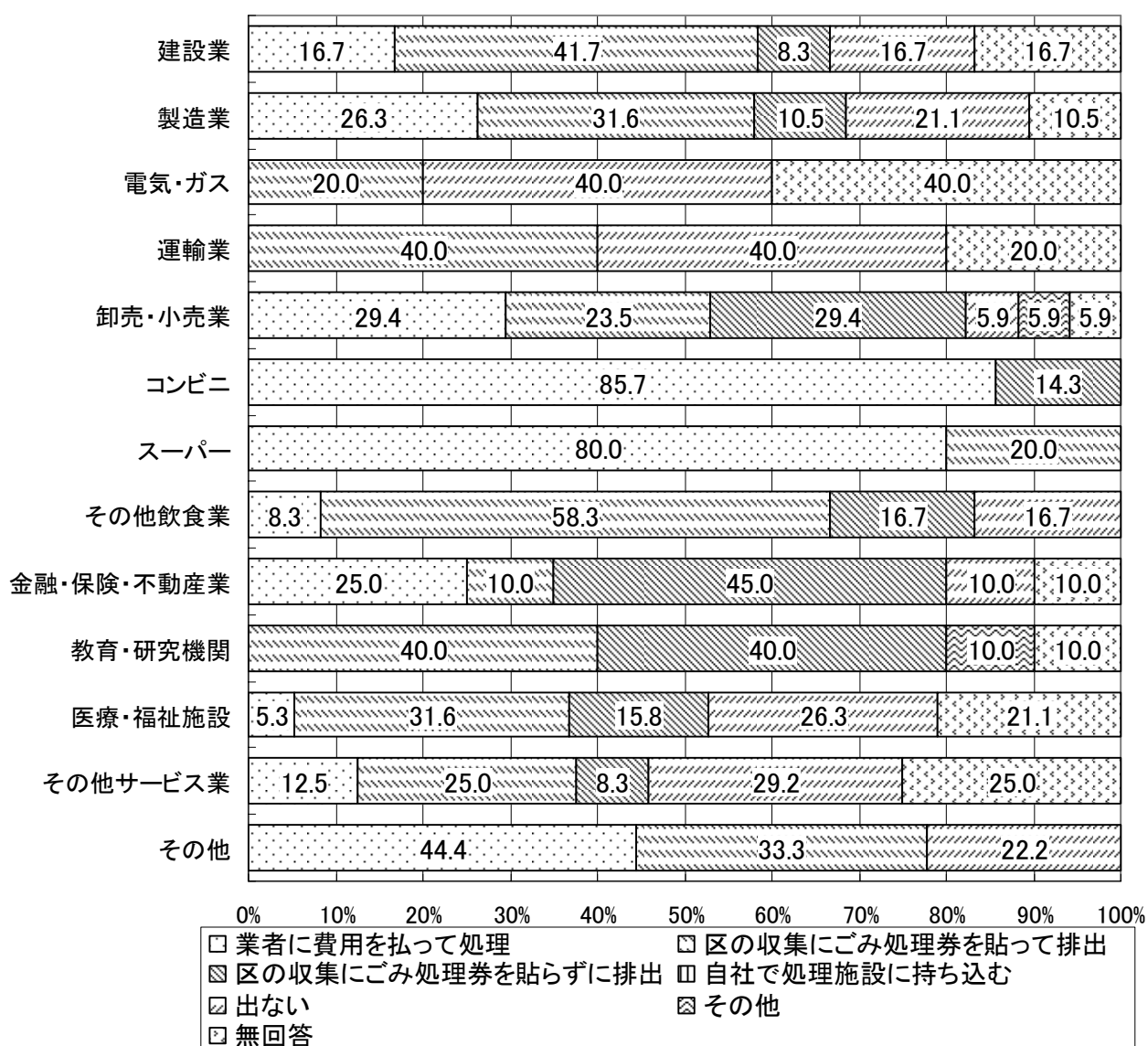


c. 生ごみ

生ごみの処理方法を業種別にみると、「業者に費用を払って処理」「区の収集にごみ処理券を貼って排出」という回答が半数以上を占めていた。コンビニ、スーパーなど系列店のある業者は「業者に費用を払って処理」という回答が半数以上を占めていた。

これら以外に電気・ガス（エネルギー業）、運輸業、金融・保険・不動産業、教育・研究機関、医療・福祉施設、その他サービス業は「区の収集にごみ処理券を貼らずに排出」や「出ない」「その他」の回答が多かった。

図表 4-32 業種別生ごみ処理方法（クロス集計）

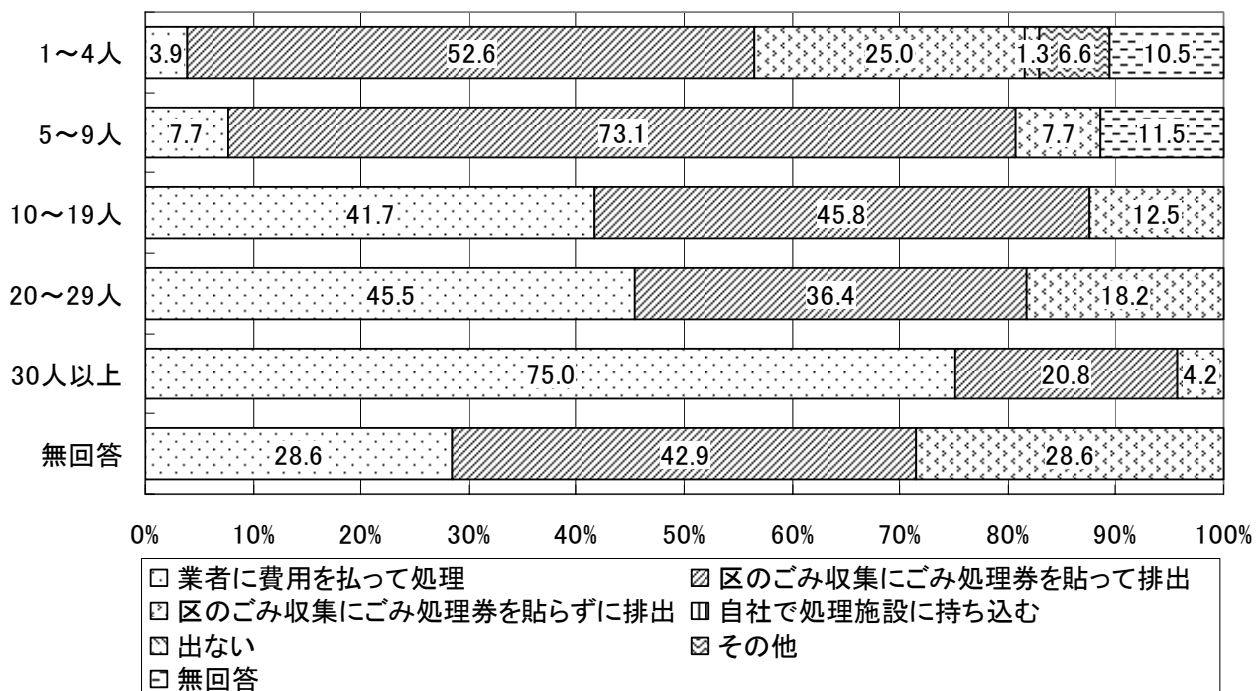


C. 従業員数別不用物処理方法

a. 可燃ごみ

可燃ごみの処理方法を従業員数別にみると、従業員数が多くなるほど「業者に費用を払って処理」という回答が多かった。「区のごみ収集にごみ処理券を貼らずに排出」という回答は、1～4人の25.0%で最も高かった。

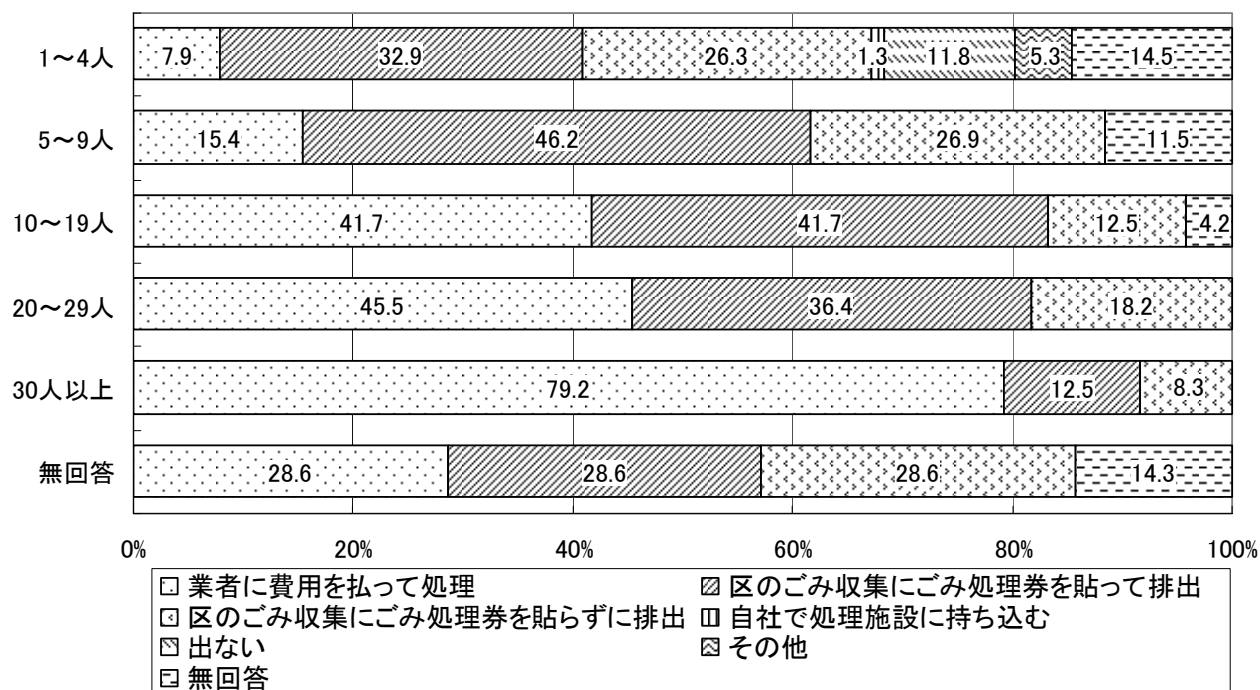
図表 4-33 従業員数別可燃ごみ処理方法（クロス集計）



b. 不燃ごみ

不燃ごみの処理方法を従業員数別にみると、従業員数が多くなるほど「業者に費用を払って処理」という回答が多かった。「区のごみ収集にごみ処理券を貼らずに排出」という回答は、5～9人の26.9%で最も高かった。

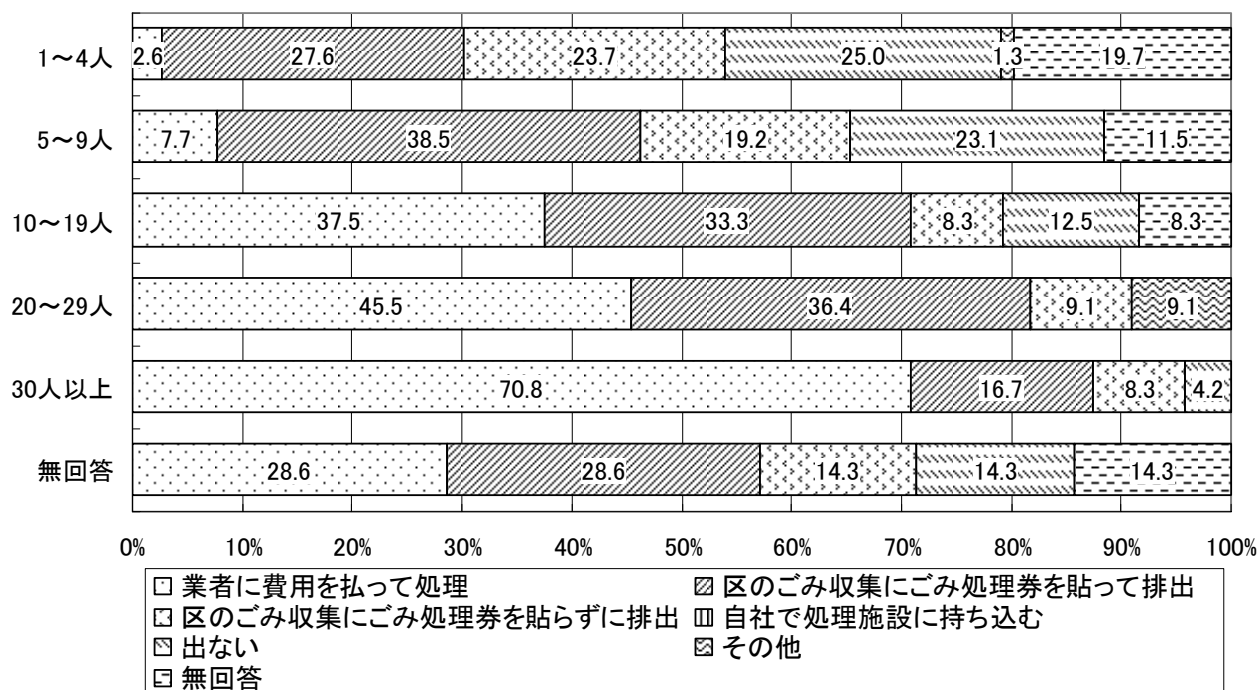
図表 4-34 従業員数別不燃ごみ処理方法（クロス集計）



c. 生ごみ

生ごみの処理方法を従業員数別にみると、従業員数が多くなるほど「業者に費用を払って処理」と「区のごみ収集にごみ処理券を貼って排出」という回答が多かった。「区の収集にごみ処理券を貼らずに排出」という回答は、1～4人の23.7%で最も高かった。

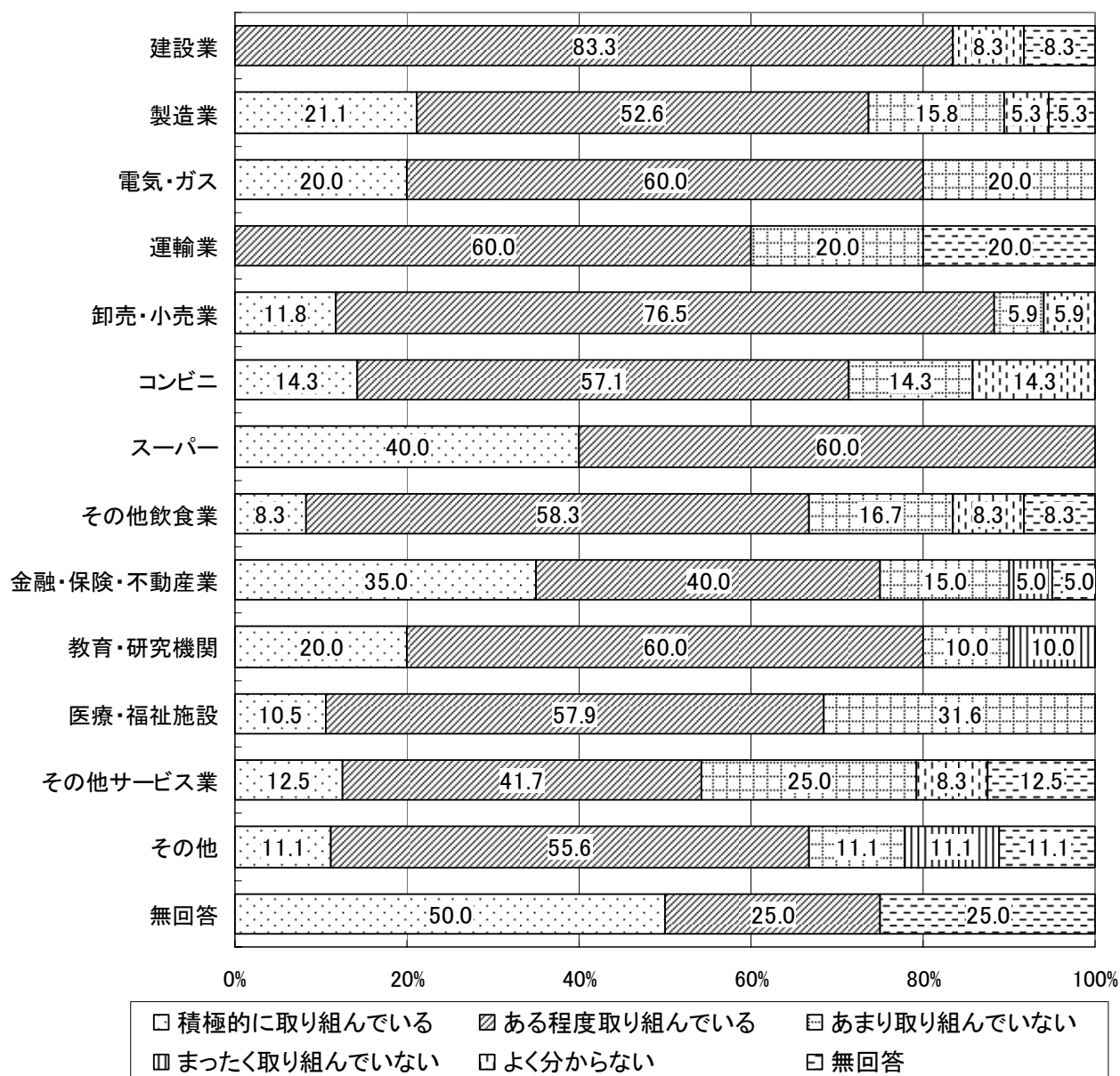
図表 4-35 従業員数別生ごみ処理方法（クロス集計）



D. 業種別ごみ減量・リサイクルへの取り組み

業種別にごみ減量・リサイクルへの取り組みをみると、すべての業種で「積極的に取り組んでいる」「ある程度取り組んでいる」が半数以上の割合を占めていた。

図表 4-36 業種別ごみ減量・リサイクルへの取り組み（クロス集計）



第五章 資料

5-1 ごみ排出原単位実態調査

(1) 家庭ごみ実態調査依頼書・モニターアンケート調査票

平成 22 年 6 月

区民の皆様へ

家庭ごみ実態調査に関するご協力のお願い

荒 川 区

日頃より荒川区の清掃リサイクル事業にご理解ご協力いただき、誠にありがとうございます。

このたび、荒川区では、ごみ減量・リサイクル・資源回収事業などの基礎資料とするために、調査にご協力していただける家庭から排出されるごみの調査・分析およびアンケートを実施いたします。

本調査については荒川区が調査会社「株式会社市川環境アセス」に委託しています。調査にあたりましては、荒川区の発行した身分証を携帯した調査員が調査方法等について具体的にご説明させていただきます。

この調査は、ご協力いただいたご家庭の可燃ごみ、不燃ごみ、資源を実際に回収させていただき、それぞれの量や割合を調査・分析して集計します。この調査では、調査結果はコンピュータを使い統計的に処理し、個人のプライバシーに関する内容は一切把握いたしません。

つきましては、調査の主旨をご理解いただきますとともに、ご家庭から排出されますごみについての調査にご協力いただきたくよろしくお願いいたします。

※ご不明な点につきましては、問い合わせ先までご連絡ください。

○ 問い合わせ先（調査委託会社）

調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

株式会社市川環境アセス 千葉県市川市大町 96-3 担当：大串^{おおくし}、見崎^{みさき}

TEL：0120-538-153（フリーダイヤル）

月曜～土曜 午前8時～午後5時

なお、通話中の場合など時間帯によってはつながりにくい場合がございます。

○ 担当

荒川区環境清掃部清掃リサイクル課 担当者：大林^{おおばやし}

荒川区町屋5-19-1 荒川清掃事務所3階

TEL：03-5692-6690

ごみ排出実態調査について

このたびは、ごみ排出実態調査にご協力いただき、誠にありがとうございます。
調査期間中はお手数をおかけいたしますが、以下の要領で調査にご協力ください。

◆ 調査の方法

あらかじめ配布する袋（指定袋）へ前日に出た燃やすごみ、燃やさないごみ、資源を入れていただき、それを調査員が毎日回収する方法で行います。ごみの分別は普段行っているとおりで結構です。なお、回収するごみは、調査のサンプルとして回収します。通常のごみ・資源として集積所には出さないでください。

また、アンケート調査もあわせてご協力をお願い申し上げます。アンケート用紙は、調査期間中に水色の袋（資源用）の外袋に貼り付けて出して頂くか、調査員に直接渡してください。

◆ 調査の期間

平成22年7月8日（木）から7月15日（木）の8日間です。

※調査期間中は、前日に出た燃やすごみ、燃やさないごみ、資源物を毎日回収に伺います。

（例）7月 7日（水）に出たごみ・資源 → 7月 8日（木）に回収。＜調査開始＞

7月14日（水）に出たごみ・資源 → 7月15日（木）に回収。＜調査終了＞

※ただし、日曜日（7月11日）は回収に伺いませんので、月曜日（7月12日）にお出し下さい。

（例）7月10日（土）・7月11日（日）に出たごみ・資源→7月12日（月）に土曜日分、日曜日分の2つの袋を回収します。

◆ 指定袋等（調査の始まる前にお届けします。）

・ 黄色の袋（燃やすごみ用）	: 10枚	} 1セット
・ 白色の袋（燃やさないごみ用）	: 10枚	
・ 水色の袋（資源用）	: 10枚	
・ ラベルシール（サンプル識別用）	: 1冊	
・ アンケート用紙	: 1冊	

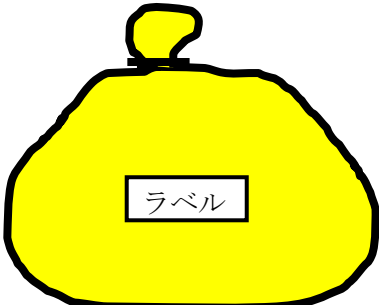
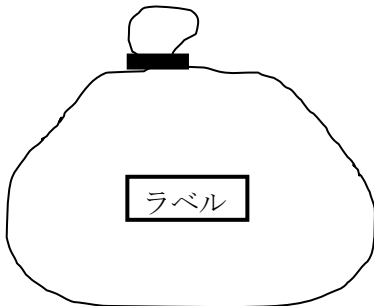
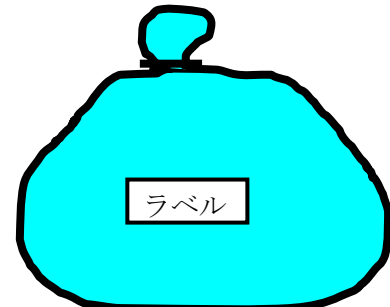
◆ 回収方法

- 1 調査期間のごみ・資源は、曜日および種別ごと（燃やすごみ、燃やさないごみ、資源）に指定の袋に入れてください。（裏面を御参照ください。）
- 2 調査期間中のごみ・資源の袋の置き場所（回収場所）を調査員へ御指定ください。※玄関先等
- 3 調査期間中のごみ・資源は、通常のごみの収集場所へは出さないで、指定の袋に入れ、指定の場所に出してください。
- 4 調査期間中のごみ・資源は、調査員が朝8時～11時頃に回収いたしますので、なるべく朝8時までにお出しください。午後1時を過ぎても回収されていない場合は、お手数ですが裏面の問い合わせ先まで御連絡ください。
- 5 調査期間前のごみ・資源（7月6日以前に出たもの）及び粗大ごみは、今回の調査の対象外となりますので、お手数ですが、通常の方法で処理してください。

裏面もご覧ください。

調査期間中のごみ・資源の分け方・出し方

○ 事前にご指定いただいた、ごみ回収場所にお出しください。

燃 や す ご み	●普段、 <u>燃やすごみ</u> として出しているものを入れてください。 (生ごみは、透明のビニール袋に入れてから、黄色の袋に入れてください。)	● <u>黄色の袋</u> に入れてください。  ・ゴミ袋の口は、必ず結んでください。 ・「燃やすごみ」のラベルを袋に貼ってください。
燃 や さ な い ご み	●普段、 <u>燃やさないごみ</u> として出しているものを入れてください。	● <u>白色の袋</u> に入れてください。  ・ゴミ袋の口は、必ず結んでください。 ・「燃やさないごみ」のラベルを袋に貼ってください。
資 源	●普段、 <u>資源</u> として出しているものを入れてください。	● <u>水色の袋</u> に入れてください。  ・ゴミ袋の口は、必ず結んでください。 ・「資源」のラベルを袋に貼ってください。

◆お問い合わせ先（調査委託会社）

調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

株式会社 市川環境アセス 調査担当：大串（オオクシ）、見崎（ミサキ）

TEL：0120-538-153（フリーダイヤル）

月～土曜 午前8時～午後5時

なお、通話中の場合など時間帯によってはつながりにくい場合がございます。

荒川区 家庭ごみ排出実態調査記入票

- 調査にご協力ありがとうございます。調査にともなう次の質問にお答えください。
あなた自身とあなたのご家族についてお聞きします。

(1) あなたの性別	1 女性	2 男性	
(2) あなたの年齢	1 20代 4 50代	2 30代 5 60代	3 40代 6 70代以上
(3) あなたの職業	1 会社員（公務員含む） 4 パート・アルバイト 7 その他（	2 専業主婦・主夫 5 自営業	3 自由業 6 学生 ）
(4) 家族の人数 （あなたを含めて）	1 1人 4 4人	2 2人 5 5人以上（	3 3人 人）
(5) 家族の構成員 （当てはまるものすべてに○）	1 乳幼児・園児・小学生低学年がいる 2 70歳以上のみの世帯である 3 介護を必要とする方がいる		
(6) お住まいの形態	1 戸建て住宅 3 管理人がごみ出しするマンション 4 各世帯がごみ出しするマンション 5 店舗・事務所等併設の住宅 2 アパート 6 その他		
(7) 所在地域	1 南千住 4 東尾久 7 西日暮里	2 荒川 5 西尾久	3 町屋 6 東日暮里

今後のごみ減量、リサイクル対策を検討する参考とするため、次の質問にお答えください。

- 暮らしの中での環境配慮やごみ減量についてお答え下さい。

(1) レジ袋削減のためマイバックを利用している。(○は1つ)

1 いつもそうしている	2 時々そうしている
3 あまりそうしていない	4 そうしていない

(2) 食料品や日用品を購入する際に、次のような商品を購入している。(○はあてはまるものすべて)

1 古紙配合のティッシュペーパー	2 古紙配合のトイレットペーパー
3 詰め替え容器入りの商品など	4 びんビール（容器は酒屋に返却）
5 配達などのびん入りの牛乳	6 バラ売りの野菜や果物
7 エコマークなどのついた環境配慮商品	

(3) 食料品は無駄にならない買い方を心がけている。(○は1つのみ)

1 かなり意識している	2 少し(たまに)意識している
3 あまり意識していない	4 まったく意識していない

(4) エコクッキングの実践や、食べ残しをしないなどを意識している。(○は1つのみ)

1 かなり意識している	2 少し(たまに)意識している
3 あまり意識していない	4 まったく意識していない

(5) 家庭から排出される燃やすごみのうち「生ごみ」は多くの水分を含んでいるといわれています。
生ごみを捨てるときに水を切り・ひと絞りしてから出すようにしている。(○は1つ)

1 いつもそうしている	2 時々そうしている
3 あまりそうしていない	4 そうしていない

- ごみを出す場所(集積所)についてお答え下さい。

(6) ごみ集積所までの距離はどのくらいですか。(○は1つのみ)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 マンション等敷地内 | 2 自宅前 |
| 3 歩いて1分以内(約80メートル以内) | 4 歩いて3分以内(約240メートル以内) |
| 5 それより遠い(3分以上) | |

(7) 利用している集積所で、問題となっていることはありますか。(○はあてはまるものすべて)

- | |
|--------------------------|
| 1 集積所が汚れている |
| 2 ごみの分別が悪く、収集されないものがある |
| 3 通行人などによるポイ捨てが多い |
| 4 集積所の管理で近隣同士のトラブルがある |
| 5 古紙やアルミ缶などの不正な抜き取り行為がある |
| 6 問題はない |
| 7 その他 () |

○ 資源物の集団回収についてお答え下さい。

(8) あなたは、町会・自治会等の集団回収を利用していますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1 利用している | 2 時々利用している |
| 3 活動は知っているが利用していない | 4 こうした活動を知らない |
| 5 地域で実施していない | |

(9) 集団回収を利用しやすくするためには、どのような点を改善する必要があるでしょうか。(○は最も重要だと思うもの2つまで)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1 回数を増やす | 2 回収場所を増やす |
| 3 もっと広く知らせること | 4 品目を増やす |
| 5 収集時間を遅らせる | 6 その他(具体的に) |

(10) 荒川区は現在、集団回収を積極的に進めています。今後集団回収品として追加すると良いと思われる項目はありますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|---------------|----------|-------------------|
| 1 OA用紙(コピー用紙) | 2 衣類・古布 | 3 廃食用油(使用後の天ぷら油等) |
| 4 プラスチック類 | 5 充電式乾電池 | 6 その他() |

○ ごみの有料化についてお答えください。

(11) あなたは「ごみ有料化」についてどう思いますか。(○は1つ)

- | |
|---|
| 1 家庭ごみの処理は公共サービスなので、今のまま税金で処理するのがよい |
| 2 一定量のごみ処理については税金で行い、それ以上の処理費用は量に応じ出す人が負担するのがよい |
| 3 ごみ処理費用はすべて、ごみを出す人がその量に応じて負担するのがよい |
| 4 その他(具体的に) |

○ ごみ・資源物の「普段の処理方法」についてお聞きします。

記入例①：書籍は、だいたい古本屋に持っていく

書籍	1	2	3	4	5	⑥	7
----	---	---	---	---	---	---	---

資源などの品目	主な処理方法（品目ごとに1つずつ○）						
	1 可燃・不燃ごみとして集積所に出す	2 町会等の集団回収に出す	3 店頭や区の施設での回収に出す	4 購入したお店に返却する	5 業者の回収に出す	6 その他の方法（フリーマーケット・古本屋等で販売）	7 コンポスト化している
生ごみ	1	2	3	4	5	6	7
新聞紙・ちらし	1	2	3	4	5	6	7
雑誌	1	2	3	4	5	6	7
紙パック	1	2	3	4	5	6	7
書籍	1	2	3	4	5	6	7
ダンボール	1	2	3	4	5	6	7
ペットボトル	1	2	3	4	5	6	7
白色トレイ	1	2	3	4	5	6	7
アルミ缶	1	2	3	4	5	6	7
スチール缶	1	2	3	4	5	6	7
ビールびん・一升びん	1	2	3	4	5	6	7
牛乳びん	1	2	3	4	5	6	7
その他の飲料びん	1	2	3	4	5	6	7
乾電池	1	2	3	4	5	6	7
ボタン電池	1	2	3	4	5	6	7
充電式電池	1	2	3	4	5	6	7
古布	1	2	3	4	5	6	7

- 生ごみ処理機をご使用されている場合には、下記に生ごみ処理機で処理している生ごみの重さをご記入ください。

(普段、生ごみを生ごみ処理機で処理している方のみ記入)

	7/8 (木)	7/9 (金)	7/10 (土)	7/11 (日)	7/12 (月)	7/13 (火)	7/14 (水)	7/15 (木)
生ごみ処理機 で処理している 生ごみ	g	g	g	g	g	g	g	g

※ 家庭で生ごみを処理している方のみ、その重さを記入してください。計量・記録した生ごみは袋に入れず、普段どおり生ごみ処理機で処理してください。

※ 計量・記録は10g単位に四捨五入してください。

- 調査期間中にごみ・資源として排出しなかったものがありましたらご記入ください。

〔たとえば、宅配の牛乳びん、フリーマーケットに出す子供服、古本屋に売却する書籍など〕

袋に入れて出していただいたものは返却できません。

日付	資源などの品目	重さ	普段の処理方法	特記事項 (特に連絡したいことがあれば)
		g		
		g		
		g		
		g		
		g		

- 調査にご協力いただいて、何かお気づきになった点がありましたら、ご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

(2) 事業所ごみ実態調査依頼書・モニターアンケート調査票

平成 22 年 6 月

区内事業所の皆様へ

事業系ごみ実態調査に関するご協力をお願い

荒 川 区

日頃より荒川区の清掃リサイクル事業にご理解ご協力いただき、誠にありがとうございます。

このたび、荒川区では、ごみ減量・リサイクル・資源回収事業などの基礎資料とするために、調査にご協力していただける事業所の皆様から排出されるごみの調査・分析およびアンケートを実施いたします。

本調査については荒川区が調査会社「株式会社市川環境アセス」に委託しています。調査に当たりまして、荒川区が発行した身分証を携帯した調査員が調査方法等について具体的にご説明させていただきます。

この調査は、ご協力いただいた事業所の皆様の可燃ごみ、不燃ごみ、資源を実際に回収させていただき、それぞれの量や割合を調査・分析して集計します。この調査では、調査結果はコンピュータを使い統計的に処理し、個人のプライバシーに関する内容は一切把握いたしません。

つきましては、調査の主旨をご理解いただきますとともに、事業所から排出されますごみについての調査にご協力いただきたくよろしくお願いいたします。

※ご不明な点につきましては、問い合わせ先までご連絡ください。

○ 問い合わせ先（調査委託会社）

調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

株式会社市川環境アセス 千葉県市川市大町 96-3 担当：大串^{おおくし}、見崎^{みさき}
TEL：0120-538-153（フリーダイヤル）
月曜～土曜 午前8時～午後5時
なお、通話中の場合など時間帯によってはつながりにくい場合がございます。

○ 担当

荒川区環境清掃部清掃リサイクル課 担当者：大林^{おおばやし}
荒川区町屋 5-19-1 荒川清掃事務所 3 階
TEL：03-5692-6690

ごみ排出実態調査について

このたびは、ごみ排出実態調査にご協力いただき、誠にありがとうございます。
調査期間中はお手数をおかけいたしますが、以下の要領で調査にご協力ください。

◆ 調査の方法

あらかじめ配布する袋（指定袋）へ前日に出た燃やすごみ、燃やさないごみ、資源を入れていただき、それを調査員が毎日回収する方法で行います。ごみの分別は普段行っているとおりで結構です。なお、回収するごみは、調査のサンプルとして回収しますので、今回の調査に限り有料ごみ処理券の貼付は必要ありません。

また、アンケート調査もあわせてご協力をお願い申し上げます。アンケート用紙は、調査期間中に水色の袋（資源用）の外袋に貼り付けて出して頂くか、調査員に直接渡してください。

◆ 調査の期間

平成22年6月29日（火）から7月6日（火）の8日間です。

※調査期間中は、前日に出た燃やすごみ、燃やさないごみ、資源物を毎日回収に伺います。

（例）6月28日（月）に出たごみ・資源 → 6月29日（火）に回収。＜調査開始＞

7月 5日（月）に出たごみ・資源 → 7月 6日（火）に回収。＜調査終了＞

※ただし、日曜日（7月4日）は回収に伺いませんので、日曜日（7月5日）にお出し下さい。

（例）7月3日（土）・7月4日（日）に出たごみ・資源→7月5日（月）に土曜日分、日曜日分の2つの袋を回収します。

◆ 指定袋等（調査の始まる前にお届けします。）

・ 黄色の袋（燃やすごみ用）	: 10枚	} 1セット
・ 白色の袋（燃やさないごみ用）	: 10枚	
・ 水色の袋（資源用）	: 10枚	
・ ラベルシール（サンプル識別用）	: 1冊	
・ アンケート用紙	: 1冊	

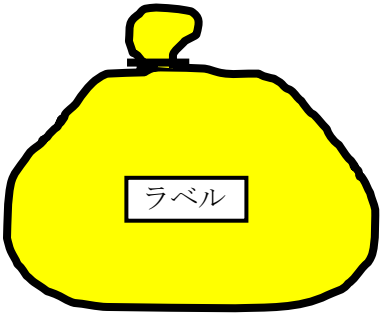
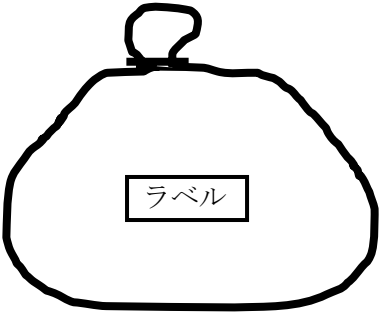
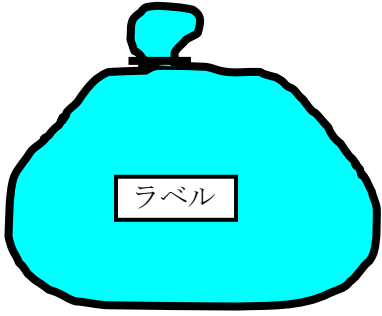
◆ 回収方法

- 1 調査期間のごみ・資源は、曜日および種別ごと（燃やすごみ、燃やさないごみ、資源）に指定の袋に入れてください。（裏面を御参照ください。）
- 2 調査期間中のごみ・資源の袋の置き場所（回収場所）を調査員へ御指定ください。
- 3 調査期間中のごみ・資源は、通常のごみの収集場所へは出さないで、指定の袋に入れ、指定の場所に出してください。
- 4 調査期間中のごみ・資源は、調査員が朝8時～11時頃までに回収いたします。午後1時を過ぎても回収されていない場合は、お手数ですが裏面の問い合わせ先まで御連絡ください。
- 5 調査期間前のごみ・資源（6月27日以前に出たもの）及び粗大ごみは、今回の調査の対象外となりますので、お手数ですが、通常の方法で処理してください。また、有害性・危険性・引火性のあるもの、処理作業の支障となるもの（医療系廃棄物、ガスボンベ類、石油類、薬品等）は入れないでください。

裏面もご覧ください。

調査期間中のごみ・資源の分け方・出し方

○ 事前にご指定いただいた、ごみ回収場所にお出してください。

燃 や す ご み	●普段、 <u>燃やすごみ</u> として出しているものを入れてください。 (生ごみは、透明のビニール袋に入れてから、黄色の袋に入れてください。)	●<u>黄色の袋</u>に入れてください。  ・ゴミ袋の口は、必ず結んでください。 ・「燃やすごみ」のラベルを袋に貼ってください。
燃 や さ な い ご み	●普段、 <u>燃やさないごみ</u> として出しているものを入れてください。	●<u>白色の袋</u>に入れてください。  ・ゴミ袋の口は、必ず結んでください。 ・「燃やさないごみ」のラベルを袋に貼ってください。
資 源	●普段、 <u>資源</u> として出しているものを入れてください。	●<u>水色の袋</u>に入れてください。  ・ゴミ袋の口は、必ず結んでください。 ・「資源」のラベルを袋に貼ってください。

◆お問い合わせ先（調査委託会社）

調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

株式会社 市川環境アセス 調査担当：大串（オオクシ）、見崎（ミサキ）

TEL：0120-538-153（フリーダイヤル）

月～土曜 午前8時～午後5時

なお、通話中の場合など時間帯によってはつながりにくい場合がございます。

荒川区 事業所ごみ排出実態調査記入票

○ 調査にご協力ありがとうございます。調査を始める前に、次の質問にお答えください。
貴事業所についてお聞きします。

(1) 業種	1 建設業 3 電気・ガス・熱供給・水道業 5 運輸業 7 コンビニエンスストア 9 ファミリーレストラン 11 その他飲食店 13 教育・研究機関 15 その他サービス業	2 製造業 4 情報通信業 6 卸売業 8 スーパー 10 ファーストフード 12 金融・保険・不動産業 14 医療施設・福祉施設 16 その他 ()
(2) 従業員数	1 1～4人 2 5～9人 3 10～19人 4 20～29人 5 30人以上	
(3) 作業内容	1 製造業 2 社外での工事 3 製品の在庫管理や発送・運送 4 店舗での商品や飲食品の販売 5 その他のサービスの提供 6 営業活動 7 事務作業 8 その他 (具体的に)	
(4) 延べ床面積	1 50㎡未満 2 50～100㎡ 3 100～300㎡ 4 300～500㎡ 5 500～1000㎡ 6 1000㎡以上	
(5) 事業所の入っている 建物全体のおおよそ の延べ面積	1 1000㎡未満 2 1000～3000㎡ 3 3000㎡以上	
(6) 所在地域	1 南千住 2 荒川 3 町屋 4 東尾久 5 西尾久 6 東日暮里 7 西日暮里	

調査結果の分析の参考とさせていただきます、次の質問にお答えください。

○ ごみや資源の処理についてお答えください。

(1) 貴事業所では、排出されるごみをどのように処理していますか。(○は1つ)

1 清掃工場の処理施設に直接持ち込んでいる 2 廃棄物処理業者に処理を委託している 3 ごみ処理券を貼って、区の収集を利用している 4 ごみ処理券を貼らずに、区の収集を利用している 5 その他(具体的に)
--

(2) 貴事業所では、ごみや資源の処理費として毎月どの程度費用がかかっていますか。
(○は1つ)

1 ほとんどかからない	2 千円未満	3 千～5千円未満
4 5千～1万円未満	5 1万～3万未満	6 3万～5万円未満
7 5万～10万円未満	8 10万～30万円未満	9 30万以上
10 わからない		

(3) 貴事業所では、紙ごみ（OA用紙・印刷物・ダンボール等）については、どのように処理していますか。（○は1つ）

- | | |
|---|--|
| 1 | 燃えるごみと一緒に、清掃工場の処理施設に直接持ち込んでいる |
| 2 | 燃えるごみと一緒に、業者に処理を委託している |
| 3 | 燃えるごみと、資源に分別してから、それぞれ業者に処理を委託している |
| 4 | 燃えるごみとして、ごみ処理券を貼って区の収集に出している |
| 5 | 燃えるごみとして、ごみ処理券を貼らずに区の収集に出している |
| 6 | 燃えるごみと資源に分別して、それぞれにごみ処理券を貼って区の収集に出している |
| 7 | 燃えるごみと資源に分別して、ごみ処理券を貼らずに区の収集に出している |
| 8 | その他（ |

(4) 貴事業所では、主にどの過程で資源物やごみが多く発生しますか。（○は最も多いものに1つ）

- | | |
|---|--|
| 1 | 製品・商品の生産過程（製造や流通、販売）で出る資源やごみ（包装・梱包材など） |
| 2 | 事務作業で出る資源やごみ（コピー用紙など） |
| 3 | 来客など不特定の人が出す資源やごみ（弁当ガラや飲料缶など） |
| 4 | その他（具体的に |

(5) 貴事業所のごみ・資源の保管場所についてお答え下さい。（○は1つ）

- | | | | |
|---|--------------|---|---------------|
| 1 | 自社専用の保管場所がある | 2 | 建物内共有の保管場所がある |
| 3 | 保管場所はない | 4 | その他（具体的に |

○ ごみ減量・リサイクルの取り組みを進めるための考え方についてお聞きます。

(6) 今後具体的な取り組みを検討するうえで欲しい情報はありますか。（○は3つまで）

- | | | | |
|---|-------------------|---|----------------|
| 1 | 処理業者・資源回収業者に関する情報 | 2 | 法律や条令等規則に関する情報 |
| 3 | 区の事業や収集に関する情報 | 4 | 国の動向に関する情報 |
| 5 | 類似事業所での成功事例や失敗事例 | | |
| 6 | その他（具体的に | | |
| 7 | 特に必要ない | | |

(7) こうした情報を入手するのに、どのような手段や媒体が望ましいですか。（○は3つまで）

- | | |
|---|-------------------------------------|
| 1 | 区、都、国などによる広報・チラシ・パンフレット |
| 2 | インターネットサイトの検索、メールマガジン |
| 3 | 新聞広告や雑誌への記事掲載等 |
| 4 | 商工会など所属団体からの情報 |
| 5 | 廃棄物処理行者等からの情報 |
| 6 | 説明会やセミナーなど |
| 7 | 先進的に取り組んでいる企業担当者やリサイクル等の専門家によるアドバイス |
| 8 | その他（具体的に |
| 9 | 特にない |

(8) 貴事業所で行っている、ごみを出さない工夫についてお答えください。
（○はあてはまるものすべて）

- | | | | |
|---|---------------|---|---------------|
| 1 | コピー用紙は裏面も印刷する | 2 | 過剰な包装等をやめる |
| 3 | 使用できるものは再利用する | 4 | ペーパーレスで作業している |
| 5 | 再生品を使用する | 6 | その他（ |

(9) 貴事業所では、今後、事業所用の生ごみ処理機について、使用することを考えていますか。
（○は1つ）

- | | | | |
|---|--------------|---|-----------------|
| 1 | 現在使用している | 2 | 使用する予定です |
| 3 | 使用について検討している | 4 | 助成制度があれば使用を検討する |
| 5 | 関心がない | 6 | その他（ |

○ ごみ及び資源物の「普段の処理方法」についてお聞きします

記入例①：可燃ごみは区のごみ収集にごみ処理券を貼って排出

可燃ごみ	1	2	3	4	⑤	6	7	8	9	10	11	12
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

資源などの品目	主な処理方法（品目ごとに1つずつ○）											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	業者に費用を払って処理	業者に売却	業者に無料で引き渡し	納入業者に引き渡し（返却）	区のごみ収集にごみ処理券を貼って排出	区のごみ収集にごみ処理券を貼らずに排出	区のごみ収集にごみ処理券を貼って排出	区の資源回収にごみ処理券を貼らずに排出	自社で処理施設に持ち込む	町会の集団回収に排出	小売店店頭の回収ボックスに排出	コンポスト化している
可燃ごみ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
不燃ごみ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生ごみ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
新聞紙・ちらし	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
雑誌	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
紙パック	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
書籍	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ダンボール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ペットボトル	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
白色の発泡スチロール製食品用トレイ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
アルミ缶	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
スチール缶	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ビールびん・一升びん	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
牛乳びん	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
その他飲料びん	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
乾電池	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ボタン電池	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
充電式電池	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

- 生ごみ処理機をご使用されている場合には、下記に生ごみ処理機で処理している生ごみの重さをご記入ください。

(普段、生ごみを生ごみ処理機で処理している方のみ記入)

	6/29 (火)	6/30 (水)	7/1 (木)	7/2 (金)	7/4 (土)	7/5 (日)	7/6 (月)	7/8 (火)
生ごみ処理機で 処理している生 ごみ	g	g	g	g	g	g	g	g

※自社で生ごみを処理している事業所のみ、その重さをご記入ください。計量・記録した生ごみは袋に入れず、普段どおり生ごみ処理機で処理してください。

※ 計量・記録は10g単位に四捨五入してください。

- 調査期間中にごみ・資源として排出しなかったものがありましたらご記入ください。

〔たとえば、業者に返品する商品など〕

袋に入れて出していただいたものは返却できません。

日付	資源などの品目	重さ	普段の処理方法	特記事項 (特に連絡したいことがあれば)
		g		
		g		
		g		
		g		
		g		

- 調査にご協力いただき、何かお気づきになった点がありましたら、ご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

5-2 アンケート調査

(1) 家庭用アンケート調査依頼書・アンケート調査票

ごみ減量及びリサイクル・資源回収への取組に関する意識調査

<ご家庭用>

◆ アンケート調査へのご協力をお願い ◆

日頃から、荒川区の清掃リサイクル事業に、ご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

区では、「荒川区一般廃棄物処理基本計画」に基づき、ごみの減量やリサイクルの推進に向けた各種の清掃・リサイクル事業を行っております。

現在、学識経験者及び区議会議員・区民・事業者を委員とする荒川区清掃審議会で、この計画の新たな策定に向けて審議を行っています。

この調査は、区民の皆さんのごみ減量やリサイクル等に関する普段のお取り組みや、ご意見をお伺いし、今後、区が取り組むべき具体的な施策を検討するための基礎資料とするために実施いたします。

お忙しいところ誠に恐縮でございますが、ご協力をお願いいたします。

平成22年8月 荒川区環境清掃部清掃リサイクル課

○ 記入上の注意

- ・このアンケート調査は、荒川区に住む20歳以上の方500人を無作為に選び、調査票をお送りしています。
- ・回答はこの調査票に直接ご記入下さい。
- ・回答は選択肢の中から一つ選び、番号に○をつけていただくか、該当するものを複数選ぶものがあります。
- ・ご返送いただいた調査票はコンピュータを使い統計的に処理し、個人のプライバシーに関する内容は一切把握いたしません。

○ 返送方法

平成22年9月6日（月）までにご投函下さい

- ・ご記入いただいた調査票を、同封の返信用封筒に入れポストに投函してください。
- ・切手の貼り付け、氏名の記入は不要です。

○ お問い合わせ先

- ・不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。
- ・調査委託会社

株式会社市川環境アセス 千葉県市川市大町96-3 担当：大串^{おおくし}、見崎^{みさき}
TEL：0120-538-153（フリーダイヤル）
月曜～金曜 午前9時～午後5時
なお、通話中の場合など時間帯によってはつながりにくい場合がございます。

・担当

環境清掃部 清掃リサイクル課 担当者：大林^{おおばやし}
荒川区町屋5-19-1 荒川清掃事務所3階
TEL：03-5692-6690

家庭用アンケート

○ あなたのご家庭での、ごみ・資源物の「普段の処理方法」についてお聞きします。

問1 下記の、ごみや資源物は普段どのように処理していますか？

記入例 : 「雑誌は、町会の集団回収に出している」ご家庭の場合は3に○をする									
雑誌		1	2	③	4	—	6	7	8
資源などの品目		主な処理方法（品目ごとに1つずつ○）							
		1 可燃ごみとして集積所又は 保管場所に出す	2 不燃ごみとして集積所又は 保管場所に出す	3 町会等の集団回収に出す	4 小売店店頭回収ボックス に出す	5 購入したお店に返却する	6 業者の回収に出す	7 その他の方法（フリーマー ケット・古本屋等で販売）	8 出ない（排出されない）
紙類	新聞紙（折り込み広告含む）	1	2	3	4	—	6	—	8
	雑誌	1	2	3	4	—	6	7	8
	書籍	1	2	3	4	—	6	7	8
	紙パック（牛乳パック等）	1	2	3	4	—	6	—	8
	段ボール	1	2	3	4	5	6	—	8
	紙製容器包装（紙袋・紙箱・包装紙等）	1	2	3	4	—	6	—	8
	その他の紙類（封筒・レシート等）	1	2	3	4	—	6	—	8
プラス チック 類	ペットボトル	1	2	3	4	5	6	—	8
	白色の発泡スチロール製食品用トレイ	1	2	3	4	5	6	—	8
金属類	アルミ缶	1	2	3	4	5	6	—	8
	スチール缶	1	2	3	4	5	6	—	8
ガラス 類	ビールびん・一升びん	1	2	3	4	5	6	—	8
	牛乳びん	1	2	3	4	5	6	—	8
	その他の飲料びん	1	2	3	4	5	6	—	8
電池	乾電池	1	2	3	4	5	6	—	8
	ボタン電池	1	2	3	4	5	6	—	8
	充電式電池	1	2	3	4	5	6	—	8
古布（衣類・布類等）		1	2	3	4	5	6	7	8
蛍光管		1	2	3	4	5	6	—	8
廃食用油（使用後の天ぷら油等）		1	2	3	4	5	6	—	8

◎ 普段の暮らしの中での環境配慮やごみ減量への取り組みについてお聞きします。

問2 下表の中で、あなたの普段の取り組みについてあてはまるものに○をして下さい。
(○は1つ)

	取り組みの項目	1 る い つ も そ う し て い	2 時 々 そ う し て い る	3 い あ ま り そ う し て な い	4 そ う し て い な い
(1)	少ない買い物の際はレジ袋を断っている	1	2	3	4
(2)	レジ袋削減のためにマイバック（買い物袋）を利用している	1	2	3	4
(3)	余分・過剰な包装は断っている	1	2	3	4
(4)	買い物時に、ごみにならないもの・長く使えるものを選んでいる	1	2	3	4
(5)	不要なものは買わないようにしている	1	2	3	4
(6)	食料品が無駄にならないような買い方をしている	1	2	3	4
(7)	食材が無駄にならないよう、調理の工夫をしている	1	2	3	4
(8)	食べ残しを減らすために、料理を作りすぎないなどの工夫をしている	1	2	3	4
(9)	リサイクルショップを利用している	1	2	3	4
(10)	フリーマーケットを利用している	1	2	3	4

問3 あなたは普段、食料品や日用品を購入する際に、次のような商品を購入していますか。
(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 1 古紙配合のティッシュペーパー、トイレットペーパー | 5 びんビール（容器は酒屋に返却） |
| 2 古紙配合のノート | 6 配達などのびん入りの牛乳 |
| 3 エコマークなどのついた環境配慮商品 | 7 バラ売りの野菜や果物 |
| 4 詰め替えができる容器の商品など | |

問4 あなたは普段、リサイクルできる資源を分別して資源回収に出していますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|------|
| 1 いつもそうしている | ⇒問5へ |
| 2 時々そうしている | ⇒問5へ |
| 3 あまりそうしていない | ⇒問6へ |
| 4 していない | ⇒問6へ |

問5 問4で1・2（いつもそうしている・時々そうしている）を選んだ方にお聞きします。排出ルール(分別区分やごみを出す日)を理解し、ルールを守っていますか。(○は1つ)

- | |
|--------------|
| 1 きちんと理解している |
| 2 だいたい理解している |
| 3 あまり理解していない |

問6 問4で3・4（あまりそうしていない・していない）を選んだ方にお聞きします。資源物を分別しない理由を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 資源として分けることが面倒だから | 4 家庭内に保管する場所がない |
| 2 資源として分ける必要性がわからない | 5 資源物がほとんど出ない |
| 3 資源としての出し方を知らない | 6 その他(具体的に) |

家庭から出る生ごみの処理についてお聞きします。

問7 家庭から排出される燃やすごみのうち40%以上を「生ごみ」が占めており、「生ごみ」には多くの水分が含まれているといわれています。あなたは普段、生ごみを捨てる時に水を切りまたは、ひと絞りしてから出すようにしていますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1 いつもしている | 3 あまりしていない |
| 2 時々している | 4 していない |

問8 生ごみを乾燥又は微生物の働きなどにより分解し減量化する生ごみ処理機・処理容器は生ごみの減量化に有効な手段の一つです。あなたの家庭では、生ごみ処理機・処理容器を使用していますか。(○は1つ)

- | | | |
|---|---------------------|---|
| 1 | すでに使用していて、今後も続ける | |
| 2 | すでに使用しているがやめたい | |
| | (理由 : |) |
| 3 | 使用したことがあるがやめた | |
| | (理由 : |) |
| 4 | まだ使っていないが、今後使ってみたい | |
| 5 | まだ使っていないが、今後も使う気はない | |
| | (理由 : |) |

問9 問8で1・2・3を選んだ方にお聞きします。あなたのご家庭で使用されている(使用していた)生ごみ処理機はどのタイプですか。(○は1つ)

- | | | |
|---|--|---|
| 1 | 電動生ごみ処理機(加熱乾燥し減量化する乾燥型タイプ) | |
| 2 | 電動生ごみ処理機(微生物の働きなどにより分解し減量化する微生物分解型タイプ) | |
| 3 | 生ごみたい肥化容器(微生物の働きなどにより分解し減量化し、たい肥ができるタイプ) | |
| 4 | その他(|) |

◎ 家庭から出る危険物の処理についてお聞きします。

問10 スプレー缶やカセットボンベ・使い捨てライターなどの危険物〔燃やさないごみ(不燃ごみ)の日に出している〕の出し方についてお聞きします。
あなたの家庭では、どのようにして集積所に出していますか。(○は1つ)

- | | | |
|---|---|---|
| 1 | 中身を使い切り、別袋に入れて「危険(キケン)」と表示して出している | |
| 2 | 中身を使い切るが、他の燃やさないごみと一緒にのごみ袋に入れて出している | |
| 3 | 中身が入ったまま、他の燃やさないごみと一緒にのごみ袋に入れて出している | |
| 4 | スプレー缶などに装着されている缶の中に残ったガスを安全に排出する「中身排出機構、残ガス排出機構のキャップ、ボタン等」を使い、中身を空にして燃やさないごみと一緒にのごみ袋に入れて出している | |
| 5 | 上記4の装置を使い、中身を空にして別袋に入れて「危険(キケン)」と表示して出している | |
| 6 | でない | |
| 7 | その他(具体的に |) |

問 11 包丁やナイフ・ガラス・陶磁器類などの危険物〔燃やさないごみ（不燃ごみ）の日に出している〕の出し方についてお聞きします。

あなたの家庭では、どのようにして集積所に出していますか。（○は1つ）

- | | |
|---|--|
| 1 | 包丁やナイフ・ガラス・陶磁器類は、厚紙や紙などに包んで「危険（キケン）」と表示して出している |
| 2 | 厚紙や紙などに包んでいるが、他の燃やさないごみと一緒にゴミ袋に入れて出している |
| 3 | 厚紙や紙などに包まずに、そのまま他の燃やさないごみと一緒にゴミ袋に入れて出している |
| 4 | 厚紙や紙などに包まずに、単独でゴミ袋に入れて出している |
| 5 | でない |
| 6 | その他（具体的に |

◎ ごみ減量やリサイクルを推進するための方策についてお聞きします。

問 12 今後、資源の回収品として追加したほうがいいと思うものはありますか。（○はあてはまるものすべて）

- | | | | |
|---|--------------------------|----|----------------|
| 1 | コピーや印刷用の紙 | 8 | 剪定枝 |
| 2 | 衣類・古布 | 9 | 金属類（フライパン・なべ等） |
| 3 | 廃食用油（使用後の天ぷら油等） | 10 | 充電式電池 |
| 4 | 硬質プラスチック（ハガー・洗面器等） | 11 | 蛍光管 |
| 5 | プラスチック製容器包装マーク（＊1）のついた製品 | 12 | その他（ |
| 6 | ペットボトルのキャップ | 13 | 特にない |
| 7 | 紙製容器包装マーク（＊2）のついた製品 | | |

＊容器包装マーク例

＊1 プラスチック製容器包装
（シャンプー容器・洗剤容器等）



＊2 紙製容器包装
（ティッシュの箱・紙袋等）



問 13 リサイクルのしくみを作ることはとても重要な反面、新たな費用が必要となり、結果として処理経費等の増加になる可能性があります。あなたは、区が行うリサイクル事業について、今後、どのように進めるべきと考えますか。（○は1つ）

- | | |
|---|--|
| 1 | 多額の経費がかかっても大切なことなので、積極的にリサイクル事業を進めるべき |
| 2 | 経費の増加が区や区民の大きな負担とまらない範囲で、リサイクル事業を進めるべき |
| 3 | 経費が増加するならば、現状のままでよい |
| 4 | その他（具体的に |

問 14 今後のごみ減量化やリサイクルを一層進めるために、あなたが、必要だと考えられるものは何ですか。(○は最も重要だと思うもの3つまで)

- 1 ごみを減らす生活スタイルの提案を充実すること
- 2 ごみ減量やリサイクルに関する情報提供を充実すること
- 3 ごみ減量やリサイクルに関するキャンペーンなど普及啓発を充実すること
- 4 ごみ減量やリサイクルに関する教育を小中学校で推進すること
- 5 資源物の収集品目や収集頻度を増やすこと
- 6 店頭や公共施設での資源物の回収品目や回収拠点を増やすこと
- 7 集団回収への支援を充実すること
- 8 商品を造っている企業が、ごみを出さない商品やリサイクルしやすい商品を製造すること
- 9 その他（具体的に

)

問 15 あなたが、今後の暮らしの工夫によって「その物を減らせる」と思えるものはどれですか。(○はあてはまるものすべて)

- | | | |
|--------------|-------------|----------------|
| 1 調理くず | 7 段ボール | 13 プラスチック容器、包装 |
| 2 食べ残し（残飯など） | 8 紙パック | 14 びん |
| 3 賞味期限切れの食品 | 9 古着類 | 15 缶 |
| 4 紙容器、紙袋や包装紙 | 10 ペットボトル | 16 粗大ごみ |
| 5 新聞・チラシ | 11 食品用白色トレイ | 17 その他（具体的に |
| 6 雑誌 | 12 レジ袋 | |

)

問 16 マイバック（買い物袋）を利用してレジ袋を削減することは、ごみの発生抑制だけでなく資源の節約にもつながります。マイバックを普及するためにあなたはどのようなことが必要だと思いますか。(○はあてはまるもの3つ)

- 1 マイバックの利用で割引等の特典がつくようにする
- 2 マイバックの利用者には清算時にその場でレジ袋相当額を値引きする
- 3 マイバックの利用によるごみ削減効果をPRする
- 4 マイバックの利用を推進するためのキャンペーンなどの普及啓発を実施する
- 5 スーパーや商店などのレジでのマイバック利用の呼びかけ
- 6 レジ袋を有料にする
- 7 条例等で規制をする
- 8 その他（

)

◎ ごみの処理費用についてお聞きします。

清掃・リサイクル事業にかかる費用は税でまかなわれているため、出すごみの量に関係なく一律に負担いただいているといえます。

一方、出すごみの量に応じ、住民の皆さまが処理費用を負担する、「ごみの有料化」を導入する自治体が、全国で60.2%にあたる1,084自治体に増えてきています。(環境省「一般廃棄物の排出及び処理状況等(平成20年度)」調査結果より)

問17 あなたは「家庭から出るごみの処理費用の負担」についてどう思いますか。(○は1つ)

- | | |
|---|---|
| 1 家庭ごみの処理は公共サービスなので、今のまま税金で処理するのがよい | |
| 2 一定量のごみ処理については税金で行い、それ以上の処理費用は量に応じ出す人が負担するのがよい | |
| 3 ごみ処理費用はすべて、ごみを出す人がその量に応じて負担するのがよい | |
| 4 その他(具体的に |) |

問18 あなたは、「家庭ごみの有料化」について、どのようなお考えをお持ちですか。
(○はあてはまるもの3つ)

- | | |
|--|---|
| 1 有料化されると、過剰包装を断るなど、ごみの発生抑制につながる | |
| 2 有料化されると、ごみ減量・リサイクルの動機付けになる | |
| 3 有料化されると、ごみを出すまいとする意識が働き、資源物の分別が徹底され、リサイクルが推進される | |
| 4 有料化されると、ごみ減量に努力する人と努力しない人で負担の差が設けられ、公平化が図られる | |
| 5 ごみ処理経費についての、意識が高まる | |
| 6 ごみ処理の経費について、区民も応分の負担をするべきである | |
| 7 ごみ処理は税金でまかなわれるべきで、有料化すべきではない | |
| 8 分別収集がすでに定着し、ごみ減量・リサイクルの余地は少なく、これ以上区民に負担を課すべきではない | |
| 9 有料化後の数年間はごみ減量・リサイクルに効果が出ると思われるが、その後はその状態になれて再びごみが増え、区民の負担だけが残る | |
| 10 有料化されると、不法投棄が増加する可能性がある | |
| 11 ごみは過剰包装などによるものが多いので、生産者責任の拡大や小売店への指導を先に行うべきである | |
| 12 その他(|) |
| 13 わからない | |

問 19 仮に「家庭ごみの有料化」を荒川区で検討するとした場合、特にどのような点に配慮すべきだと思いますか。(○は最も重要だと思うもの3つまで)

- | | | |
|----|--|---|
| 1 | ごみを多く出す人ほど多く負担するような公平なしくみとする | |
| 2 | リサイクルのしくみを拡充しリサイクル量を増やすことで、ごみ量を減らせるしくみを充実させる | |
| 3 | 一人ひとりが取り組めるごみ減量のメニューを示す | |
| 4 | 家庭だけでなく事業所へのごみ減量やリサイクルを働きかける | |
| 5 | ごみにならない製品づくり、簡易包装や量り売りなどをするよう事業所に働きかける | |
| 6 | 集めた手数料の使い道を明らかにする | |
| 7 | 有料化による減量効果や費用対効果をきちんと説明する | |
| 8 | 区民に対する啓発や環境学習を徹底する | |
| 9 | ごみを出す人にとって便利なしくみにする | |
| 10 | 十分な不法投棄対策を講じる | |
| 11 | その他(具体的に |) |
| 12 | 特にない | |
| 13 | わからない | |

問 20 あなた自身とあなたのご家族についてお聞きします。

(1) あなたの性別	1 女性	2 男性
(2) あなたの年齢層	1 20代 2 30代 3 40代	4 50代 5 60代 6 70代以上
(3) あなたの職業	1 会社員（公務員含む） 2 専業主婦・主夫 3 自由業 4 パート・アルバイト	5 自営業 6 学生 7 その他（ ）
(4) 家族の人数 (あなたを含めて)	1 1人 4 4人	2 2人 3 3人 5 5人以上（ ）人
(5) 家族の構成員 (当てはまるものに○)	1 乳幼児・園児・小学生低学年がいる 2 70歳以上のみの世帯である	
(6) お住まいの形態	1 戸建て住宅 2 アパート 3 管理人がごみ出しするマンション 4 各世帯がごみ出しするマンション 5 店舗・事務所等併設の住宅 6 その他	
(7) 所在地域	1 南千住 2 荒川 3 町屋	4 東尾久 5 西尾久 6 東日暮里 7 西日暮里
(8) 居住年数	1 1年未満 2 1～3年	3 3～10年 4 10年以上

● 調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

調査票をご記入いただいて、お気づきになったごみ問題やリサイクルの取組について、自由なご意見をお聞かせください。

.....

.....

.....

.....

.....

(2) 事業所用アンケート調査依頼書・アンケート調査票

ごみ減量及びリサイクル・資源回収への取組に関する意識調査

<事業者用>

◆ アンケート調査へのご協力をお願い ◆

日頃から、荒川区の清掃リサイクル事業に、ご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

本区では、「荒川区一般廃棄物処理基本計画」に基づき、各種の清掃・リサイクル事業を行っております。

現在、学識経験者及び区議会議員・区民・事業者を委員とする荒川区清掃審議会で、この計画の新たな策定に向けて審議を行っています。

この調査は、事業所の皆様のごみ減量やリサイクル等に関する普段のお取組みや、ご意見をお伺いし、今後、区が取り組むべき具体的な施策を検討するための基礎資料とするために実施いたします。

お忙しいところ誠に恐縮でございますが、ご協力をお願いいたします。

平成22年8月 荒川区環境清掃部清掃リサイクル課

○ 記入上の注意

- ・このアンケート調査は、荒川区内の事業所より無作為に500事業所を選び、調査票をお送りしています。
- ・回答はこの調査票に直接ご記入下さい。
- ・回答は選択肢の中から一つ選び、番号に○をつけていただくか、該当するものを複数選ぶものがあります。
- ・ご返送いただいた調査票はコンピュータを使い統計的に処理し、プライバシーに関する内容は一切把握いたしません。

○ 返送方法

平成22年9月6日（月）までにご投函下さい

- ・ご記入いただいた調査票を、同封の返信用封筒に入れポストに投函してください。
- ・切手の貼り付け、氏名の記入は不要です。

○ お問い合わせ先

- ・不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。
- ・調査委託会社

株式会社市川環境アセス 千葉県市川市大町96-3 担当：大串^{おおくし}、見崎^{みさき}
TEL：0120-538-153（フリーダイヤル）
月曜～金曜 午前9時～午後5時
なお、通話中の場合など時間帯によってはつながりにくい場合がございます。

・担当

環境清掃部 清掃リサイクル課 担当者：大林^{おおばやし}
荒川区町屋5-19-1 荒川清掃事務所3階
TEL：03-5692-6690

事業所アンケート

本調査は、事業活動に伴う一般廃棄物が対象です。対象外となっている産業廃棄物は、除いてご回答下さい。

◎ 貴事業所でのごみ・資源物の「普段の処理方法」についてお聞きします。

問1 下記の、ごみや資源物は普段どのように処理していますか。

記入例：「可燃ごみは区のごみ収集にごみ処理券を貼って排出している」事業所は5に○をする

可燃ごみ	1	—	—	—	⑤	6	—	—	9	—	—	12	13
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----

資源などの品目		主な処理方法（品目ごとに1つずつ○）												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		業者に費用を払って処理	業者に売却	業者に無料で引き渡し	却 納入業者に引き渡し（返却）	券を貼って排出 区のごみ収集にごみ処理券を貼って排出	券を貼らずに排出 区のごみ収集にごみ処理券を貼らずに排出	券を貼って排出 区の資源回収にごみ処理券を貼って排出	券を貼らずに排出 区の資源回収にごみ処理券を貼らずに排出	む 自社で処理施設に持ち込	ス 小売店店頭回収ボックスに出す	コンポスト化している	出ない（排出されない）	その他
可燃ごみ		1	—	—	—	5	6	—	—	9	—	—	12	13
不燃ごみ		1	—	—	—	5	6	—	—	9	—	—	12	13
生ごみ		1	2	—	—	5	6	—	—	9	—	11	12	13
紙類	新聞紙（折り込み 広告含む）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	—	12	13
	雑誌	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	—	12	13
	紙パック （牛乳パック等）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	—	12	13
	書籍	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	—	12	13
	紙製容器包装（紙 箱・包装紙等）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	—	12	13
	段ボール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	—	12	13
	その他の紙類（封 筒・レシート等）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	—	12	13
プラス チック 類	ペットボトル	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	—	12	13
	白色の食品用 トレイ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	—	12	13
金属類	アルミ缶	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	—	12	13
	スチール缶	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	—	12	13
ガラス 類	ビールびん・ 一升びん	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	—	12	13
	その他飲料びん	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	—	12	13
電池	乾電池	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	—	12	13
	ボタン電池	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	—	12	13
	充電式電池	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	—	12	13
蛍光管		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	—	12	13
廃食用油 （使用後の天ぷら油等）		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	—	12	13
古布（制服・リネン・布類）		1	2	3	—	5	6	7	8	9	10	—	12	13

◎ ごみや資源の処理についてお答えください。

問2 貴事業所では、主にどの過程でごみや資源物が多く発生しますか。
(○は最も多いものに1つ)

- | | | |
|---|--|---|
| 1 | 製品・商品の生産過程（製造や流通、販売）で出る資源やごみ（包装・梱包材など） | |
| 2 | 事務作業で出る資源やごみ（コピー用紙やシュレッダーくずなど） | |
| 3 | 来客など不特定の人が出す資源やごみ（弁当ガラや飲料缶など） | |
| 4 | 従業員が出す資源やごみ（弁当ガラや飲料缶など） | |
| 5 | その他（具体的に | ） |

問3 貴事業所では、ごみ・資源の保管場所を持っていますか。(○は1つ)

- | | | |
|---|-------------------------|---|
| 1 | 自社専用の保管場所がある | |
| 2 | 建物内共有の保管場所がある | |
| 3 | 建物の管理会社、清掃業者等が専任で管理している | |
| 4 | 保管場所はない | |
| 5 | その他（具体的に | ） |

問4 貴事業所ではリサイクルできる資源物を分別処理していますか？(○は1つ)

- | | | |
|---|---------|----------------|
| 1 | 分別していない | ⇒問5、6 をお答えください |
| 2 | 分別している | ⇒問6 をお答えください |

問5 問4で1（資源物を分別処理していない）と回答された事業所方のみお答え下さい。
資源物を分別処理していないのはなぜですか。(○は2つまで)

- | | | |
|---|--------------------|---|
| 1 | 作業工程上分別できない | |
| 2 | 社員・作業員の協力が得にくい | |
| 3 | 分別するほど資源物が出ない | |
| 4 | 分別しても資源の引き取り先がない | |
| 5 | 分別してもごみ処理費用が下がらない | |
| 6 | 資源物が売却出来ず逆に処理費がかかる | |
| 7 | 分別に手間がかかる | |
| 8 | 特に考えていなかった | |
| 9 | その他（具体的に | ） |

問6 貴事業所では、ごみや資源の処理費として毎月どの程度の費用がかかっていますか。
(○は1つ)

1 ほとんどかからない	6 3万～5万円未満
2 千円未満	7 5万～10万円未満
3 千～5千円未満	8 10万～30万円未満
4 5千～1万円未満	9 30万以上
5 1万～3万未満	10 わからない

問7 「ごみ処理券を貼って区の収集に出している事業所」の方のみお答えください。

貴事業所では、ごみ・資源物の処理を、どのような条件ならば一般廃棄物処理業者（廃棄物の収集運搬、処分を行う業者）に委託できますか。(○は3つまで)

1 処理委託の費用が安いこと	
2 量が少なくても、収集してくれること	
3 毎日収集してくれること	
4 排出する時間を合わせてくれること	
5 早朝に収集をしてくれること	
6 夜間に収集をしてくれること	
7 事務所や店の前、店の中まで取りに来てくれること	
8 信頼できる業者であること	
9 契約等の手続きが簡単であること	
10 商店街・テナント等で共同で委託すること	
11 その他(具体的に	)

◎ ごみの減量やリサイクルへの意識と取り組み状況についてお聞きします。

問8 貴事業所で行っている、ごみを出さない取り組みについてお答えください。

(○はあてはまるものすべて)

- 1 コピー用紙は裏面も印刷している
- 2 使用できるものは再利用している
- 3 ペーパーレスで作業している
- 4 使い捨て商品はなるべく使わない
- 5 古紙回収箱を設置している
- 6 空き缶・びん等の分別回収箱を設置している
- 7 自動販売機の回収箱で回収した空き容器を納入業者に引き渡している
- 8 生ごみを分別して、飼料化業者、堆肥化業者等に引き渡している
- 9 事業所内に生ごみ処理機を設置している
- 10 納入業者に包装の簡素化や通い箱（再利用型ボックス）による納品を依頼している
- 11 仕入れを調整しなるべくごみが出ないようにしている
- 12 発生抑制やリサイクルのマニュアルを作成、配布している
- 13 発生抑制やリサイクルに取り組む専門部署や管理責任者を設置している
- 14 取り扱う製品・商品が使用する包装材を簡素化している
- 15 製品設計時に環境配慮度合いを上げている
- 16 特に取り組みはしていない
- 17 その他（上記に当てはまらない場合や、特に力を注いでいるものがあればご記入ください）

()

問9 貴事業所で、ごみの発生抑制及びリサイクルを進める上での主な問題点は何ですか。

(○は3つまで)

- 1 リサイクルできそうなものがほとんどない
- 2 古紙や空きびん等、資源化物の保管場所がとれない
- 3 適当なリサイクル業者が（処理業者）が分からない
- 4 従業員に分別の徹底を浸透するのが難しい
- 5 分別に手間や費用がかかる
- 6 機密文書が多くリサイクルが難しい
- 7 食品の売れ残り等を減らすための販売管理が難しい
- 8 ごみを減らしてもごみ処理料金が安くなるなどの経済的なメリットが得られない
- 9 特に問題はない
- 10 その他(具体的に)

問 10 貴事業所では、ごみ減量・リサイクルに積極的に取り組んでいると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 積極的に取り組んでいると思う | ⇒ 問 1 1 をお答えください |
| 2 ある程度取り組んでいると思う | ⇒ 問 1 1 をお答えください |
| 3 あまり取り組んでいないと思う | ⇒ 問 1 2 をお答えください |
| 4 まったく取り組んでいないと思う | ⇒ 問 1 2 をお答えください |
| 5 よくわからない | |

問 11 問 1 0 で 1・2 と回答された事業所の方のみお答え下さい。ごみ減量・リサイクルに取り組んだきっかけは何ですか。(○はあてはまるものすべて)

- | |
|---|
| 1 区から指導を受けたから |
| 2 ISO14001 やエコアクション 21 の認証を取得した、又はしたいから |
| 3 ごみを減らせばコスト削減になるから |
| 4 会社の社会的責任が求められるようになってきたから |
| 5 取引先からの要望を受けたから |
| 6 消費者からの要望を受けたから |
| 7 会社の宣伝や PR のため |
| 8 その他（具体的に |

)

問 12 問 1 0 で 3・4 と回答された事業所の方のみお答え下さい。ごみ減量・リサイクルに取り組んでいない理由はなんですか。(○はあてはまるものすべて)

- | |
|-------------------------------|
| 1 ごみ減量・リサイクルをする必要性を感じたことがないから |
| 2 ごみ収集運搬業者や処分業者に支払う金額が増えるから |
| 3 分別の手間をかけたくないから |
| 4 ごみの発生量が少ないから |
| 5 区から指導されたことがないから |
| 6 その他（具体的に |
| 7 わからない |

)

問 13 貴事業所についてお聞きします。

(1) 業種	1 建設業 2 製造業 3 電気・ガス・熱供給・水道業 4 情報通信業 5 運輸業 6 卸売業 7 コンビニエンスストア 8 スーパー	9 ファミリーレストラン 10 ファーストフード 11 その他飲食店 12 金融・保険・不動産業 13 教育・研究機関 14 医療施設・福祉施設 15 その他サービス業 16 その他（ ）
(2) 従業員数	1 1～4人 2 5～9人	3 10～19人 4 20～29人 5 30人以上
(3) 主な作業内容	1 製造業 2 社外での工事 3 製品の在庫管理や発送・運送 4 店舗での商品や飲食品の販売	5 その他のサービスの提供 6 営業活動 7 事務作業 8 その他(具体的に)
(4) 住居と事業所が併設されている	1 はい	2 いいえ
(5) 延べ床面積	1 50 m ² 未満 2 50～100 m ² 3 100～300 m ²	4 300～500 m ² 5 500～1000 m ² 6 1000～3000 m ² 7 3000 m ² 以上
(6) 事業所の入っている建物全体のおおよその延べ面積	1 1000 m ² 未満 2 1000～3000 m ²	3 3000 m ² 以上
(7) 所在地域	1 南千住 2 荒川 3 町屋	4 東尾久 5 西尾久 6 東日暮里 7 西日暮里

● 調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

調査票をご記入いただいてお気づきになったごみ問題やリサイクルの取組について、自由なご意見をお聞かせください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

5-3 不用物組成分析データ

(1) 家庭系

A. 世帯人数別不用物全量（詳細）

a. 可燃ごみ

(g)

可 燃 ご み						
世帯人数	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人以上世帯	全体
世帯数	12	37	32	17	18	116
1 ○A用紙	1,810	3,825	6,585	5,310	3,425	20,955
2 その他紙類	8,535	49,455	73,220	53,230	54,850	239,290
3 残さ付き新聞等	4,900	8,235	4,860	4,710	9,440	32,145
4 厨芥（未使用食品）	590	2,440	10,420	5,130	5,340	23,920
5 厨芥（調理くず、残飯）	19,900	133,850	182,990	87,330	120,070	544,140
6 繊維	2,205	10,680	10,271	15,785	9,200	48,141
7 プラスチック製容器包装類	3,360	12,985	15,650	11,290	12,900	56,185
8 プラスチック製バック・カップ類	40	190	240	160	340	970
9 残さ付き容器包装類（プラスチック）	2,125	10,785	12,580	9,450	10,015	44,955
10 ペットボトル（残さ付き）	110	680	910	1,200	310	3,210
11 白色トレイ（残さ付き）	60	140	255	175	155	785
12 ペットボトル識別マークのないボトル状容器	310	2,050	1,860	1,060	1,700	6,980
13 プラスチック類その他	2,585	5,570	11,300	2,895	4,255	26,605
14 ゴム・皮革	110	2,070	3,385	1,275	3,080	9,920
15 レジ袋	905	3,130	2,910	2,365	2,365	11,675
16 プラスチック製キャップ類	140	570	430	465	435	2,040
17 発泡スチロールの緩衝材	50	310	470	575	795	2,200
18 その他可燃物	5,760	45,000	45,180	11,120	33,375	140,435
19 金属類	10	260	180	350	265	1,065
20 ガラス・陶磁器類			80		130	210
21 乾電池		110		20	50	180
22 充電式乾電池						
23 ボタン電池			20			20
24 蛍光灯						
25 その他不燃物		150	400	370	180	1,100
26 新聞等	2,600	5,930	3,130	840	1,280	13,780
27 雑誌	2,220	5,900	5,350	5,910	2,920	22,300
28 段ボール	1,090	5,120	4,310	3,910	2,240	16,670
29 飲料用紙パック	410	1,630	2,160	930	760	5,890
30 紙製容器包装類	2,160	13,750	17,520	14,475	12,765	60,670
31 スチール缶		30	60	470	90	650
32 アルミ缶				140	10	150
33 リターナブルびん						
34 ワンウェイびん		510	570	310	60	1,450
35 白色の発泡スチロール製食品用トレイ			10	20	10	40
36 ペットボトル						
37 その他				740		740
合計	61,985	325,355	417,306	242,010	292,810	1,339,466

ｂ. 不燃ごみ

(g)

不 燃 ご み						
世帯人数	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人以上世帯	全体
モニター数	12	37	32	17	18	116
1 O A用紙						
2 その他紙類		280		215		495
3 残さ付き新聞等	130	15	30	110	20	305
4 厨芥（未使用食品）						
5 厨芥（調理くず、残飯）						
6 繊維			70		10	80
7 プラスチック製 容器包装類	300	325	1,200	175	395	2,395
8 プラスチック製 パック・カップ類	50					50
9 残さ付き容器包装類 （プラスチック）	40	465	550	5	30	1,090
10 ペットボトル（残さ付き）			470			470
11 白色トレイ（残さ付き）			40			40
12 ペットボトル識別マーク のないボトル状容器	50	420	450			920
13 プラスチック類その他	95	4,135	4,320	2,370	320	11,240
14 ゴム・皮革		3,490		600		4,090
15 レジ袋	50	120	215	140	125	650
16 プラスチック製キャップ類	30	105	75	45	30	285
17 発泡スチロールの緩衝材			250		10	260
18 その他可燃物	200	380	15	40	10	645
19 金属類	3,380	4,100	11,510	3,895	6,870	29,755
20 ガラス・陶磁器類	960	2,550	6,580	10,920	20,150	41,160
21 乾電池	1,380	1,060	160	390	560	3,550
22 充電式乾電池		50				50
23 ボタン電池					10	10
24 蛍光灯	760	480	480	380	560	2,660
25 その他不燃物	3,240	5,170	5,910	7,520	15,310	37,150
26 新聞等		10		80	30	120
27 雑誌						
28 段ボール	140	290	120		150	700
29 飲料用紙パック						
30 紙製容器包装類	120	10	140		10	280
31 スチール缶	350	1,850	1,580	690	1,080	5,550
32 アルミ缶		70	340	50		460
33 リターナブルびん						
34 ワンウェイびん	450	3,280	5,620	1,670	2,480	13,500
35 白色の発泡スチロール製 食品用トレイ						
36 ペットボトル			130			130
37 その他		9,750		1,240		10,990
合計	11,725	38,405	40,255	30,535	48,160	169,080

c. 資源物

(g)

資 源 物						
世帯人数	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人以上世帯	全体
モニター数	12	37	32	17	18	116
1 O A用紙	1,510	2,170	1,330	10	1,230	6,250
2 その他紙類	90	240			270	600
3 残さ付き新聞等			450			450
4 厨芥（未使用食品）						
5 厨芥（調理くず、残飯）						
6 繊維			3,210		30	3,240
7 プラスチック製 容器包装類	10	55	40	35	70	210
8 プラスチック製 パック・カップ類	200	75	155	130	75	635
9 残さ付き容器包装類 （プラスチック）	160	100	25	100	20	405
10 ペットボトル（残さ付き）	320	310	1,600	1,340	820	4,390
11 白色トレイ（残さ付き）	10	5	40			55
12 ペットボトル識別マーク のないボトル状容器	40			100	60	200
13 プラスチック類その他	15	160	30	15	35	255
14 ゴム・皮革						
15 レジ袋	30	140	210	70	55	505
16 プラスチック製キャップ類	25	70	20	110	45	270
17 発泡スチロールの緩衝材		80	10	10	5	105
18 その他可燃物		15	70		10	95
19 金属類	760	4,665	635	220	635	6,915
20 ガラス・陶磁器類		690				690
21 乾電池		160		740		900
22 充電式乾電池						
23 ボタン電池						
24 蛍光灯						
25 その他不燃物	70		160	30	130	390
26 新聞等	22,780	91,970	73,370	38,330	28,110	254,560
27 雑誌	14,490	12,160	15,790	1,590	13,520	57,550
28 段ボール	1,600	9,740	16,120	13,550	16,190	57,200
29 飲料用紙パック	130	1,050	760	1,050	2,080	5,070
30 紙製容器包装類	1,300	2,640	3,400	3,060	3,060	13,460
31 スチール缶	2,230	4,710	4,550	3,160	5,060	19,710
32 アルミ缶	350	3,130	5,400	6,650	4,040	19,570
33 リターナブルびん		1,790	4,850	1,980	1,370	9,990
34 ワンウェイびん	4,770	21,520	22,760	17,480	14,530	81,060
35 白色の発泡スチロール製 食品用トレイ	90	560	570	510	615	2,345
36 ペットボトル	1,240	5,000	10,360	9,230	5,820	31,650
37 その他						
合計	52,220	163,205	165,915	99,500	97,885	578,725

B. 世帯人数別不用物割合（詳細）

a. 可燃ごみ

(%)

可 燃 ご み						
世帯人数	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人以上世帯	全体
世帯数	12	37	32	17	18	116
1 : O A用紙	2.9	1.2	1.6	2.2	1.2	1.6
2 : その他紙類	13.8	15.2	17.5	22.0	18.7	17.9
3 : 残さ付き新聞等	7.9	2.5	1.2	1.9	3.2	2.4
4 : 厨芥（未使用食品）	1.0	0.7	2.5	2.1	1.8	1.8
5 : 厨芥（調理くず、残飯）	32.1	41.1	43.9	36.1	41.0	40.6
6 : 繊維	3.6	3.3	2.5	6.5	3.1	3.6
7 : プラスチック製 容器包装類	5.4	4.0	3.8	4.7	4.4	4.2
8 : プラスチック製 パック・カップ類	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
9 : 残さ付き容器包装類 （プラスチック）	3.4	3.3	3.0	3.9	3.4	3.4
10 : ペットボトル（残さ付き）	0.2	0.2	0.2	0.5	0.1	0.2
11 : 白色トレイ（残さ付き）	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1
12 : ペットボトル識別マーク のないボトル状容器	0.5	0.6	0.4	0.4	0.6	0.5
13 : プラスチック類その他	4.2	1.7	2.7	1.2	1.5	2.0
14 : ゴム・皮革	0.2	0.6	0.8	0.5	1.1	0.7
15 : レジ袋	1.5	1.0	0.7	1.0	0.8	0.9
16 : プラスチック製キャップ類	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2
17 : 発泡スチロールの緩衝材	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.2
18 : その他可燃物	9.3	13.8	10.8	4.6	11.4	10.5
19 : 金属類	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1
20 : ガラス・陶磁器類			0.0		0.0	0.0
21 : 乾電池		0.0		0.0	0.0	0.0
22 : 充電式乾電池						
23 : ボタン電池			0.0			0.0
24 : 蛍光灯						
25 : その他不燃物		0.0	0.1	0.2	0.1	0.1
26 : 新聞等	4.2	1.8	0.8	0.3	0.4	1.0
27 : 雑誌	3.6	1.8	1.3	2.4	1.0	1.7
28 : 段ボール	1.8	1.6	1.0	1.6	0.8	1.2
29 : 飲料用紙パック	0.7	0.5	0.5	0.4	0.3	0.4
30 : 紙製容器包装類	3.5	4.2	4.2	6.0	4.4	4.5
31 : スチール缶		0.0	0.0	0.2	0.0	0.0
32 : アルミ缶				0.1	0.0	0.0
33 : リターナブルびん						
34 : ワンウェイびん		0.2	0.1	0.1	0.0	0.1
35 : 白色の発泡スチロール製 食品用トレイ			0.0	0.0	0.0	0.0
36 : ペットボトル						
37 : その他				0.3		0.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

ｂ. 不燃ごみ

(%)

不 燃 ご み						
世帯人数	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人以上世帯	全体
モニター数	12	37	32	17	18	116
1 O A用紙						
2 その他紙類		0.7		0.7		0.3
3 残さ付き新聞等	1.1	0.0	0.1	0.4	0.0	0.2
4 厨芥（未使用食品）						
5 厨芥（調理くず、残飯）						
6 繊維			0.2		0.0	0.0
7 プラスチック製 容器包装類	2.6	0.8	3.0	0.6	0.8	1.4
8 プラスチック製 パック・カップ類	0.4					0.0
9 残さ付き容器包装類 （プラスチック）	0.3	1.2	1.4	0.0	0.1	0.6
10 ペットボトル（残さ付き）			1.2			0.3
11 白色トレイ（残さ付き）			0.1			0.0
12 ペットボトル識別マーク のないボトル状容器	0.4	1.1	1.1			0.5
13 プラスチック類その他	0.8	10.8	10.7	7.8	0.7	6.6
14 ゴム・皮革		9.1		2.0		2.4
15 レジ袋	0.4	0.3	0.5	0.5	0.3	0.4
16 プラスチック製キャップ類	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.2
17 発泡スチロールの緩衝材			0.6		0.0	0.2
18 その他可燃物	1.7	1.0	0.0	0.1	0.0	0.4
19 金属類	28.8	10.7	28.6	12.8	14.3	17.6
20 ガラス・陶磁器類	8.2	6.6	16.3	35.8	41.8	24.3
21 乾電池	11.8	2.8	0.4	1.3	1.2	2.1
22 充電式乾電池		0.1				0.0
23 ボタン電池					0.0	0.0
24 蛍光灯	6.5	1.2	1.2	1.2	1.2	1.6
25 その他不燃物	27.6	13.5	14.7	24.6	31.8	22.0
26 新聞等		0.0		0.3	0.1	0.1
27 雑誌						
28 段ボール	1.2	0.8	0.3		0.3	0.4
29 飲料用紙パック						
30 紙製容器包装類	1.0	0.0	0.3		0.0	0.2
31 スチール缶	3.0	4.8	3.9	2.3	2.2	3.3
32 アルミ缶		0.2	0.8	0.2		0.3
33 リターナブルびん						
34 ワンウェイびん	3.8	8.5	14.0	5.5	5.1	8.0
35 白色の発泡スチロール製 食品用トレイ						
36 ペットボトル			0.3			0.1
37 その他		25.4		4.1		6.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

c. 資源物

(%)

資 源 物						
世帯人数	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人以上世帯	全体
モニター数	12	37	32	17	18	116
1 O A用紙	2.9	1.3	0.8	0.0	1.3	1.1
2 その他紙類	0.2	0.1			0.3	0.1
3 残さ付き新聞等			0.3			0.1
4 厨芥（未使用食品）						
5 厨芥（調理くず、残飯）						
6 繊維			1.9		0.0	0.6
7 プラスチック製容器包装類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
8 プラスチック製パック・カップ類	0.4	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1
9 残さ付き容器包装類（プラスチック）	0.3	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1
10 ペットボトル（残さ付き）	0.6	0.2	1.0	1.3	0.8	0.8
11 白色トレイ（残さ付き）	0.0	0.0	0.0			0.0
12 ペットボトル識別マークのないボトル状容器	0.1			0.1	0.1	0.0
13 プラスチック類その他	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
14 ゴム・皮革						
15 レジ袋	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
16 プラスチック製キャップ類	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
17 発泡スチロールの緩衝材		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
18 その他可燃物		0.0	0.0		0.0	0.0
19 金属類	1.5	2.9	0.4	0.2	0.6	1.2
20 ガラス・陶磁器類		0.4				0.1
21 乾電池		0.1		0.7		0.2
22 充電式乾電池						
23 ボタン電池						
24 蛍光灯						
25 その他不燃物	0.1		0.1	0.0	0.1	0.1
26 新聞等	43.6	56.4	44.2	38.5	28.7	44.0
27 雑誌	27.7	7.5	9.5	1.6	13.8	9.9
28 段ボール	3.1	6.0	9.7	13.6	16.5	9.9
29 飲料用紙パック	0.2	0.6	0.5	1.1	2.1	0.9
30 紙製容器包装類	2.5	1.6	2.0	3.1	3.1	2.3
31 スチール缶	4.3	2.9	2.7	3.2	5.2	3.4
32 アルミ缶	0.7	1.9	3.3	6.7	4.1	3.4
33 リターナブルびん		1.1	2.9	2.0	1.4	1.7
34 ワンウェイびん	9.1	13.2	13.7	17.6	14.8	14.0
35 白色の発泡スチロール製食品用トレイ	0.2	0.3	0.3	0.5	0.6	0.4
36 ペットボトル	2.4	3.1	6.2	9.3	5.9	5.5
37 その他						
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

C. 住居形態別不用物全量（詳細）

a. 可燃ごみ

(g)

可 燃 ご み				
住居形態	戸建住宅	集合住宅	店舗併用	全体
世帯数	82	17	18	116
1 O A用紙	12,655	2,010	6,290	20,955
2 その他紙類	155,135	40,180	43,975	239,290
3 残さ付き新聞等	16,665	2,970	12,510	32,145
4 厨芥（未使用食品）	16,500	4,860	2,560	23,920
5 厨芥（調理くず、残飯）	399,900	62,660	81,580	544,140
6 繊維	29,020	14,361	4,760	48,141
7 プラスチック製 容器包装類	39,640	6,105	10,440	56,185
8 プラスチック製 パック・カップ類	620	160	190	970
9 残さ付き容器包装類 （プラスチック）	33,010	4,105	7,840	44,955
10 ペットボトル（残さ付き）	1,430	240	1,540	3,210
11 白色トレイ（残さ付き）	465	210	110	785
12 ペットボトル識別マーク のないボトル状容器	5,210	770	1,000	6,980
13 プラスチック類その他	19,815	3,070	3,720	26,605
14 ゴム・皮革	6,685	2,170	1,065	9,920
15 レジ袋	7,595	1,890	2,190	11,675
16 プラスチック製キャップ類	1,530	210	300	2,040
17 発泡スチロールの緩衝材	1,180	320	700	2,200
18 その他可燃物	113,830	15,740	10,865	140,435
19 金属類	835	105	125	1,065
20 ガラス・陶磁器類	80	130		210
21 乾電池	150		30	180
22 充電式乾電池				
23 ボタン電池	20			20
24 蛍光灯				
25 その他不燃物	1,000	40	60	1,100
26 新聞等	6,570	3,630	3,580	13,780
27 雑誌	12,900	2,020	7,380	22,300
28 段ボール	8,500	1,400	6,770	16,670
29 飲料用紙パック	3,960	850	1,080	5,890
30 紙製容器包装類	40,970	6,490	13,210	60,670
31 スチール缶	280		370	650
32 アルミ缶	60	10	80	150
33 リターナブルびん				
34 ワンウェイびん	1,340		110	1,450
35 白色の発泡スチロール製 食品用トレイ	25	15		40
36 ペットボトル				
37 その他			740	740
合計	937,575	176,721	225,170	1,339,466

b. 不燃ごみ

(g)

不 燃 ご み				
住居形態	戸建住宅	集合住宅	店舗併用	全体
世帯数	82	17	18	116
1 O A用紙				
2 その他紙類	95	190	210	495
3 残さ付き新聞等	205	90	10	305
4 厨芥（未使用食品）				
5 厨芥（調理くず、残飯）				
6 繊維	70		10	80
7 プラスチック製 容器包装類	400	1,445	550	2,395
8 プラスチック製 パック・カップ類		50		50
9 残さ付き容器包装類 （プラスチック）	60	505	525	1,090
10 ペットボトル（残さ付き）		470		470
11 白色トレイ（残さ付き）		40		40
12 ペットボトル識別マーク のないボトル状容器	500	210	210	920
13 プラスチック類その他	5,245	2,575	3,420	11,240
14 ゴム・皮革	2,250		1,840	4,090
15 レジ袋	370	100	180	650
16 プラスチック製キャップ類	160	70	55	285
17 発泡スチロールの緩衝材	10	40	210	260
18 その他可燃物	390	15	240	645
19 金属類	19,150	5,930	4,675	29,755
20 ガラス・陶磁器類	19,010	9,800	12,350	41,160
21 乾電池	2,880	60	610	3,550
22 充電式乾電池	50			50
23 ボタン電池			10	10
24 蛍光灯	2,400	220	40	2,660
25 その他不燃物	27,860	2,310	6,980	37,150
26 新聞等	120			120
27 雑誌				
28 段ボール	700			700
29 飲料用紙パック				
30 紙製容器包装類	40	230	10	280
31 スチール缶	2,790	430	2,330	5,550
32 アルミ缶	310	40	110	460
33 リターナブルびん				
34 ワンウェイびん	9,590	1,510	2,400	13,500
35 白色の発泡スチロール製 食品用トレイ				
36 ペットボトル		130		130
37 その他	3,590		7,400	10,990
合計	98,245	26,460	44,375	169,080

c. 資源物

(g)

資 源 物				
住居形態	戸建住宅	集合住宅	店舗併用	全体
世帯数	82	17	18	116
1 O A用紙	4,920	750	580	6,250
2 その他紙類	350	230	20	600
3 残さ付き新聞等	450			450
4 厨芥（未使用食品）				
5 厨芥（調理くず、残飯）				
6 繊維		3,210	30	3,240
7 プラスチック製 容器包装類	180	20	10	210
8 プラスチック製 パック・カップ類	510	60	65	635
9 残さ付き容器包装類 （プラスチック）	275	100	30	405
10 ペットボトル（残さ付き）	3,470	230	690	4,390
11 白色トレイ（残さ付き）	5		50	55
12 ペットボトル識別マーク のないボトル状容器	100		100	200
13 プラスチック類その他	200	15	40	255
14 ゴム・皮革				
15 レジ袋	435		70	505
16 プラスチック製キャップ類	220		50	270
17 発泡スチロールの緩衝材	105			105
18 その他可燃物	25	70		95
19 金属類	5,890	500	525	6,915
20 ガラス・陶磁器類	690			690
21 乾電池	900			900
22 充電式乾電池				
23 ボタン電池				
24 蛍光灯				
25 その他不燃物	360	30		390
26 新聞等	174,050	39,690	40,820	254,560
27 雑誌	25,280	12,440	19,830	57,550
28 段ボール	46,220	2,850	8,130	57,200
29 飲料用紙パック	3,300	950	820	5,070
30 紙製容器包装類	9,790	1,060	2,610	13,460
31 スチール缶	14,770	2,050	2,890	19,710
32 アルミ缶	13,250	2,460	3,860	19,570
33 リターナブルびん	6,940	2,720	330	9,990
34 ワンウェイびん	55,750	5,560	19,750	81,060
35 白色の発泡スチロール製 食品用トレイ	1,825	235	285	2,345
36 ペットボトル	22,070	3,500	6,080	31,650
37 その他				
合計	392,330	78,730	107,665	578,725

D. クラスター別不用物全量（詳細）

a. 可燃ごみ

(g)

可 燃 ご み				
クラスター別分類	クラスター1	クラスター2	クラスター3	全体
世帯数	46	34	36	116
1 O A用紙	10,065	4,605	6,285	20,955
2 その他紙類	96,255	62,840	80,195	239,290
3 残さ付き新聞等	13,810	10,795	7,540	32,145
4 厨芥（未使用食品）	8,500	4,890	10,530	23,920
5 厨芥（調理くず、残飯）	218,380	168,690	157,070	544,140
6 繊維	13,971	6,440	27,730	48,141
7 プラスチック製 容器包装類	22,335	15,270	18,580	56,185
8 プラスチック製 パック・カップ類	490	210	270	970
9 残さ付き容器包装類 （プラスチック）	18,880	13,030	13,045	44,955
10 ペットボトル（残さ付き）	1,550	1,430	230	3,210
11 白色トレイ（残さ付き）	270	220	295	785
12 ペットボトル識別マーク のないボトル状容器	3,030	1,900	2,050	6,980
13 プラスチック類その他	8,025	3,500	15,080	26,605
14 ゴム・皮革	5,055	1,385	3,480	9,920
15 レジ袋	5,560	3,040	3,075	11,675
16 プラスチック製キャップ類	750	740	550	2,040
17 発泡スチロールの緩衝材	1,215	570	415	2,200
18 その他可燃物	63,850	34,920	41,665	140,435
19 金属類	540	250	275	1,065
20 ガラス・陶磁器類	130		80	210
21 乾電池	120		60	180
22 充電式乾電池				
23 ボタン電池	20			20
24 蛍光灯				
25 その他不燃物	210	390	500	1,100
26 新聞等	7,500	1,480	4,800	13,780
27 雑誌	10,540	6,430	5,330	22,300
28 段ボール	8,890	4,710	3,070	16,670
29 飲料用紙パック	2,110	1,720	2,060	5,890
30 紙製容器包装類	22,445	19,725	18,500	60,670
31 スチール缶	420	230		650
32 アルミ缶	150			150
33 リターナブルびん				
34 ワンウェイびん	460	220	770	1,450
35 白色の発泡スチロール製 食品用トレイ	15	10	15	40
36 ペットボトル				
37 その他	740			740
合計	546,281	369,640	423,545	1,339,466

ｂ. 不燃ごみ

(g)

不 燃 ご み				
クラスター別分類	クラスター1	クラスター2	クラスター3	全体
世帯数	46	34	36	116
1 O A用紙				
2 その他紙類	490	5		495
3 残さ付き新聞等	170	100	35	305
4 厨芥（未使用食品）				
5 厨芥（調理くず、残飯）				
6 繊維			80	80
7 プラスチック製 容器包装類	1,990	245	160	2,395
8 プラスチック製 パック・カップ類	50			50
9 残さ付き容器包装類 （プラスチック）	985	75	30	1,090
10 ペットボトル（残さ付き）	470			470
11 白色トレイ（残さ付き）	40			40
12 ペットボトル識別マーク のないボトル状容器	580	110	230	920
13 プラスチック類その他	7,435	215	3,590	11,240
14 ゴム・皮革	3,490	600		4,090
15 レジ袋	325	195	130	650
16 プラスチック製キャップ類	205	15	65	285
17 発泡スチロールの緩衝材	50	210		260
18 その他可燃物	635	10		645
19 金属類	11,635	7,675	10,445	29,755
20 ガラス・陶磁器類	13,770	18,070	9,320	41,160
21 乾電池	2,290	830	430	3,550
22 充電式乾電池			50	50
23 ボタン電池			10	10
24 蛍光灯	1,090	560	1,010	2,660
25 その他不燃物	17,130	7,050	12,970	37,150
26 新聞等		110	10	120
27 雑誌				
28 段ボール	50	150	500	700
29 飲料用紙パック				
30 紙製容器包装類	250		30	280
31 スチール缶	2,700	2,460	390	5,550
32 アルミ缶	60	400		460
33 リターナブルびん				
34 ワンウェイびん	7,140	4,130	2,230	13,500
35 白色の発泡スチロール製 食品用トレイ				
36 ペットボトル	130			130
37 その他	7,400		3,590	10,990
合計	80,560	43,215	45,305	169,080

c. 資源物

(g)

資 源 物				
クラスター別分類	クラスター1	クラスター2	クラスター3	全体
世帯数	46	34	36	116
1 O A用紙	3,020	490	2,740	6,250
2 その他紙類	340	30	230	600
3 残さ付き新聞等		450		450
4 厨芥（未使用食品）				
5 厨芥（調理くず、残飯）				
6 繊維	3,210		30	3,240
7 プラスチック製 容器包装類	50	110	50	210
8 プラスチック製 パック・カップ類	430	115	90	635
9 残さ付き容器包装類 （プラスチック）	300	5	100	405
10 ペットボトル（残さ付き）	1,230			4,390
11 白色トレイ（残さ付き）	55			55
12 ペットボトル識別マーク のないボトル状容器	100	60	40	200
13 プラスチック類その他	180	20	55	255
14 ゴム・皮革				
15 レジ袋	210	100	195	505
16 プラスチック製キャップ類	85	130	55	270
17 発泡スチロールの緩衝材	80	15	10	105
18 その他可燃物	70	15	10	95
19 金属類	2,475	680	3,760	6,915
20 ガラス・陶磁器類			690	690
21 乾電池			900	900
22 充電式乾電池				
23 ボタン電池				
24 蛍光灯				
25 その他不燃物	190		200	390
26 新聞等	125,840	73,250	55,470	254,560
27 雑誌	23,900	6,120	27,530	57,550
28 段ボール	18,950	18,630	19,620	57,200
29 飲料用紙パック	2,560	1,180	1,330	5,070
30 紙製容器包装類	7,600	2,020	3,840	13,460
31 スチール缶	9,520	6,190	4,000	19,710
32 アルミ缶	7,550	7,480	4,540	19,570
33 リターナブルびん	330	4,120	5,540	9,990
34 ワンウェイびん	38,460	21,880	20,720	81,060
35 白色の発泡スチロール製 食品用トレイ	880	650	815	2,345
36 ペットボトル	11,180	11,680	11,950	31,650
37 その他				
合計	258,795	155,420	164,510	578,725

(2) 事業系

A. 業種別不用物全量（詳細）

a. 可燃ごみ

(g)

可 燃 ご み								
産業分類	建設業	製造業	卸売 小売業	不動産業	飲食 宿泊業	医療 福祉	サービス業	全体
事業所数	7	29	33	6	14	7	16	112
1 O A用紙	11,750	53,170	19,165	4,195	325	6,955	5,610	101,170
2 その他紙類	66,660	458,260	30,080	1,380	14,090	15,370	20,460	606,300
3 残さ付き新聞等	170	3,980	8,630	30	7,840	1,300	16,910	38,860
4 厨芥（未使用食品）		80	7,500		1,090	1,470		10,140
5 厨芥（調理くず、残飯）	4,240	68,660	164,120	1,700	280,530	6,200	38,290	563,740
6 繊維	260	23,190	3,555	100	3,100	200	4,565	34,970
7 プラスチック製 容器包装類	555	92,030	25,855	745	8,160	2,665	6,145	136,155
8 プラスチック製 パック・カップ類		20	20		10		40	90
9 残さ付き容器包装類 （プラスチック）	190	4,380	7,815	1,105	4,770	1,660	2,990	22,910
10 ペットボトル（残さ付き）		1,550	470	120	480	360	290	3,270
11 白色トレイ（残さ付き）		25	55		130	10		220
12 ペットボトル識別マーク のないボトル状容器	50	1,200	810	30	450	510	520	3,570
13 プラスチック類その他	7,150	35,375	18,890	335	580	935	1,010	64,275
14 ゴム・皮革	410	40,950	5,300			250	115	47,025
15 レジ袋	185	925	1,010	255	1,115	475	765	4,730
16 プラスチック製キャップ類		195	205	20	55	45	85	605
17 発泡スチロールの緩衝材	125	2,905	1,225	15	350	120	4,160	8,900
18 その他可燃物	1,870	14,995	153,135	1,075	6,695	5,555	11,235	194,560
19 金属類	10	625	210	40	65	20	205	1,175
20 ガラス・陶磁器類		10						10
21 乾電池		80						80
22 充電式乾電池		300						300
23 ボタン電池		470						470
24 蛍光灯								
25 その他不燃物	110	20	50				10	190
26 新聞等	270	5,465	16,835	150	120	1,700	1,440	25,980
27 雑誌	290	3,500	6,870	8,150	370	1,480	1,600	22,260
28 段ボール	230	3,870	17,060	790	1,370	1,780	2,100	27,200
29 飲料用紙パック	50	460	510	90	240	210	640	2,200
30 紙製容器包装類	2,250	16,690	14,590	915	2,385	7,180	5,050	49,060
31 スチール缶			100		60			160
32 アルミ缶		30	40					70
33 リターナブルびん								
34 ワンウェイびん								
35 白色の発泡スチロール製 食品用トレイ		5			150			155
36 ペットボトル		70						70
37 その他								
合計	96,825	833,485	504,105	21,240	334,530	56,450	124,235	1,970,870

ｂ．不燃ごみ

(g)

不 燃 ご み								
産業分類	建設業	製造業	卸売 小売業	不動産業	飲食 宿泊業	医療 福祉	サービス業	全体
事業所数	7	29	33	6	14	7	16	112
1 〇Ａ用紙	40	110	25				270	445
2 その他紙類		340	90	5	290		160	885
3 残さ付き新聞等		130			20		30	180
4 厨芥（未使用食品）							150	150
5 厨芥（調理くず、残飯）	5	180			230			415
6 繊維		760	110					870
7 プラスチック製 容器包装類	100	2,020	480	25	1,030		70	3,725
8 プラスチック製 パック・カップ類								
9 残さ付き容器包装類 （プラスチック）		130			600		40	770
10 ペットボトル（残さ付き）		20	30	370	20		240	680
11 白色トレイ（残さ付き）					40			40
12 ペットボトル識別マーク のないボトル状容器		60	590	470		140	140	1,400
13 プラスチック類その他	1,040	82,595	11,440	1,660	40	640	760	98,175
14 ゴム・皮革		180	2,160		60			2,400
15 レジ袋	5	100	185	50	130	20	35	525
16 プラスチック製キャップ類		55	370	40	10		70	545
17 発泡スチロールの緩衝材	340	10	930					1,280
18 その他可燃物		4,185	1,770	15	30		20	6,020
19 金属類	1,570	23,485	14,245	90	835	2,330	11,615	54,170
20 ガラス・陶磁器類	1,720	1,920	16,130		300	500	330	20,900
21 乾電池	270	610	680	100	50	160	80	1,950
22 充電式乾電池							40	40
23 ボタン電池								
24 蛍光灯	2,290	3,080	1,140	20	160	920	820	8,430
25 その他不燃物	6,730	3,470	18,480	300	160	5,120	2,800	37,060
26 新聞等		80						80
27 雑誌								
28 段ボール		410	80			130		620
29 飲料用紙パック		60					70	130
30 紙製容器包装類		150	130		40		10	330
31 スチール缶		2,280	1,150	1,620	1,460	10	840	7,360
32 アルミ缶		530	210	30	70		60	900
33 リターナブルびん			400					400
34 ワンウェイびん	350	1,420	5,050	210	1,050	200	270	8,550
35 白色の発泡スチロール製 食品用トレイ								
36 ペットボトル								
37 その他	3,370	1,120	30,260		3,300		2,300	40,350
合計	17,830	129,490	106,135	5,005	9,925	10,170	21,220	299,775

c. 資源物

(g)

資 源 物								
産業分類	建設業	製造業	卸売 小売業	不動産業	飲食 宿泊業	医療 福祉	サービス業	全体
事業所数	7	29	33	6	14	7	16	112
1 O A 用紙		2,050	350	70			85	2,555
2 その他紙類	1,330	10	20	40	5		245	1,650
3 残さ付き新聞等				130			250	380
4 厨芥（未使用食品）								
5 厨芥（調理くず、残飯）			300		100		20	420
6 繊維		5,350						5,350
7 プラスチック製 容器包装類		25	20	40	10	60	30	185
8 プラスチック製 パック・カップ類		170	50				10	230
9 残さ付き容器包装類 （プラスチック）		25	210		60	100	25	420
10 ペットボトル（残さ付き）		320	1,140	130	300		200	2,090
11 白色トレイ（残さ付き）		10			95		40	145
12 ペットボトル識別マーク のないボトル状容器		130						130
13 プラスチック類その他		35				650	5	690
14 ゴム・皮革	5							5
15 レジ袋	25	95	80	25	95	20	60	400
16 プラスチック製キャップ類	30	160	70	25	25	70	45	425
17 発泡スチロールの緩衝材							10	10
18 その他可燃物				90	40			130
19 金属類		9,640	95	5	35	125	85	9,985
20 ガラス・陶磁器類		250	390					640
21 乾電池								
22 充電式乾電池								
23 ボタン電池								
24 蛍光灯								
25 その他不燃物		50				60	10	120
26 新聞等	1,470	55,850	21,050	4,550	7,270	12,360	59,230	161,780
27 雑誌	2,070	9,580	52,740	65,050		7,190	36,240	172,870
28 段ボール	9,300	40,000	109,400	1,760	8,860	10,870	53,130	233,320
29 飲料用紙パック	120	60		320			160	660
30 紙製容器包装類	750	2,120	5,255	290	20		1,460	9,895
31 スチール缶	250	7,970	3,670	90	110	1,680	3,980	17,750
32 アルミ缶	140	2,150	2,240	70	420	630	820	6,470
33 リターナブルびん		5,660	330		13,270		6,540	25,800
34 ワンウェイびん	1,910	11,410	9,870	510	5,710	2,930	5,540	37,880
35 白色の発泡スチロール製 食品用トレイ	10	50	180		155		40	435
36 ペットボトル	1,180	4,460	3,970	50	2,810	1,190	2,390	16,050
37 その他		1,160						1,160
合計	18,590	158,790	211,430	73,245	39,390	37,935	170,650	710,030

B. 産業分類別不用物割合（詳細）

a. 可燃ごみ

(%)

可 燃 ご み								
産業分類	建設業	製造業	卸売 小売業	不動産業	飲食 宿泊業	医療 福祉	サービス業	全体
事業所数	7	29	33	6	14	7	16	112
1 O A用紙	12.1	6.4	3.8	19.8	0.1	12.3	4.5	5.1
2 その他紙類	68.8	55.0	6.0	6.5	4.2	27.2	16.5	30.8
3 残さ付き新聞等	0.2	0.5	1.7	0.1	2.3	2.3	13.6	2.0
4 厨芥（未使用食品）		0.0	1.5		0.3	2.6		0.5
5 厨芥（調理くず、残飯）	4.4	8.2	32.6	8.0	83.9	11.0	30.8	28.6
6 繊維	0.3	2.8	0.7	0.5	0.9	0.4	3.7	1.8
7 プラスチック製 容器包装類	0.6	11.0	5.1	3.5	2.4	4.7	4.9	6.9
8 プラスチック製 パック・カップ類		0.0	0.0		0.0		0.0	0.0
9 残さ付き容器包装類 （プラスチック）	0.2	0.5	1.6	5.2	1.4	2.9	2.4	1.2
10 ペットボトル（残さ付き）		0.2	0.1	0.6	0.1	0.6	0.2	0.2
11 白色トレイ（残さ付き）		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0
12 ペットボトル識別マーク のないボトル状容器	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.9	0.4	0.2
13 プラスチック類その他	7.4	4.2	3.7	1.6	0.2	1.7	0.8	3.3
14 ゴム・皮革	0.4	4.9	1.1			0.4	0.1	2.4
15 レジ袋	0.2	0.1	0.2	1.2	0.3	0.8	0.6	0.2
16 プラスチック製キャップ類		0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0
17 発泡スチロールの緩衝材	0.1	0.3	0.2	0.1	0.1	0.2	3.3	0.5
18 その他可燃物	1.9	1.8	30.4	5.1	2.0	9.8	9.0	9.9
19 金属類	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0	0.0	0.2	0.1
20 ガラス・陶磁器類		0.0						0.0
21 乾電池		0.0						0.0
22 充電式乾電池		0.0						0.0
23 ボタン電池		0.1						0.0
24 蛍光灯								
25 その他不燃物	0.1	0.0	0.0				0.0	0.0
26 新聞等	0.3	0.7	3.3	0.7	0.0	3.0	1.2	1.3
27 雑誌	0.3	0.4	1.4	38.4	0.1	2.6	1.3	1.1
28 段ボール	0.2	0.5	3.4	3.7	0.4	3.2	1.7	1.4
29 飲料用紙パック	0.1	0.1	0.1	0.4	0.1	0.4	0.5	0.1
30 紙製容器包装類	2.3	2.0	2.9	4.3	0.7	12.7	4.1	2.5
31 スチール缶			0.0		0.0			0.0
32 アルミ缶		0.0	0.0					0.0
33 リターナブルびん								
34 ワンウェイびん								
35 白色の発泡スチロール製 食品用トレイ		0.0			0.0			0.0
36 ペットボトル		0.0						0.0
37 その他								
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

ｂ．不燃ごみ

(%)

不 燃 ご み								
産業分類	建設業	製造業	卸売 小売業	不動産業	飲食 宿泊業	医療 福祉	サービス業	全体
事業所数	7	29	33	6	14	7	16	112
1 OA用紙	0.2	0.1	0.0				1.3	0.1
2 その他紙類		0.3	0.1	0.1	2.9		0.8	0.3
3 残さ付き新聞等		0.1			0.2		0.1	0.1
4 厨芥（未使用食品）							0.7	0.1
5 厨芥（調理くず、残飯）	0.0	0.1			2.3			0.1
6 繊維		0.6	0.1					0.3
7 プラスチック製 容器包装類	0.6	1.6	0.5	0.5	10.4		0.3	1.2
8 プラスチック製 パック・カップ類								
9 残さ付き容器包装類 （プラスチック）		0.1			6.0		0.2	0.3
10 ペットボトル（残さ付き）		0.0	0.0	7.4	0.2		1.1	0.2
11 白色トレイ（残さ付き）					0.4			0.0
12 ペットボトル識別マーク のないボトル状容器		0.0	0.6	9.4		1.4	0.7	0.5
13 プラスチック類その他	5.8	63.8	10.8	33.2	0.4	6.3	3.6	32.7
14 ゴム・皮革		0.1	2.0		0.6			0.8
15 レジ袋	0.0	0.1	0.2	1.0	1.3	0.2	0.2	0.2
16 プラスチック製キャップ類		0.0	0.3	0.8	0.1		0.3	0.2
17 発泡スチロールの緩衝材	1.9	0.0	0.9					0.4
18 その他可燃物		3.2	1.7	0.3	0.3		0.1	2.0
19 金属類	8.8	18.1	13.4	1.8	8.4	22.9	54.7	18.1
20 ガラス・陶磁器類	9.6	1.5	15.2		3.0	4.9	1.6	7.0
21 乾電池	1.5	0.5	0.6	2.0	0.5	1.6	0.4	0.7
22 充電式乾電池							0.2	0.0
23 ボタン電池								
24 蛍光灯	12.8	2.4	1.1	0.4	1.6	9.0	3.9	2.8
25 その他不燃物	37.7	2.7	17.4	6.0	1.6	50.3	13.2	12.4
26 新聞等		0.1						0.0
27 雑誌								
28 段ボール		0.3	0.1			1.3		0.2
29 飲料用紙パック		0.0					0.3	0.0
30 紙製容器包装類		0.1	0.1		0.4		0.0	0.1
31 スチール缶		1.8	1.1	32.4	14.7	0.1	4.0	2.5
32 アルミ缶		0.4	0.2	0.6	0.7		0.3	0.3
33 リターナブルびん			0.4					0.1
34 ワンウェイびん	2.0	1.1	4.8	4.2	10.6	2.0	1.3	2.9
35 白色の発泡スチロール製 食品用トレイ								
36 ペットボトル								
37 その他	18.9	0.9	28.5		33.2		10.8	13.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

c. 資源物

(%)

資 源 物								
産業分類	建設業	製造業	卸売 小売業	不動産業	飲食 宿泊業	医療 福祉	サービス業	全体
事業所数	7	29	33	6	14	7	16	112
1 OA用紙		1.3	0.2	0.1			0.0	0.4
2 その他紙類	7.2	0.0	0.0	0.1	0.0		0.1	0.2
3 残さ付き新聞等				0.2			0.1	0.1
4 厨芥（未使用食品）								
5 厨芥（調理くず、残飯）			0.1		0.3		0.0	0.1
6 繊維		3.4						0.8
7 プラスチック製 容器包装類		0.0	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0	0.0
8 プラスチック製 パック・カップ類		0.1	0.0				0.0	0.0
9 残さ付き容器包装類 （プラスチック）		0.0	0.1		0.2	0.3	0.0	0.1
10 ペットボトル（残さ付き）		0.2	0.5	0.2	0.8		0.1	0.3
11 白色トレイ（残さ付き）		0.0			0.2		0.0	0.0
12 ペットボトル識別マーク のないボトル状容器		0.1						0.0
13 プラスチック類その他		0.0				1.7	0.0	0.1
14 ゴム・皮革	0.0							0.0
15 レジ袋	0.1	0.1	0.0	0.0	0.2	0.1	0.0	0.1
16 プラスチック製キャップ類	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0	0.1
17 発泡スチロールの緩衝材							0.0	0.0
18 その他可燃物				0.1	0.1			0.0
19 金属類		6.1	0.0	0.0	0.1	0.3	0.0	1.4
20 ガラス・陶磁器類		0.2	0.2					0.1
21 乾電池								
22 充電式乾電池								
23 ボタン電池								
24 蛍光灯								
25 その他不燃物		0.0				0.2	0.0	0.0
26 新聞等	7.9	35.2	10.0	6.2	18.5	32.6	34.7	22.8
27 雑誌	11.1	6.0	24.9	88.8		19.0	21.2	24.3
28 段ボール	50.0	25.2	51.7	2.4	22.5	28.7	31.1	32.9
29 飲料用紙パック	0.6	0.0		0.4			0.1	0.1
30 紙製容器包装類	4.0	1.3	2.5	0.4	0.1		0.9	1.4
31 スチール缶	1.3	5.0	1.7	0.1	0.3	4.4	2.3	2.5
32 アルミ缶	0.8	1.4	1.1	0.1	1.1	1.7	0.5	0.9
33 リターナブルびん		3.6	0.2		33.7		3.8	3.6
34 ワンウェイびん	10.3	7.2	4.7	0.7	14.5	7.7	3.2	5.3
35 白色の発泡スチロール製 食品用トレイ	0.1	0.0	0.1		0.4		0.0	0.1
36 ペットボトル	6.3	2.8	1.9	0.1	7.1	3.1	1.4	2.3
37 その他		0.7						0.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

C. クラスター別不用物全量（詳細）

a. 可燃ごみ

(g)

可 燃 ご み								
クラスター分類分類	西日暮里	東日暮里	荒川	南千住	町屋	東尾久	西尾久	全体
事業所数	15	13	15	16	18	18	17	112
1 OA用紙	13,630	51,040	12,030	2,530	5,250	7,920	8,770	101,170
2 その他紙類	16,715	17,550	72,350	23,975	438,660	21,000	16,050	606,300
3 残さ付き新聞等	5,300	2,550	710	4,570	16,630	5,650	3,450	38,860
4 厨芥（未使用食品）		800		4,780	1,320	2,400	840	10,140
5 厨芥（調理くず、残飯）	60,960	22,820	83,660	98,250	87,490	77,700	132,860	563,740
6 繊維	1,095	3,200	1,215	1,290	7,780	7,910	12,480	34,970
7 プラスチック製 容器包装類	20,060	2,800	13,735	71,060	10,125	6,220	12,155	136,155
8 プラスチック製 パック・カップ類	10	20			30	30		90
9 残さ付き容器包装類 （プラスチック）	6,640	1,820	785	3,250	4,445	2,955	3,015	22,910
10 ペットボトル（残さ付き）	350	1,120	90	60	730	410	510	3,270
11 白色トレイ（残さ付き）		10	40		30	55	85	220
12 ペットボトル識別マーク のないボトル状容器	750	370	260	300	980	290	620	3,570
13 プラスチック類その他	15,835	1,995	4,845	3,590	13,545	2,500	21,965	64,275
14 ゴム・皮革	180	4,090	10,050	5,390	25,540	245	1,530	47,025
15 レジ袋	740	415	445	415	500	1,110	1,105	4,730
16 プラスチック製キャップ類	115	120	10	70	120	40	130	605
17 発泡スチロールの緩衝材	455	50	545	245	4,730	400	2,475	8,900
18 その他可燃物	64,665	5,970	6,710	3,695	10,980	10,460	92,080	194,560
19 金属類	45	30	85	10	820	100	85	1,175
20 ガラス・陶磁器類					10			10
21 乾電池				80				80
22 充電式乾電池				300				300
23 ボタン電池				470				470
24 蛍光灯								
25 その他不燃物		30	30			130		190
26 新聞等	1,990	610	3,270	950	5,080	5,250	8,830	25,980
27 雑誌	1,210	590	1,040	4,180	4,350	3,130	7,760	22,260
28 段ボール	770	1,310	3,140	1,060	4,430	2,300	14,190	27,200
29 飲料用紙パック	320	60	610	80	450	250	430	2,200
30 紙製容器包装類	2,605	10,005	5,740	5,170	8,275	9,640	7,625	49,060
31 スチール缶			30		80	30	20	160
32 アルミ缶					30	40		70
33 リターナブルびん								
34 ワンウェイびん								
35 白色の発泡スチロール製 食品用トレイ		5	90				60	155
36 ペットボトル		70						70
37 その他								
合計	214,440	129,450	221,515	235,770	652,410	168,165	349,120	1,970,870

ｂ．不燃ごみ

(g)

不 燃 ご み								
クラスター分類分類	西日暮里	東日暮里	荒川	南千住	町屋	東尾久	西尾久	全体
事業所数	15	13	15	16	18	18	17	112
1 O A 用紙				5	110	20	310	445
2 その他紙類		10		300	330		245	885
3 残さ付き新聞等	20				160			180
4 厨芥（未使用食品）							150	150
5 厨芥（調理くず、残飯）			5	230	180			415
6 繊維					640	120	110	870
7 プラスチック製 容器包装類	55		65	1,020	1,960	125	500	3,725
8 プラスチック製 パック・カップ類								
9 残さ付き容器包装類 （プラスチック）		20	10	600	110	10	20	770
10 ペットボトル（残さ付き）	370	210		20	20		60	680
11 白色トレイ（残さ付き）				40				40
12 ペットボトル識別マーク のないボトル状容器	280	330	390		20	310	70	1,400
13 プラスチック類その他	7,840	1,140	2,280	1,640	78,025	4,810	2,440	98,175
14 ゴム・皮革	430		1,130	830	10			2,400
15 レジ袋	70	25	60	120	60	155	35	525
16 プラスチック製キャップ類	5	60	100	15	120	145	100	545
17 発泡スチロールの緩衝材	310		630			340		1,280
18 その他可燃物			1,640	40	765	3,420	155	6,020
19 金属類	9,205	3,860	11,385	1,270	9,720	16,635	2,095	54,170
20 ガラス・陶磁器類	2,270	830	5,400	200	770	9,380	2,050	20,900
21 乾電池	230	650	280	100	160	500	30	1,950
22 充電式乾電池	40							40
23 ボタン電池								
24 蛍光灯	550	1,940	640	80	110	2,560	2,550	8,430
25 その他不燃物	5,690	2,000	3,070	1,690	1,200	10,860	12,550	37,060
26 新聞等					80			80
27 雑誌								
28 段ボール	10	90	20		330	170		620
29 飲料用紙パック					60		70	130
30 紙製容器包装類	50			20	160		100	330
31 スチール缶	1,260	2,320	650	1,130	1,210	730	60	7,360
32 アルミ缶	30	430	80		170	140	50	900
33 リターナブルびん							400	400
34 ワンウェイびん	430	1,500	1,540		2,550	1,260	1,270	8,550
35 白色の発泡スチロール製 食品用トレイ								
36 ペットボトル								
37 その他	26,860	2,300		5,540		1,120	4,530	40,350
合計	56,005	17,715	29,375	14,890	99,030	52,810	29,950	299,775

c. 資源物

(g)

資 源 物								
クラスター分類分類	西日暮里	東日暮里	荒川	南千住	町屋	東尾久	西尾久	全体
事業所数	15	13	15	16	18	18	17	112
1 O A 用紙	20		2,030		420	15	70	2,555
2 その他紙類	200	30	1,340	20		15	45	1,650
3 残さ付き新聞等					250		130	380
4 厨芥（未使用食品）								
5 厨芥（調理くず、残飯）			20		100	300		420
6 繊維						5,350		5,350
7 プラスチック製 容器包装類	10	20	15		40	60	40	185
8 プラスチック製 パック・カップ類	10					170	50	230
9 残さ付き容器包装類 （プラスチック）	60	30		10	220		100	420
10 ペットボトル（残さ付き）	30		290			100	1,670	2,090
11 白色トレイ（残さ付き）	115	10			10		10	145
12 ペットボトル識別マーク のないボトル状容器				110		20		130
13 プラスチック類その他		15			10	15	650	690
14 ゴム・皮革						5		5
15 レジ袋	20	35	25	15	20	90	195	400
16 プラスチック製キャップ類	20	10	55	85	10	125	120	425
17 発泡スチロールの緩衝材					10			10
18 その他可燃物					40		90	130
19 金属類	85	75	15	10	9,585	95	120	9,985
20 ガラス・陶磁器類					250	390		640
21 乾電池								
22 充電式乾電池								
23 ボタン電池								
24 蛍光灯								
25 その他不燃物		60					60	120
26 新聞等	38,700	4,130	37,690	6,590	44,550	28,520	1,600	161,780
27 雑誌	26,430	23,310	30,110	66,300	11,750	14,520	450	172,870
28 段ボール	60,890	7,430	29,310	3,950	31,560	29,690	70,490	233,320
29 飲料用紙パック	60	70	380			150		660
30 紙製容器包装類	1,110	270	2,280	505	4,410	1,110	210	9,895
31 スチール缶	2,720	2,660	2,380	3,670	4,010	1,410	900	17,750
32 アルミ缶	650	450	690	920	1,600	1,790	370	6,470
33 リターナブルびん	330	5,660			3,660	960	15,190	25,800
34 ワンウェイびん	9,210	5,040	2,120	2,320	4,550	8,330	6,310	37,880
35 白色の発泡スチロール製 食品用トレイ	155	20		120	30	30	80	435
36 ペットボトル	4,450	2,300	560	1,240	1,780	2,780	2,940	16,050
37 その他					1,160			1,160
合計	145,275	51,625	109,310	85,865	120,025	96,040	101,890	710,030

登録番号（２２）００５５

荒川区ごみ排出原単位等実態調査報告書

平成 22 年 9 月

発行 荒川区環境清掃部清掃リサイクル課
東京都荒川区町屋 5-19-1 荒川清掃事務所 3 階
電話 03-5692-6690

調査委託
株式会社 市川環境アセス
東京都台東区東上野 1-10-8-405
電話 03-5846-3180

古紙配合の再生紙を使用